









<b>2章 仮設工事</b>	
1.ベンチマーク	◎設計図の設定は、工事範囲外の周辺レベルとする。ただし、監督員の指示により決定する。
2.足場等	◎仮設機材及び経年仮設機材の使用については、次の規格又は認定基準(以下「規格等」という。)に適合するものを使用すること。 <p>(1)労働安全衛生法に基づく構造規格</p> <p>(2)(社)仮設工業会の認定基準</p> また、厚生労働省の「経年仮設機材の管理指針」の基づく(社)仮設工業会の「適用工場制度」による登録工場及び指定工場等の活用に努めるとともに、前記規格等に定めるもの以外の使用に当たってはあらかじめ強度等を確認した書類を監督員に提出し、承諾を得ること。 ◎労働安全衛生法第88条に基づき、労働安全衛生規則別表第7に掲げる機械等（組立から解体までの期間が60日未満を除く）の設置や移転、変更を行う場合は、30日前までに所轄労働基準監督署長に届け出をおこなうこと。 届け出をおこなった場合は、監督員に報告すること。 届け出不要の場合は、その旨監督員に報告すること。
◎外部足場	本庁舎、共済会館、渡り廊下(共済会館)：(種類：枠組本足場、仕様 2枚布、D＝90cm、シート仕様：防音シート) <p>従業員控室西側：(種類：くさび緊結式足場、シート仕様：ネット状養生シート防災Ⅰ類)</p> 上記以外：(種類：枠組本足場、仕様 2枚布、D＝90cm、シート仕様：ネット状養生シート防災Ⅰ類) ・壁つなぎ間隔(水平方向:8m以下、鉛直方向:9m以下) ・足場を設置する場合は、原則として「手すり先行工法に関するガイドライン」(2.2.4)の別紙1「手すり先行工法による足場の組み立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式により行うこと。ただし監督員の承諾を得た場合は、(3)手すり先行専用足場方式により行うことができる。
◎内部足場(種類：脚立足場)	◎仮囲い(仕様：成形鋼板 H=2.0m、L＝図示)
◎ゲート (有、無)	◎足場等の設置業者は、別契約の関係受注者に無償で使用させること。
◎足場等を無償使用する業者は、設置業者の指示に従うこと。	
◎受注者は、つり足場(ゴンドラのつり足場を除く。)、張出し足場又は高さが5メートル以上の構造の足場の組立て、解体又は変更の作業において、材料、器具、工具等上げ、又はおろすときは、つり綱、つり袋等を労働者に使用させなければならない。また、作業主任者を選任し、その氏名、職務を掲示すること。	
3.仮設物	◎監督員事務所 <p>・設ける(設ける(面積 程度)・設けない)</p> ◎監督員事務所の備品等は監督員の指示を受けて設置すること。
4.養生	◎既存部分の養生範囲は図示による。(養生方法： )
◎既存部分の家具等の養生範囲は図示による。(養生方法： )	
5.工事用水、電力等	◎既存電力利用(出来る、出来ない)、電力料金(有償、無償)ただし、施設管理者と協議すること。
◎既存用水利用(出来る、出来ない)、用水料金(有償、無償)ただし、施設管理者と協議すること。	
6.工事車両駐車場 <p>現場事務所用地等</p>	◎同用地は、( 図示の場所に ・用意していないので業者にて)設けること。
7.保険	◎請負業者は、請負賠償責任保険に付保すること。
8.申請関係	◎除去届等の申請については請負業者が行うこと。

### 3章 解体施工

1. 一般事項	◎空調機等の冷媒は、専門業者により回収を行い、空気に飛散させてはならない。
◎建物の解体は順序よく行い、特に安全を期すこと。工事中に発生する粉塵については、散水等適当な方法により発生防止に努めること。	
◎解体の発生材の運搬計画及び通行道路の搬送計画について、関係機関と協議し、一般車両の通行に支障無いように努めること。	
また、道路の汚染防止に努め、道路等を汚した場合は速やかに清掃すること。	
◎解体は全て分別解体により行い、次により工事写真 を撮影すること。	
(1) 内装材等をはぎ取った壁、天井、床の各面	
(2) 内装材を分別して集積したところ(特にせっこうボードは他のボードと区別すること)	
(3) 積み込み状況(車のナンバープレートを写し込むこと)	
(4) 捨て場状況(車のナンバープレートを写し込むこと)	
2. 工事の範囲	◎構造物の地中部の取り壊しはベース下端捨てでコンクリート及び栗石底面まで行い撤去すること。
3. 騒音振動調査	◎本工事の施工に当たっては、騒音・振動を発生させる作業施工中、騒音・振動測定を実施し、騒音振動規制法等関係法令に基づく基準内及び周辺住民への影響を考慮した施工を行うこと。
◎騒音・振動の測定中に基準値を超えたことが確認された場合には現場監督員に速やかに連絡すること。	
◎騒音・振動の測定に当たっては、計量証明事業登録者が行い、測定完了後計量証明事業登録者の作成した報告書を3部提出すること。	
◎測定は、作業場所の敷地境界で行い、測定法は騒音JIS Z 8731(騒音レベル測定方法)、JIS Z 8735(振動レベル測定方法)による。	
(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修建築工事施工監理指針参考資料参照)	
◎騒音・振動の測定に先立ち、測定に関する実施計画書を提出し、監督員の承認を得た後、実施すること。	
4. 事前措置	◎本工事の着手時に、給排水、ガス管、地下埋設物等の調査を行う。調査期間は1週間とする。切り戻し時期については施設管理者、監督員と協議のうえ決定する。
◎解体前に大気汚染防止法に基づくアスベスト等の特定建築材料に該当するものが使用されていないか調査し、有れば監督員の指示に従うこと。	
既存の分析調査結果がある場合は、受注者がその結果を書類等により確認すること。なお、工事内容に変更がある場合についても同様とする。	
◎事前の施工調査等を改修仕9.1.1(5)及び大気汚染防止法により行うこと。	
・調査結果を石綿事前調査結果報告システムにより、労働基準監督署及び自治体に報告すること。監督員へも結果を提出すること。	
・調査結果は3年間保存すること。	
・調査結果の概要を公衆が見やすい場所に掲示すること。	
・分析によりアスベスト含有調査を行う場合は、JIS A 1481-11によること。	
◎解体前に照明器具及びトランス内連相コンデンサーのPCBの有無を調査し、有れば監督員の指示に従うこと。	
◎フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律に基づき、第一種特定製品の有無について、事前確認書により監督員に説明すること。	
5. 杭	◎杭の解体 引抜き工法(全周回転オールケーシング工法)
◎既存杭の位置(改良土埋め戻し箇所)を実測し、CADデータで提出すること。	
6. 構内舗装等	◎樹木等の伐採抜根 方法(幹周25cm未満は人力、25cm以上は機械併用)
◎舗装版切断に伴い発生する排水は汚泥に該当するため、関係法令等に基づき適正に処理すること。	
7. 地下埋設物・埋設配管等	◎解体範囲内の設備機器等の撤去も本工事に含むものとする。なお、電気、給排水、ガス管、空調配管、配線の有無を確認のうえ着手すること。
8. 整地・埋戻し・盛土	◎埋戻しは、(購入土)・クラッシュラン・再生クラッシュラン(現場発生土)他工事の現場発生土)とする。
◎埋め戻し高さは工事範囲外の周辺レベルとする。ただし、監督員の指示により決定する。	
◎整地範囲は図示による。	
◎整地後は再生クラッシュラン敷き(厚50程度)とすること。	
9. 工事中の排水	◎工事に支障を及ぼす雨水、わき水等は、適正な排水溝、集水ます等を設置し、支障がないようにすること。
10. 墮落防止対策	◎2階以上の護壁のない開口部等から廃棄物の搬出作業を行う場合には、墮落防止の手摺り等を設けること。
◎手摺り等を設けることが著しく困難なとき、又は、作業の必要上臨時に手摺り等を取り外すときは、安全帯を使用したままの状態で作業を行えるよう考慮し、作業員に安全帯の着用を徹底させること。	
11. 浄化槽	◎汚水、汚物等の回収、洗浄、消毒等の措置(行う、行わない)

### 4章 建設廃棄物の処理

#### 1.一般事項

◎発生材の処理等は、次により適正に行う。

- 工事による発生材のうち、文化財保護法に基づく物及び有害材と判断される物については、報告及び引き渡しを要する。
  - 上記以外の発生材は、建設工事に係る資材の再生資源化等に関する法律、資材の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設副産物適正処理推進要綱その他関係法令等に従い処理すること。受注者は、工事で発生する産業廃棄物を保管する場合、または自ら運搬する場合等においては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の規定を遵守すること。図書に表示のないものについては、監督員(契約書に規定する監督員をいい、標仕の規定による場合は監督職員と読み替える、以下同じ。)に報告し指示を仰ぐこと。
  - 受注者は、建設副産物が搬出される工事にあたっては、建設発生土は建設発生土搬出調査、産業廃棄物は産業廃棄物管理票(マニフェスト)により、適正に処理されているか確認するとともに、監督員に建設発生土搬出調査(様式3)を提出しなければならない。なお、監督員等の指示があった場合は直ちに産業廃棄物管理票の写しを提示しなければならない。
- ◎資源の有効な利用の促進に関する法律（以下「資源有効利用促進法」という。）及び建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（以下「建設リサイクル法」という。）に基づく対応は、以下のとおり行うこと。
- 受注者は、資源有効利用促進法に基づく建設業に属する事業者を行う者の再生資源の利用に関する判断の基準となるべき事項を定める省令（H3.10.25建設省令第19号）第8条で規定される工事又は建設リサイクル法施行令第2条で規定される工事(以下「一定規模以上の工事」という。)において、コンクリート(二次製品を含む。)、土砂、砕石、加熱アスファルト混合物又は木材を工事現場に搬入する場合には、（一財）日本建設情報総合センターの建設副産物情報交換システム(以下「COBRIS」という。)により再生資源利用計画書を作成し、監督員の確認を受けること。
  - 受注者は、資源有効利用促進法に基づく建設業に属する事業者を行う者の指定副産物に係る再生資源の利用の促進に関する判断の基準となるべき事項を定める省令（H3.10.25建設省令第20号）第7条で規定される工事又は一定規模以上の工事におい、建設発生、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物を工事現場から搬出する場合には、COBRISにより再生資源利用促進計画書を作成し、監督員の確認を受けること。
  - 受注者は、上記計画書を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）すること。
  - 受注者は、上記計画書に変更が生じた場合は、速やかに計画を変更し、その変更の内容を監督員に報告すること。
  - 受注者は、工事完了後速やかにCOBRISにより再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を作成し、監督員に提出すること。
  - 受注者は、上記計画書及び実施書を工事完成後5年間保存すること。
  - 受注者は、COBRISの入力において、資源の供給元及び搬出する副産物の搬出し先について、その施設名、施設の種別及び住所を必ず入力すること。ただし、バージン材を使用する生コンクリート及び購入土を除くものとする。

◎処理に注意を要する建設廃棄物の処理(有、無)

材 料 名(吸音用岩綿付付け)

処理方法(石綿含有産業廃棄物)

◎建設リサイクル法通知済証の掲示

受注者は、建設リサイクル法に基づく対象建設工事（特定建設資材を用いた建築物等に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が建設リサイクル法施行令で定める基準以上のもの）においては、工事現場の公衆の見やすい場所に工事着手前までに「建設リサイクル法通知済証」を掲示し、工事しゅん工検査が終了するまで存置しておかなければならない。また、「建設リサイクル法通知済証」掲示後の全景写真は電子納品の対象書類とし、「徳島県電子納品運用ガイドライン【建築工事編】」に基づき提出することとする。なお、「建設リサイクル法通知済証」は契約締結後から工事着手日までの期間に発注者から支給することとする。

T I T L E	D A T E	N O
鳴門市共済会館等解体工事		A-02
N A M E	S C A L E	
特記仕様書(2)		
株式会社 <b>川建設計</b>	1級建築士登録 第126265	<b>川端壮一郎</b>



## 5章 特別管理産業廃棄物等の処理等

- PCB含有シーリング材
  - ◎調査の結果PCB含有シーリング材はなし。

- アスベスト含有建材の除去等
  - アスベスト含有建材の処理工事
    - 一般事項
      - ◎関係法令、都道府県の条例等を遵守すること。
      - ◎石綿ばく露防止対策等の実施内容を改標仕9.1.2(6)により見やすい場所に掲示すること。
      - ◎既存の石綿含有建材の分析結果は(「寛与する」・ない )
      - ◎事前の施工調査等を改標仕9.1.1(5)及び大気汚染防止法により行うこと。
        - ・調査結果を石綿事前調査結果報告システムにより、労働基準監督署及び自治体に報告すること。監督員へも結果を提出すること。
        - ・調査結果は3年間保存すること。
        - ・調査結果の概要を公衆が見やすい場所に掲示すること。
      - ◎アスベスト粉塵濃度測定を(「行う」・行わない )。
        - ・濃度測定は「JIS K 3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法-第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差・分散顕微鏡法による。
        - ・測定機関は、都道府県労働局に登録 されている作業環境測定機関とする。
        - ・報告書を(3)部作成し監督員に提出すること。
        - ・測定場所及び箇所は図示による。測定時期(処理作業前・処理作業中・処理作業後)
      - ◎施工計画
        - (1) 工事着手前に施工計画書（関係法令の作業計画内容を含む）を監督員に提出し、承諾を受けること。
        - (2)アスベスト除去工事に係る官公署他への手続きを遅延なく行うこと。
      - ◎アスベスト含有建材の除去を直接行う専門事業者については、工事に相応した技術を有することを証明する資料を、監督員に提出する。
      - ◎工法
        - (1) アスベスト除去工法は、「建築物等の保全技術・技術審査証明事業」による保全審査証明取得工法又は(財)日本建築センターによる審査証明取得工法とする。は(財)日本建築センターによる審査証明取得工法とする。

◎除去箇所一覧表					
階数	室名	箇所	建 材 種 別	面積	調査方法
1～3	階段室以外の各室	天井	アスベスト含有吹付け材	1179.64㎡	分析
PH	機械室	壁・天井	アスベスト含有吹付け材	171.17㎡	分析

- ◎アスベスト含有吹付け材の除去の工法
  - 主要工法　手工具ケレン工法
  - 補完工法　超音波ケレン工法
- ◎作業場の隔離等
  - (1) 前室、洗浄室及び更衣室は除去エリア毎に適宜、各種法令に則って設けること。
- ◎施工記録等
  - (1) 施工記録報告書及び特定粉じん排出等作業完了報告書を作成し、監督員に提出すること。
  - (2) 施工記録報告書のうち作業者の作業記録は40年間保存すること。
  - (3) 作業計画による作業の記録は、3年間保存すること。

- アスベスト含有成形板の除去
  - ◎養生等
    - (1)建築物外周部で除去作業を行う場合の仮囲いの仕様は以下による。
      - 外部足場(種類：枠組木足場、仕様 1枚布、D=60cm、シート種類：プラスチックシート厚0.15mm以上)
      - 仮囲い高さ：解体建物の高さ以上とする
    - (2)建築物内部で除去作業を行う場合は、建具等を全て閉じた状態で行う。閉じることの出来ない開口部の養生方法及び解体用仮設の仕様は下記による。
      - 内部足場(種類：脚立足場)
      - 養生種別(プラスチックシート厚0.15mm以上)
  - ◎工法
    - (1) 除去は、アスベストを含まない内装材及び外部建具の撤去にさきがけて行うこと。
    - (2) 除去は、可能な限り破壊又は破断を伴わない方法で行うものとし、原則「手ばらし」とする。建築物外部の成形板を除去する場合は、できる限り原形のまま除去すること。
    - (3) 除去作業中は、原則として散水その他の方法により、アスベスト成形板を常に湿潤な状態として作業を行う。
    - (4) 建物から取り外した廃材を原型 のまま保管・運搬できるよう十分な大きさのフレキシブルコンテナバッグや車両を用意すること。
    - (5) やむを得ず破砕等が必要な場合は、石綿等の粉じんを飛散させないよう十分な湿潤化を行うとともに作業場所の外部に飛散させないための措置を講じること。

◎除去箇所一覧表

棟	階数	室名	箇所	建材種別	面積	調査方法
共済会館	1～3F	各室	床	ビニル床シート	371.39㎡	分析
	1～3F	各室	幅木	ビニル幅木	431.53㎡	分析
保険棟	1,2F	身障者用便所、男子便所、女子便所、湯沸室	壁	ケイ酸カルシウム板	99.8㎡	分析
			屋根	小波スレート	48.5㎡	分析
駐輪場・廃棄物保管庫(可燃)			外壁	小波スレート	46.1㎡	分析
			外壁	小波スレート	12.1㎡	分析

- ◎施工記録等
  - (1) 施工記録報告書を及び特定粉じん排出等作業完了報告書を作成し、監督員に提出すること。
  - (2) 作業計画による作業の記録は、3年間保存すること。

## 7章 設備関係の処理

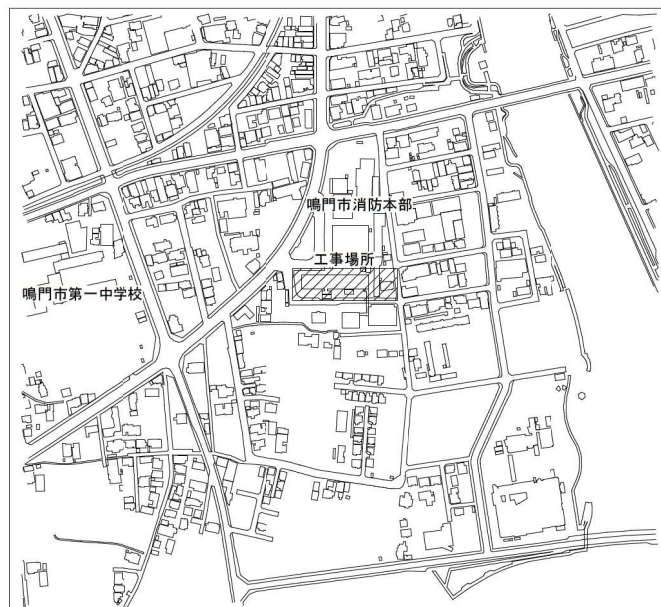
- 設備機器類
  - ◎調査分析の結果、PCBを含む恐れのある機種は、養生の上、調書を添えて引き渡しとする。
  - ◎空調機器の撤去・処分を行う場合は、フロン類冷媒について、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律に基づき回収及び破壊処理を行うこと。
  - ◎家電リサイクル法に該当する機器については、家電リサイクル法に基づき処理すること。

## 8章 土工事

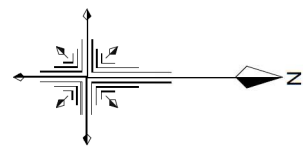
- 根切り
  - ◎周辺の状況、土質、地下水の状態等に適した工法を採用し、工事中の異常沈下、法面の滑動、その他による災害が発生しないよう、災害防止上必要な処置をすること。
  - ◎敷地内に埋設が予想される設備配管類等について十分調査し、支障がないようにすること。
  - ◎根切り底は、地盤をかく乱しないよう、手作業(深さ30cm程度)とするか、バケットに特殊アタッチメントを取りつけた機械堀りとする。なお、かく乱した場合は、自然地盤と同等以上の強度となるように適切な処置を定め、監督職員の承諾を受ける。
- 排水
  - ◎工事に支障を及ぼす雨水、わき水等は、適正な排水溝、集水ます等を設置し、支障がないようにすること。
- 埋め戻し及び盛土
  - ◎使用土は良質土とし、機器により締め固める。
- 建設発生土の処理
  - ◎場内埋戻しに利用すること。
- 山留め
  - ◎山留めは、適切な資料に基づき構造計算を行い、安全に設置すること。また、設置期間中、周辺地域及び山留めの状況を点検するとともに、安全管理に必要な計測を行う。
  - ◎山留めの存置 存置範囲 図示による。
  - ◎鋼矢板等抜き跡の処理(直ちに砂等で充填 )

T I T L E	D A T E	N O
鳴門市共済会館等解体工事		A-03
N A M E	S C A L E	
特記仕様書(3)		
株式会社 <b>川建設</b>	1級建築士登録 第126265	<b>川端壮一郎</b>





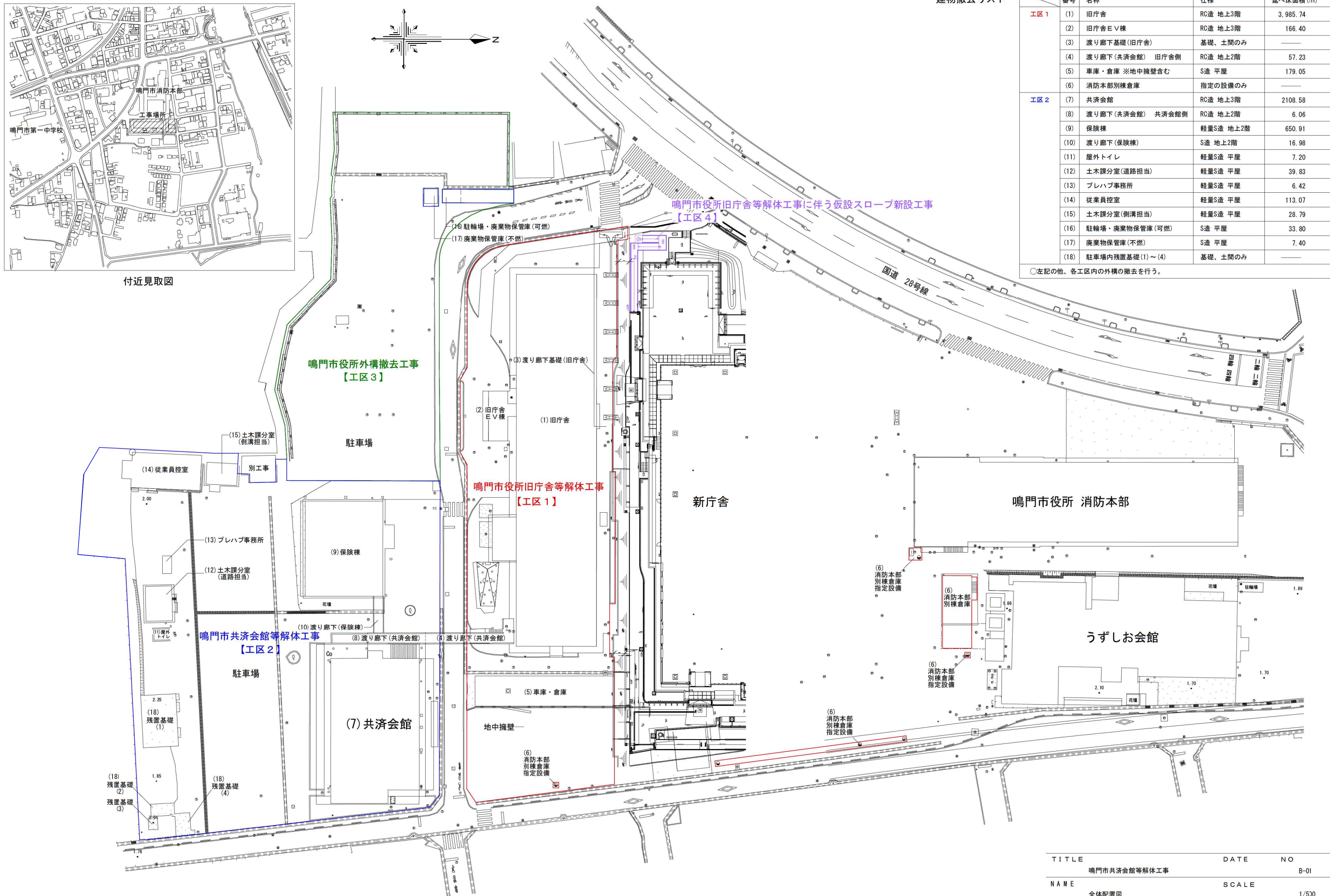
付近見取図



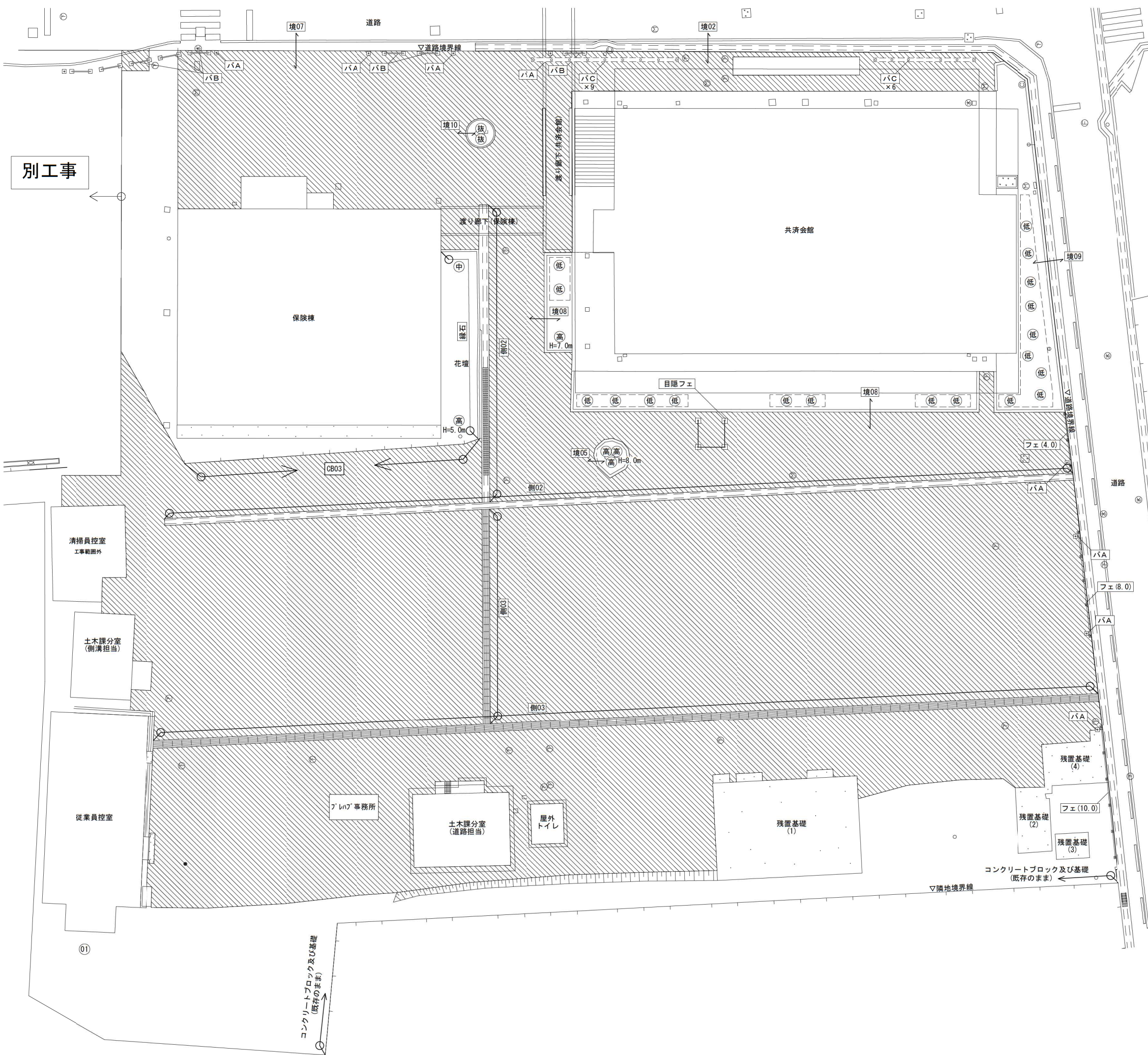
建物撤去リスト

番号	名称	仕様	延べ床面積 (㎡)
工区 1	(1) 旧庁舎	RC造 地上3階	3,985.74
	(2) 旧庁舎E V棟	RC造 地上3階	166.40
	(3) 渡り廊下基礎(旧庁舎)	基礎、土間のみ	—
	(4) 渡り廊下(共済会館) 旧庁舎側	RC造 地上2階	57.23
	(5) 車庫・倉庫 ※地中擁壁含む	S造 平屋	179.05
	(6) 消防本部別棟倉庫	指定の設備のみ	—
工区 2	(7) 共済会館	RC造 地上3階	2108.58
	(8) 渡り廊下(共済会館) 共済会館側	RC造 地上2階	6.06
	(9) 保険棟	軽量S造 地上2階	650.91
	(10) 渡り廊下(保険棟)	S造 地上2階	16.98
	(11) 屋外トイレ	軽量S造 平屋	7.20
	(12) 土木課分室(道路担当)	軽量S造 平屋	39.83
	(13) プレハブ事務所	軽量S造 平屋	6.42
	(14) 従業員控室	軽量S造 平屋	113.07
	(15) 土木課分室(側溝担当)	軽量S造 平屋	28.79
	(16) 駐輪場・廃棄物保管庫(可燃)	S造 平屋	33.80
	(17) 廃棄物保管庫(不燃)	S造 平屋	7.40
	(18) 駐車場内残置基礎(1)~(4)	基礎、土間のみ	—

○左記の他、各工区内の外構の撤去を行う。





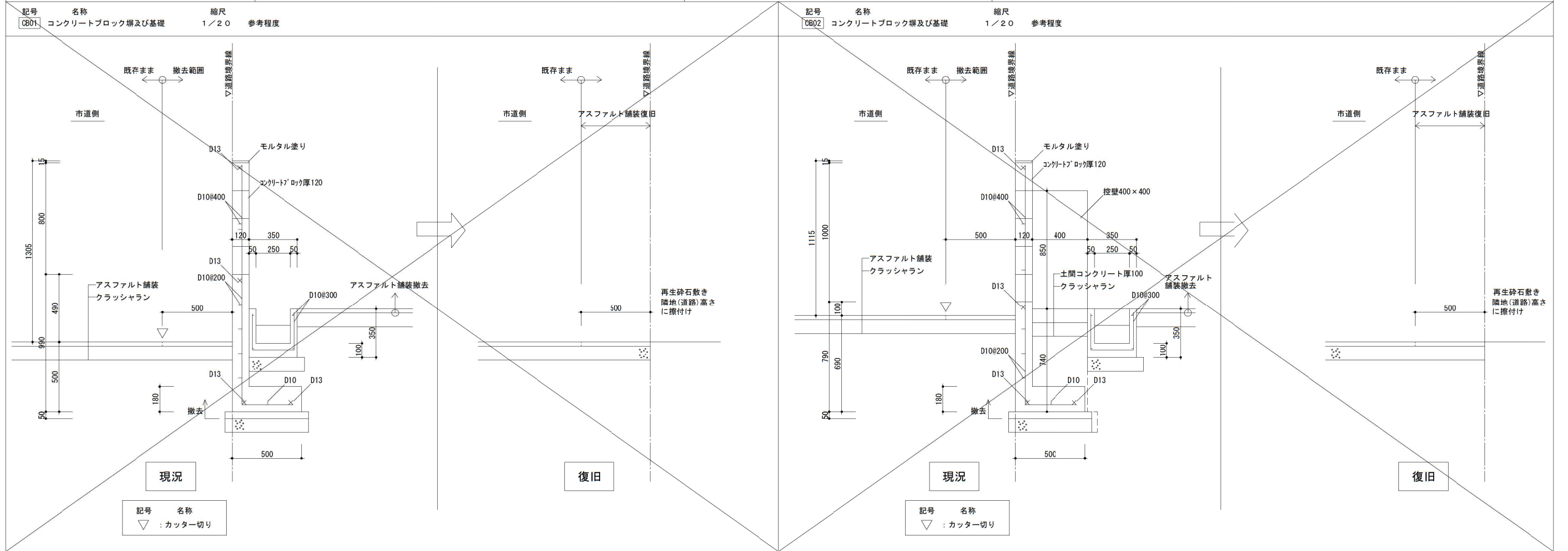
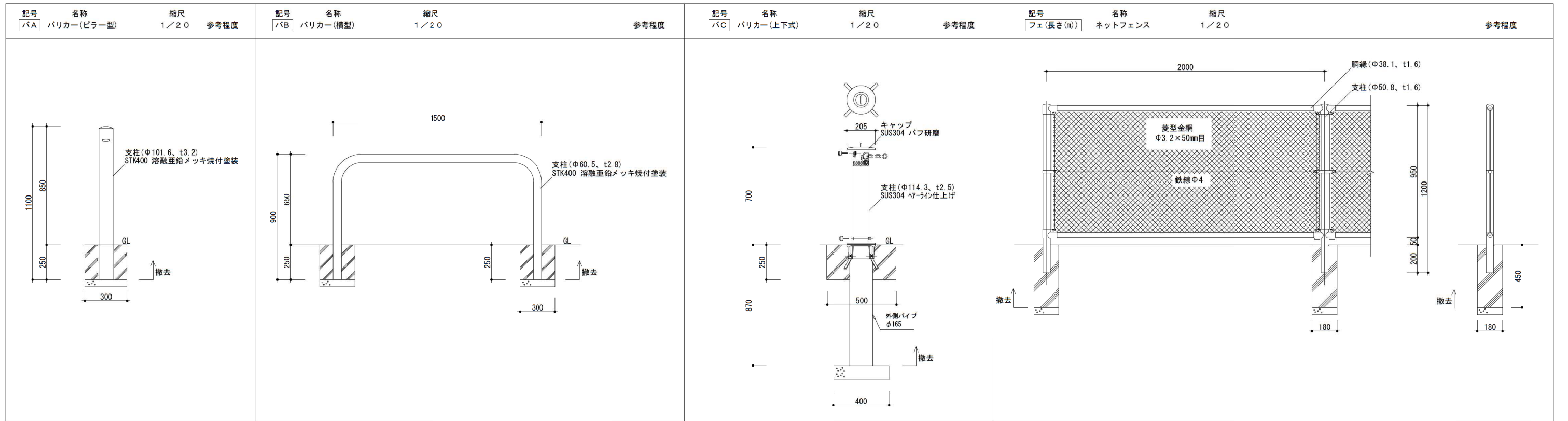


外構撤去リスト

記号	名称	仕様
バA	バリカー(ピラー型)	外構部分詳細区に記載
バB	バリカー(横型)	外構部分詳細区に記載
バC	バリカー(上下式)	外構部分詳細区に記載
CB03	コンクリートブロック及び基礎	外構部分詳細区に記載
フェ(長さ(m))	ネットフェンス	外構部分詳細区に記載
目隠しフェ	目隠しフェンス	外構部分詳細区に記載
低	樹木 低木	高さ3.0m未満
中	樹木 中木	高さ3.0m以上、5.0m未満
高 H=〇〇m	樹木 高木	高さ5.0m以上
抜	抜根	Φ450、H=800程度
境02	道路境界線 舗装	外構部分詳細区を参照
境05	植栽、舗装境界	外構部分詳細区を参照
境07	道路境界線 舗装	外構部分詳細区を参照
境08	植栽、舗装境界	外構部分詳細区を参照
境09	道路境界線 緑石	外構部分詳細区を参照
境10	植栽、舗装境界	外構部分詳細区を参照
側02	側溝	外構部分詳細区を参照
側03	側溝	外構部分詳細区を参照
緑石	緑石(コンクリート)	Φ150、H=200程度 設置
01	礎石	2000×800、H=500程度、周囲廃材共
	アスファルト舗装	

別工事

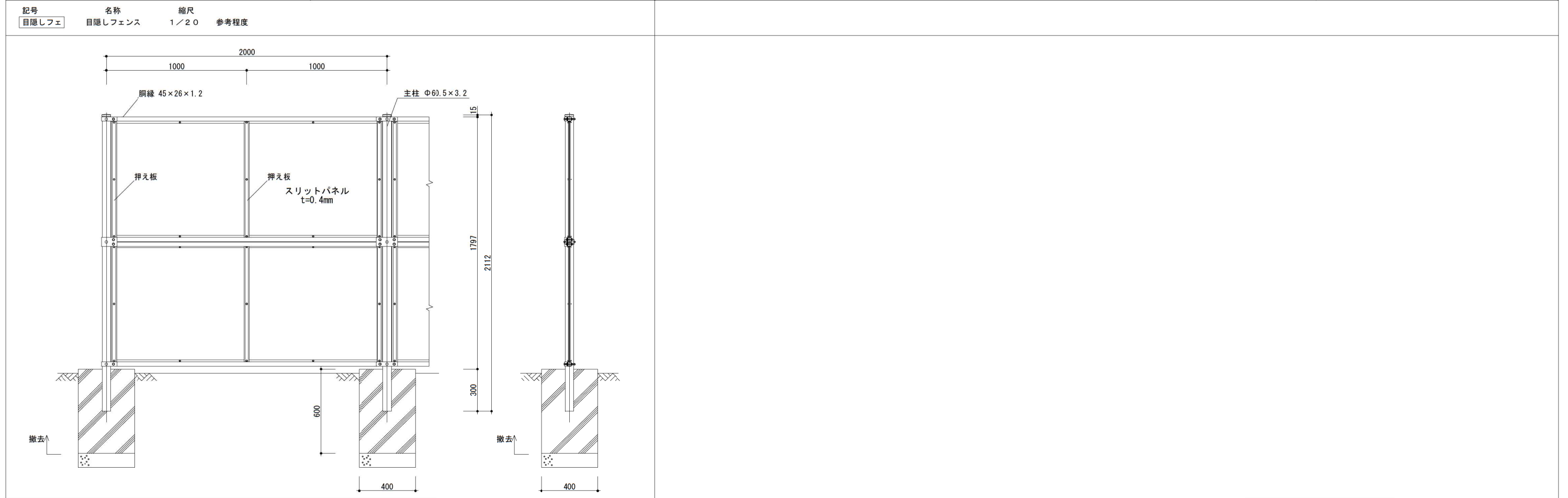
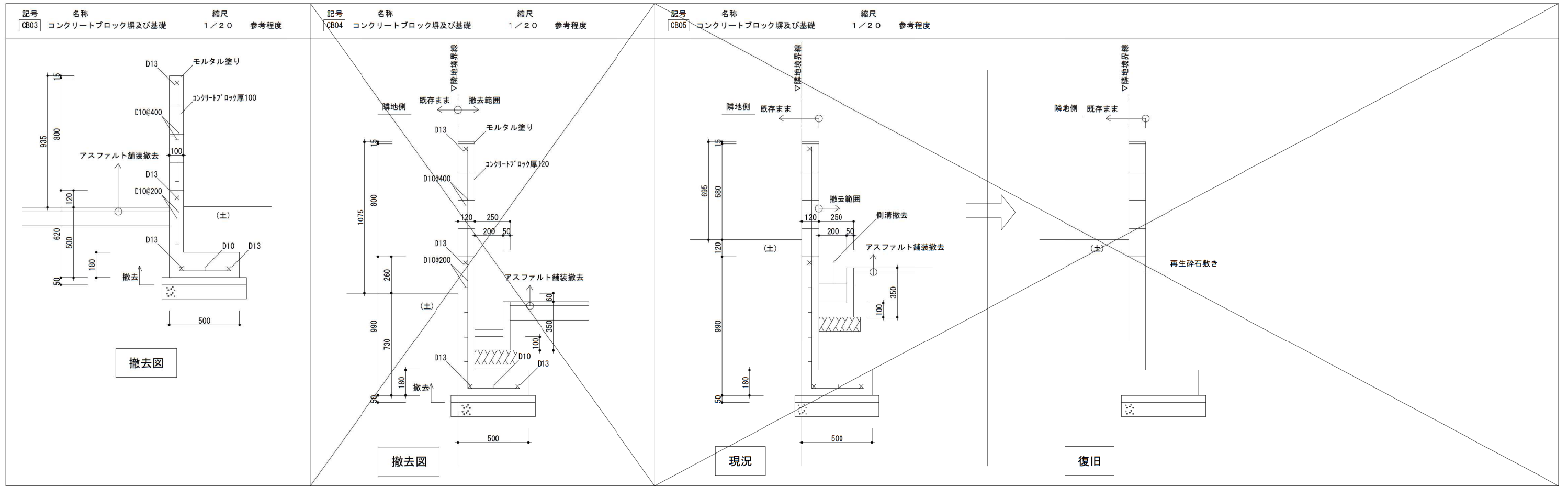




**特記事項**

- 舗装、塀、フェンス、バリカー等の外構撤去後は(再生)砕石敷きとし、隣地(道路)境界に面する箇所は隣地(道路)高さに擦付けとする。
- 隣地(道路)境界線沿いの撤去物に敷地境界ピンがあった場合は、鳴門市と協議の上、同じ位置に再設置すること。

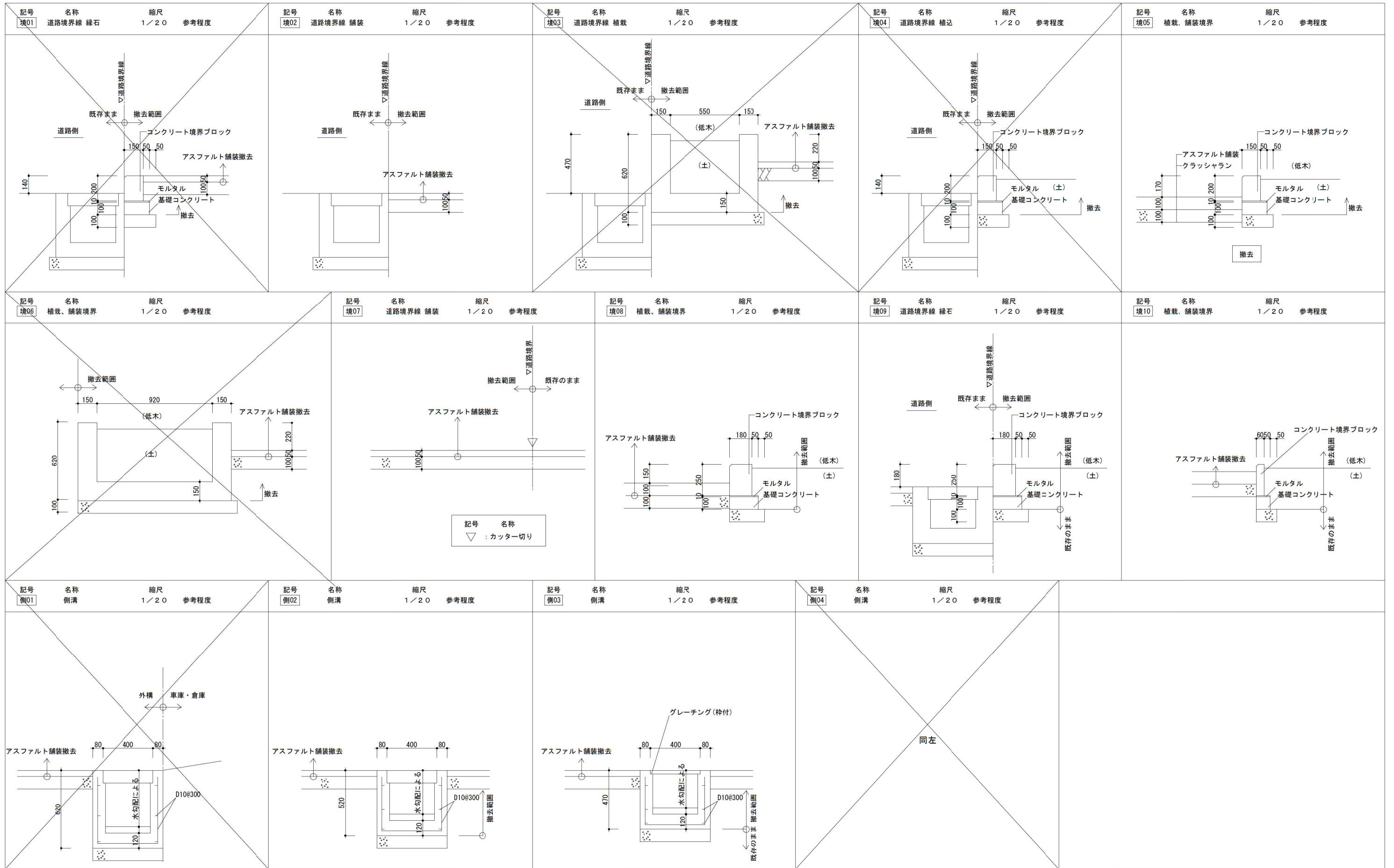




特記事項

- 舗装、塀、フェンス、バリカー等の外構撤去後は(再生)砕石敷きとし、隣地(道路)境界に面する箇所は隣地(道路)高さに擦付けとする。
- 隣地(道路)境界線沿いの撤去物に敷地境界ピンがあった場合は、鳴門市と協議の上、同じ位置に再設置すること。

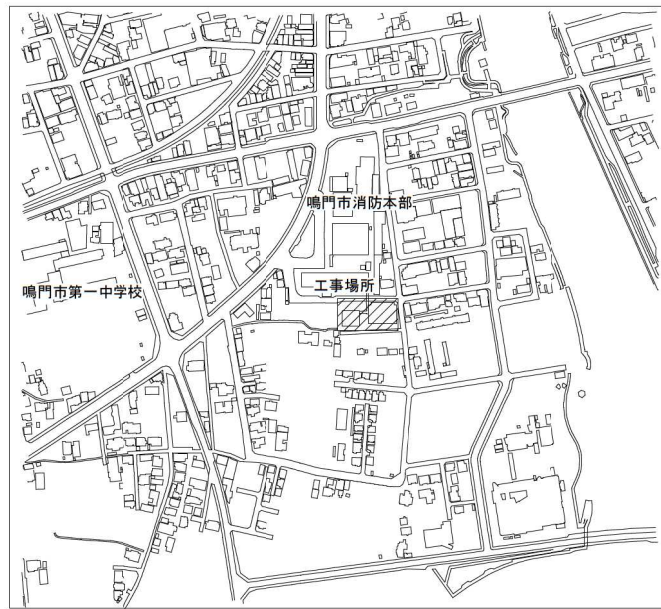




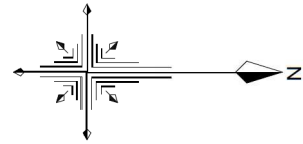
特記事項

- 舗装、塀、フェンス、バリカー等の外構撤去後は(再生)砕石敷きとし、隣地(道路)境界に面する箇所は隣地(道路)高さに擦付けとする。
- 隣地(道路)境界線沿いの撤去物に敷地境界ピンがあった場合は、鳴門市と協議の上、同じ位置に再設置すること。
- 撤去対象の側溝が対象外の側溝に接続していた場合、取合い部分は補修を行うこと。



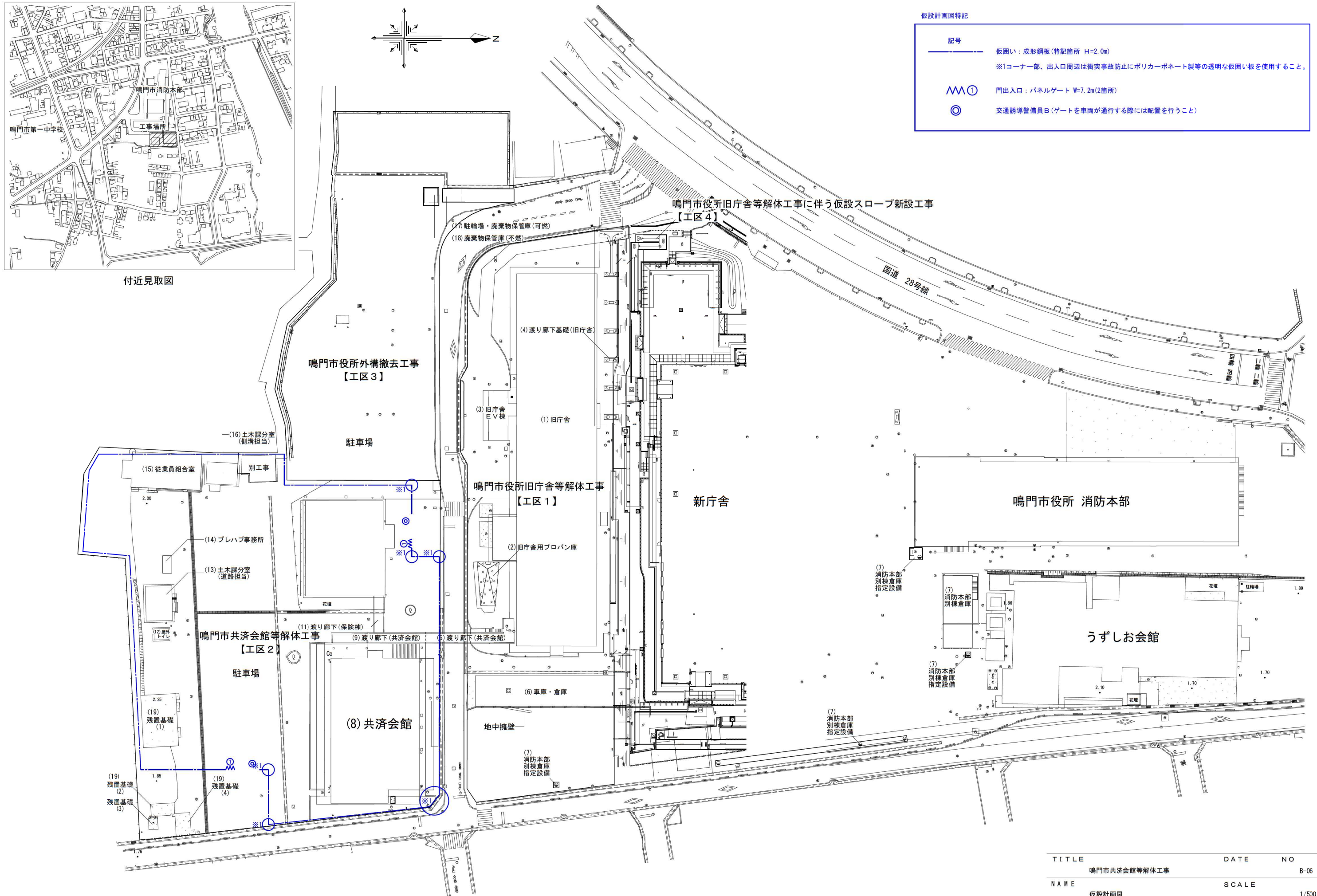


付近見取図



仮設計画図特記

記号	仮囲い：成形鋼板(特記箇所 H=2.0m) ※1コーナー部、出入口周辺は衝突事故防止にポリカーボネート製の透明な仮囲い板を使用すること。
Ⓜ①	門出入口：パネルゲート W=7.2m(2箇所)
◎	交通誘導員員B(ゲートを車両が通行する際には配置を行うこと)



TITLE	DATE	NO
鳴門市共済会館等解体工事		B-05
NAME	SCALE	
仮設計画図		1/530
株式会社 川建設	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎



内部仕上表

階	室名	床	巾木	壁	天井	CH	備考
1	風除室	モルタル塗り	—————	コンクリート打放し	アルミ押出成形パネル	1,890	
	廊下	プラスチックタイル張り	ビニル巾木 H=75	コンクリート打放しの上、プラスター塗り	スラブ見上面 吸音用岩綿吹付け LGS下地の上、有孔ベニヤ、合板張り	2,885 2,225(一部)	
	閲覧室	同上	同上	同上	同上	2,900	
	休憩室	同上	同上	コンクリート打放しの上、プラスター塗り 間仕切壁：木下地の上、合板、ビニルクロス張り	同上	2,900	掲示板(4330×900)
	下水道課、土木課	同上	同上	コンクリート打放しの上、プラスター塗り	同上	2,900	ミニキッチン(1200×550×800)
	湯沸室	同上	同上	コンクリート打放しの上、プラスター塗り 一部：100角タイル張り	スラブ見上面 吸音用岩綿吹付け LGS下地の上、合板張り	2,225	ミニキッチン(1200×550×800) 吊戸棚(630×370×540)
	男子便所	モザイクタイル張り	—————	100角タイル張り	スラブ見上面 吸音用岩綿吹付け LGS下地の上、フレキシブルボード厚4張り	2,295	
	女子便所	同上	—————	同上	同上	2,295	
	ポンプ室	モルタル塗り	—————	コンクリート打放し	スラブ見上面 吸音用岩綿吹付け	—————	
	階段室	ビニル床シート	ビニル巾木 H=75	コンクリート打放しの上、プラスター塗り	階段見上面：プラスター塗り	3,450	
	物置1、プロバン室	土間コンクリート	モルタル塗り	モルタル塗り	スレート波板屋根現し	—————	
	物置2	同上	—————	波板鋼板現し	—————	—————	
	倉庫(増築)	ビニル床シート	—————	押出成形セメント板 厚60	スラブ見上面 吸音用岩綿吹付け LGS下地の上、合板張り	2,930	吊棚(L=14225、D=500)
	2	ホール	クリンカータイル張り	—————	コンクリート打放し 人造石ビシャン叩き仕上げ	スラブ見上面 吸音用岩綿吹付け LGS下地の上、有孔ベニヤ、合板張り	2,900
まちづくり課		クリンカータイルの上、カーペット敷き 踏込：クリンカータイル張り	—————	コンクリート打放しの上、プラスター塗り 人造石ビシャン叩き仕上げ	同上	2,900	SUS流し台(1500×600、H=800)
危機管理監室		クリンカータイルの上、カーペット敷き	—————	コンクリート打放し 人造石ビシャン叩き仕上げ	同上	2,900	
デジタル戦略課		クリンカータイルの上、ビニル床シート	ビニル巾木 H=75	コンクリート打放しの上、プラスター塗り 間仕切壁：石こうボードの上、塗装	同上	2,900	SUS流し台(1200×750、H=800) 1台 掲示板(2780×1900)
空き1(情報戦略担当)		クリンカータイル張り	同上	間仕切壁：石こうボードの上、塗装 一部：人研仕上げ H=750	スラブ見上面 吸音用岩綿吹付け LGS下地の上、石こうボード厚9.5、合板張り	2,900	SUS面台(1600×400)
サーバールーム		OAフロアの上、プラスチックタイル張り 踏込：クリンカータイル張り	同上	コンクリート打放しの上、ビニルクロス張り 間仕切壁：石こうボードの上、塗装	スラブ見上面 吸音用岩綿吹付け LGS下地の上、化粧石こうボード厚9.5	2,425	吊戸棚(4430×370、H520)、他棚板 金庫(1550×1465、H=900)
人権推進課		ビニル床シート張り	—————	コンクリート打放し 間仕切壁 CB壁：モルタル塗りの上、塗装 一部：木下地の上、化粧合板張り	スラブ見上面 吸音用岩綿吹付け LGS下地の上、石こうボード厚9.5	2,700	掲示板(1300×900) ミニキッチン(1000×600、H=800)
会議室		同上	ビニル巾木 H=75	コンクリート打放し 間仕切壁 CB壁：モルタル塗りの上、塗装 一部：木下地の上、合板、ビニルクロス張り	同上	2,500	

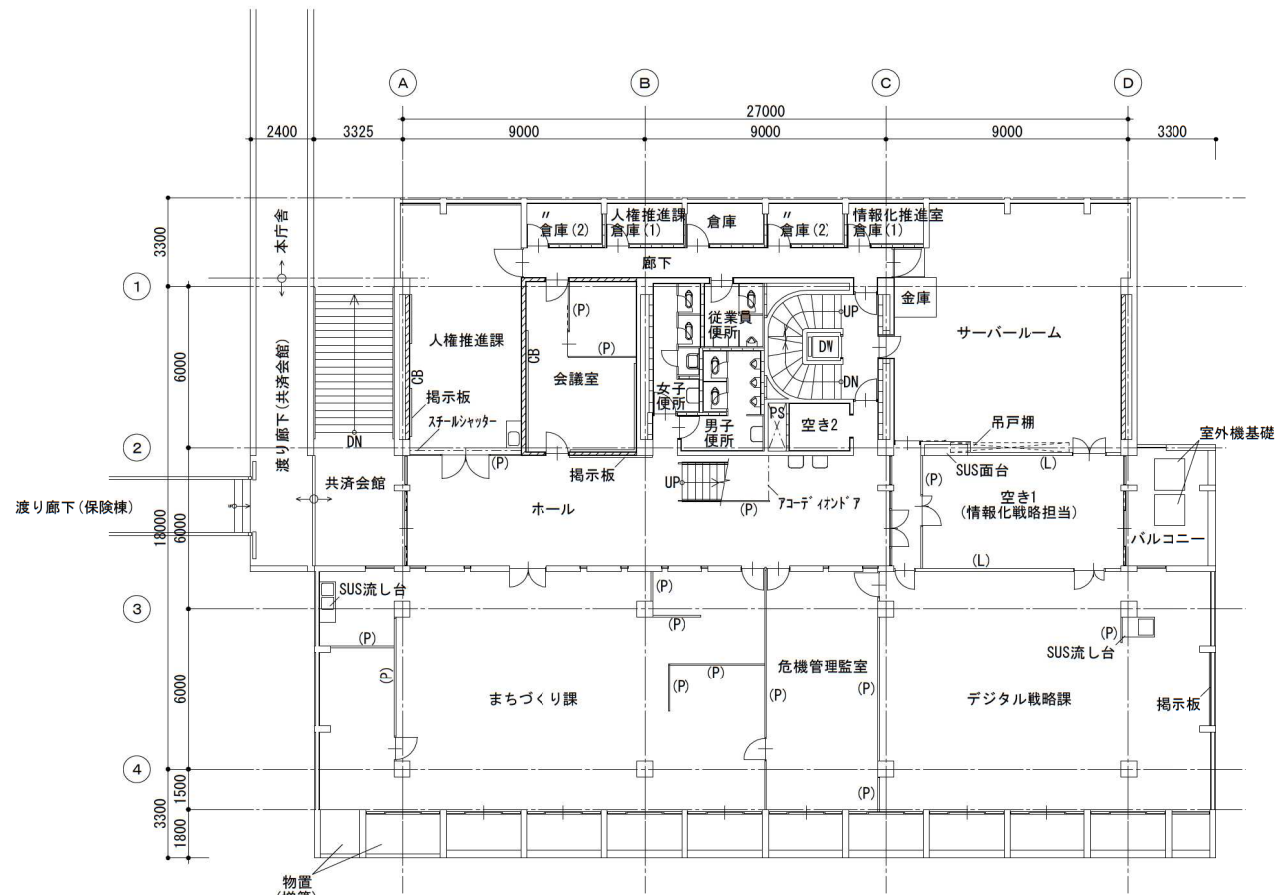
TITLE	DATE	NO
鳴門市共済会館等解体工事		Aa-01
NAME	SCALE	
共済会館 仕上表(1)		1/100
株式会社 川建設	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎



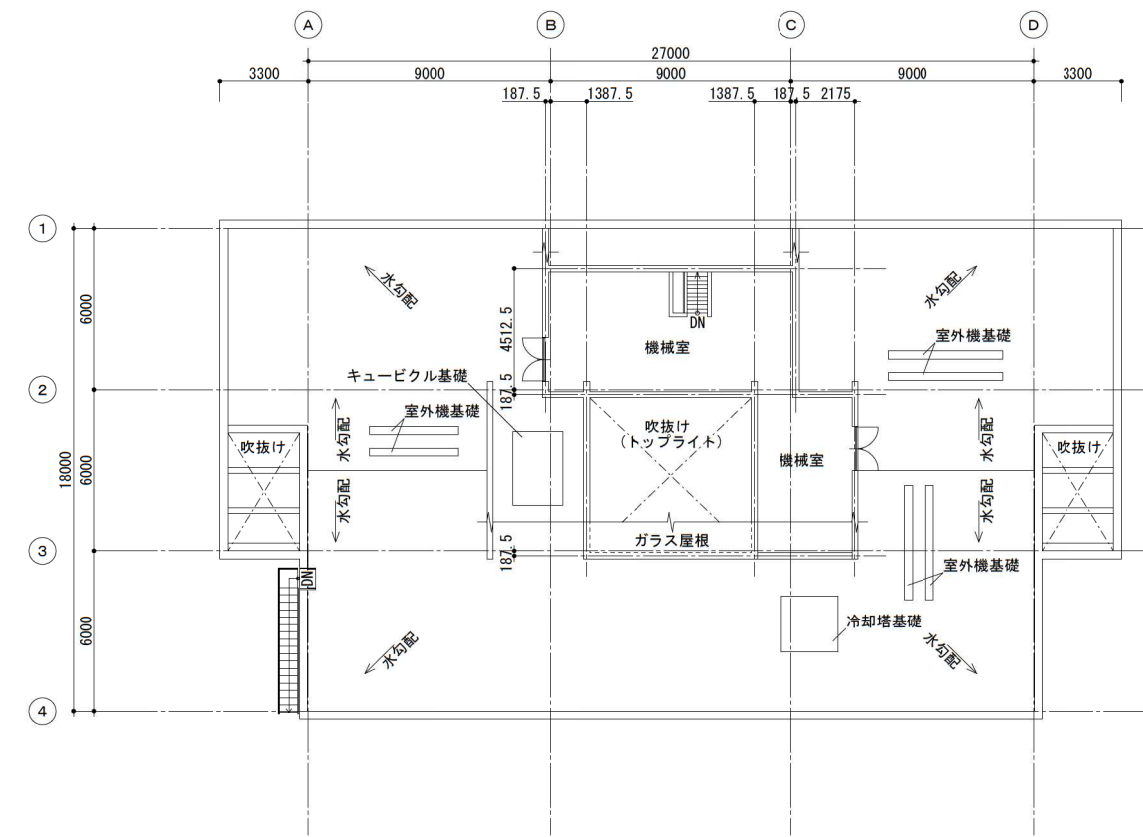
内部仕上表

階	室名	床	巾木	壁	天井	CH	備考
2	階段室	ビニル床シート	ビニル巾木 H=75	コンクリート打放しの上、プaster塗り	階段見上面：プaster塗り	3,450	
	空き2	プラスチックタイル張り	同上	コンクリート打放しの上、プaster塗り	スラブ見上面 吸音用岩綿吹付け LGS下地の上、石こうボード厚9.5張り	2,545	
	男子便所	モザイクタイル張り	—————	100角タイル張り	スラブ見上面 吸音用岩綿吹付け LGS下地の上、フレキシブルボード厚4張り	2,295	
	女子便所	同上	—————	100角タイル張り	同上	2,295	
	従業員便所	同上	—————	同上	同上	2,295	
	情報化推進室倉庫(1)(2) 倉庫 人権推進課倉庫(1)(2)	プラスチックタイル張り	ビニル巾木 H=75	モルタル塗りの上、塗装	スラブ見上面 吸音用岩綿吹付け LGS下地の上、石こうボード厚9.5張り	2,700	
	廊下	同上	同上	モルタル塗りの上、塗装	スラブ見上面 吸音用岩綿吹付け LGS下地の上、合板張り	2,670	
	物置(増築)	モルタル塗り	—————	コンクリート打放し 外壁側：押出成形セメント板	スチール波板現し	—————	
3	ロビー	カーペット敷き 本棚下部：人研仕上げ	—————	コンクリート打放しの上、プaster塗り	スラブ見上面 吸音断熱用岩綿吹付け LGS下地の上、有孔ベニヤ、合板張り	2,900	本棚(540×370、H=750)
	大会議室	カーペット敷き	ビニル巾木 H=75	同上	同上	2,900	
	倉庫(1)	ビニル床シート張り	同上	同上	同上	2,900	
	医務室	プラスチックタイル張り 一部：ビニル床シート張り	同上	同上	同上	2,900	吊戸棚(600×370、H=540) レンジ台(600×550、H=800)
	小会議室	カーペット敷き	同上	LGS下地の上、石こうボード厚12.5、ビニルクロス張り	スラブ見上面 吸音断熱用岩綿吹付け LGS下地の上、化粧石こうボード	2,660	
	職員組合	ビニル床シート張り	同上	コンクリート打放しの上、プaster塗り	スラブ見上面 吸音断熱用岩綿吹付け LGS下地の上、有孔ベニヤ、合板張り	2,900	ホワイトボード(2500×900)
	倉庫(2)	同上	同上	同上	同上	2,900	金庫(760×620、H=1300)
	湯沸室	プラスチックタイル張り	100角タイル張り	100角タイル張り	スラブ見上面 吸音断熱用岩綿吹付け LGS下地の上、石こうボード厚9.5張り	2,180	ミニキッチン(1650×550、H=800) 吊戸棚(1350×370、H=550)
	階段室	ビニル床シート	同上	コンクリート打放しの上、プaster塗り	階段見上面：プaster塗り	3,450	
	男子便所	モザイクタイル張り	—————	100角タイル張り	スラブ見上面 吸音用岩綿吹付け LGS下地の上、フレキシブルボード厚4張り	2,290	
	女子便所	同上	—————	同上	同上	2,290	
	PH	機械室	モルタル塗り	—————	吸音断熱用岩綿吹付け	吸音断熱用岩綿吹付け	2,400

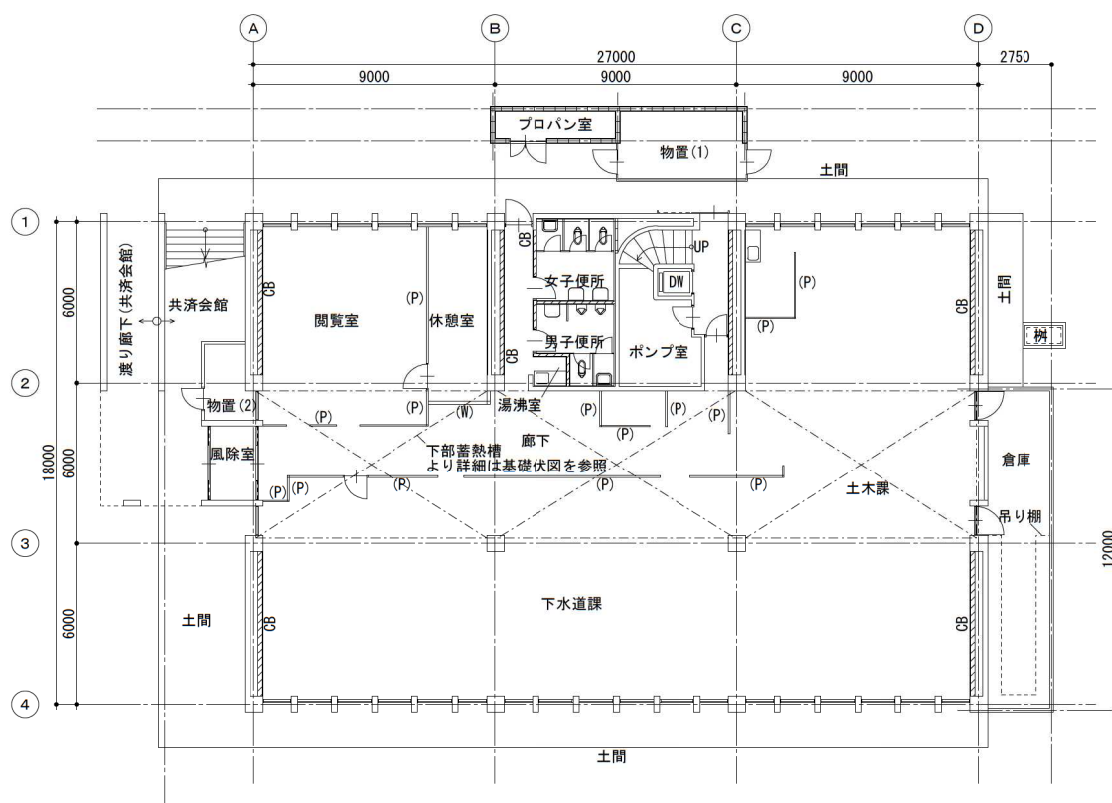




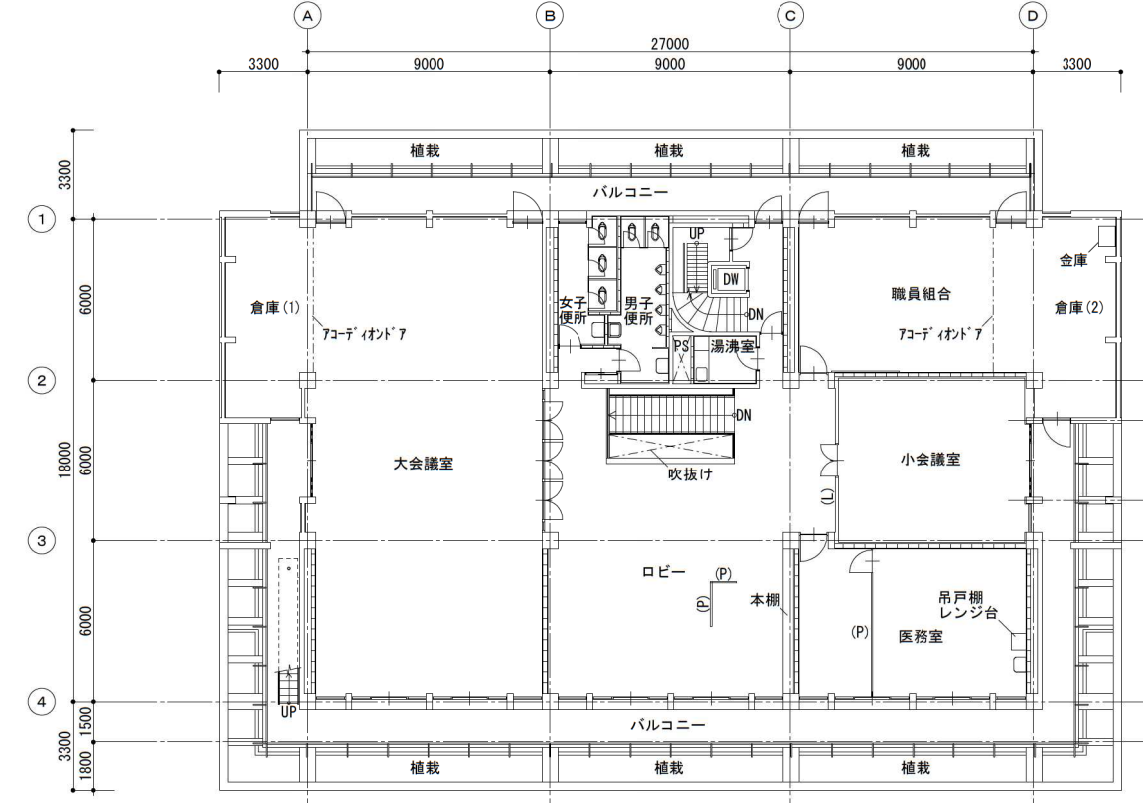
2階平面図



PH階平面図



1階平面図



3階平面図

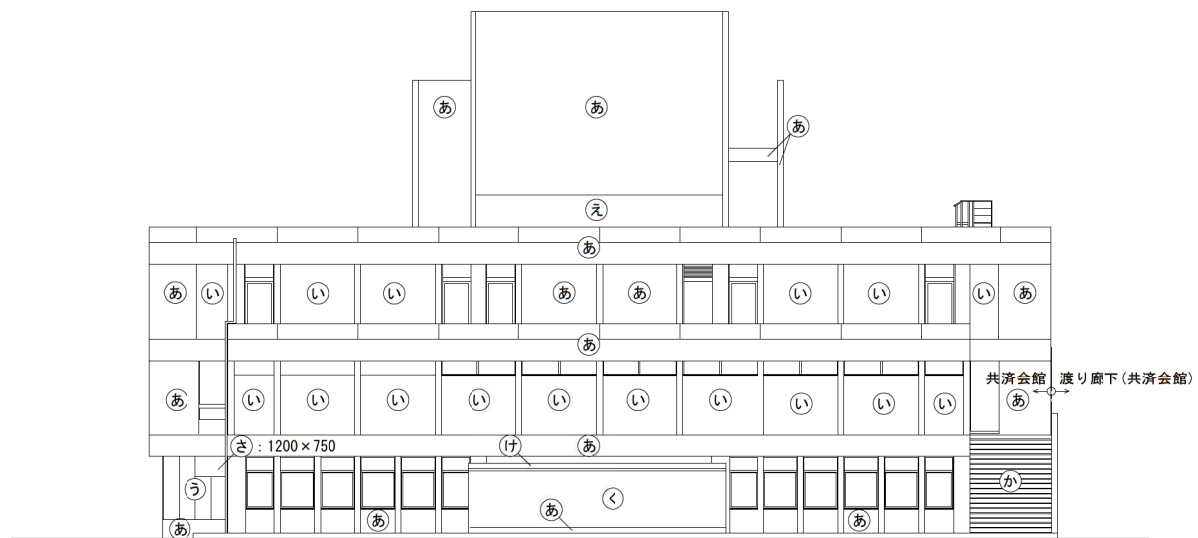
共済会館 壁仕様

	RC造 (厚さは基礎・梁伏図参照)
	CB造間仕切壁 厚150(便所間仕切壁のみ厚100)
	CB造間仕切壁 厚150(便所間仕切壁のみ厚100)
	間仕切壁 (LG565+せっこうボード厚12.5両面張り)
	鋼製パーテーション

石綿含有吹付材撤去前に解体を行うこと

TITLE	DATE	NO
鳴門市共済会館等解体工事		Aa-33
NAME	SCALE	
共済会館 平面図		1/230

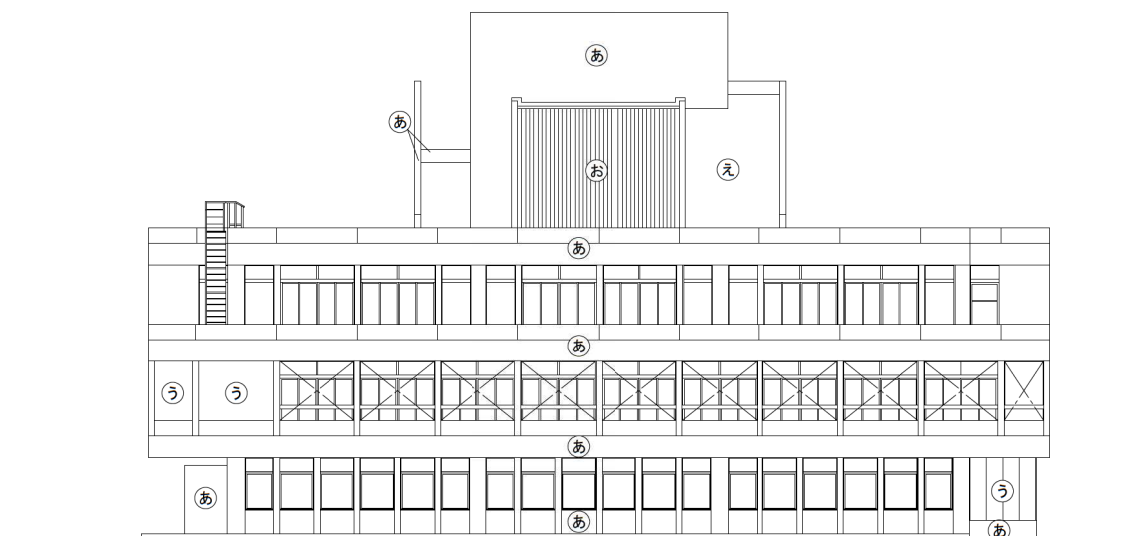




北側 立面図 1/200



東側 立面図 1/200



南側 立面図 1/200



西側 立面図 1/200

外部仕上表

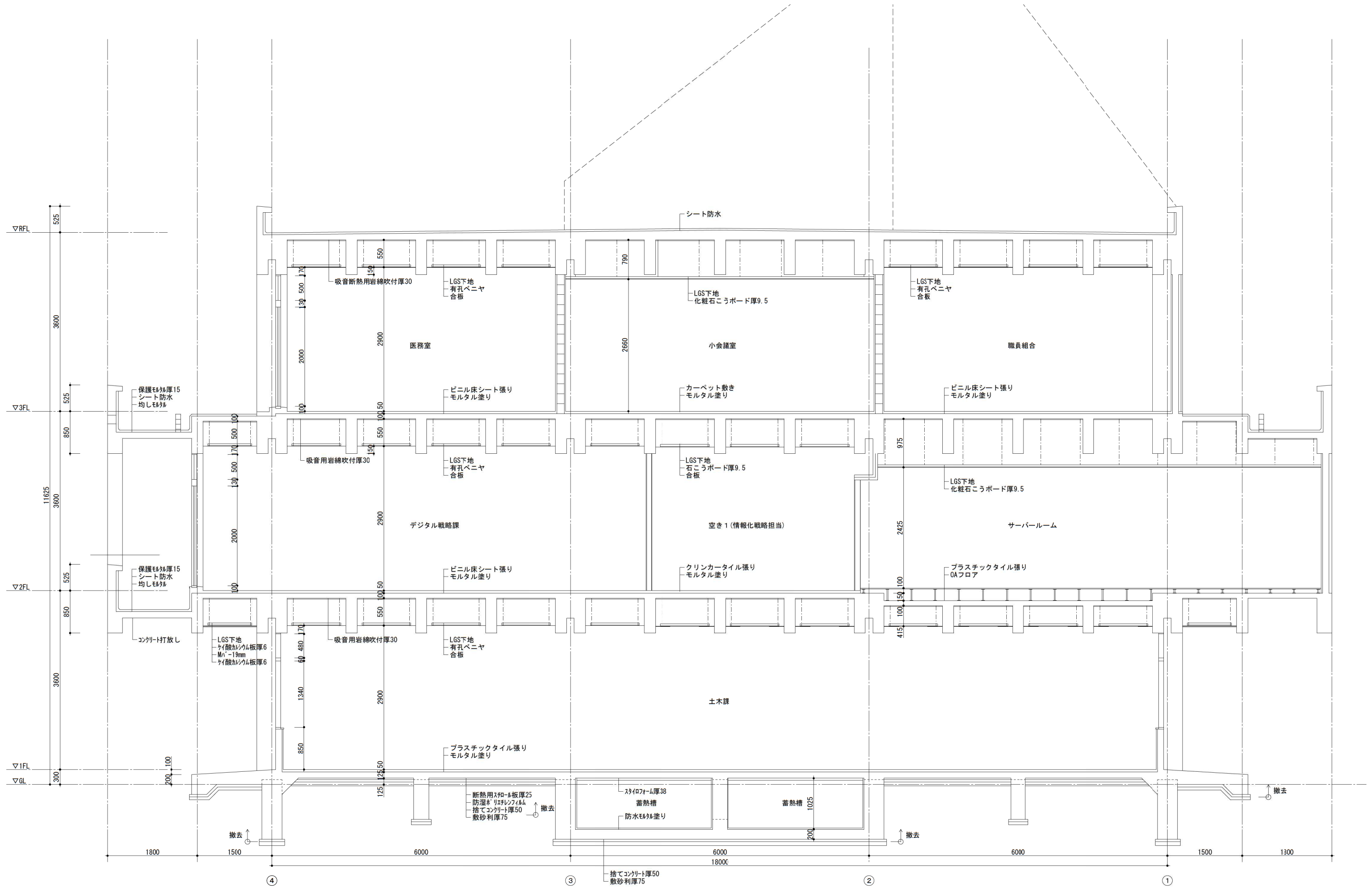
屋根	シート防水 トップライト屋根:ポリカーボネート樹脂折板t=2.0 H=88
外壁	外壁仕上表による
巾木	外壁仕上表による
樋	塩ビ φ75
バルコニー	保護モルタル厚15、シート防水、均しモルタル
軒裏	天井伏図に記載

外壁仕上表

記号	仕上
あ	外壁・柱・梁型・巾木: コンクリート打放し
い	外壁: 人造石ビシャン叩き
う	外壁: 押出成形セメント板厚60
え	屋根: シート防水
お	屋根: ポリカーボネート樹脂折板厚2.0 88型
か	階段: 踏板 プレキャストコンクリート厚150 手摺 SUSφ40
き	鉄骨階段: 踏板 鋼板厚4.5、側板 PL-250×12 柱 φ100、手摺 φ40、手摺支柱 L-50×50×4
く	プロパン室、物置(1)外壁: GB壁の上、モルタル塗り
け	プロパン室、物置(1)屋根: スレート波板
こ	外壁: 金属系サイディング
さ	外壁: アルミパネル

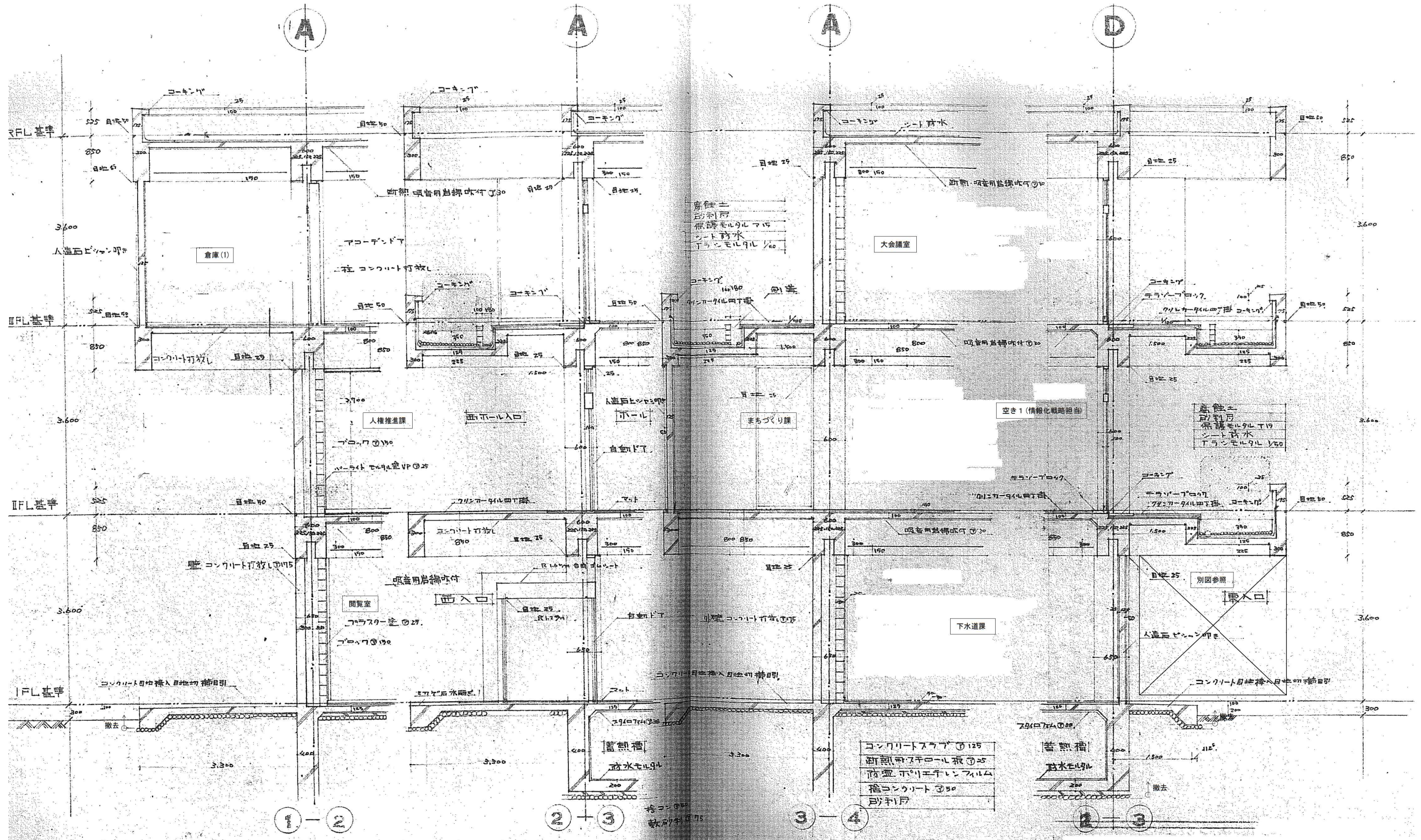
TITLE	DATE	NO
鳴門市共済会館等解体工事		Aa-34
NAME	SCALE	1/200
共済会館 立面図		
株式会社 川建設	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎





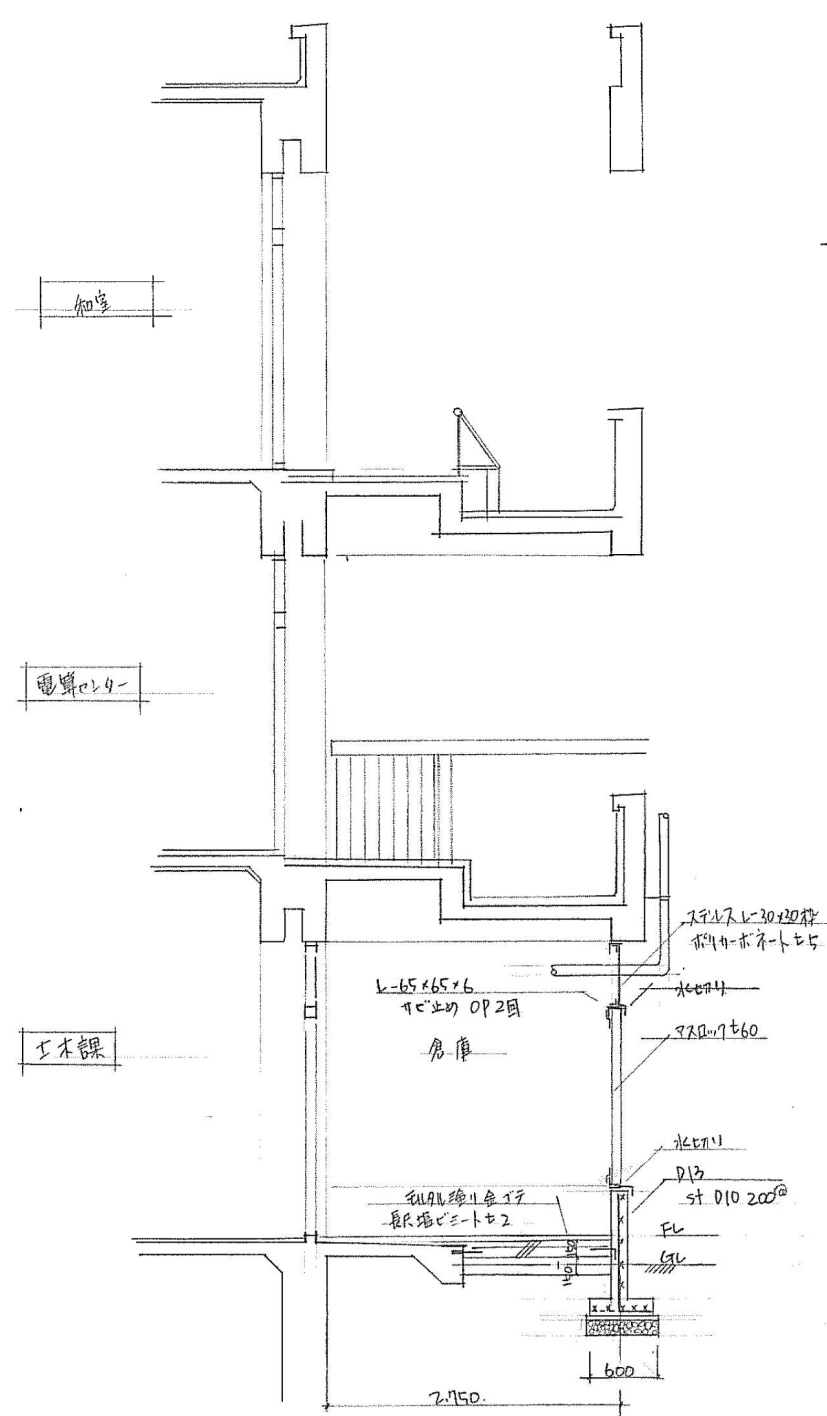
TITLE	DATE	NO
鳴門市共済会館等解体工事		Aa-35
NAME	SCALE	1/53
共済会館 鉅計図(1)		
株式会社 川建設	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎





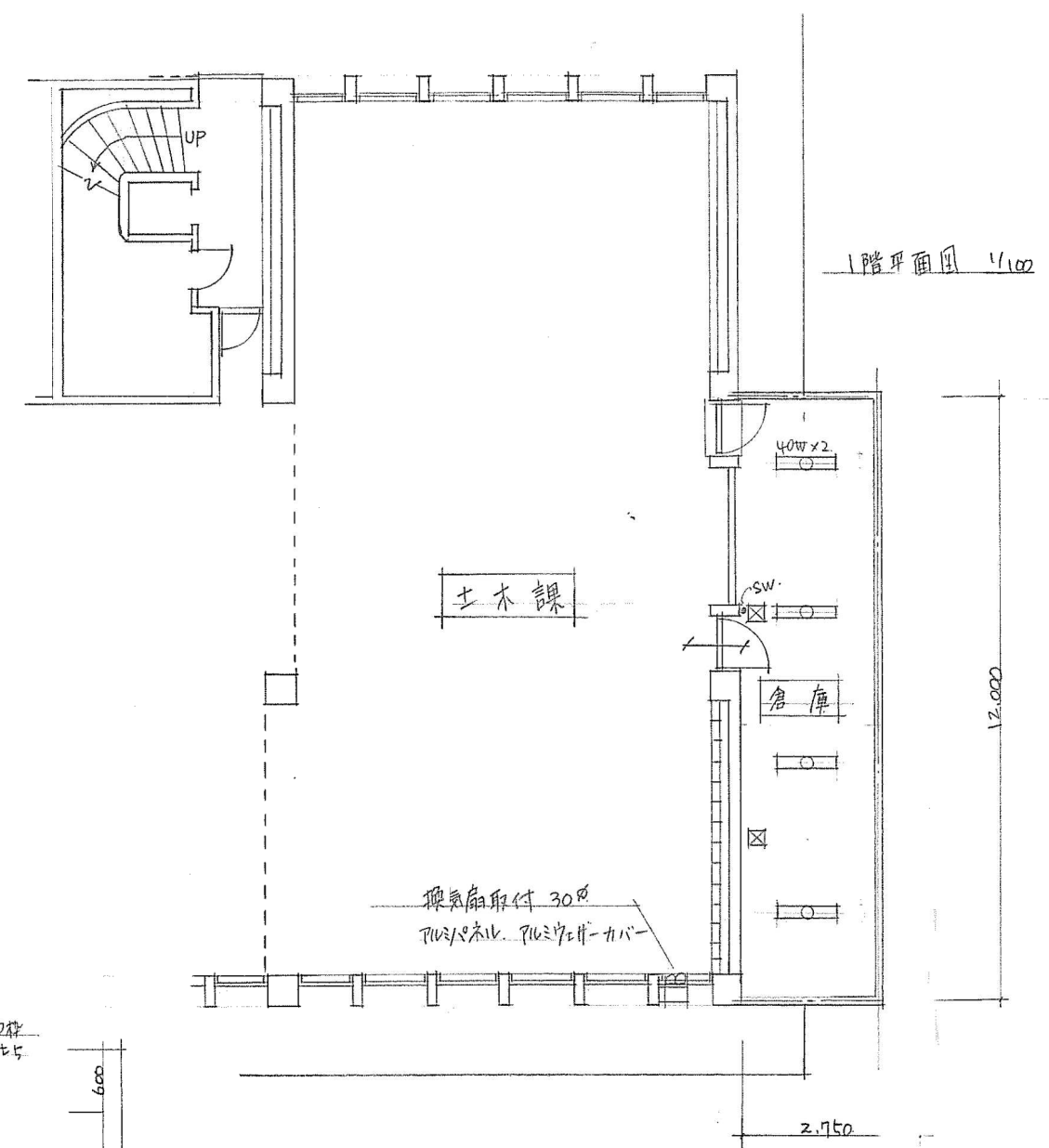
注: 張天井部分の天梁、小梁、井梁より300mm以上で打放し型枠使用、他は普通型枠とする。





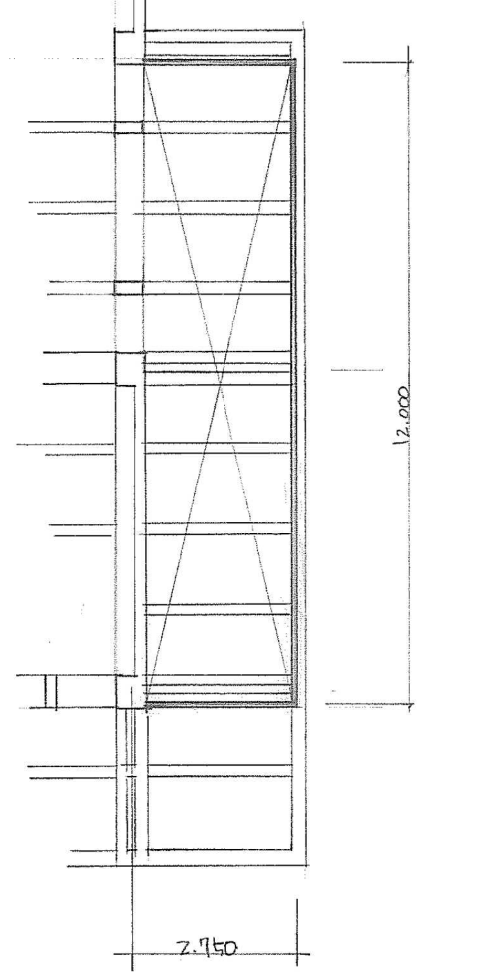
縦断面図 1/50

2階以下基礎 Fc21 S15  
栗形差込筋 D10 300φ



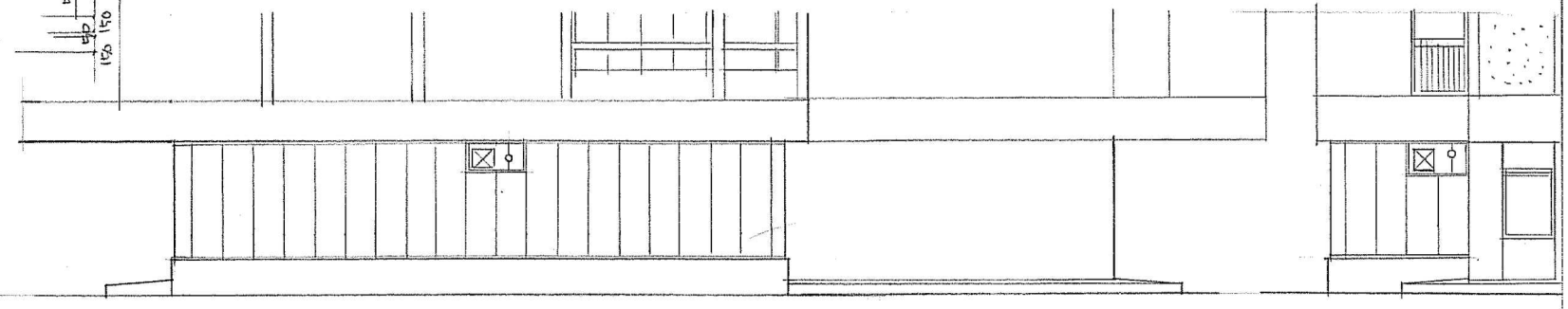
1階平面図 1/100

2階梁付図 1/100

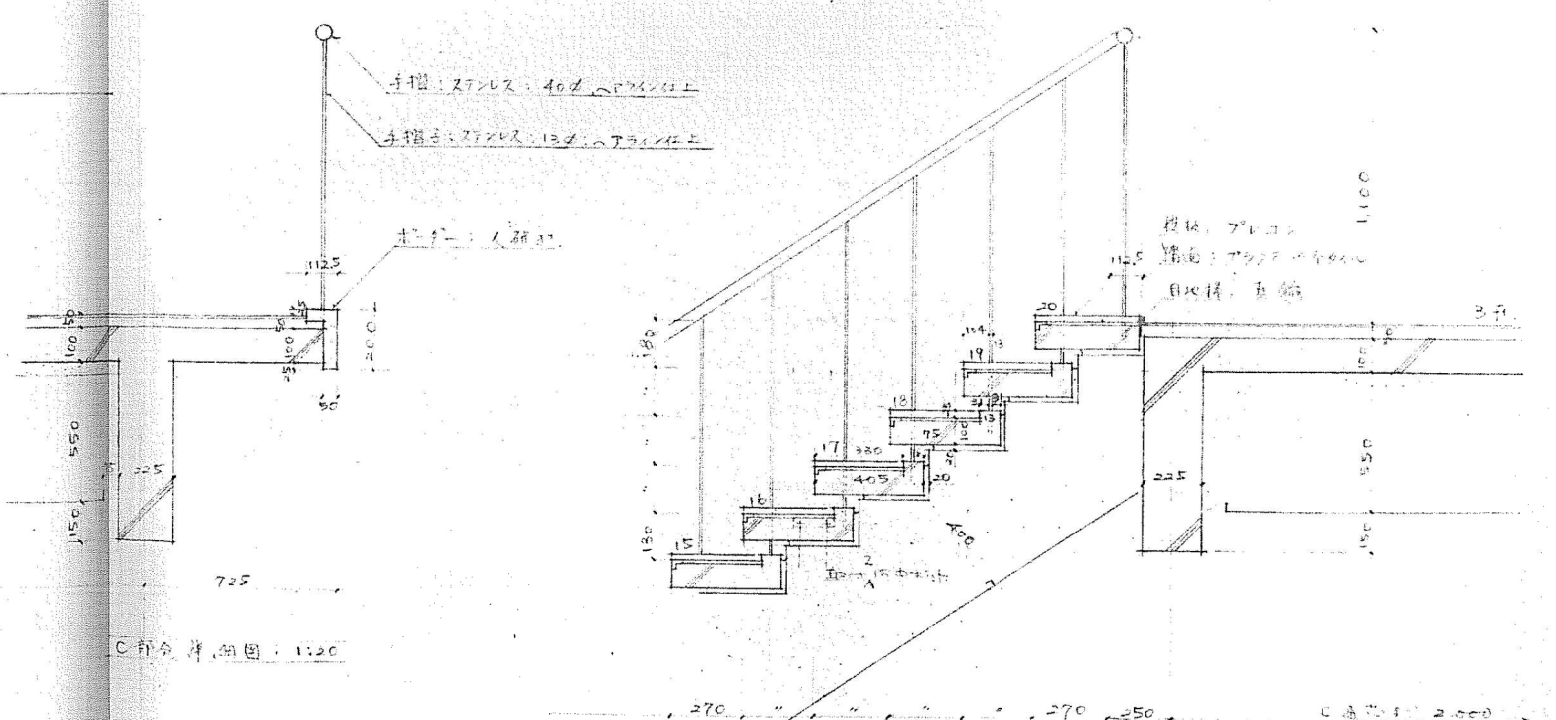
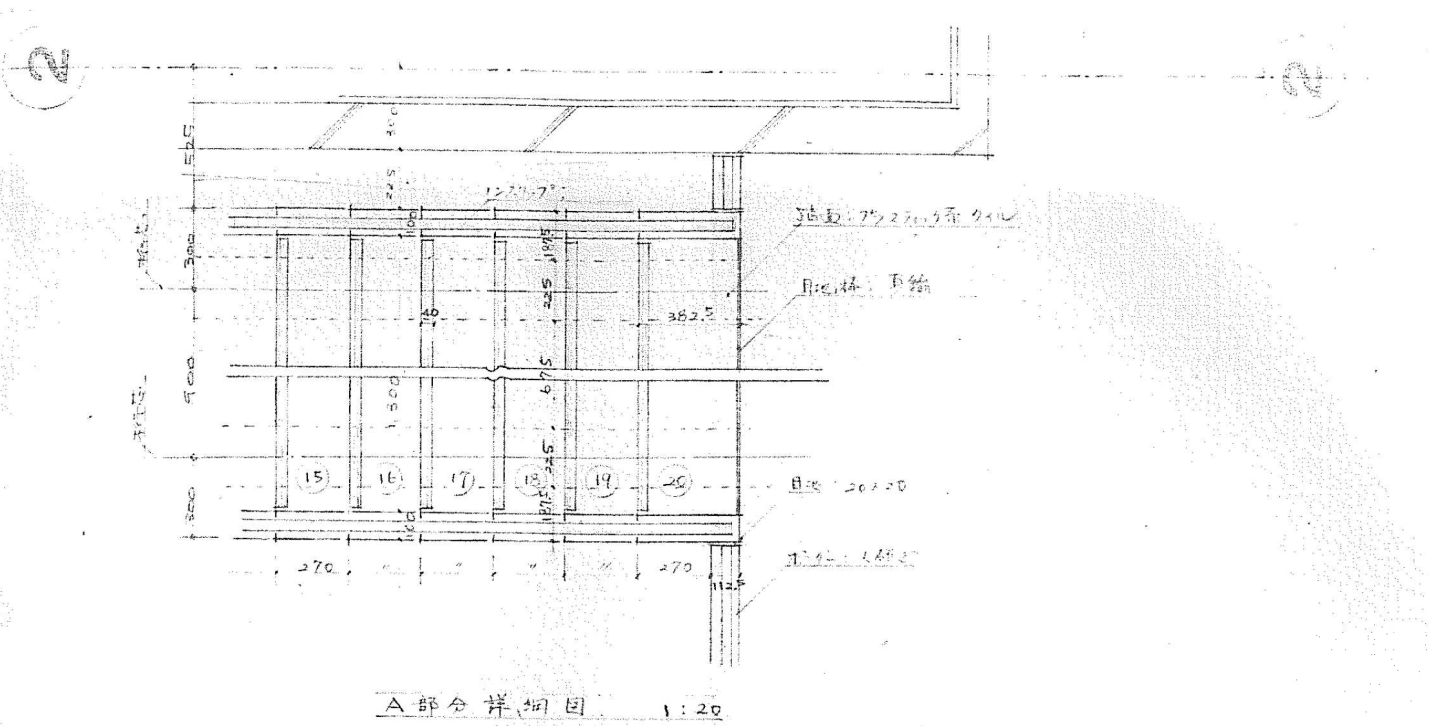
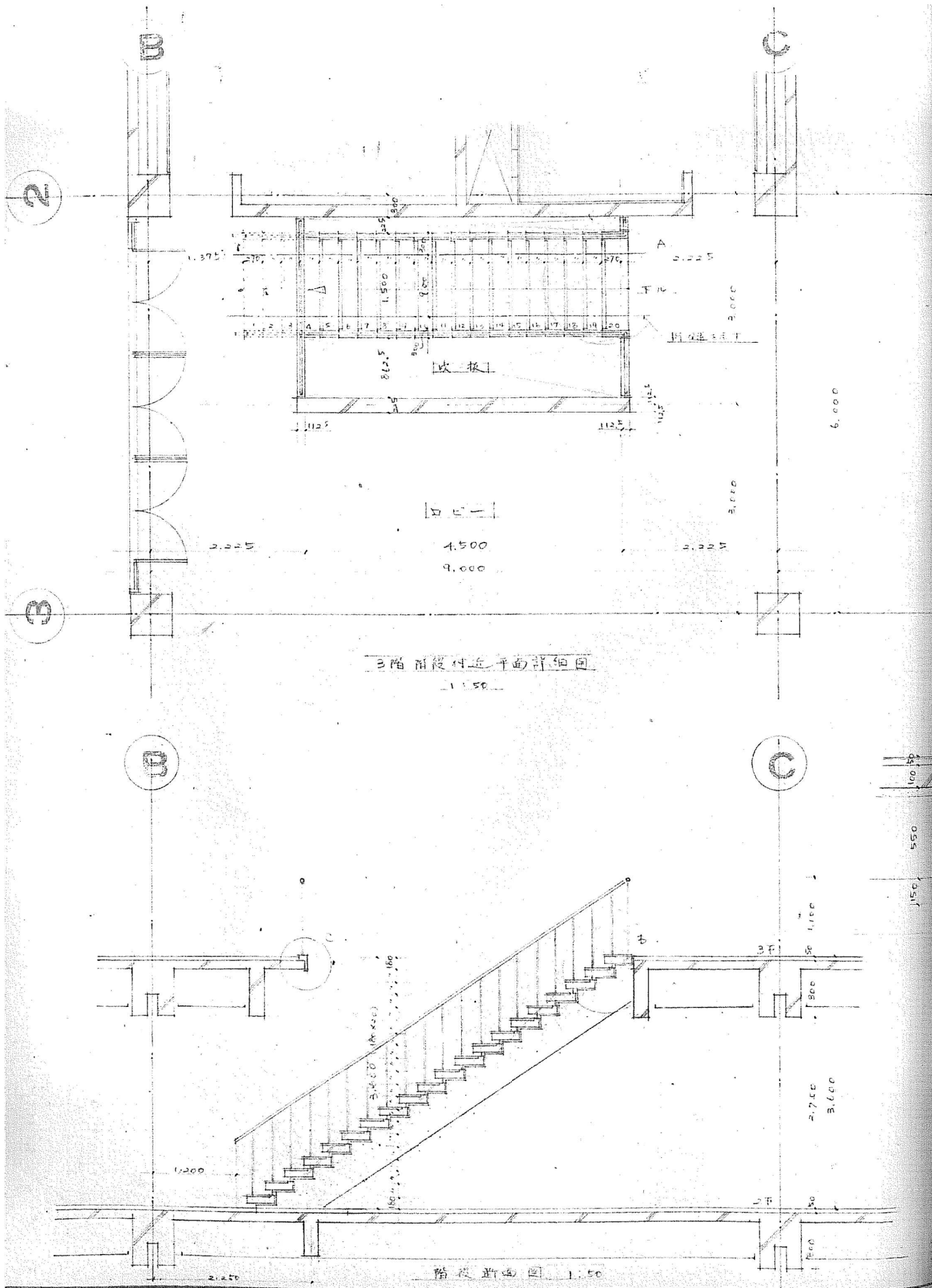


北立面図 1/100

東立面図 1/100

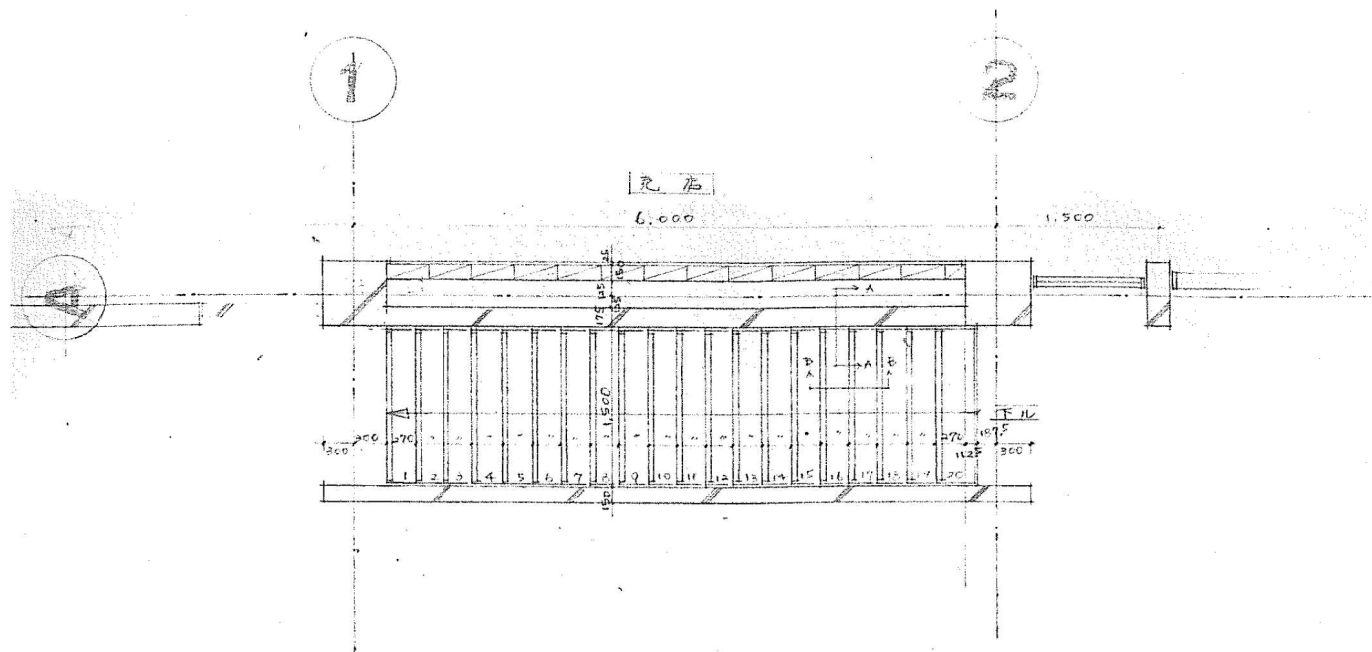


TITLE	DATE	NO
鳴門市共済会館等解体工事		Aa-37
NAME	SCALE	
共済会館 1階倉庫詳細図	1/50、1/100	
株式会社 川建設	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎

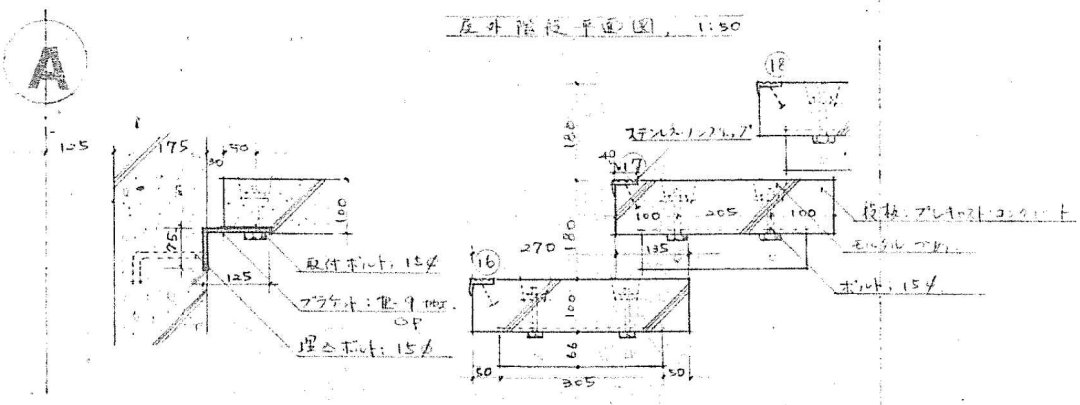


TITLE	DATE	NO
鳴門市共済会館等解体工事		Aa-38
NAME	SCALE	
共済会館 室内階段詳細図	1/50	
株式会社 川建設	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎



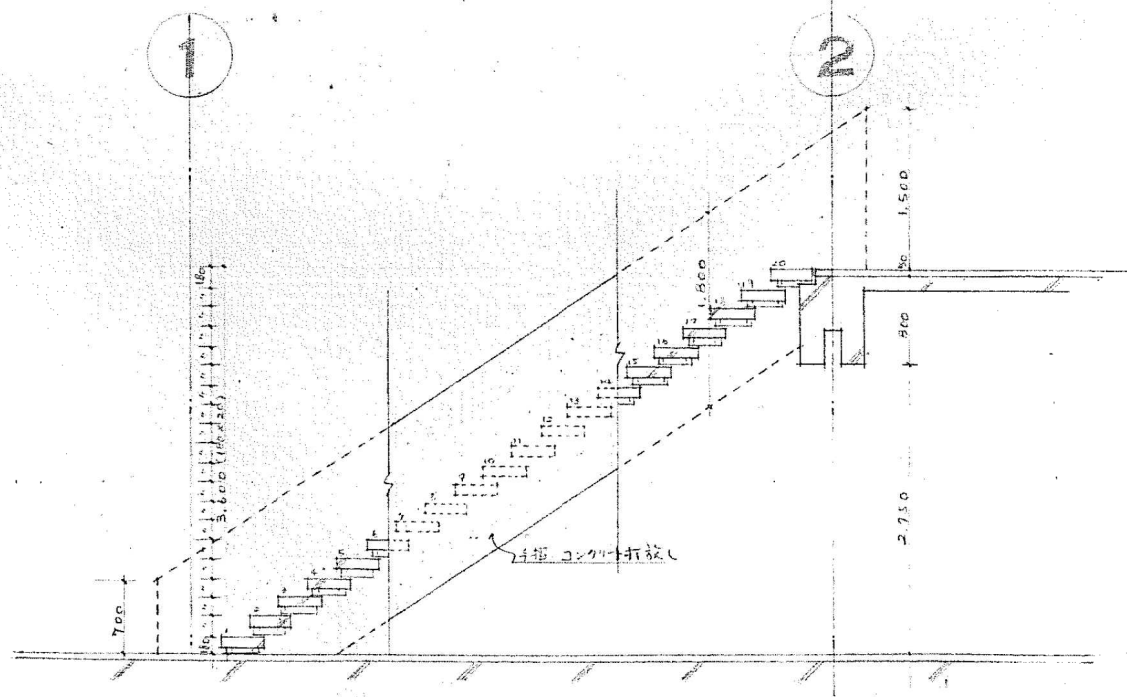


屋外階段平面図 1:50



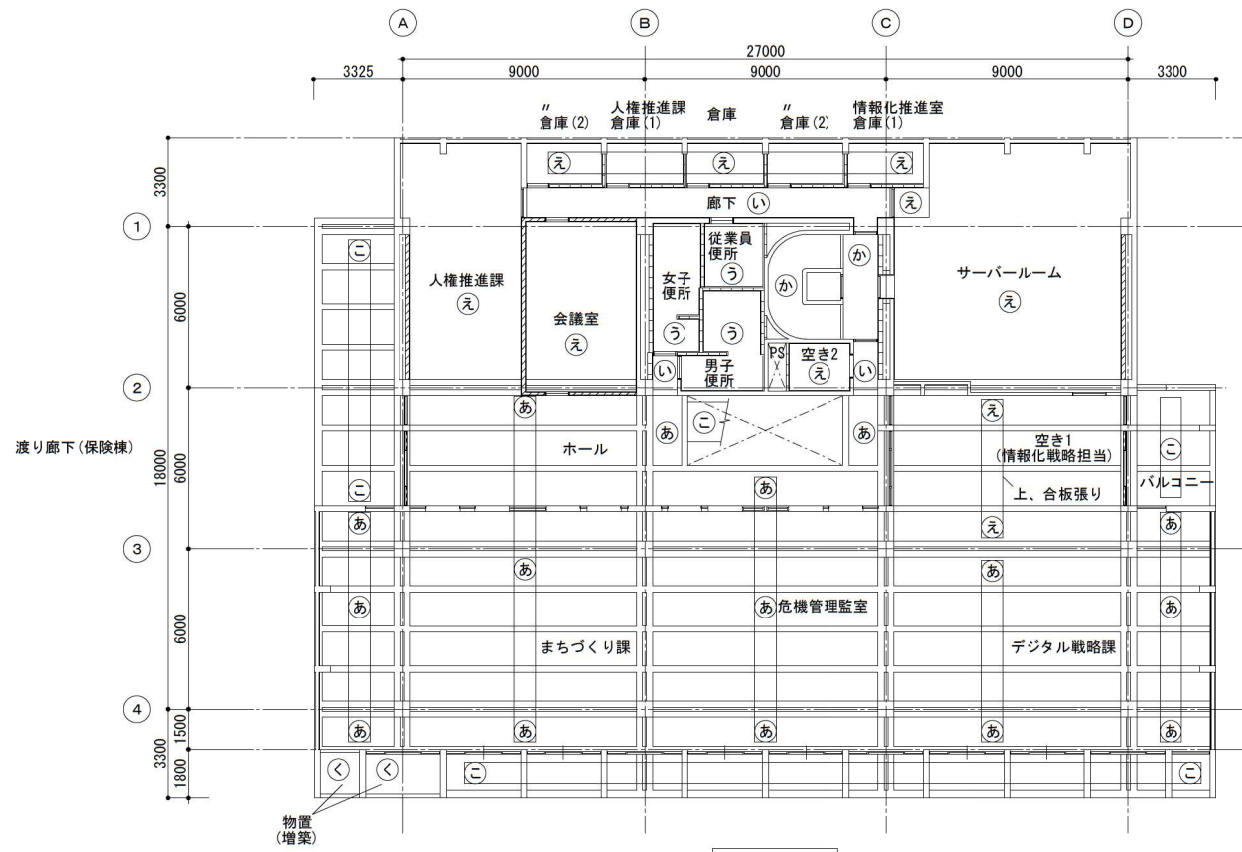
A-A 断面図 1:10

B-B 断面図 1:10

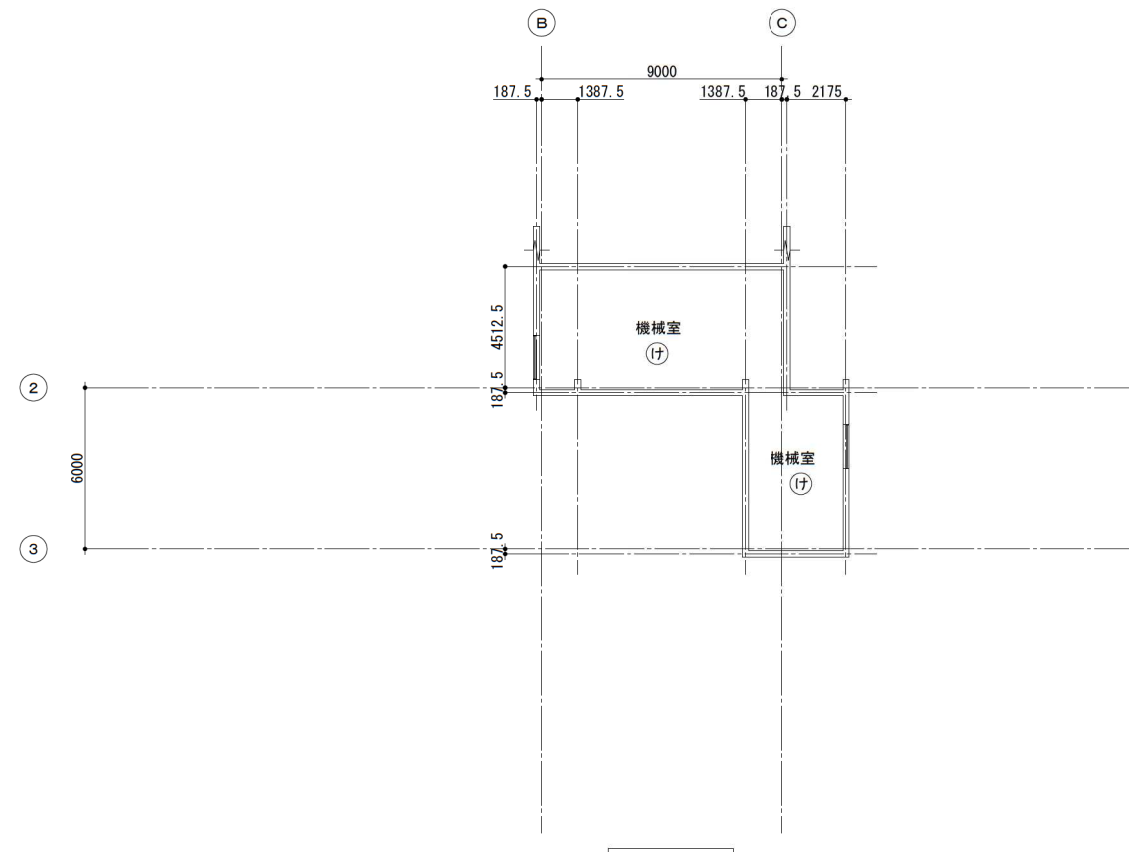


屋外階段断面図 1:50

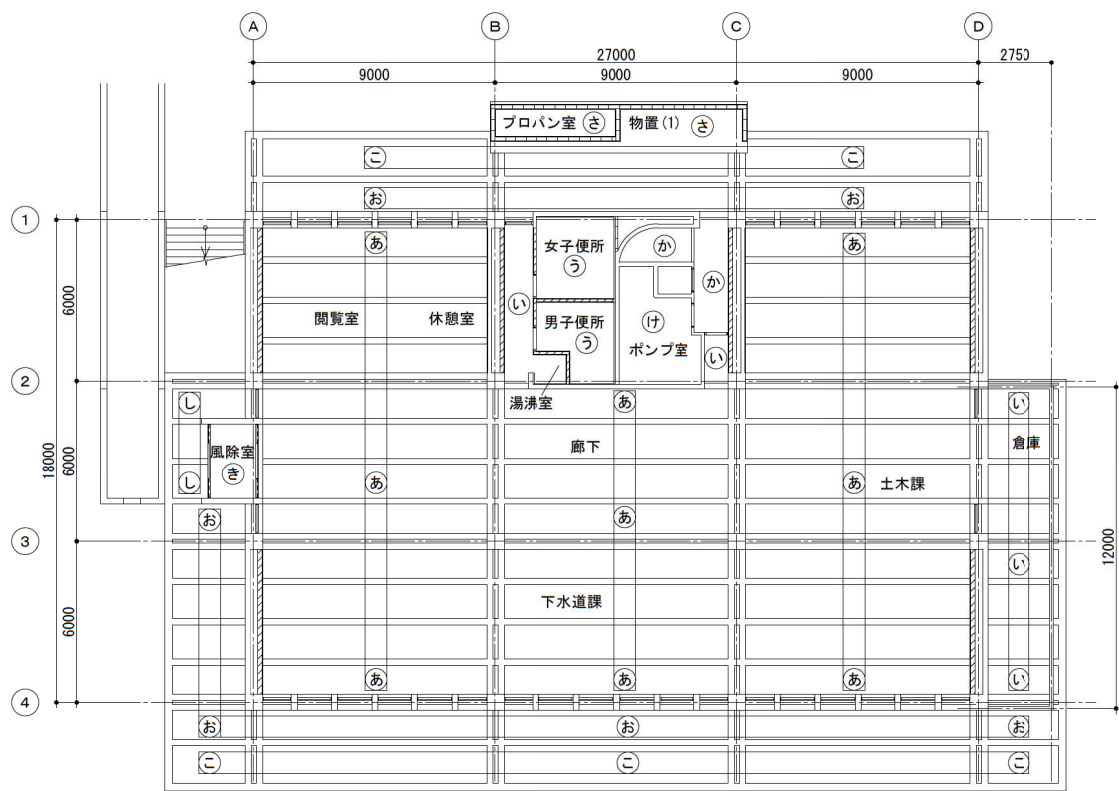
TITLE	DATE	NO
鳴門市共済会館等解体工事		Aa-39
NAME	SCALE	
共済会館 屋外階段詳細図	1/50, 1/10	
株式会社 川建設	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎



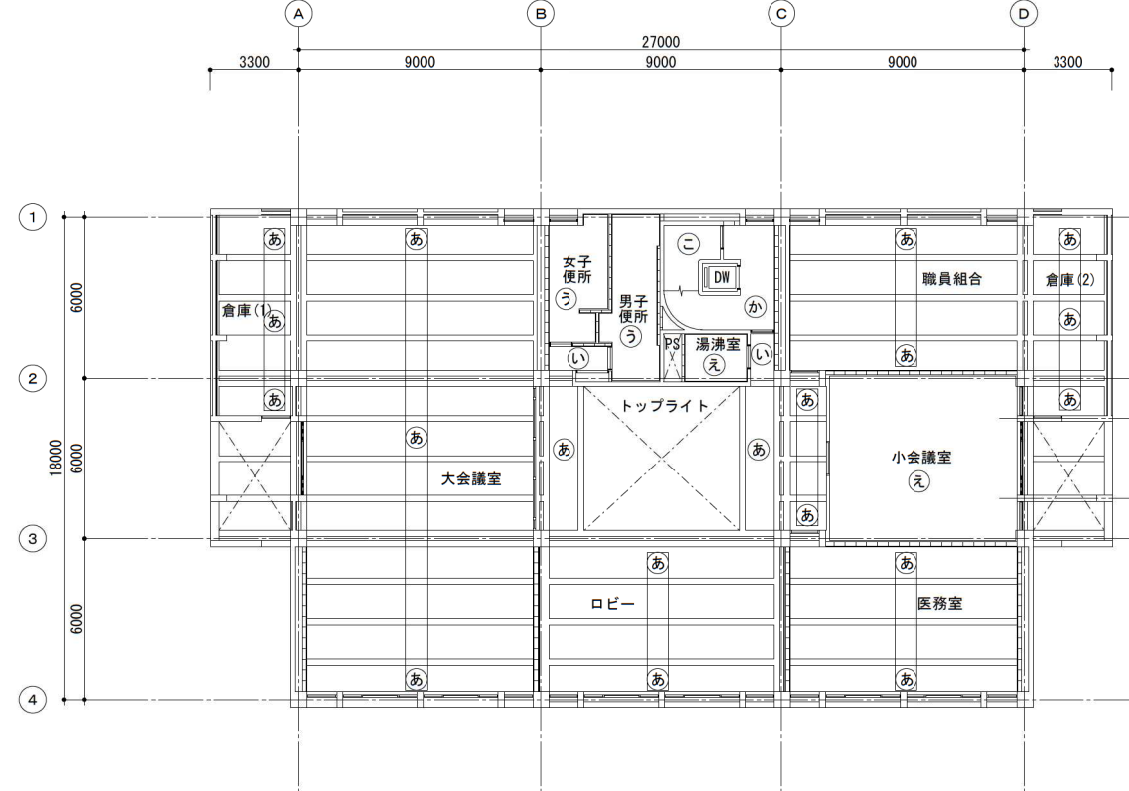
2階天井伏図



PH階天井伏図



1階天井伏図

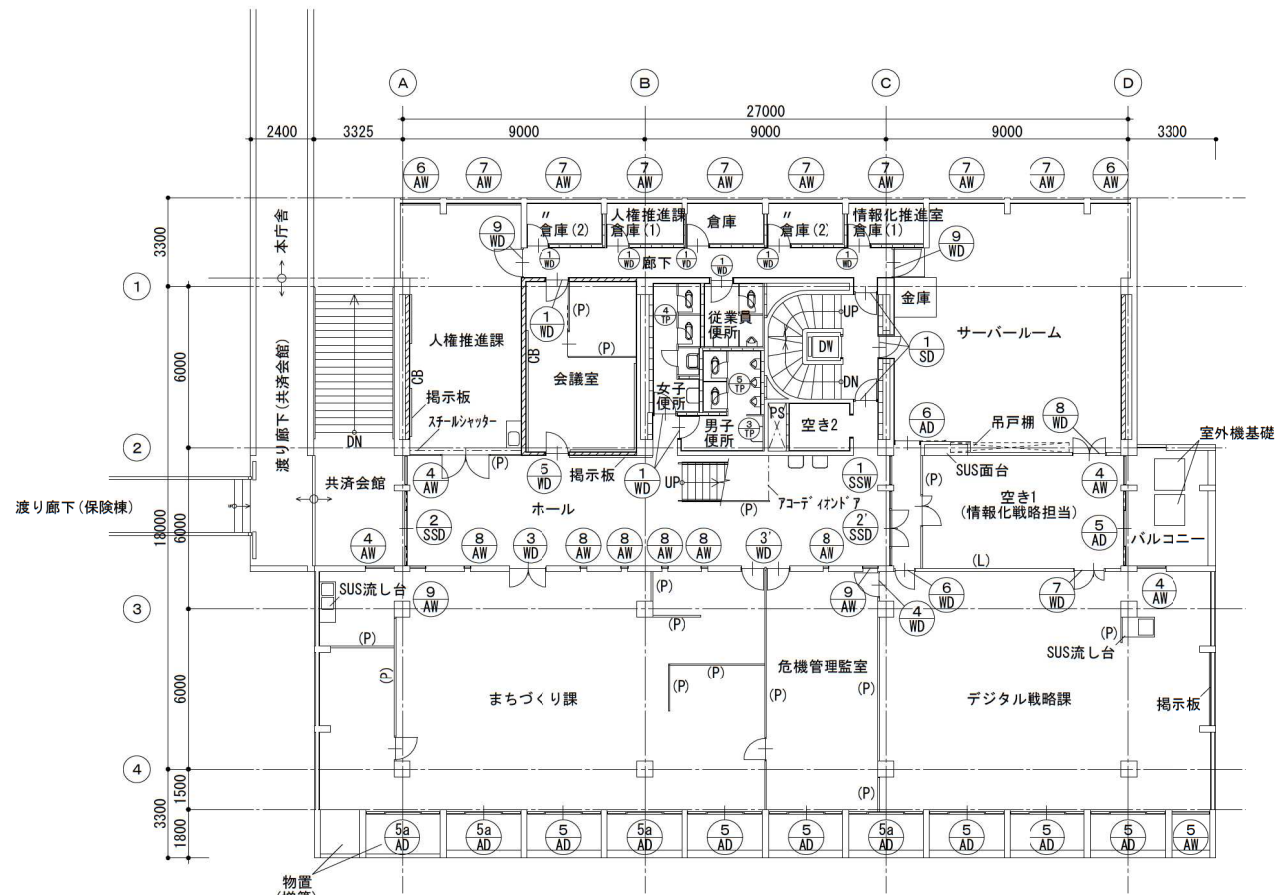


3階天井伏図

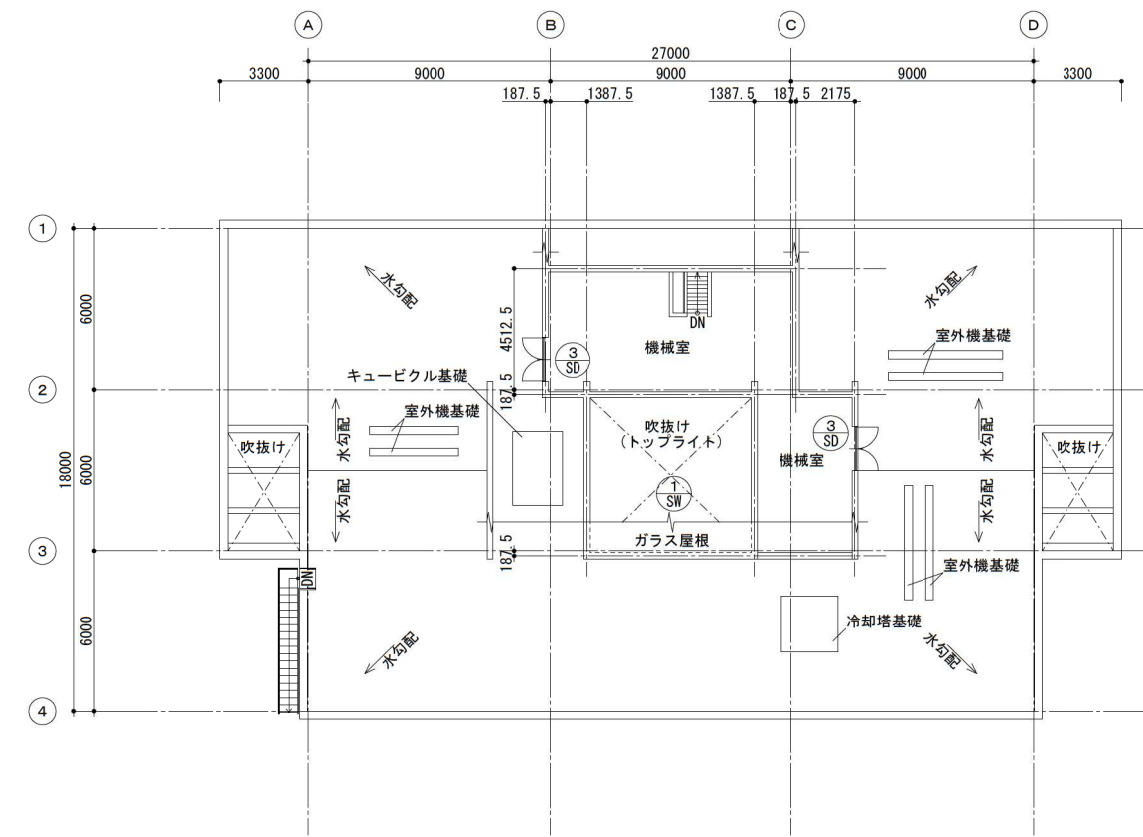
記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上
あ	スラブ見上面 吸音用岩綿吹付け LGS下地の上、有孔ベニヤ、合板張り	か	プaster塗り	さ	スレート波板屋根現し
い	スラブ見上面 吸音用岩綿吹付け LGS下地の上、合板張り	き	アルミ押出成形パネル	し	LGS下地の上、シナベニヤ張り
う	スラブ見上面 吸音用岩綿吹付け LGS下地の上、フレキシブルボード厚4張り	く	スチール波板		
え	スラブ見上面 吸音用岩綿吹付け LGS下地の上、(化粧)石こうボード厚9.5	け	スラブ見上面 吸音用岩綿吹付		
お	スラブ見上面 吸音用岩綿吹付け LGS下地の上、ケイ酸カルシウム板厚6張り Mバー19mm、ケイ酸カルシウム板厚6張り	こ	スラブ見上面 コンクリート打放し		

・梁型及び梁間間はコンクリート打放し

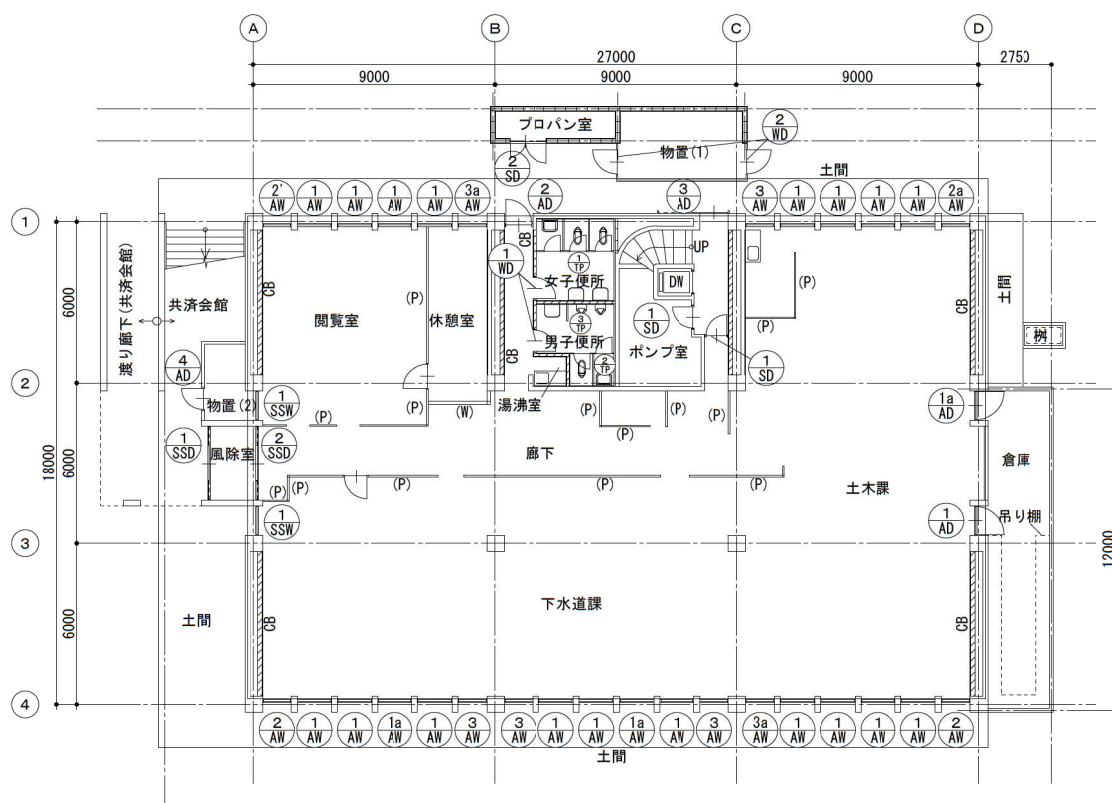




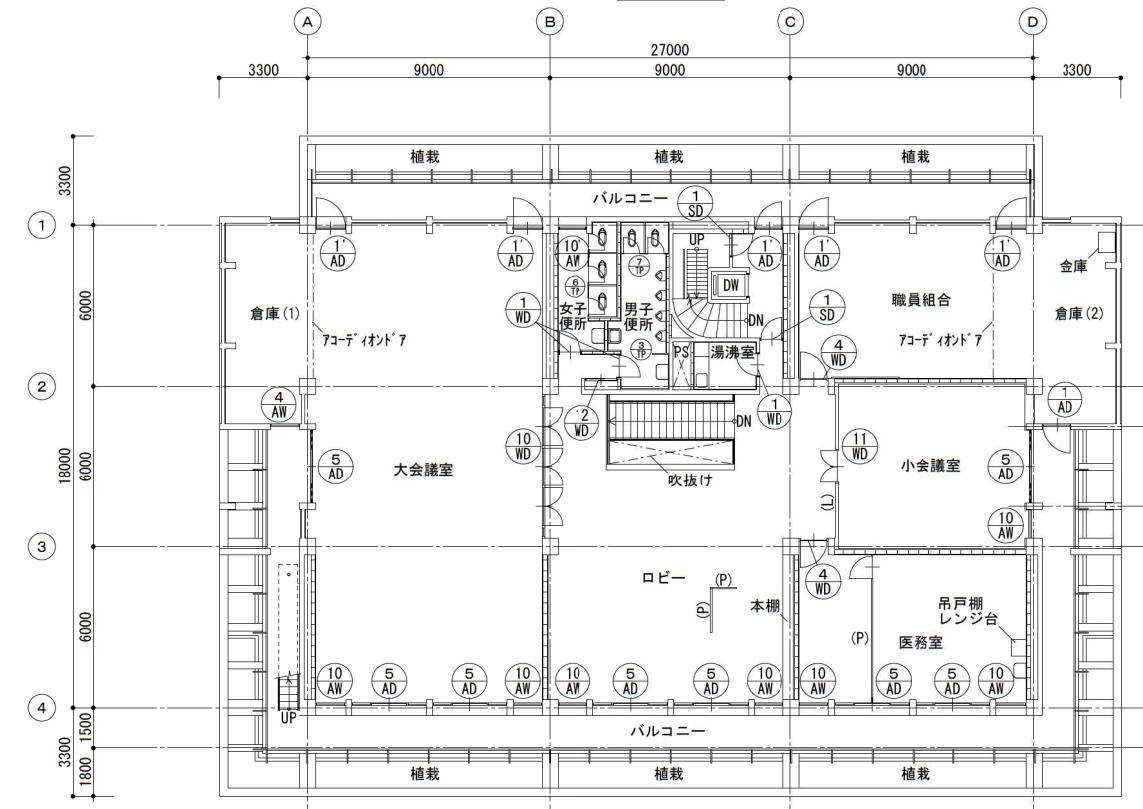
2階平面図



PH階平面図



1階平面図



3階平面図

記号	①SD	②SD	③SD	①SSD	②SSD	②SSD	①SSW
図							
型式	スチール片開き戸	スチール両開き戸	スチール両開き戸	引分け自動ドア	FIX欄間付引分け自動ドア	FIX欄間付引分け自動ドア	2段FIX窓
材質(見込)	スチール厚2.3 (100)	スチール厚2.3 (100)	スチール厚2.3 (100)	ステンレス (100)	ステンレス (100)	ステンレス (100)	ステンレス (100)
室名(数量)	階段室ほか (7)	プロバン室 (1)	機械室 (2)	1F風除室 (1)	1F風除室ほか (2)	2Fホール (1)	閲覧室ほか (3)
ガラス				強化ガラス厚12,厚8	強化ガラス厚12,厚8、透明ガラス厚5	強化ガラス厚12,厚8、透明ガラス厚5	透明ガラス厚5
金物等							
記号	①AD	①AD	①aAD	②AD	③AD	④AD	⑤AD
図							
型式	FIX欄間付片開きドア	外倒し欄間付片開きドア	アルミパネル欄間付片開きドア	ガラリ欄間付片開きドア	FIXアルミパネル欄間付片引きドア(外付)	片引きドア	外倒し欄間付引分けアルミドア
材質(見込)	アルミ (100)	アルミ (100)	アルミ (100)	アルミ (100)	アルミ (100)	アルミ (70)	アルミ (100)
室名(数量)	土木課、3F倉庫 (2)	大会議室ほか (5)	土木課 (1)	1F廊下 (1)	1F階段室 (1)	物置 (2)	まちづくり課ほか (15)
ガラス	透明ガラス厚5、アルミパネル	透明ガラス厚5、アルミパネル	透明ガラス厚5、アルミパネル	透明ガラス厚5、アルミパネル	網入りガラス厚6.8、アルミパネル	透明ガラス厚5、アルミパネル	透明ガラス厚5
金物等							
記号	⑤aAD	⑥AD	⑦AD		①AW	①aAW	②AW
図							
型式	外倒し欄間付引分けアルミドア	片引き自動ドア	片開きドア		外倒し欄間付FIX窓	外倒し欄間付FIX窓	FIX欄間付FIX窓
材質(見込)	アルミ (100)	アルミ (100)	アルミ (100)		アルミ (100)	アルミ (100)	アルミ (100)
室名(数量)	まちづくり課 (4)	サーバルーム (1)	4F階段室 (1)		下水道課ほか (18)	下水道課ほか (2)	下水道課ほか (2)
ガラス	透明ガラス厚5、アルミパネル	透明ガラス厚5、アルミパネル	透明ガラス厚5、アルミパネル		透明(すり)ガラス厚5	透明ガラス厚5、アルミパネル	透明ガラス厚5
金物等							



記号	② AW	②a AW	③ AW	③a AW	④ AW		⑥ AW
姿図							
型式	FIX欄間付タテすべり出し窓	アルミパネル欄間付FIX窓	FIX欄間付タテすべり出し窓	アルミパネル欄間付タテすべり出し窓	FIX窓		FIX窓
材質(見込)	アルミ (100)	アルミ (100)	アルミ (100)	アルミ (100)	アルミ (100)		アルミ (100)
室名(数量)	閲覧室 (1)	下水道課 (1)	下水道課ほか (4)	下水道課ほか (2)	まちづくり課ほか (5)		人権推進課ほか (2)
ガラス	透明ガラス厚5	透明(すり)ガラス厚5、アルミパネル	透明(すり)ガラス厚5	透明(すり)ガラス厚5、アルミパネル	透明ガラス厚5		透明ガラス厚5
金物等							
記号	⑦ AW	⑧ AW	⑨ AW	⑩ AW	⑩ AW		① SW
姿図							
型式	FIX窓	FIX窓	FIX窓	FIX欄間付FIX窓	ガラリ欄間付FIX窓		FIX天窗
材質(見込)	アルミ (100)	アルミ (100)	アルミ (100)	アルミ (100)	アルミ (100)		スチール
室名(数量)	人権推進課 (8)	まちづくり課 (6)	まちづくり課 (2)	大会議室ほか (7)	3F女子便所 (1)		3Fホール トップライト (1)
ガラス	透明ガラス厚5	透明ガラス厚5	透明ガラス厚5	透明ガラス厚5	透明ガラス厚5		網入りガラス厚6.8
金物等							
記号	① WD	② WD	③ WD	③ WD	④ WD	⑤ WD	⑥ WD
姿図							
型式	片開きフラッシュ戸	片開きフラッシュ戸	FIX欄間付両開きフラッシュ戸	FIX欄間付両開きフラッシュ戸	FIX欄間付片開きフラッシュ戸	FIX欄間付片開きフラッシュ戸	片開きフラッシュ戸
材質(見込)	シナベニヤ (40)	シナベニヤ (40)	シナベニヤ (40)	シナベニヤ (40)	シナベニヤ (40)	シナベニヤ (40)	シナベニヤ (40)
室名(数量)	各便所ほか (14)	物置 (1)	まちづくり課 (1)	危機管理監室 (1)	危機管理監室ほか (3)	2F会議室 (1)	デジタル戦略課 (1)
ガラス			透明ガラス厚5	透明ガラス厚5	透明ガラス厚5	すりガラス厚5、透明ガラス厚5	
金物等							

記号	⑦ WD	⑧ WD	⑨ WD	⑩ WD	⑪ WD	⑫ WD	
姿 図							
型 式	親子開きフラッシュ戸	両開きフラッシュ戸	片開きフラッシュ戸	両開きフラッシュ戸	両開きフラッシュ戸	引違いフラッシュ戸	
材 質 (見込)	シナベニヤ (40)	シナベニヤ (40)	シナベニヤ (40)	米松ベニヤ (60)	米松ベニヤ (40)	シナベニヤ (40)	
室 名 (数量)	デジタル戦略課 (1)	サーバールーム (1)	人権推進課ほか (2)	大会議室 (1)	小会議室 (1)	3F男子便所 (1)	
ガラス							
金物等							
記号	① TP	② TP	③ TP	④ TP	⑤ TP	⑥ TP	⑦ TP
姿 図							
型 式	トイレパーテーション	トイレパーテーション	トイレパーテーション	トイレパーテーション	トイレパーテーション	トイレパーテーション	トイレパーテーション
材 質 (見込)	戸: シナベニヤ、間仕切壁: 珪藻土ブロック (40)	戸: シナベニヤ、間仕切壁: 珪藻土ブロック (40)	珪藻土ブロック (40)	戸: シナベニヤ、間仕切壁: 珪藻土ブロック (40)	戸: シナベニヤ、間仕切壁: 珪藻土ブロック (40)	戸: シナベニヤ、間仕切壁: 珪藻土ブロック (40)	戸: シナベニヤ、間仕切壁: 珪藻土ブロック (40)
室 名 (数量)	1F女子便所 (1)	1F男子便所 (1)	各階男子便所 (3)	2F女子便所 (1)	2F男子便所 (1)	3F女子便所 (1)	1F男子便所 (1)
ガラス							
金物等							
記号							
姿 図							
型 式							
材 質 (見込)							
室 名 (数量)							
ガラス							
金物等							

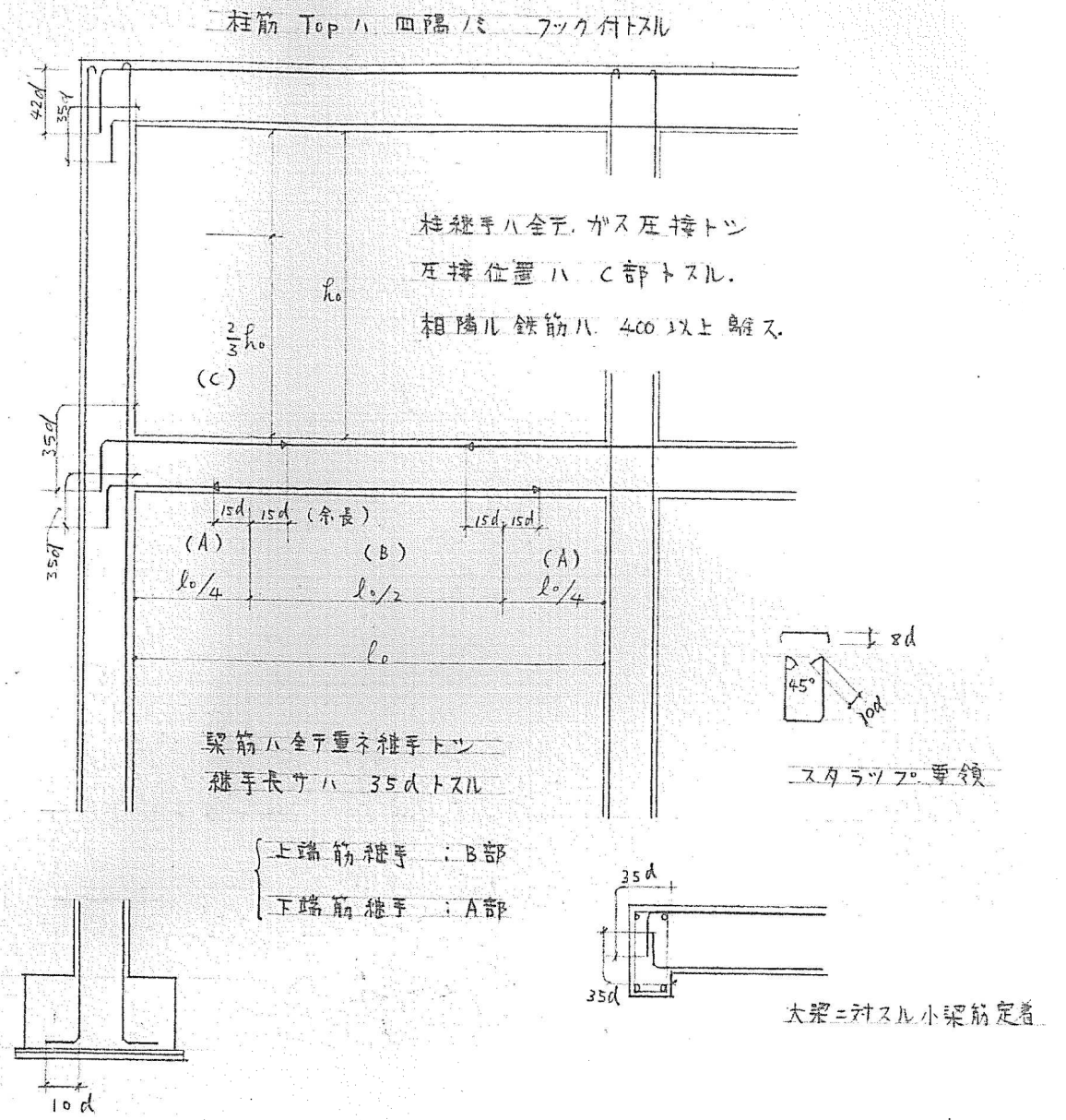


使用材料

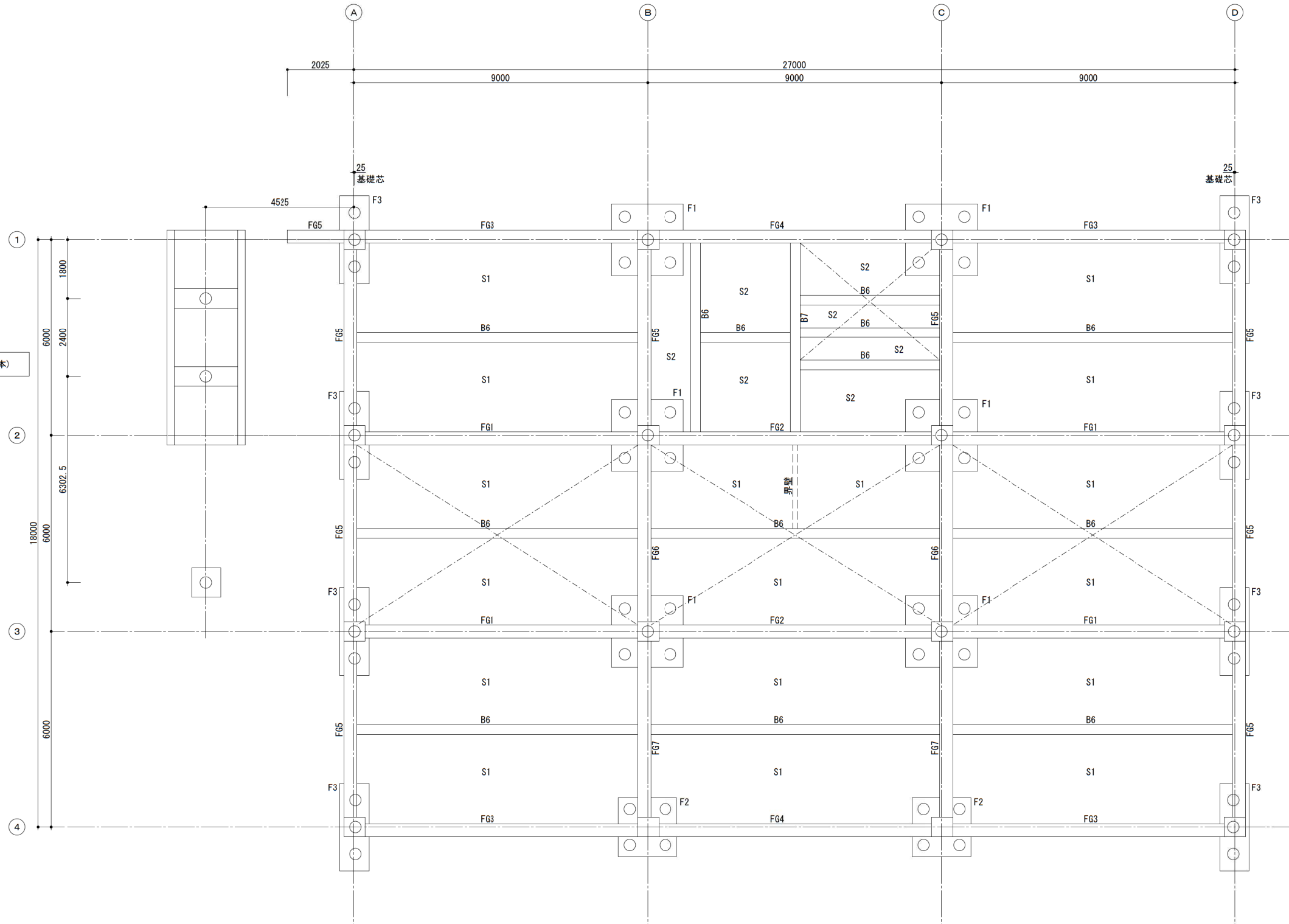
コンクリート	$F_c = 210 \text{ kg/cm}^2$ スパン $15 \text{ cm} \sim 19 \text{ cm}$
杭	AHSパイル $\phi = 350$ $l = 16^m 000$ (無振、無音工法トスル) (65本/共済会館62本、渡り廊下3本)
鉄筋	SD35 (-D = $\phi$ 表示) SR24 (- $\phi$ = $\phi$ 表示)
土間コンクリート	$F_c = 135 @ 150$ 鉄筋 9 $\phi$ シングル 7 $\phi$ 3 $\phi$ @ 300

(註) 大梁・小梁共梁貫通孔個所ハ、X、Y方向トモ梁1本=1ヶ、1スパン当リ2~3ヶ所トスルカ、貫通個所ハ全体テ1割程度ノ増減アルモノトスル。設備図参照ノ事。

構造特記仕様



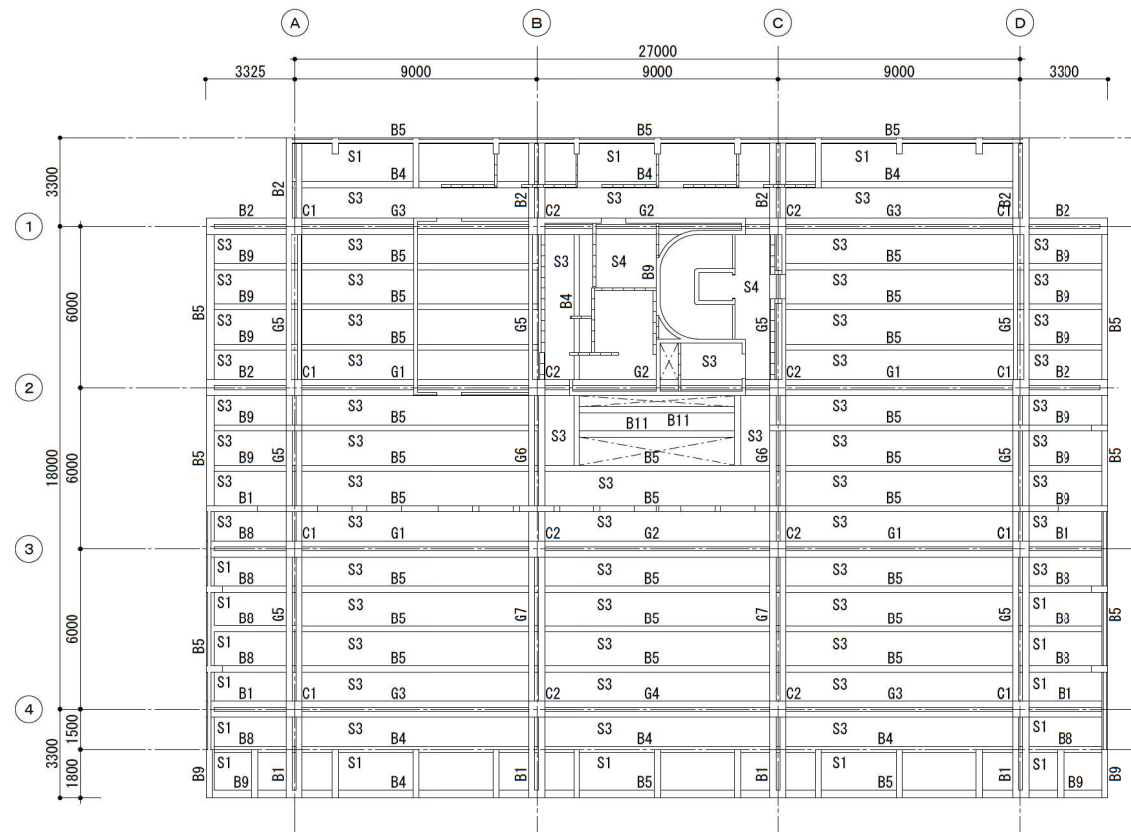
渡り廊下(共済会館)基礎  
 渡り廊下(共済会館)杭仕様  
 杭種: AHSパイル 径350φ 杭長16.0m (3本)



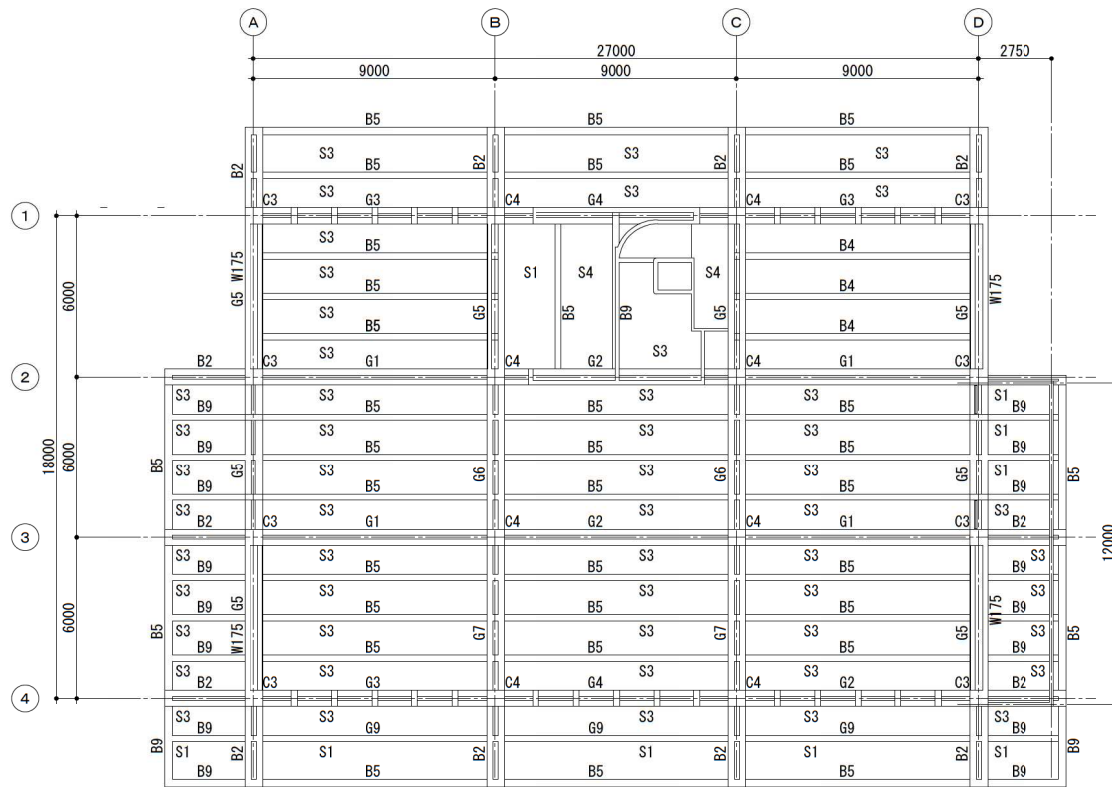
共済会館 基礎  
 ※特記なき限り、通り芯と基礎芯は一致する。  
 共済会館 杭仕様  
 杭種: AHSパイル 径350φ 杭長16.0m (62本)

TITLE	DATE	NO
鳴門市共済会館等解体工事		Aa-16
NAME	SCALE	
共済会館 基礎伏図		1/100
株式会社 川建設	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎

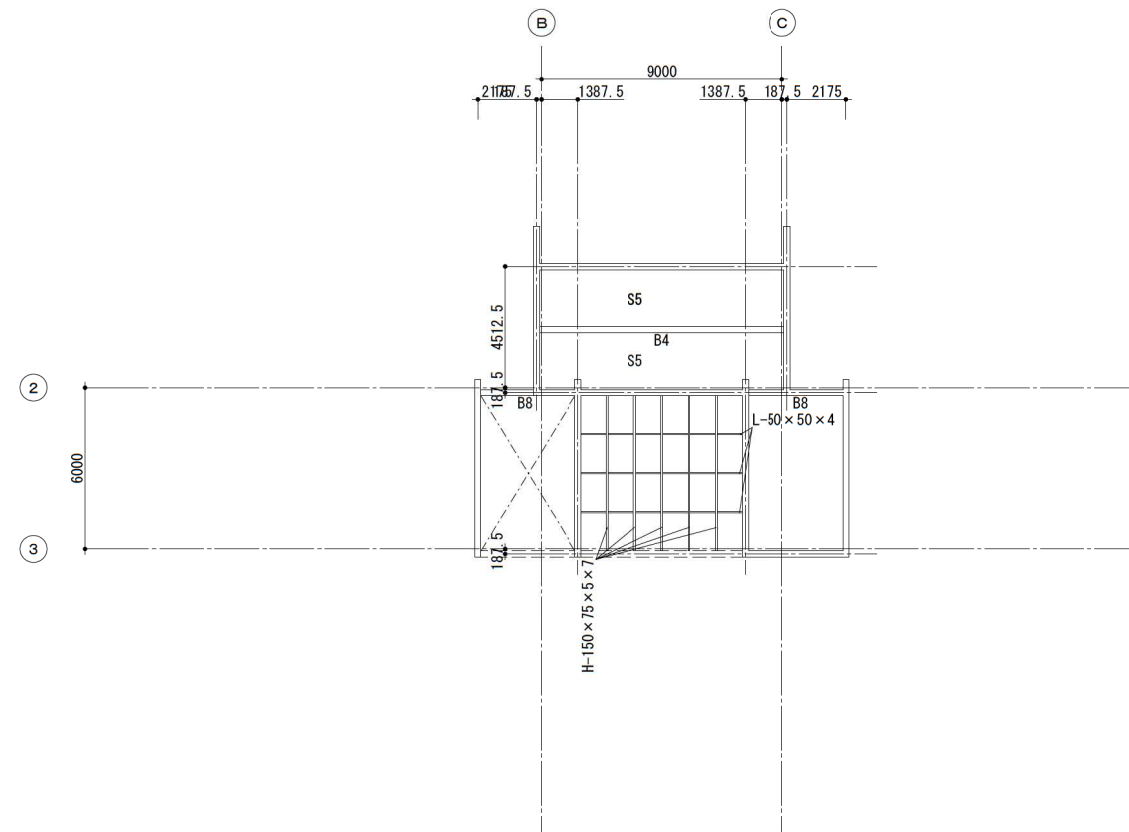




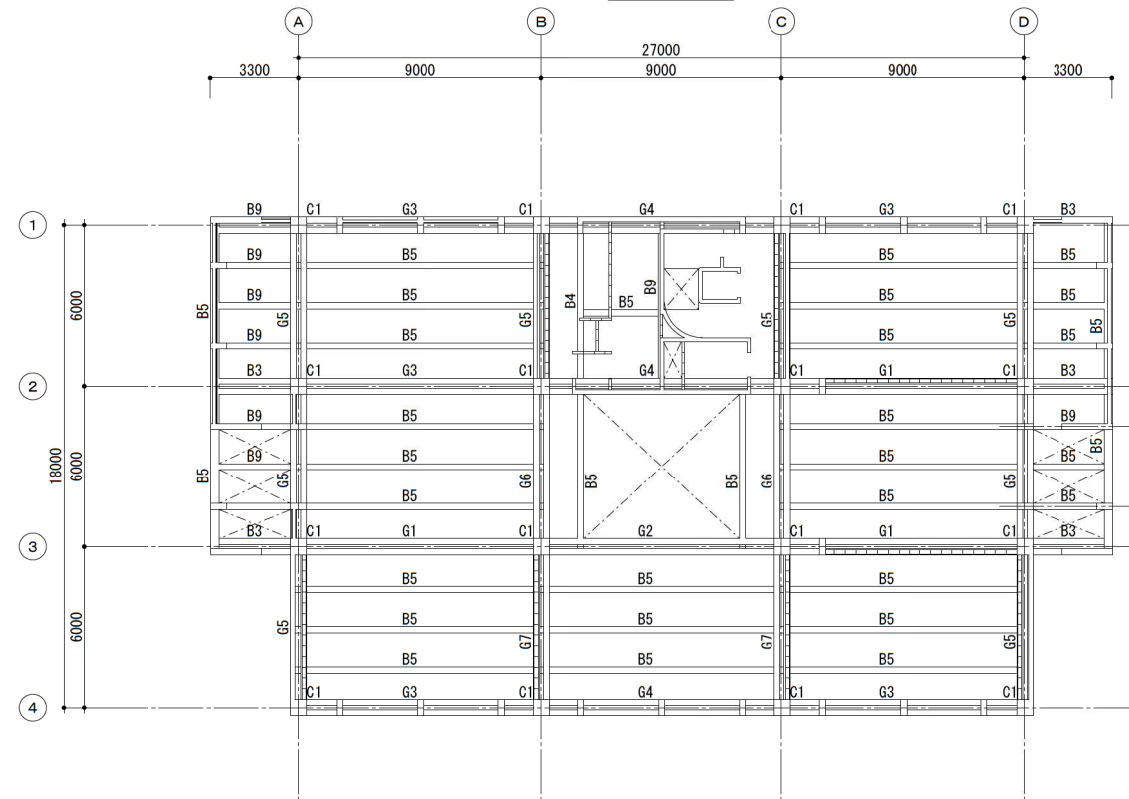
3階梁伏図



2階梁伏図



PH階天井伏図

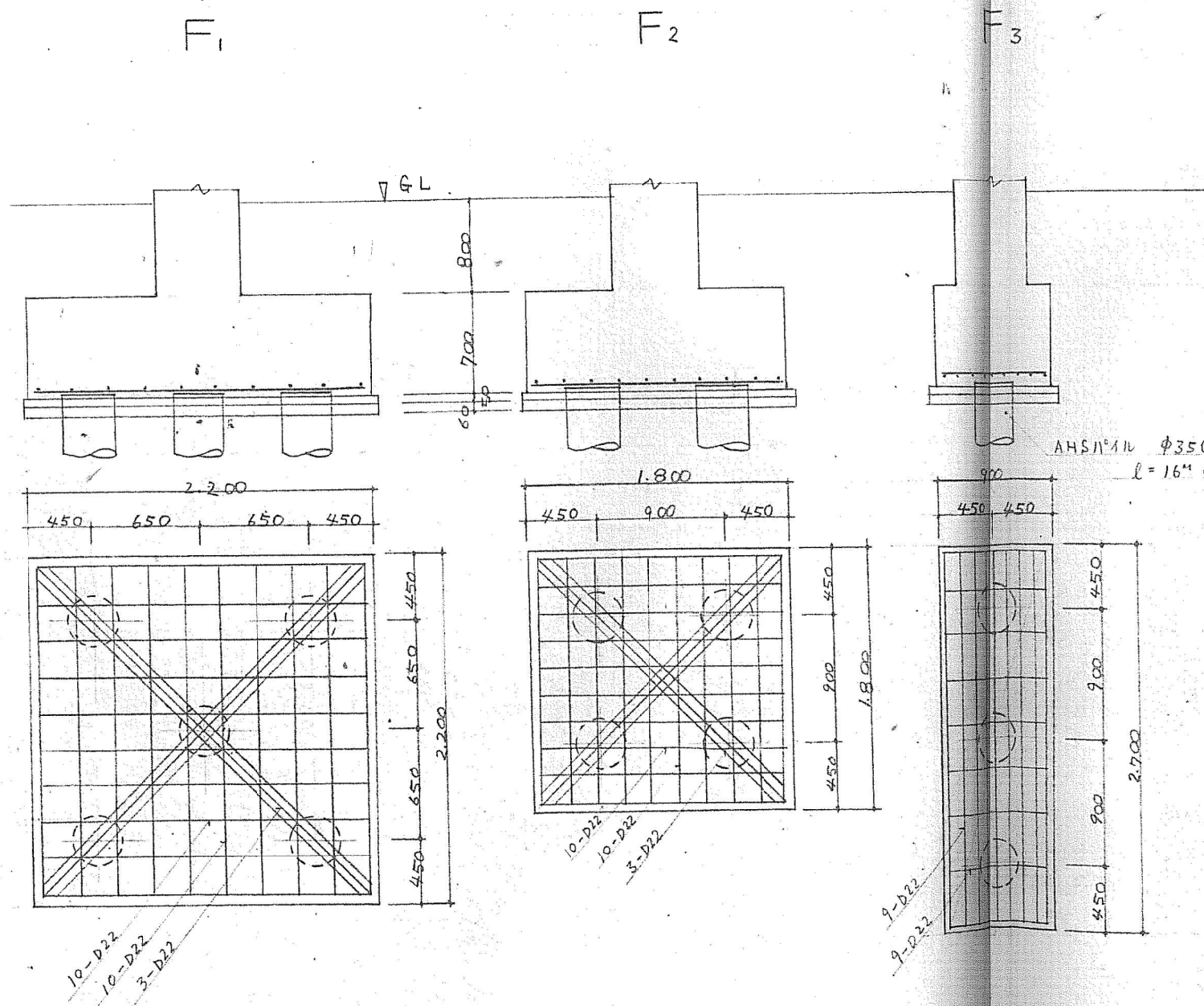


R階梁伏図

R階スラブは全て S5 とする

TITLE	DATE	NO
鳴門市共済会館等解体工事		Aa-17
NAME	SCALE	
共済会館 梁伏図		1/230
株式会社 川建設	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎





AHSパイプ  $\phi 350$   
 $l = 16.000$

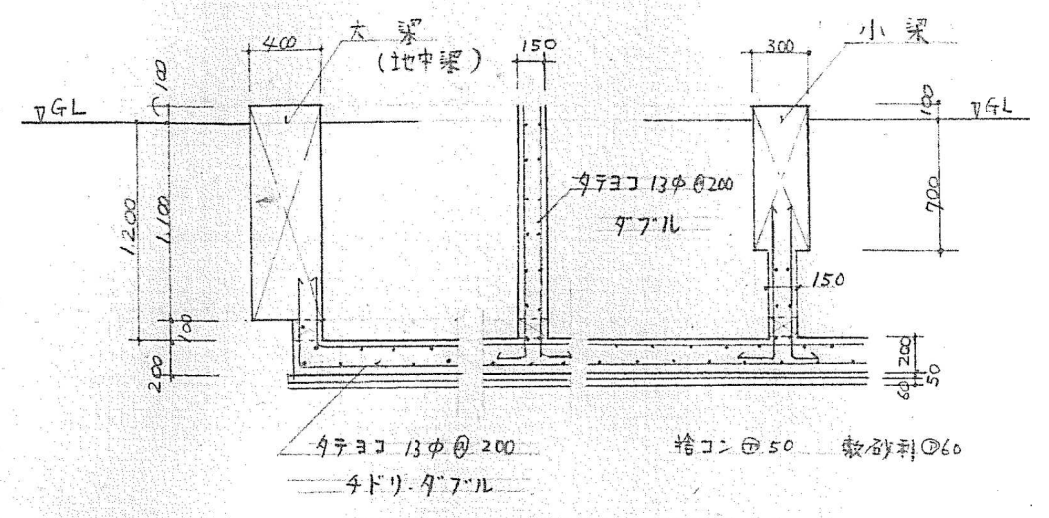
10-D22  
 10-D22  
 3-D22

10-D22  
 10-D22  
 3-D22

9-D22  
 9-D22

捨コンクリート  $\phi 50$   
 敷砂利  $\phi 60$

基礎配筋図 1:30



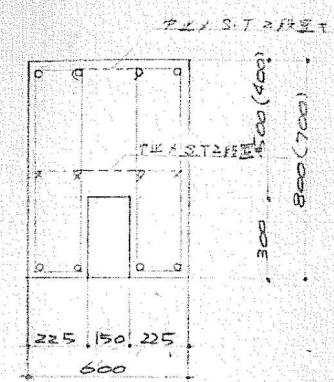
受水槽, 蓄熱槽界壁 詳細図 1:30

TITLE	DATE	NO
鳴門市共済会館等解体工事		Aa-18
NAME	SCALE	
共済会館 基礎配筋図	1/30	
株式会社 川建設	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎



大梁リスト No. 1

	G1			G2		G3			G4		G5 (14.1.1.4)		
	外端	中央	内端	端部	中央	外端	中央	内端	端部	中央	外端	中央	内端
R階													
断面寸法(㎝)	800	全元	全元	800	全元	800	全元	全元	800	全元	800	全元	全元
上筋	4-D22	全元	全元										
下筋	4-D22	全元	全元										
腹筋													
S・T													
3階													
断面寸法(㎝)	800	全元	全元	800	全元	700	全元	全元	700	全元	(700) 800	全元	全元
上筋	6-D25	4-D15	全元	4-D25	全元	8-D25	4-D25	全元	6-D25	4-D25	4-D25	全元	全元
下筋	4-D25	全元	全元	4-D25	全元	6-D25	4-D25	全元	4-D25	全元	4-D25	全元	全元
腹筋													
S・T													
2階													
断面寸法(㎝)	800	全元	全元	800	全元		全元	全元	800	全元	(700) 800	全元	全元
上筋	8-D25	4-D25	6-D25	6-D25	4-D25						4-D25	全元	全元
下筋	6-D25	4-D25	6-D25	4-D25	4-D25						4-D25	全元	全元
腹筋													
S・T													
F階													
断面寸法	400x1200	全元	全元	400x1200	全元	400x1200	全元	全元	400x1200	全元	400x1200	全元	全元
上筋	4-D25	3-D15	4-D25	5-D25	全元						3-D25	全元	全元
下筋	4-D25	3-D25	4-D25	5-D25	全元						3-D25	全元	全元
腹筋													
S・T	2-13φ@300	全元	全元	2-13φ@300	全元						2-13φ@300	全元	全元



R.3.2階大梁寸法

(註) 腹筋はスパン4-13φ  
特記ナキ S・Tは 4-9φ@250トスル  
( )内寸法は 3G24, 1.9φヲ示ス



大梁リスト No.2

	G <sub>6</sub>			G <sub>7</sub>		
	Z端	中央	右端	外端	中央	内端
R階						
断面寸法(φ)	800	全元	全元	800	全元	全元
上筋	4-D22	全元	全元			
下筋	4-D22	全元	全元			
腹筋						
S.T						
3階						
断面寸法(φ)	800	全元	全元	800	全元	全元
上筋	4-D25	全元	全元	6-D25	4-D25	全元
下筋	4-D25	全元	全元	6-D25	4-D25	全元
腹筋						
S.T				4-13φ@250	全元	全元
Z階						
断面寸法(φ)	800	全元	全元	800	全元	全元
上筋	6-D25	4-D25	6-D25	8-D25	4-D25	6-D25
下筋	4-D25	4-D25	4-D25	6-D25	4-D25	4-D25
腹筋						
S.T				4-13φ@175	全元	全元
F階						
断面寸法	400x1,200	全元	全元	400x1,200	全元	全元
上筋	3-D25	全元	全元	3-D25	全元	全元
下筋	3-D25	全元	全元	3-D25	全元	全元
腹筋						
S.T	2-13φ@300	全元	全元	2-13φ@300	全元	全元

小梁リスト

	B <sub>1</sub>	B <sub>2</sub>	B <sub>3</sub>	B <sub>4</sub>	B <sub>5</sub> , B <sub>5'</sub>	B <sub>6</sub>	B <sub>7</sub>	B <sub>8</sub>	B <sub>9</sub>	B <sub>10</sub>	B <sub>11</sub>				
	全	全	全	端	中央	端	中央	端	中央	全	全	全			
断面寸法	600x700	600x800	全元	225x700	全元	(225x850) 225x800	(全元)	700x800	全元	700x1,200	全元	225x700	225x800	225x500	225x400
上筋	10-D25	10-D25	4-D22	4-D22	2-D22	4-D22	2-D22	5-D25	2-D25	5-D25	2-D25	3-D22	3-D22	3-D22	
下筋	8-D25	8-D25	4-D22	2-D22	3-D22	2-D22	3-D22	2-D25	5-D25	2-D25	5-D25	3-D22	3-D22	3-D22	
腹筋				2-13φ	全元	2-13φ	全元	2-13φ	全元	4-13φ	全元	2-13φ	2-13φ		
S.T				2-9φ@250	全元	2-13φ@250	全元	2-13φ@250	全元	2-13φ@250	全元	2-9φ@250	2-9φ@250	2-9φ@250	

(註)

特記+腹筋ハス+T 4-13φ.  
特記+S.Tハ 4-9φ@250トスル.  
B<sub>5</sub>/断面寸法ハ( )内寸法トスル.

柱リスト

	C <sub>1</sub>	C <sub>2</sub>	C <sub>3</sub>	C <sub>4</sub>
断面寸法	600x600	600x600	600x650	600x650
主筋	8-D25	8-D25	8-D25	14-D25
7-7°	□ 9φ@100	□ 13φ@100	□ 13φ@100	□ 13φ@80
D 7-7°	9φ@300	9φ@300	9φ@300	9φ@240



スラブ断面表

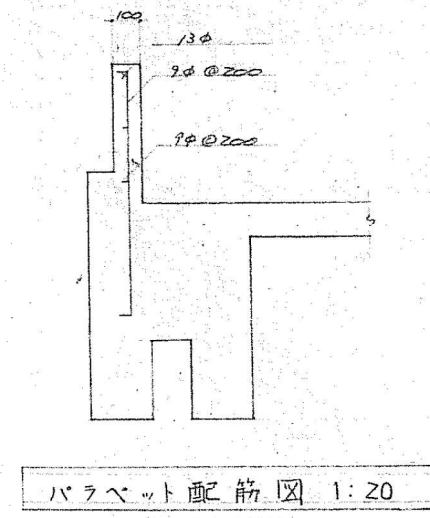
スラブ 記号	スラブ厚	短辺方向			長辺方向		
		端部	中央	端部	中央		
S <sub>1</sub>	125	上筋	13φ @ 200	全	13φ @ 300	全	无
		下筋	13φ @ 200	全	13φ @ 200	全	无
S <sub>2</sub>	125	上筋	13φ @ 200	全	13φ @ 200	全	无
		下筋	13φ @ 200	全	13φ @ 200	全	无
S <sub>3</sub>	100	上筋	9φ @ 200	全	9φ @ 300	全	无
		下筋	9φ @ 200	全	9φ @ 200	全	无
S <sub>4</sub>	100	上筋	9φ @ 200	全	9φ @ 200	全	无
		下筋	9φ @ 200	全	9φ @ 200	全	无
S <sub>5</sub>	120	上筋	9φ @ 200	全	9φ @ 300	全	无
		下筋	9φ @ 200	全	9φ @ 200	全	无
S <sub>6</sub>	250	上筋	13φ @ 200	全	13φ @ 200	全	左
		下筋	13φ @ 200	全	13φ @ 200	全	左

土間コンクリート配筋 9φ @ 300 シングル PT. 32 天

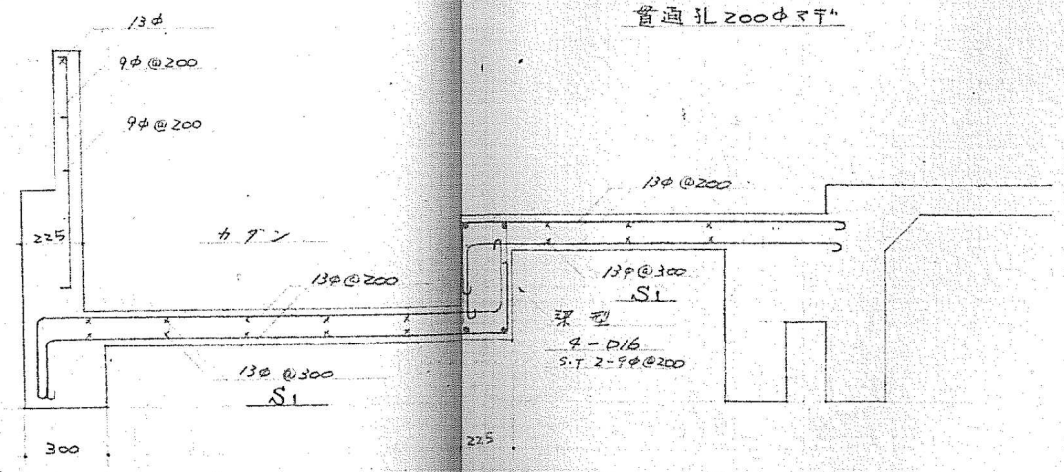
壁配筋図

	125	150	175	225	C.B.壁 @ 150
上筋	9φ @ 200	9φ @ 250 7'7" W	9φ @ 250 7'7" W	9φ @ 200 7'7" W	9φ @ 400
下筋	9φ @ 200	9φ @ 250 7'7" W	9φ @ 250 7'7" W	9φ @ 200 7'7" W	9φ @ 600
中央筋		9φ @ 1,000	9φ @ 1,000	9φ @ 800	

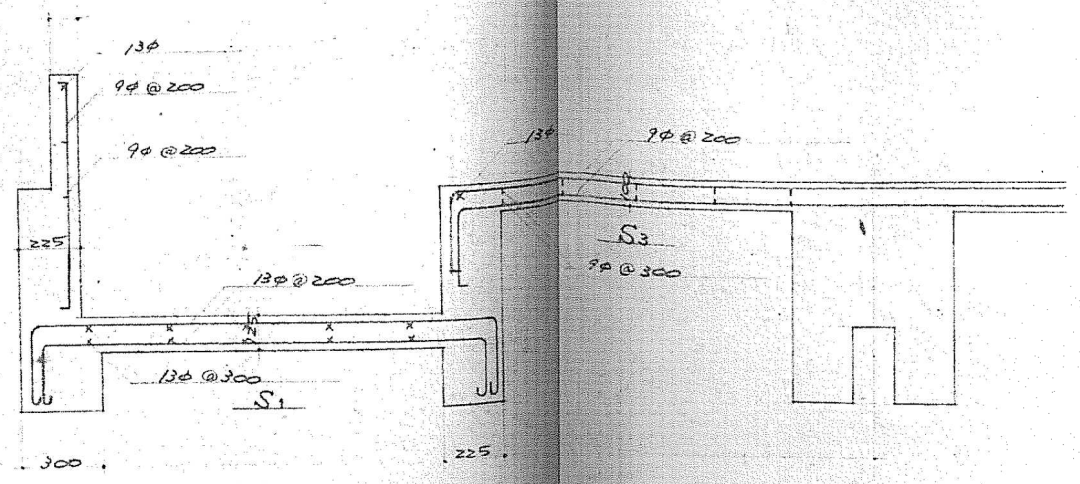
(註) 壁周上筋は全干 2-13φ トスル。



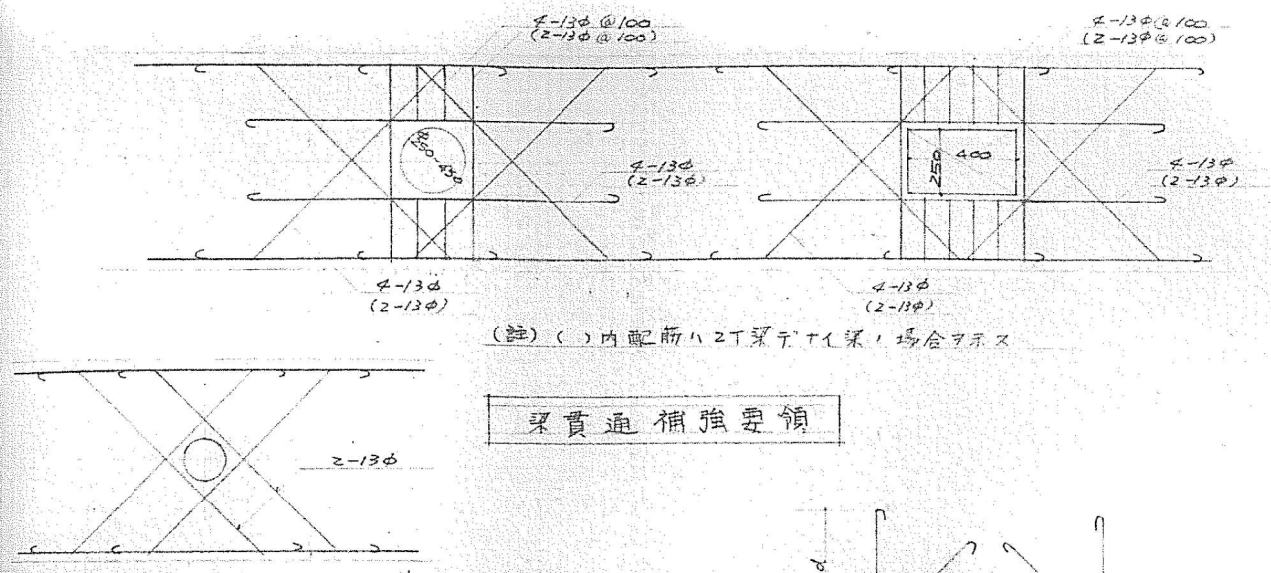
バラベット配筋図 1:20



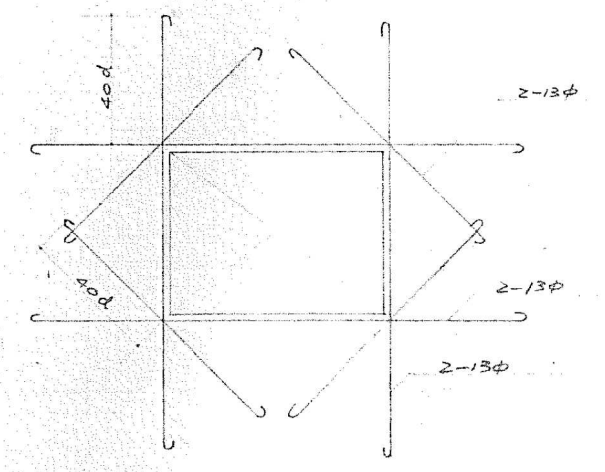
東面持出ハコ一部詳細図 1:20



南北持出ハコ一部詳細図 1:20

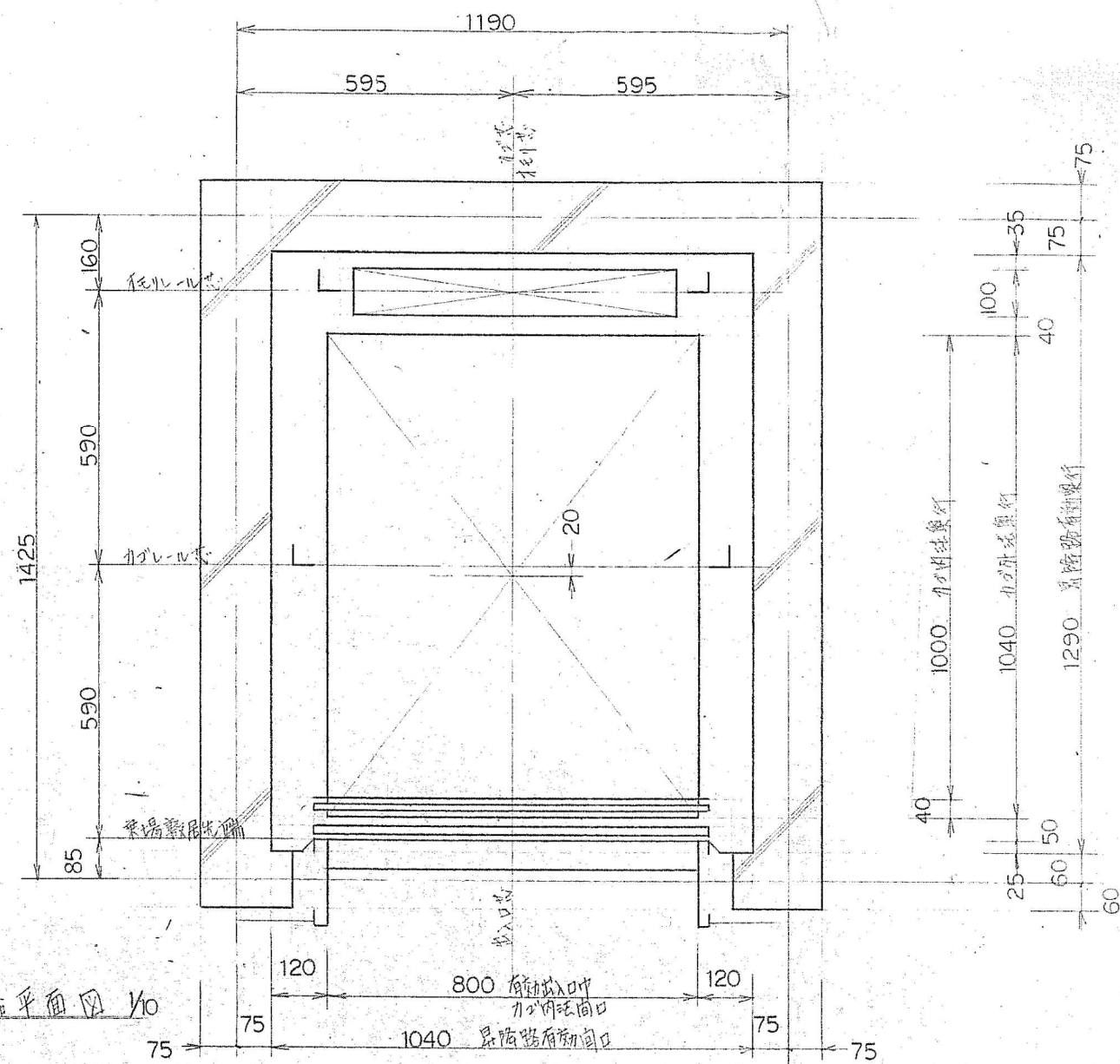


梁貫通補強要領

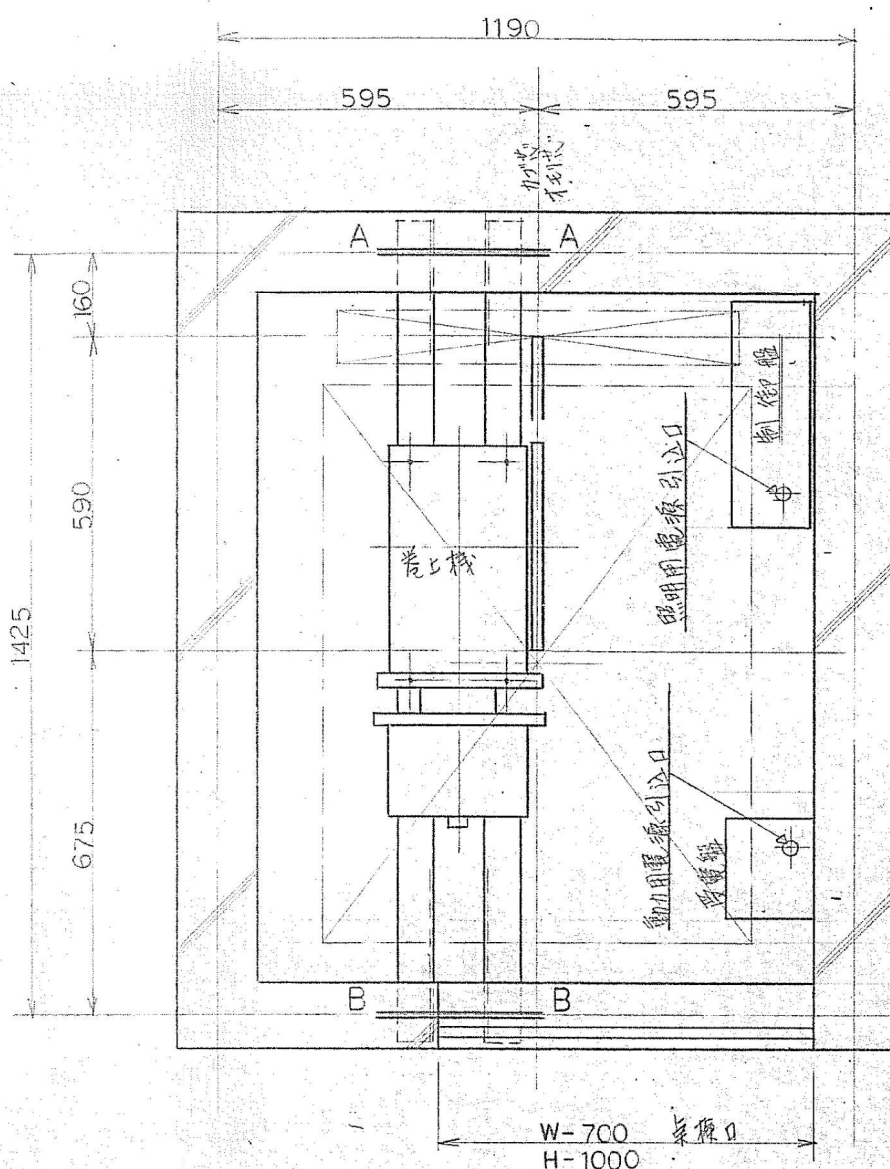


スラブ開口補強要領





吊钩行程平面図 1/10



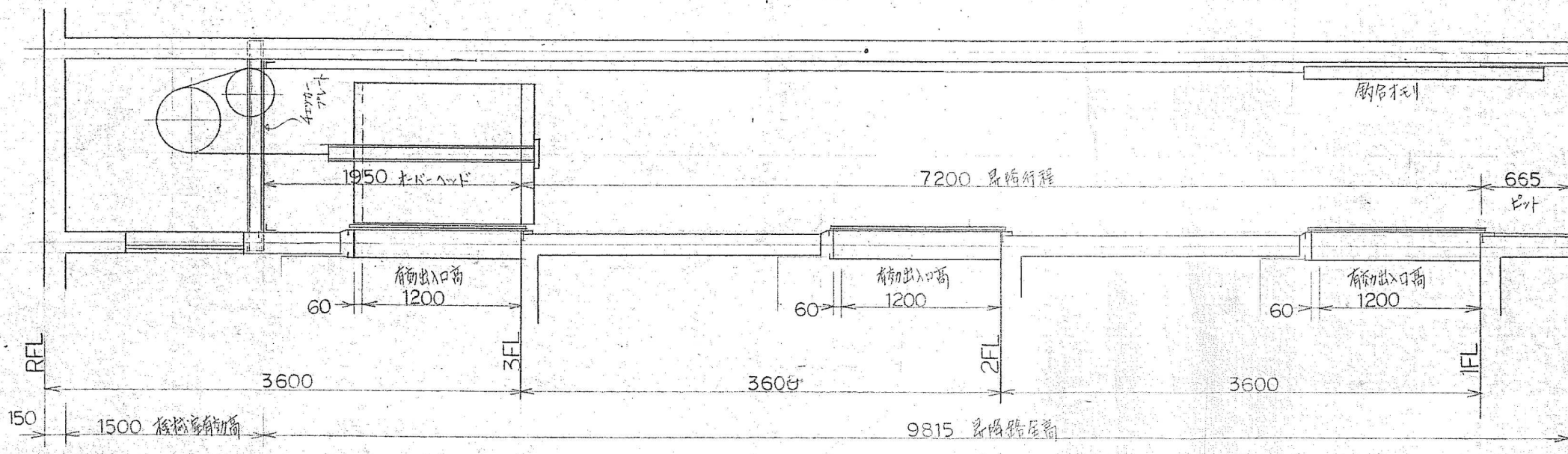
機械室平面図 1/10

梁の掛り荷重

- A-A 850 KG
- B-B 500 KG

ダムの仕様要項	
用途	小荷物運搬用
制御方式	交流1段速電動車式
操作方式	相互階制御
容量	200 kg
速度	20 %/min
停止箇所	1~3FL 計3箇所
開口法	開口800 × 奥行1000
出入口法	巾800 × 高さ1200
戸閉方式	出入口側工機戸工機下開工、カゴ側仕切棒
巻上電動機	1.5 kW 6P
電源	動力用三相交流 200V 照明用三相交流 100V 60Hz

- 別業工事 (下記工事, 本工事=含みません)
1. コンクリート穴明工事 (各階出入口穴, インテグータ穴, 機械室床穴)
  2. ビット防水工事
  3. 機械室配電盤, 制御盤, マチ, 動力用, 照明用電源, 配管, 配線工事
  4. 1F, 2F, 3F 接合工事 (300V 70mm<sup>2</sup>以上, 特別注3 種接合工事)
  5. 機械室内の照明設備, 相変換用コンセント設備

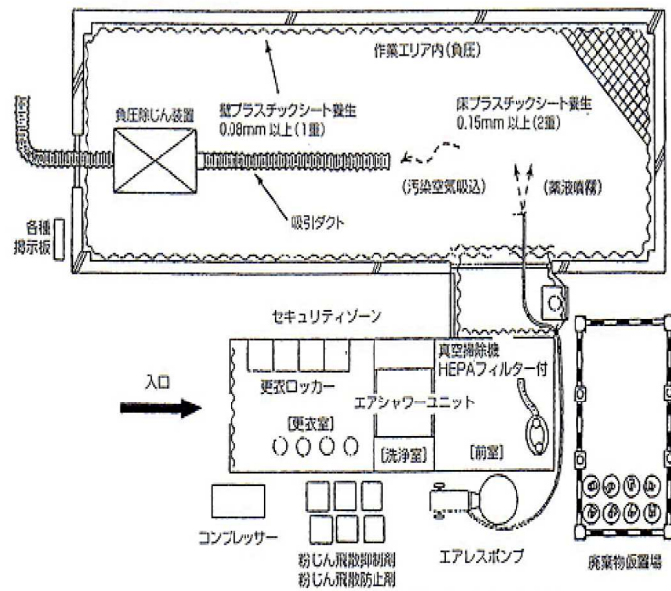


吊钩行程断面図 1/50

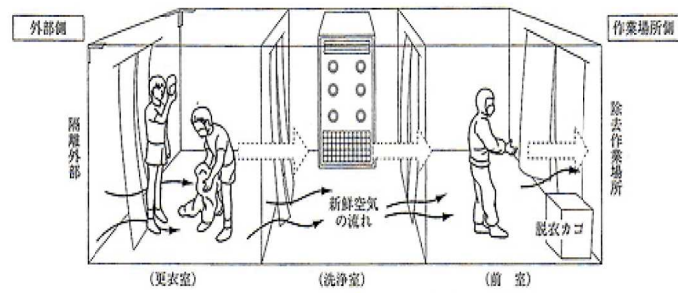
ビット防水工事  
使用可能な事は出来ません。



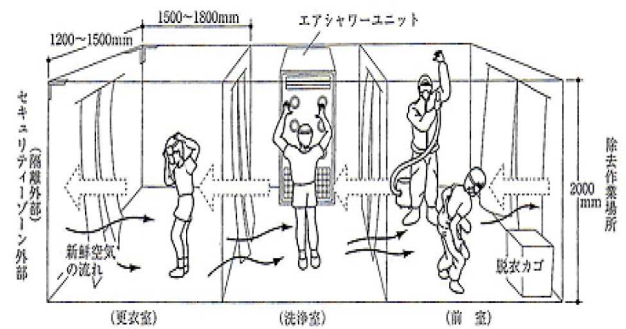
【セキュリティゾーン模式図】



【セキュリティゾーン使用模式図 入室時】



【セキュリティゾーン使用模式図 退室時】



【石綿含有吹付け材、石綿含有保温材等を切断等により除去等を行う場合の一般的手順】

事前準備	事前調査(元請業者が実施) ※1、2 ・書面調査 ・現地での目視調査 ・分析調査による判定または含有みなし	※1 書面及び現地での目視調査は、建築物石綿含有建材調査者講習登録規程に規定される石綿含有建材調査者等に依頼することが望ましい。(令和5(2023)年10月からは義務付け) ※2 分析調査は、厚生労働大臣が認める分析調査を実施するために必要な知識及び技能を有する者に依頼することが望ましい。(令和5(2023)年10月からは義務付け)
報告	元請業者者による事前調査結果の都道府県知事及び労働基準監督署への報告 ※3	※3 令和4(2022)年4月1日より、規模要件に応じて電子システムで報告する。*石綿無しでも報告必要 建築物の解体:80㎡以上 建築物の改修等、工作物:請負金額100万円以上
届出	発注者による作業実施の届出(大防法) 施工者による届出(安衛法・石綿則)	届出については請負業者が行うこと。
掲示板等による事前調査結果・作業内容の周知	事前調査結果・作業内容を公衆・作業員に見やすいように掲示 事前調査結果の現場への備え付け	下請負人への説明
作業前処理	負圧隔離養生(プラスチックシート等)による隔離、セキュリティゾーンの設置、集じん・排気装置の設置、負圧の確保 集じん・排気装置の点検・確認 作業場内及びセキュリティゾーンの負圧の確認	大防法・石綿則の石綿飛散防止措置 ・作業内容の掲示 ・作業場の負圧隔離養生(プラスチックシート等)による隔離、セキュリティゾーンの設置、HEPAフィルタを付けた集じん・排気装置を使用して排気することにより、作業場内の粉じんを処理するとともに作業場を負圧に保つ *集じん・排気装置は整備・点検したものであること ・除去の開始前及び中断時に、作業場内及びセキュリティゾーンの負圧を確認するとともに、集じん・排気装置が正常に稼働することを確認する ・除去する石綿含有吹付け材等を薬液等により湿潤化 ・除去の開始後速やかに、及び除去の開始後に集じん・排気装置を使用する場所を変更した場合、集じん・排気装置に付けたフィルタを交換した場合装置の排気口から粉じんの漏えいがないことを確認する ・除去後、取り残しがないこと及び計画どおり適切な飛散防止措置がとられていたことを確認する ・必要な知識を有する者が取り残しの有無を確認する ・除去後、石綿等の飛散を抑制するため、除去部分に粉じん飛散防止処理剤を散布する ・作業場内の清掃及び集じん・排気装置による十分な換気を行い作業場内の石綿を処理し、排出又は飛散のおそれがないことを確認した後、負圧隔離養生を解く
除去作業	石綿含有吹付け材等の湿潤化 石綿含有吹付け材等の除去 作業場内の清掃	作業開始直後及び定期的に、集じん・排気装置の排気口から粉じんの漏えいがないことや負圧が確保されていることを確認
事後処理	必要な知識を有する者による取り残しがないことの確認 ※4 除去部分への粉じん飛散防止処理剤の散布 負圧隔離養生内の石綿が飛散しないことの確認 負圧隔離養生解除(シート等の撤去) 仕上清掃 作業記録の作成、作業が適切に終了したことの確認 発注者への終了報告 確認結果の記録及び終了報告の保存	※4 確認を適切に行うために必要な知識を有する者 建築物: ※1の調査者等又は当該作業に係る石綿作業主任者 工作物: 当該作業に係る石綿作業主任者

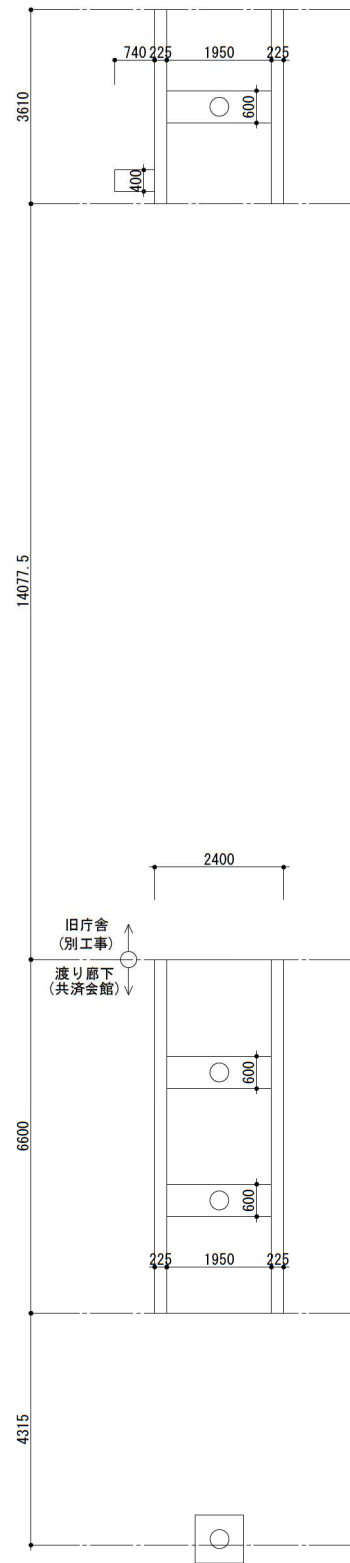
  : 石綿含有吹付け材等の使用がない場合でも必要な措置  
  : 石綿含有吹付け材等を切断等により除去する作業に必要な措置

参照: 環境省  
 「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル(令和3年3月 令和4年3月訂正事項を反映)」

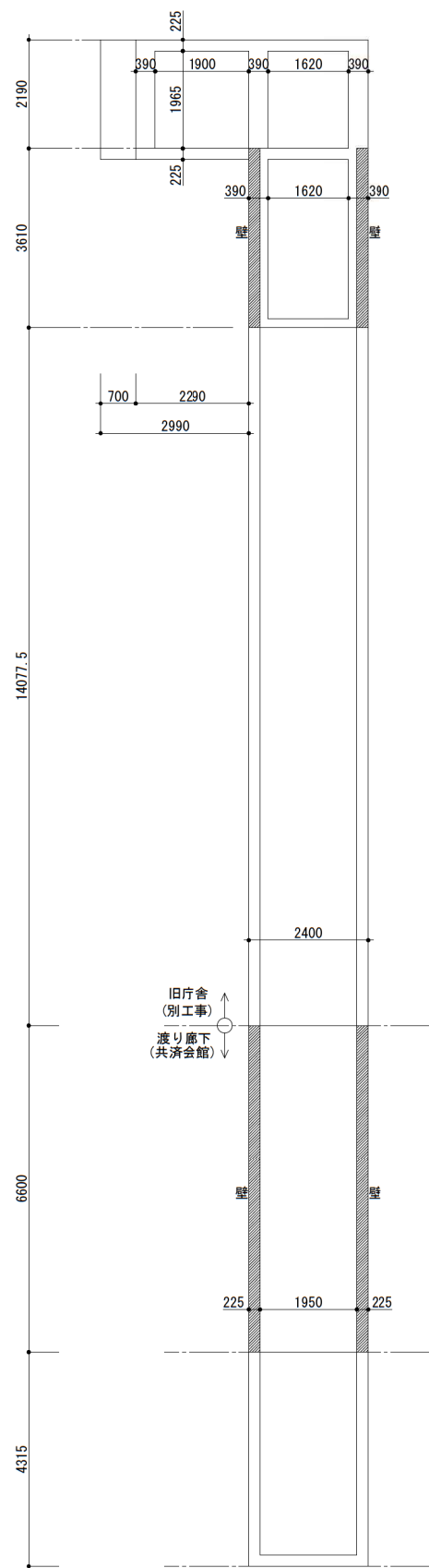


外部仕上表

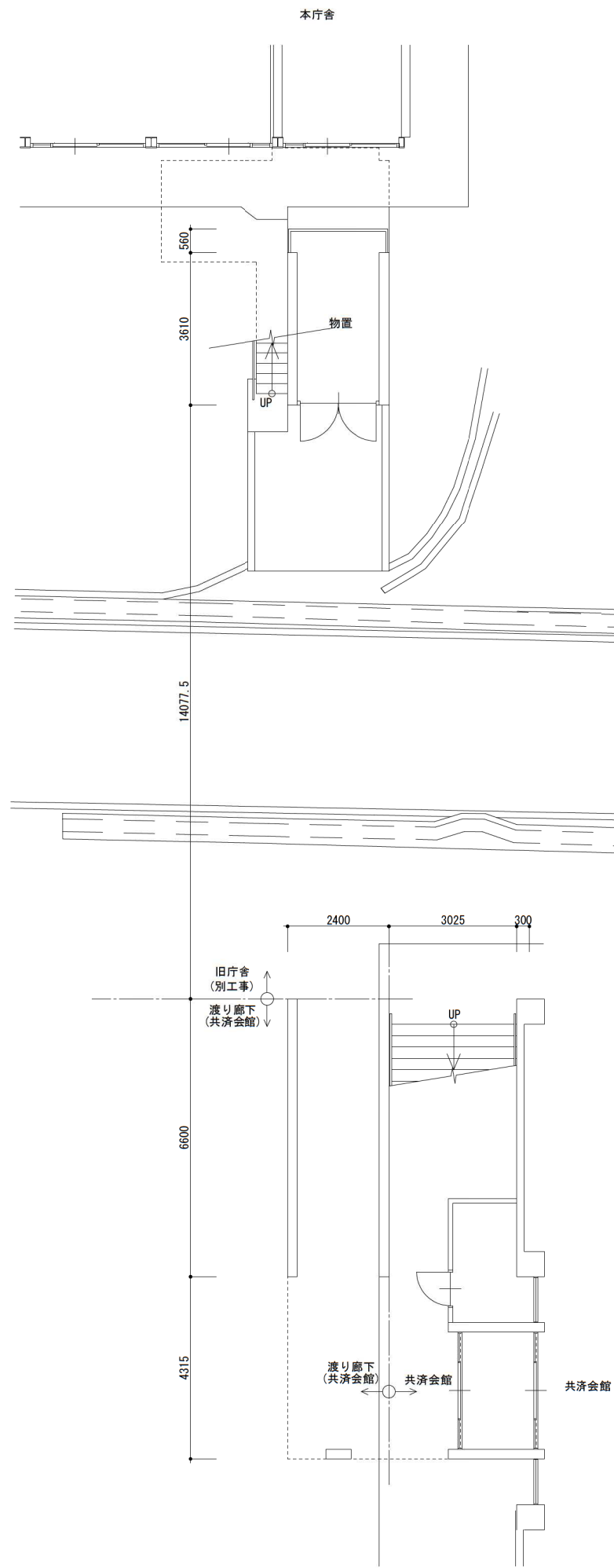
部位	名称
2F床	モルタルこて押えの上、防滑性ビニル床シート
外壁	コンクリート打放し 一部：スチール波板
巾木	同上
手摺	SUS
階段	プレキャストコンクリート厚150



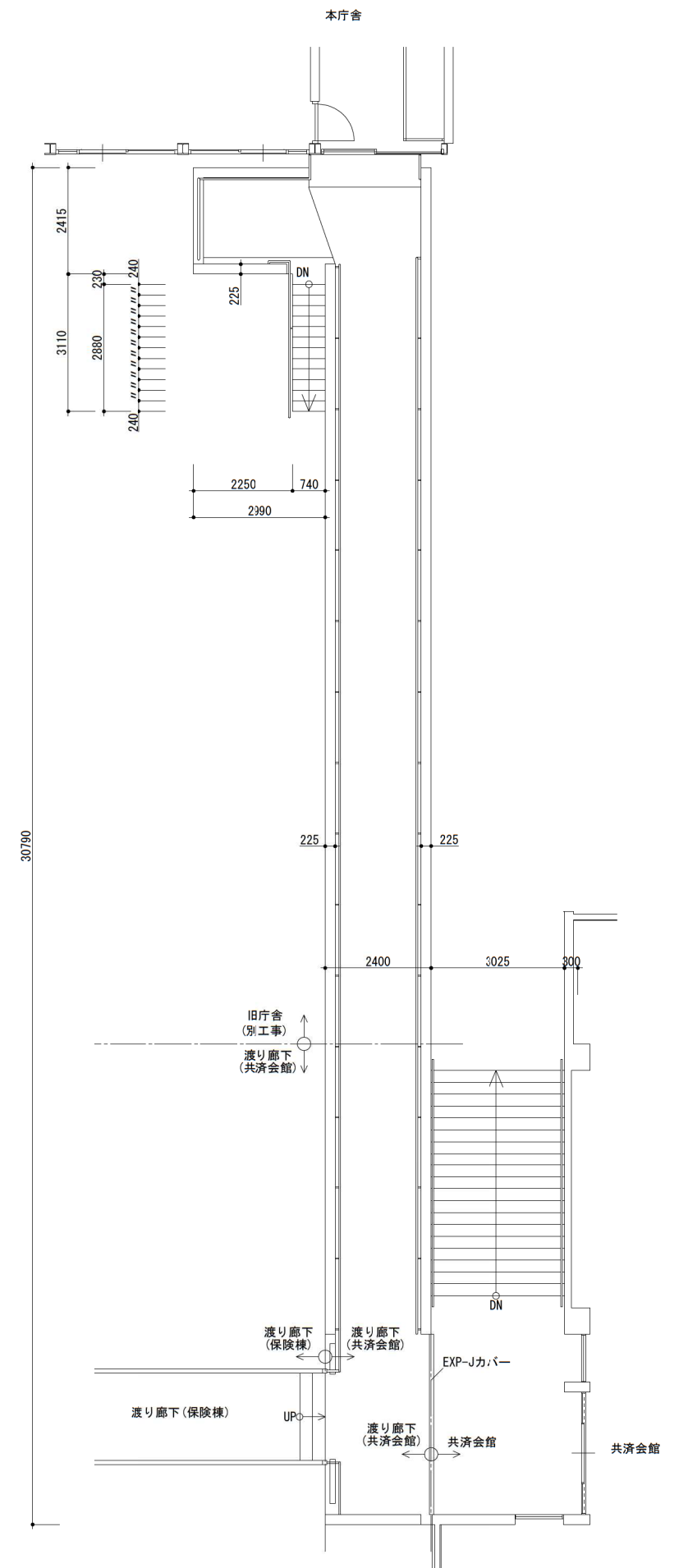
基礎伏図



梁伏図



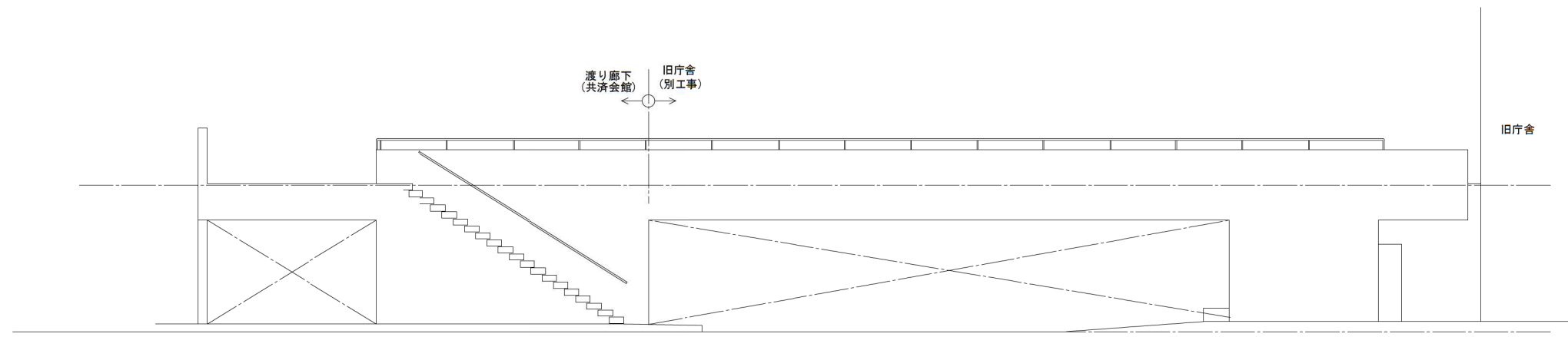
1階平面図



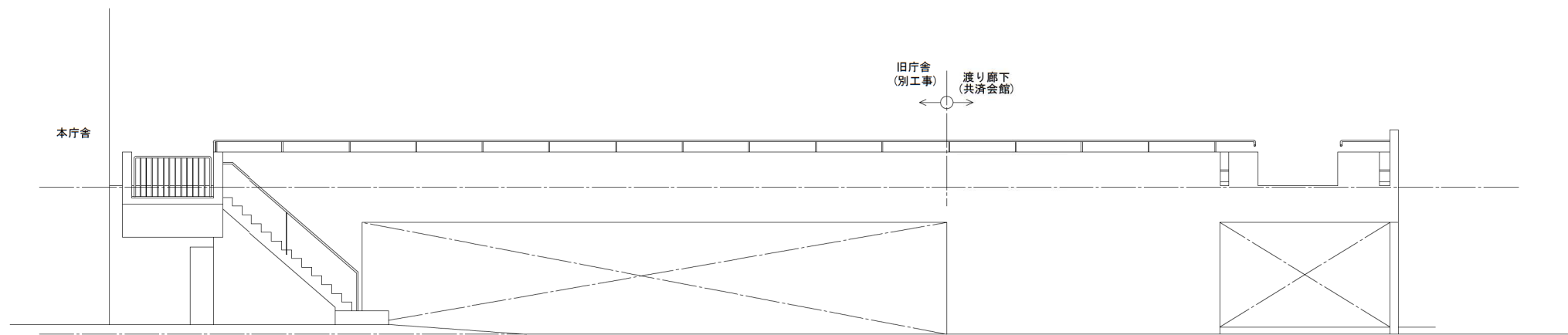
2階平面図

TITLE	DATE	NO
鳴門市共済会館等解体工事		Aa-24
NAME	SCALE	
渡り廊下(共済会館)平面図	1/100	
株式会社 川建設	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎

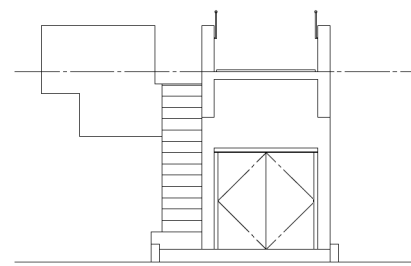




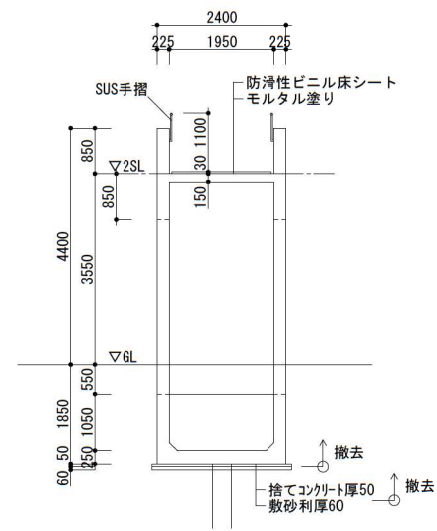
東側立面図



西側立面図



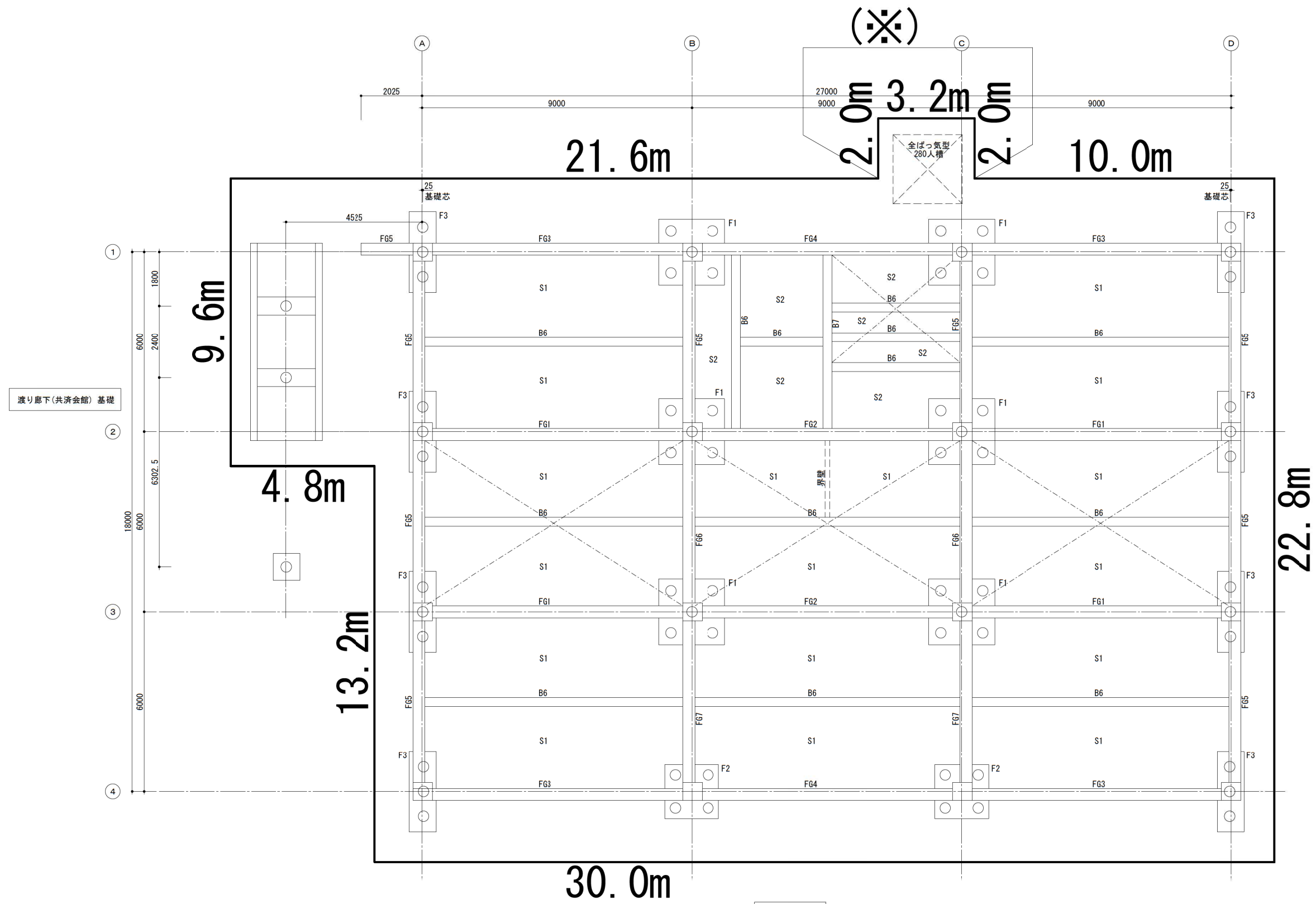
南側立面図



断面図

TITLE	DATE	NO
鳴門市共済会館等解体工事		Aa-25
NAME	SCALE	
渡り廊下(共済会館)立面図	1/100	
株式会社 川建設	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎





10.0m : 矢板の位置を示す

矢板断面図 1/200  
 (※)全ばっ気型280人槽周囲のみ  
 根切り底 GL-2.7m程度

山留め鋼矢板  
 (1) 工法 油圧圧入工法  
 (2) 種類 鋼矢板 SP-Ⅲ型  
 (3) 長さ L=6.5m(頭出し 0.5m)  
 (※)L=8.5m(頭出し 0.5m)  
 (4) 施工長 計119.0m(想定)

排水計画  
 ・排水ポンプ  
 ・ノッチタンク

矢板設置期間中上記の排水処理を予定する。  
 ノッチタンク及び水中ポンプを想定しているが  
 工事着手前に排水能力の再検討を行い、監督員  
 との協議により設置機器を決定する。

共済会館 基礎  
 ※特記なき限り、通り芯と基礎芯は一致する。

TITLE	DATE	NO
鳴門市共済会館等解体工事		Aa-26
NAME	SCALE	
共済会館 矢板伏図	1/100	
株式会社 川建設	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎

内部仕上表

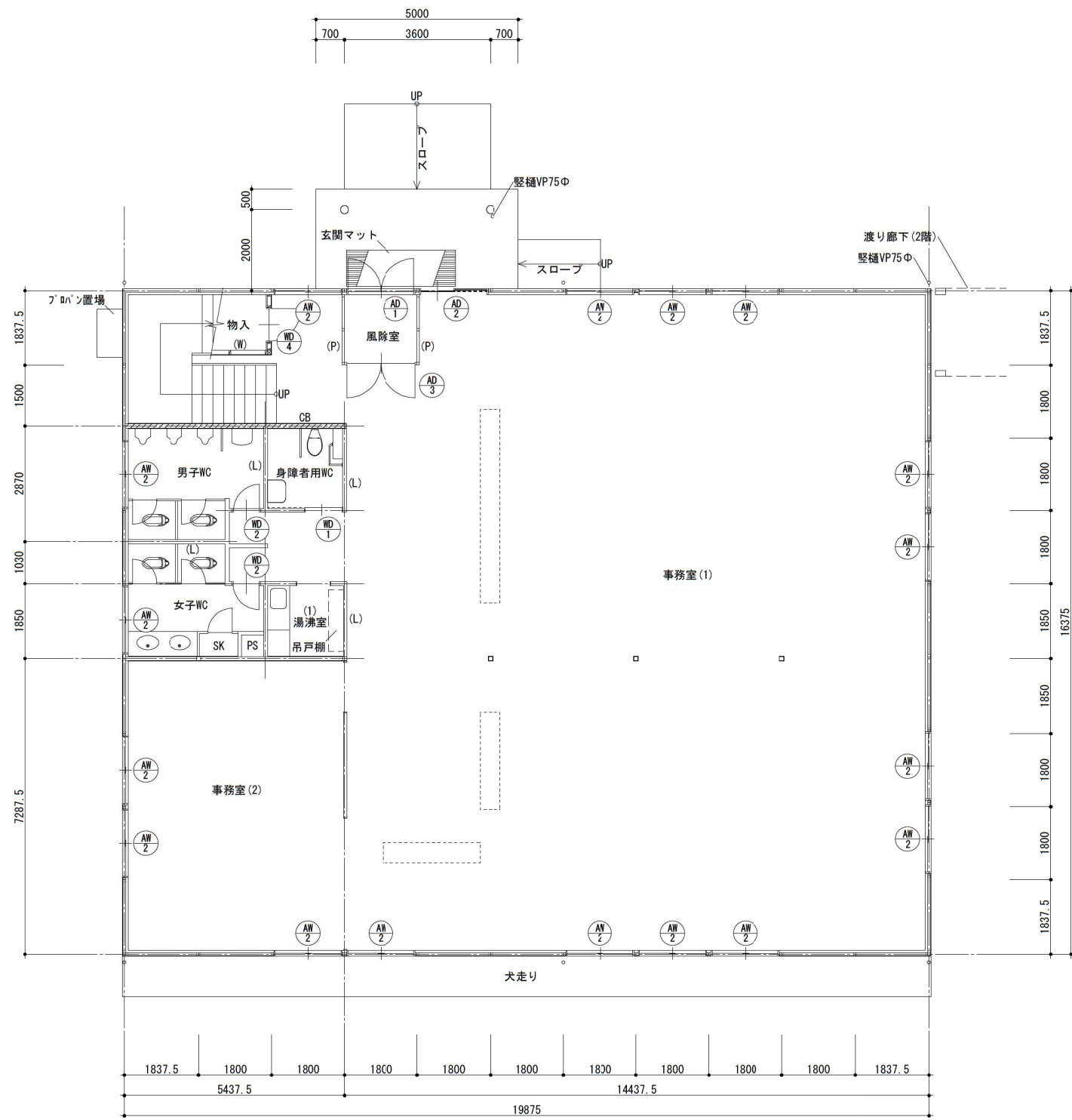
階	室名	床	巾木	壁	天井	CH	備考	設備
1	風除室	モルタル塗りの上、ビニル床シート張り			LGS下地の上、化粧石こうボード	2,500		
	事務室(1)	同上	ビニル巾木 H=60	石こうボード厚12.5の上、ビニルクロス張り	同上	2,500		エアコン天井カセット形(三菱・東芝・DAIKIN)計8台 パッケージエアコン(東芝A1K-AP803HA)2台 壁付換気扇 3台 スピーカー 2台
	事務室(2)	モルタル塗りの上、ビニル床シート張り 一部:モルタル塗りの上、カーペット敷き	同上	同上	同上	2,500		エアコン天井カセット形(三菱)1台 パッケージエアコン(東芝)1台
	湯沸室	モルタル塗りの上、ビニル床シート張り	同上	ケイ酸カルシウム板厚8の上、塗装	同上	2,400	ミニキッチン(1100×600、H=800) レンジ台(640×600、H=500) 吊戸棚(1500×370、H=500)	瞬間湯沸器(パロマPH-SBV-1)
	男子WC	モザイクタイル張り	100角タイル張り H=1150	同上	LGS下地の上、ケイ酸カルシウム板厚8	2,450		和便器 2台 小便器 3台 手洗器 1台 壁付換気扇 1台
	女子WC	同上	同上	同上	同上	2,450		和便器 2台 掃除流し 1台 手洗器 2台 壁付換気扇 1台
	身障者用WC	同上	同上	同上	同上	2,400		洋便器 2台 L形手摺 跳上手摺 手洗器 1台 天井換気扇 1台
	物入	モルタル塗りの上、ビニル床シート	ビニル巾木 H=60	石こうボード厚12.5の上、ビニルクロス張り	階段床PL現し			
	階段室	モルタル塗りの上、ビニル床シート PL-4.5の上、ビニル床シート	同上	同上	同上	LGS下地の上、化粧石こうボード	2,500	
	2	廊下	桧木27×90@300の上、コンパネ厚12、カーペット敷き	同上	同上	同上	2,350	
入札室		同上	同上	同上	同上	2,350		エアコン天井カセット形(三菱)1台 パッケージエアコン(東芝A1K-AP801H)1台 壁付換気扇 2台
会議室(財政分室)		同上	同上	同上	同上	2,350		エアコン天井カセット形(三菱)1台 パッケージエアコン(東芝A1K-AP800H)1台
倉庫		同上	同上	同上	同上	2,350		エアコン天井カセット形(三菱)1台 パッケージエアコン(東芝RAS-4069AV)1台
湯沸室		桧木27×90@300の上、コンパネ厚12、ビニル床シート	同上	ケイ酸カルシウム板厚8の上、塗装	同上	2,350	ミニキッチン(2100×550、H=800) レンジ台(600×550、H=630) 吊戸棚(1500×370、H=500)	壁付換気扇 1台
統計作業室		桧木27×90@300の上、コンパネ厚12、カーペット敷き	同上	石こうボード厚12.5の上、ビニルクロス張り	同上	2,350		エアコン天井カセット形(三菱)1台 パッケージエアコン(東芝A1K-AP504H)1台 スピーカー 1台
介護保険認定検査室		同上	同上	同上	同上	2,350		パッケージエアコン 1台
事務室(3)		同上	同上	同上	同上	2,350		エアコン天井カセット形(三菱)2台 パッケージエアコン(東芝)1台 壁付換気扇 2台

外部仕上表

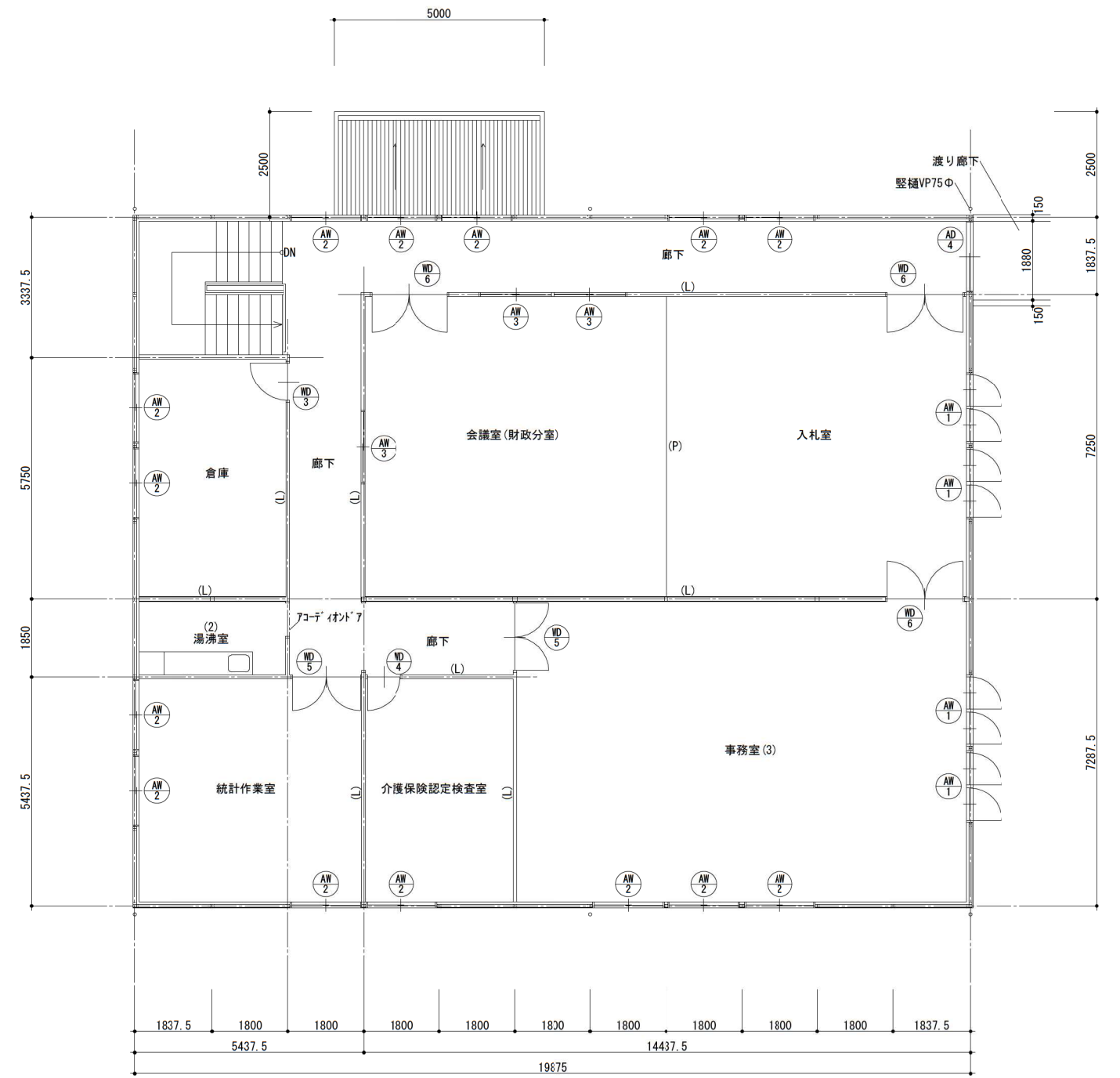
屋根	折板屋根厚0.6 H=90
外壁	鉄板サイディング
巾木	モルタル塗り
樋	塩ビ Φ75
パラペット	塩ビ鋼板厚0.3 H=300
庇・軒裏	スバンドレル(玄関庇)

TITLE	DATE	NO
鳴門市共済会館等解体工事		Ab-01
NAME	SCALE	
保険棟 仕上表		
株式会社 川建設	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎





1階 平面図

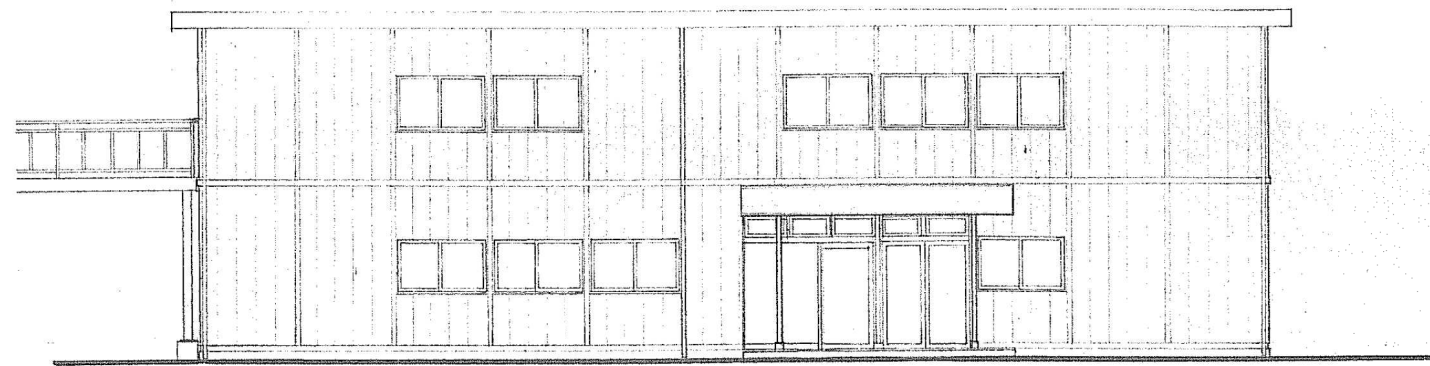


2階 平面図

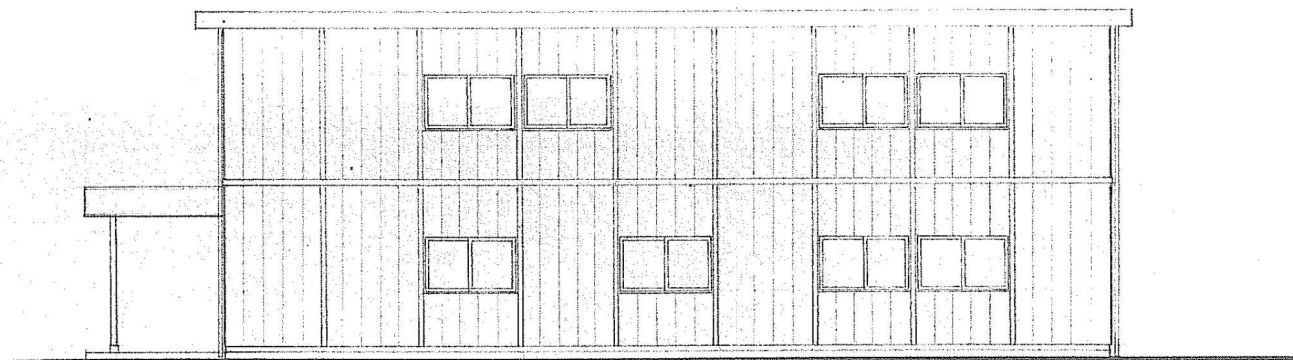
保険棟 壁仕様

- CB CB造間仕切壁 厚150(便所間仕切壁のみ厚100)
- CB CB造間仕切壁 厚150(便所間仕切壁のみ厚100)
- (L) 間仕切壁 (LGS65+せっこうボード厚12.5両面張り)
- (P) 鋼製パーテーション

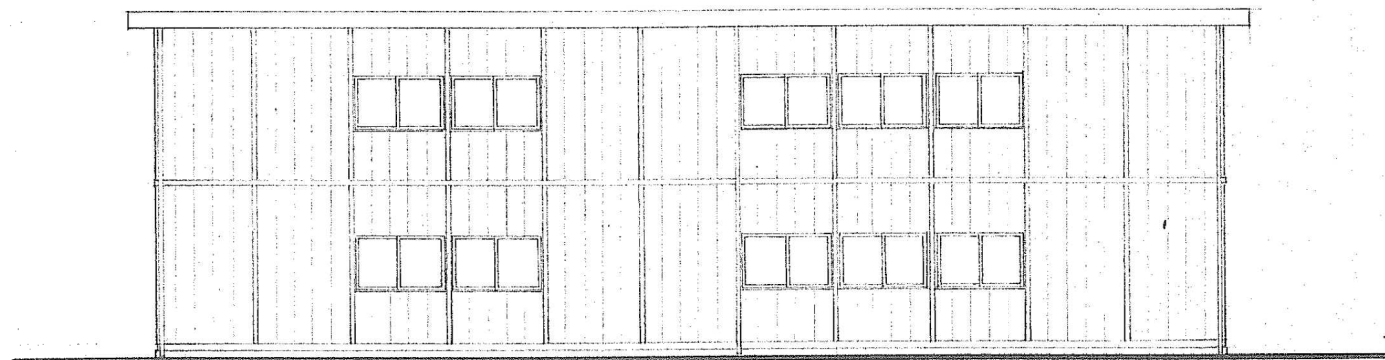
TITLE	DATE	NO
鳴門市共済会館等解体工事		Ab-02
NAME	SCALE	
保険棟 平面図		1/100
株式会社 川建設	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎



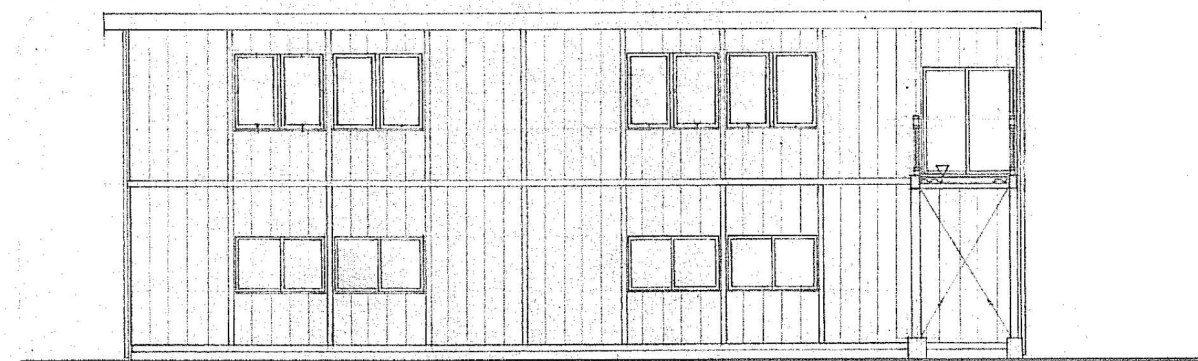
北立面図 1:100



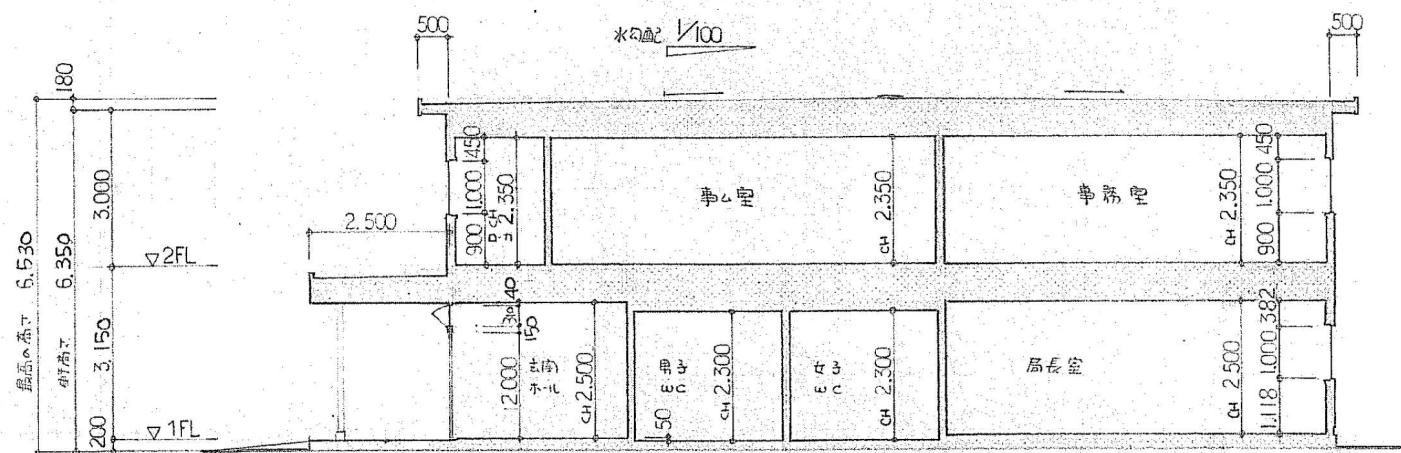
西立面図 1:100



南立面図 1:100



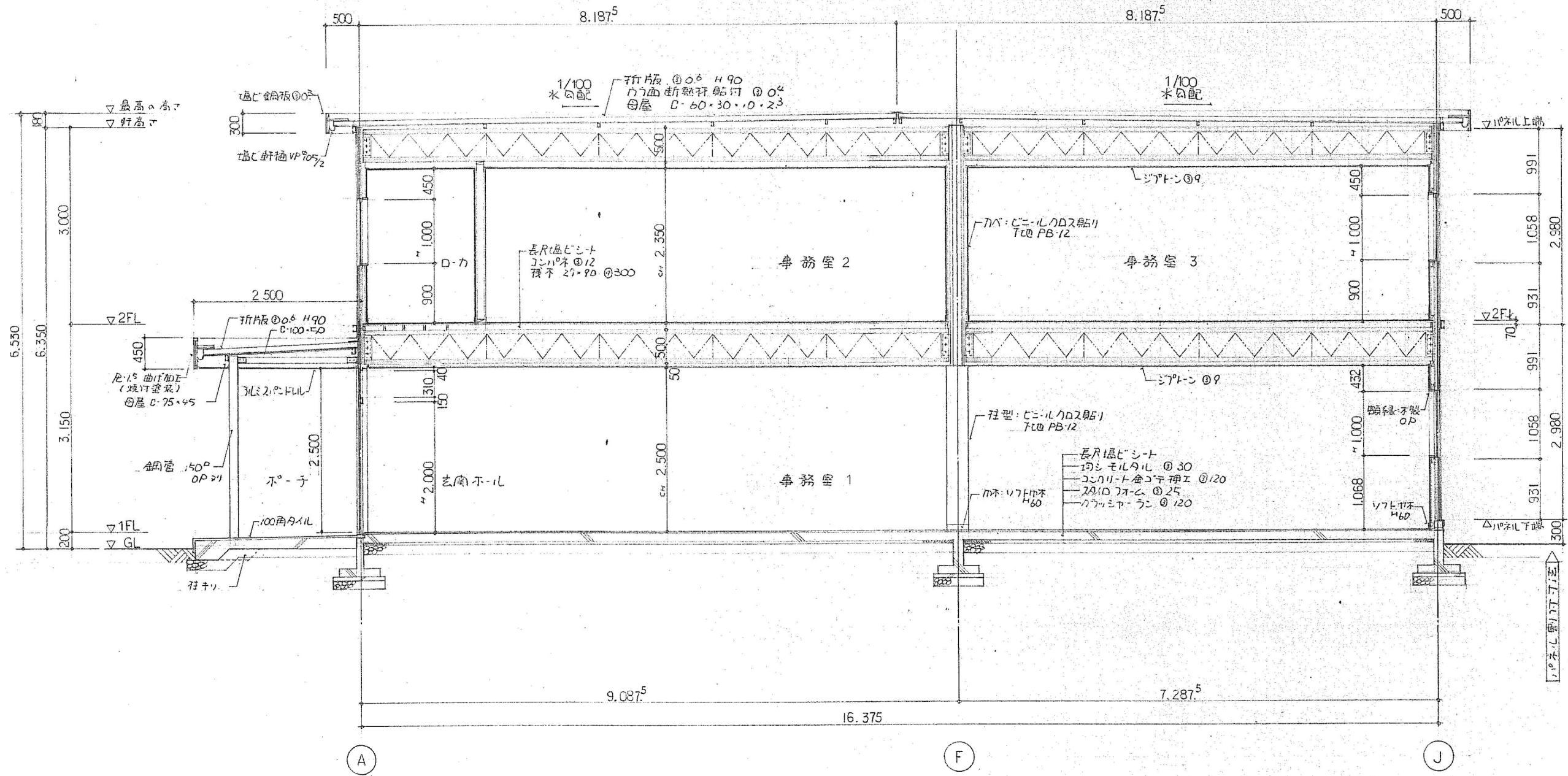
東立面図 1:100



断面図 1:100

TITLE	DATE	NO
鳴門市共済会館等解体工事		Ab-03
NAME	SCALE	
保険棟 立面図、断面図	1/100	
株式会社 川建設	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎

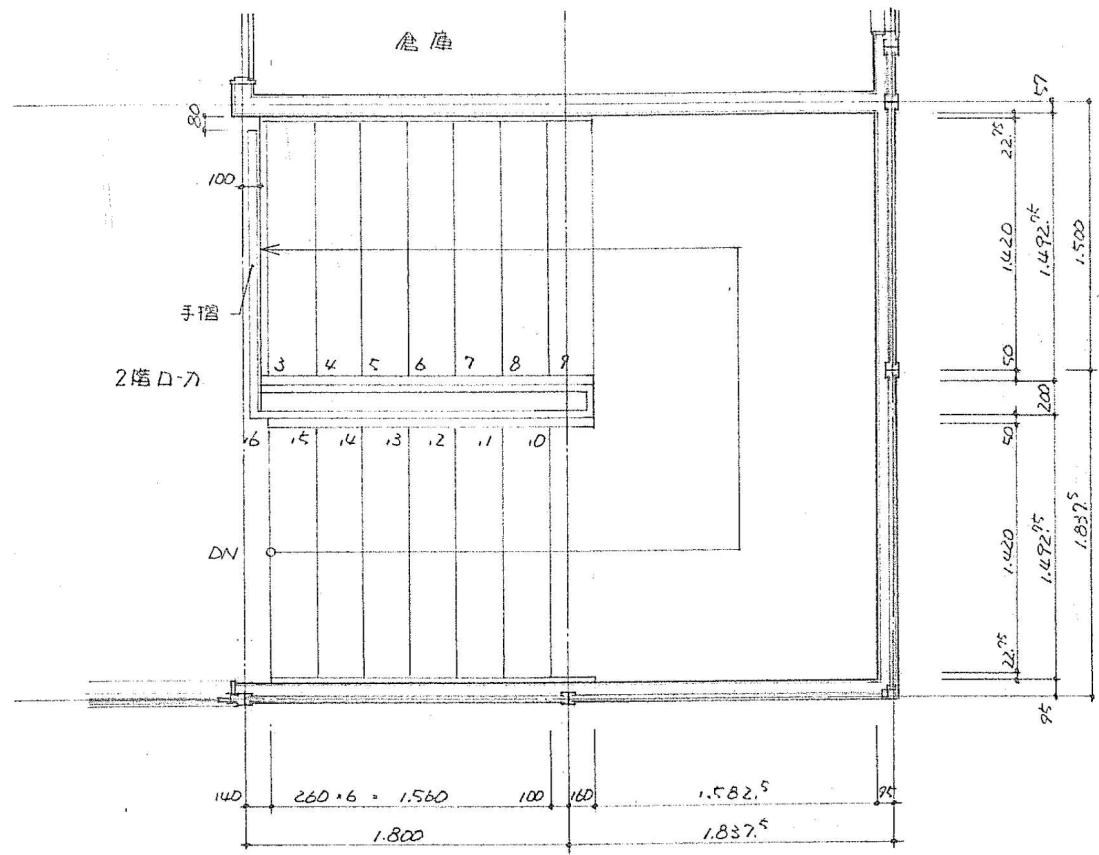




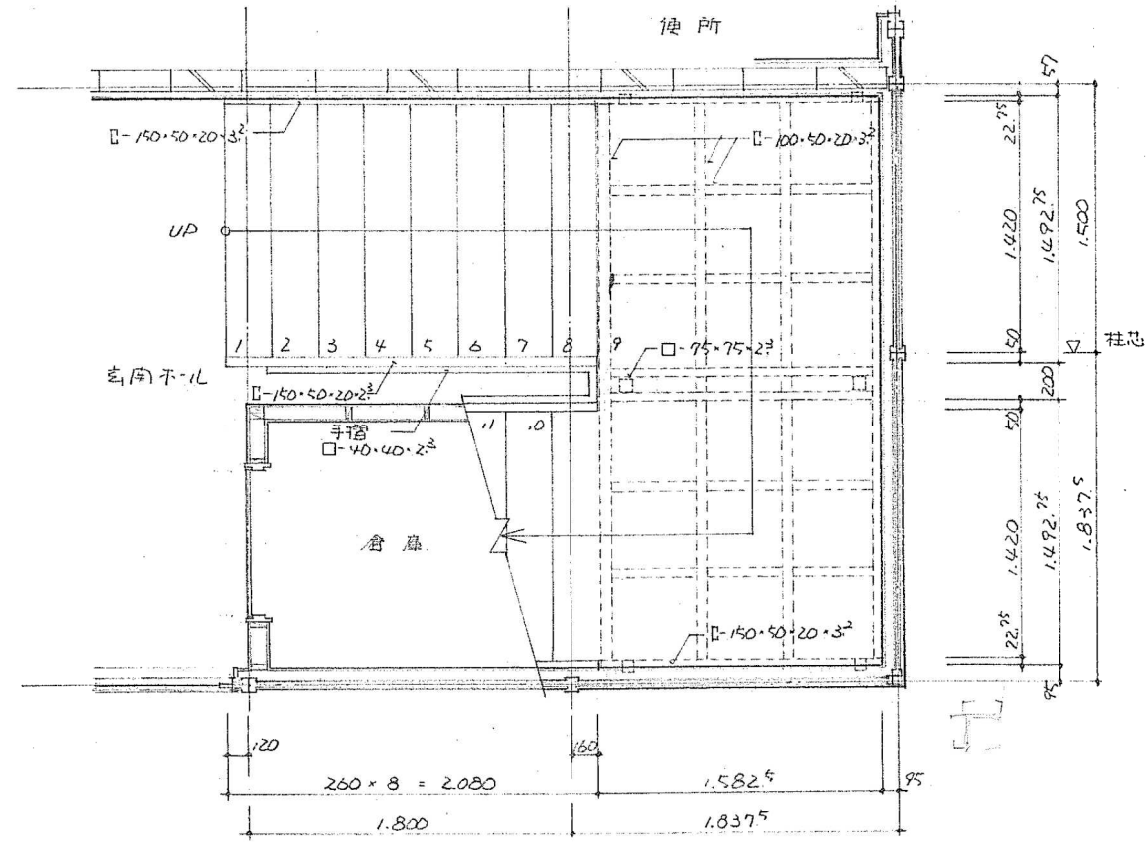
距計図 1/50

TITLE	DATE	NO
鳴門市共済会館等解体工事		Ab-04
NAME	SCALE	
保険棟 距計図	1/50	
株式会社 川建設	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎

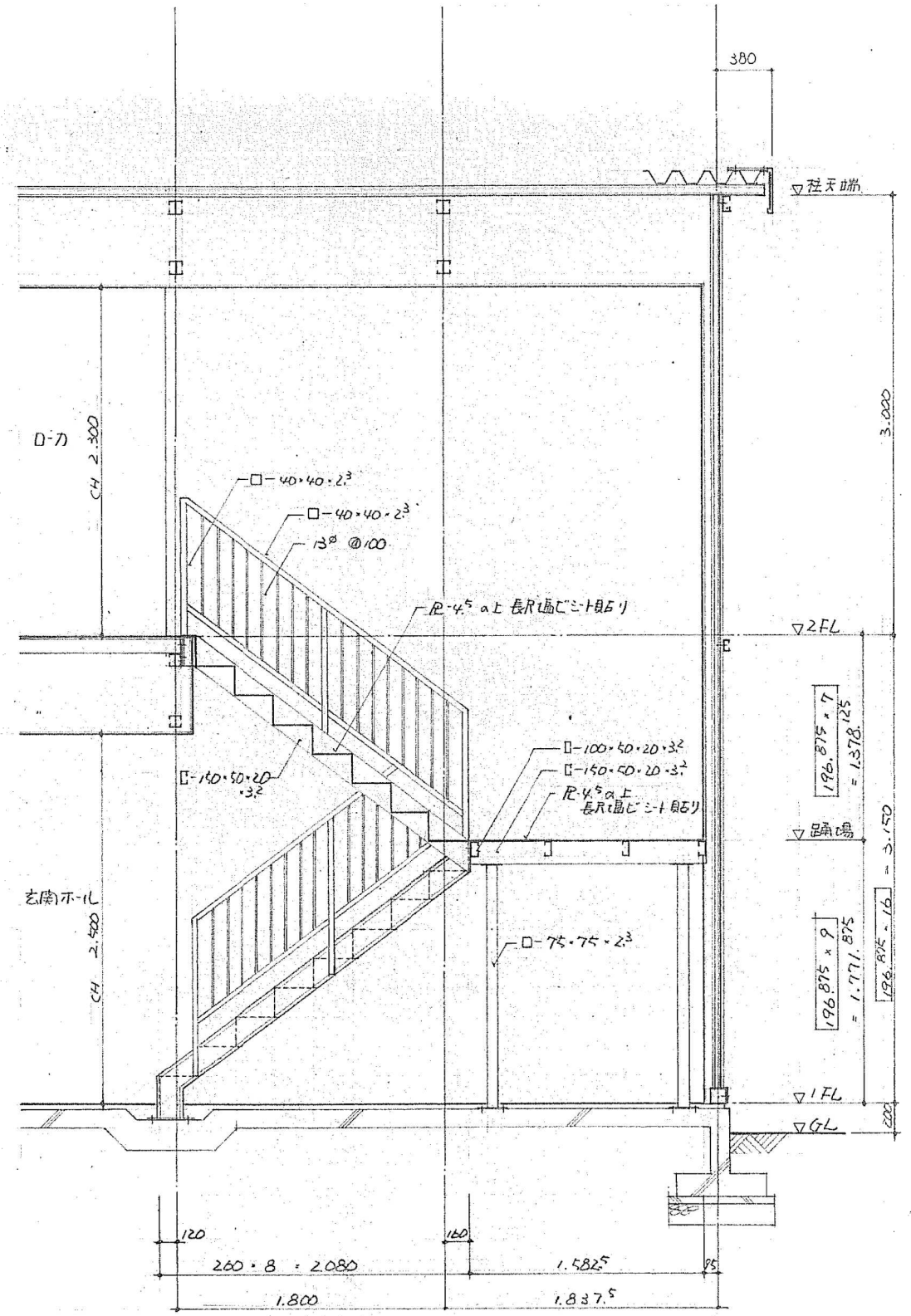




2階平面図 1/30



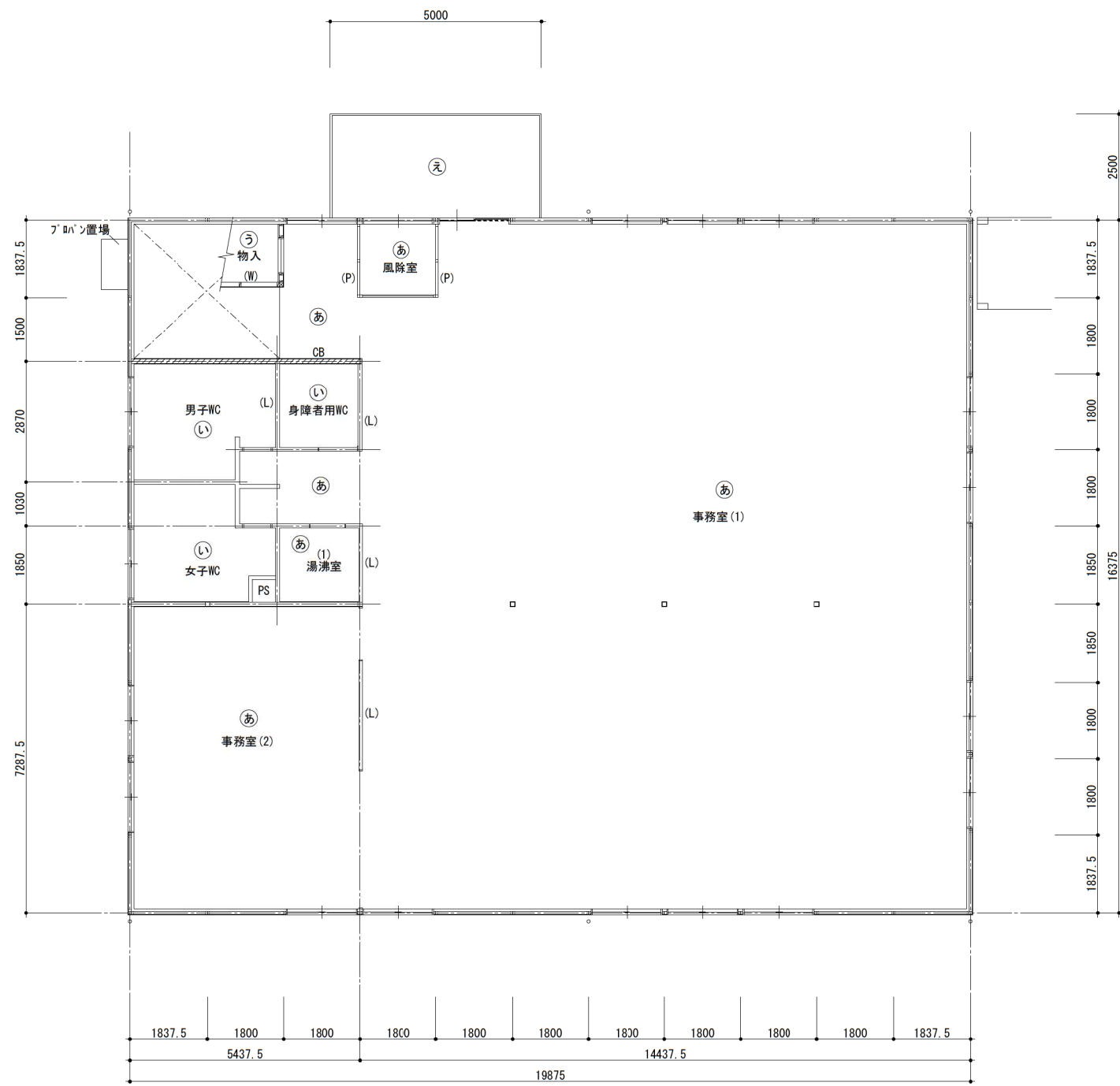
1階平面図 1/30



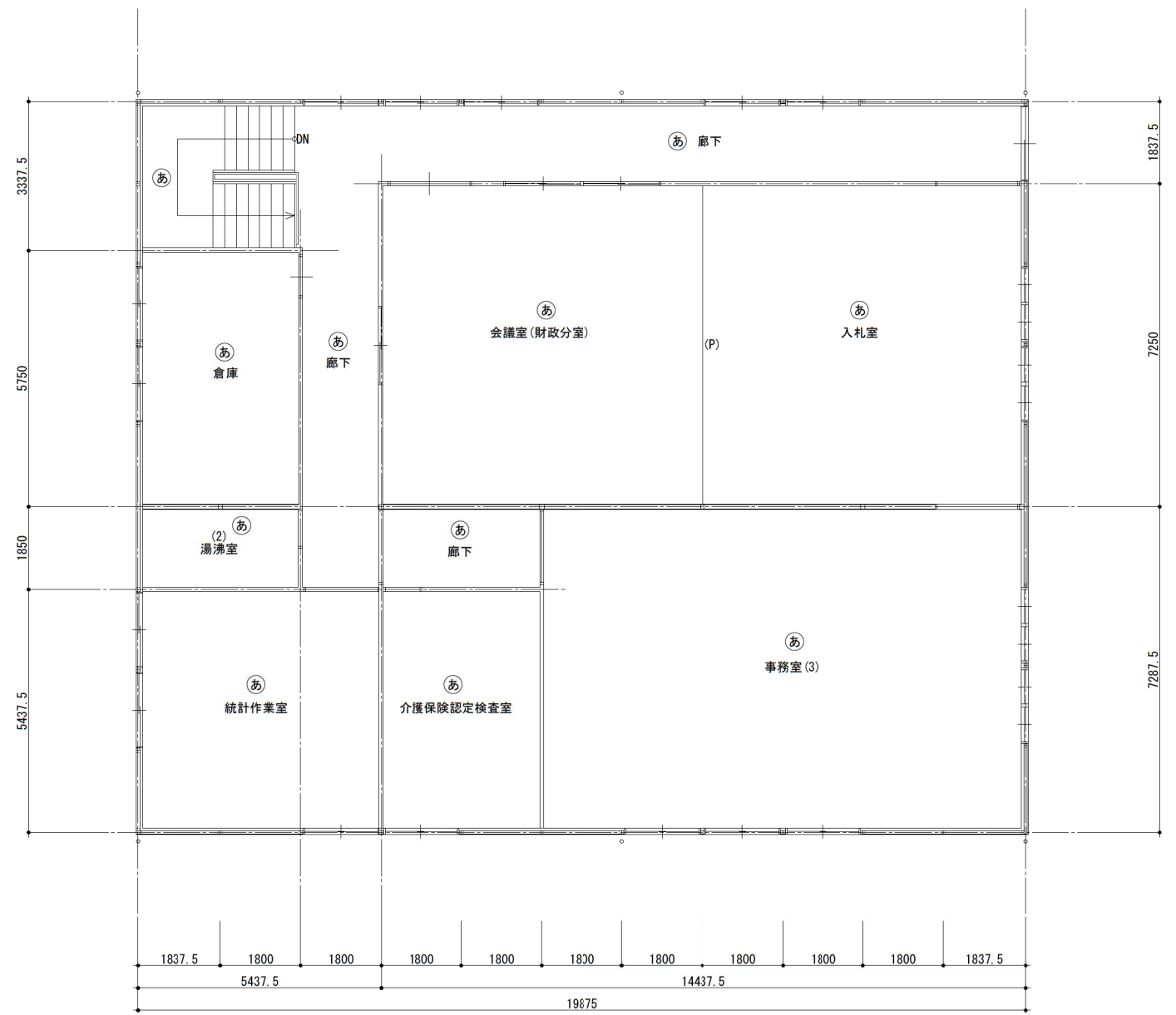
断面詳細図 1/30

TITLE	DATE	NO
鳴門市共済会館等解体工事		Ab-05
NAME	SCALE	
保険棟 階段詳細図	1/30	
株式会社 川建設	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎





1階 天井伏図



2階 天井伏図

記号	仕上
㊦	LGS下地の上、化粧石こうボード
㊧	LGS下地の上、ケイ酸カルシウム板厚8
㊨	階段床PL現し
㊩	LGS下地の上、アルミスパンドレル

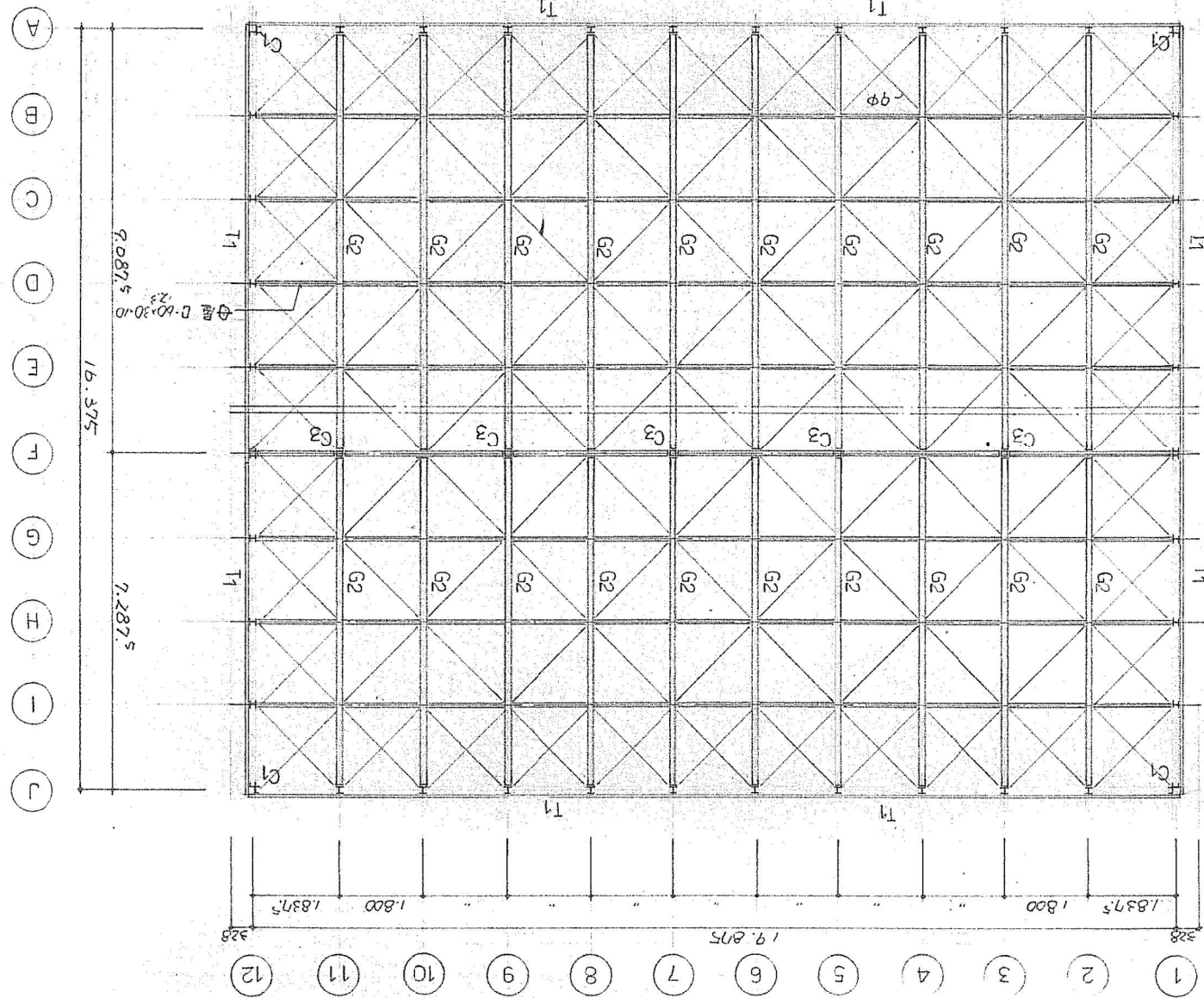
TITLE	DATE	NO
鳴門市共済会館等解体工事		Ab-06
NAME	SCALE	
保険棟 天井伏図		1/100
株式会社 川建設	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎

記号	① AD	② AD	③ AD	④ AD	① AW	② AW	③ AW
姿図							
型式	外倒し欄間付両開き框戸	外倒し欄間付片引き自動ドア	外倒し欄間付両開き框戸	引違いアルミドア	片開きアルミサッシ	引違いアルミサッシ	引違いアルミサッシ
材質(見込)	アルミ (100)	アルミ (100)	アルミ (70)	アルミ (70)	アルミ (70)	アルミ (70)	アルミ (70)
室名(数量)	風除室 (1)	事務室(1)	風除室 (1)	2F廊下 (1)	入札室ほか (4)	入札室ほか (31)	会議室(財政分室) (3)
ガラス	網入りガラス厚6.8	網入りガラス厚6.8	透明ガラス厚5	透明ガラス厚5、アルミパネル	透明ガラス厚5	透明ガラス厚5	型板ガラス厚5
金物等							
記号	① WD	② WD	③ WD	④ WD	⑤ WD	⑥ WD	
姿図							
型式	片引きフラッシュ戸	片引きフラッシュ戸	片引きフラッシュ戸	片引きフラッシュ戸	両引きフラッシュ戸	両引きフラッシュ戸	
材質(見込)	ポリ合板フラッシュ (40)	ポリ合板フラッシュ (40)	ポリ合板フラッシュ (40)	ポリ合板フラッシュ (40)	ポリ合板フラッシュ (40)	ポリ合板フラッシュ (40)	
室名(数量)	身障者用WC (1)	男子WC、女子WC (2)	倉庫 (1)	介護保険認定検査室 (2)	統計作業室ほか (2)	入札室ほか (3)	
ガラス	型板ガラス厚5						
金物等							
記号	① TP	② TP					
姿図							
型式	トイレパーテーション	トイレパーテーション					
材質(見込)	ポリ合板フラッシュ (40)	ポリ合板フラッシュ (40)					
室名(数量)	女子WC (1)	男子WC、女子WC (2)					
ガラス							
金物等							



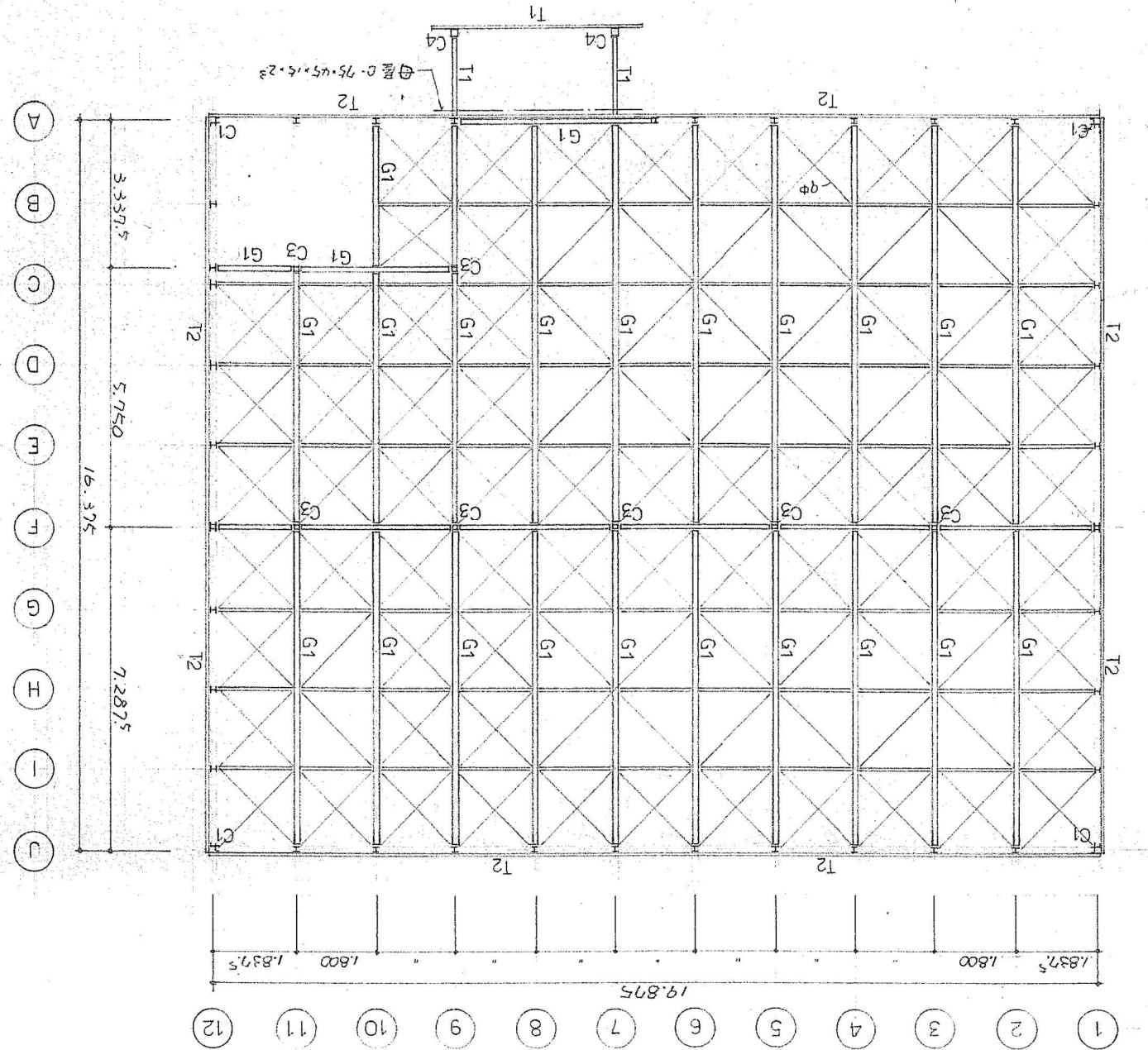






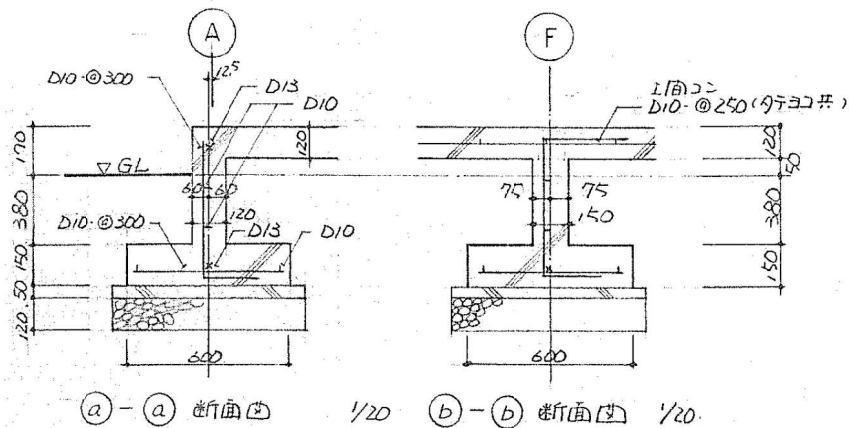
R階梁伏図 1/100

※特記なき限り、つなぎ梁はT1、柱はC2とする。



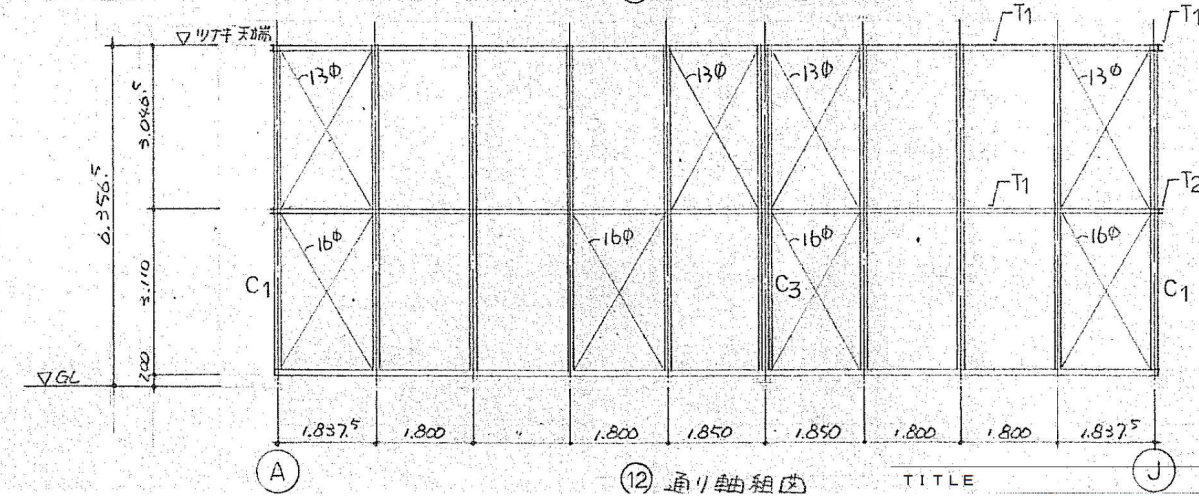
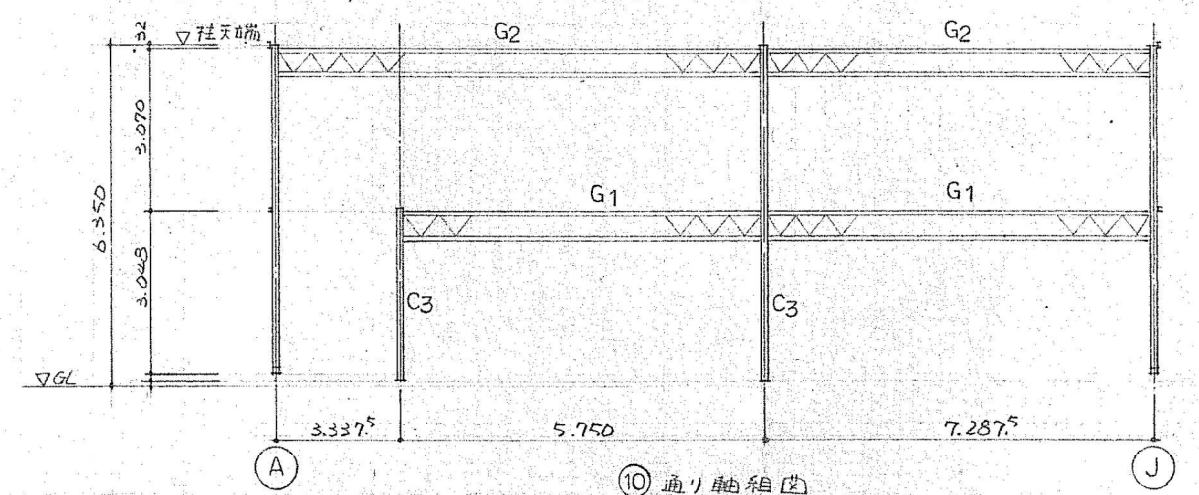
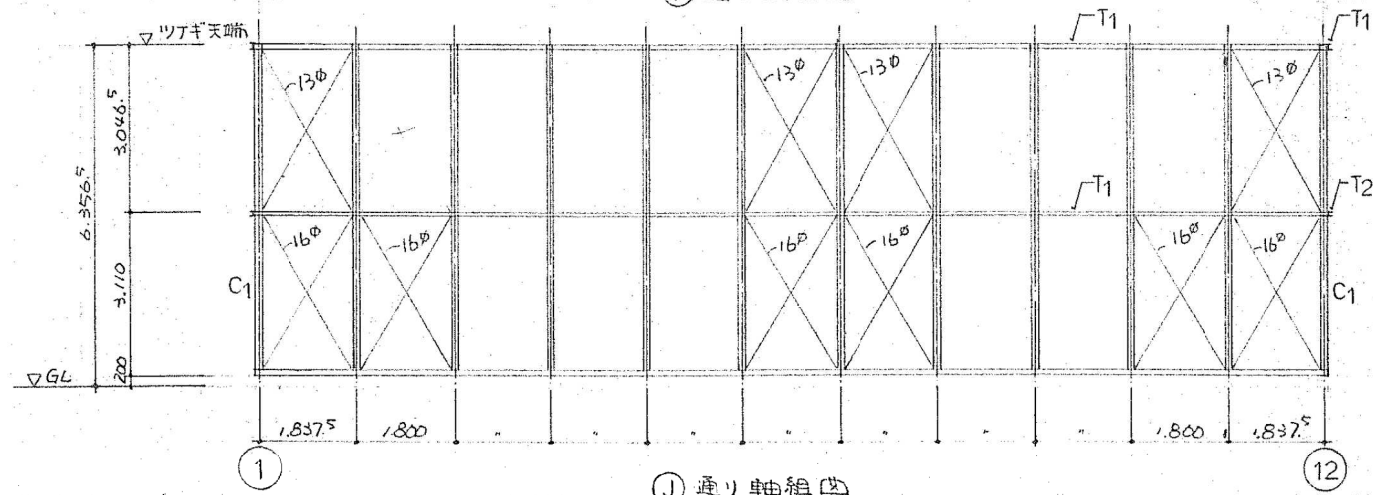
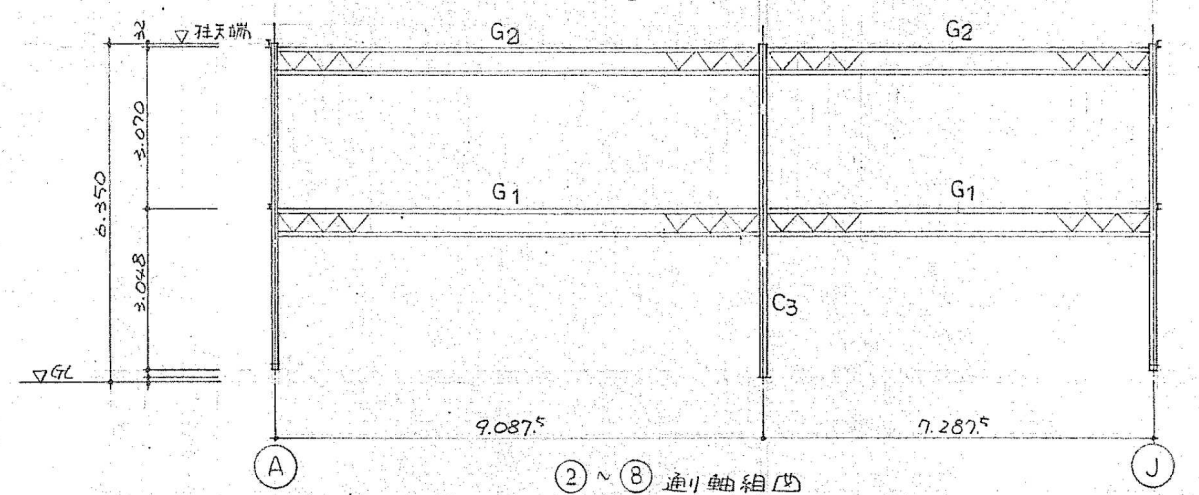
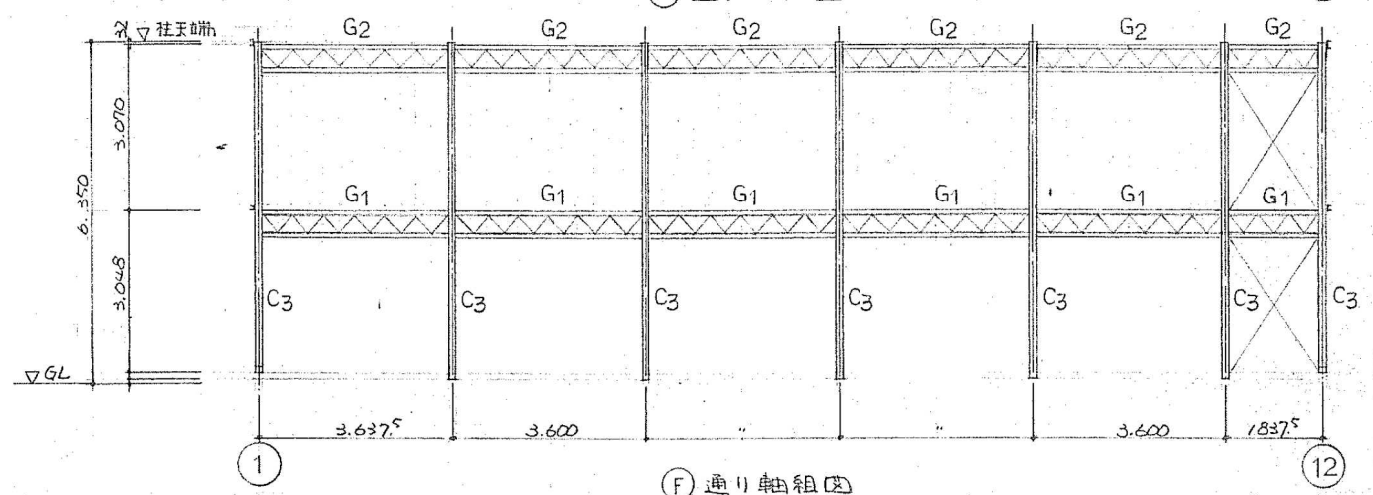
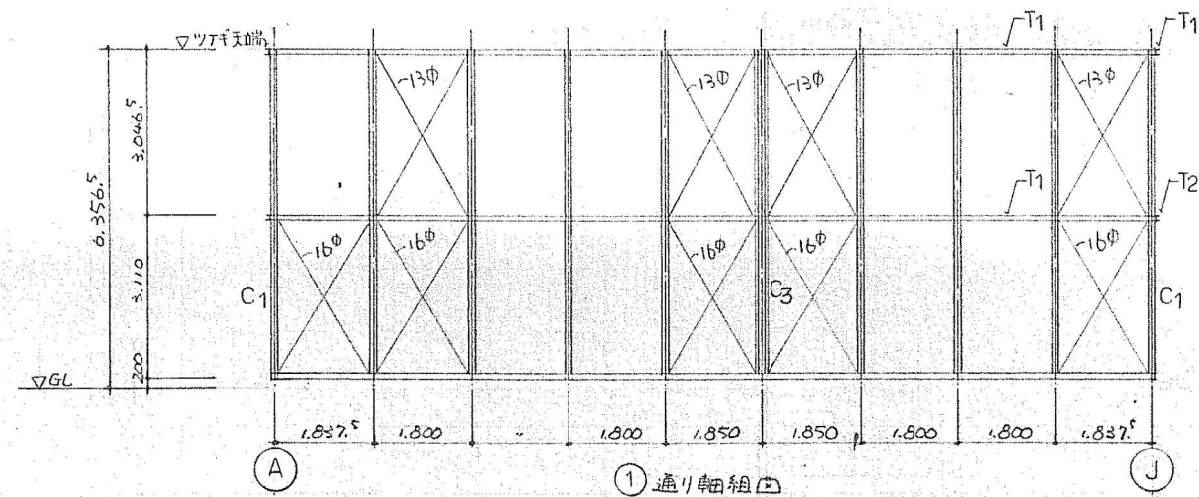
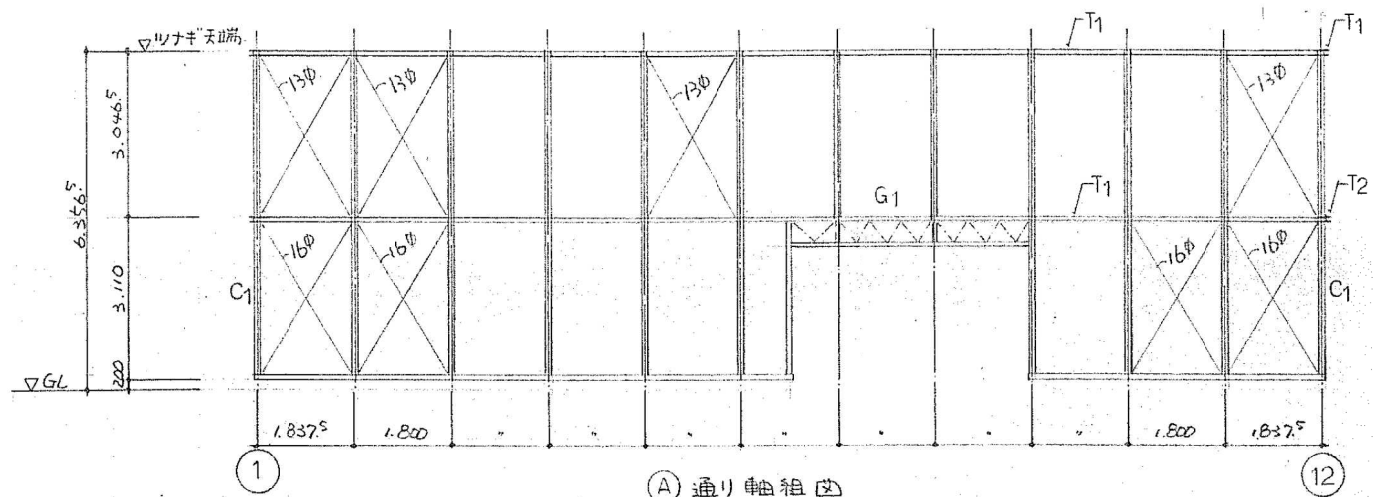
2階梁伏図 1/100

※特記なき限り、つなぎ梁はT1、柱はC2とする。

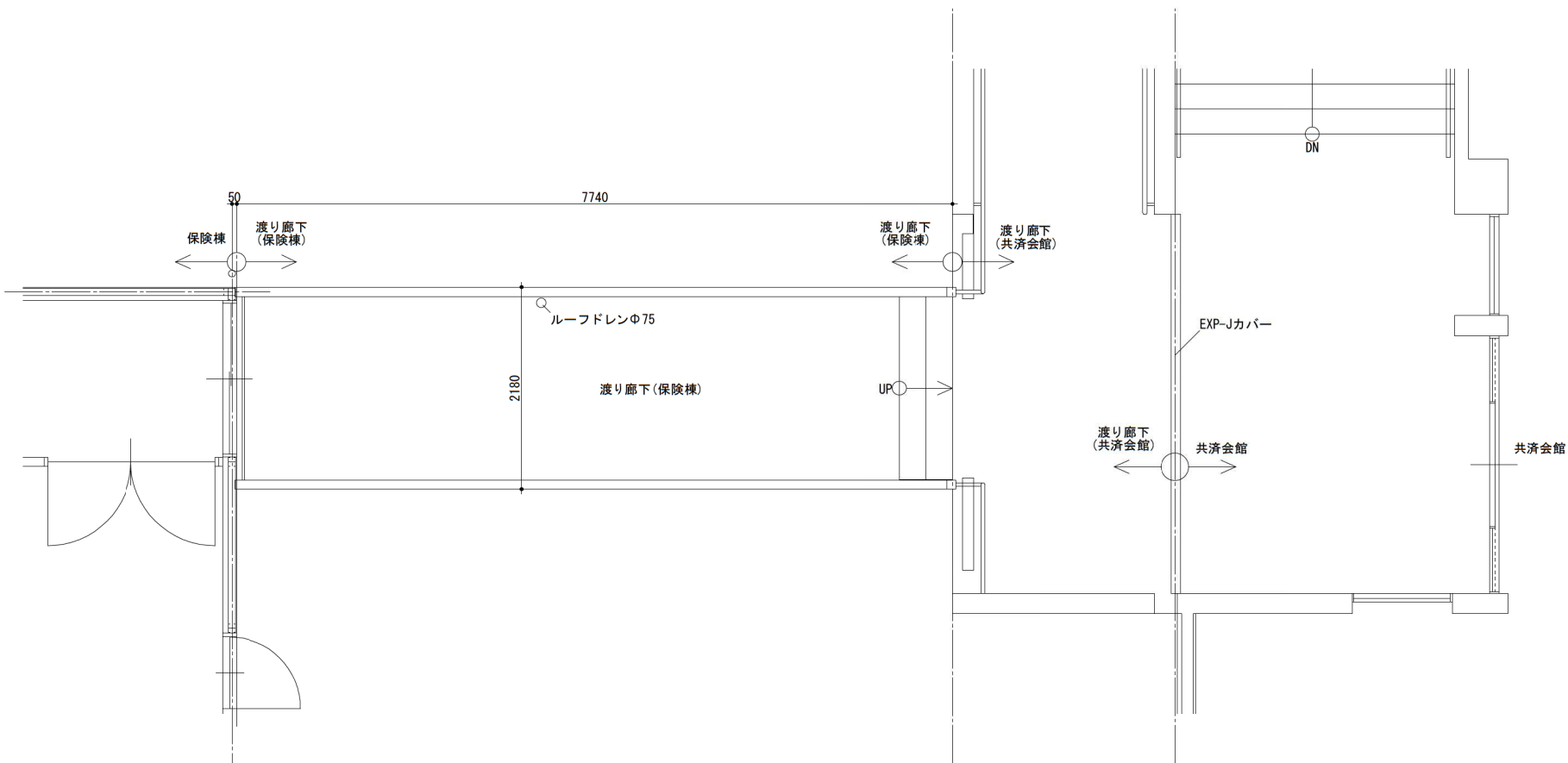


記号	名称	寸法	記号	名称	寸法
C1	柱	2D-75・45・15・2.3	T1	つなぎ梁	C-75・45・15・2.3
C2	"	LIPH-75・90・15・2.3	T2	"	C-60・30・10・2.3
C3	"	□-100・100・3.2			
C4	"	□-75・75・2.3			
G1	大梁	上弦材 2D-100・50・20・2.3 下弦材 2D-75・45・15・2.3			
G2	"	上弦材 2D-75・45・15・2.3 下弦材 2D-75・45・15・2.3			
		つなぎ材 φ48.6・2.3		土台	□-100・100・2.3
		φ48.6・2.3		ジョイス	9 <sup>φ</sup> ~16 <sup>φ</sup> A-2バットリル編み

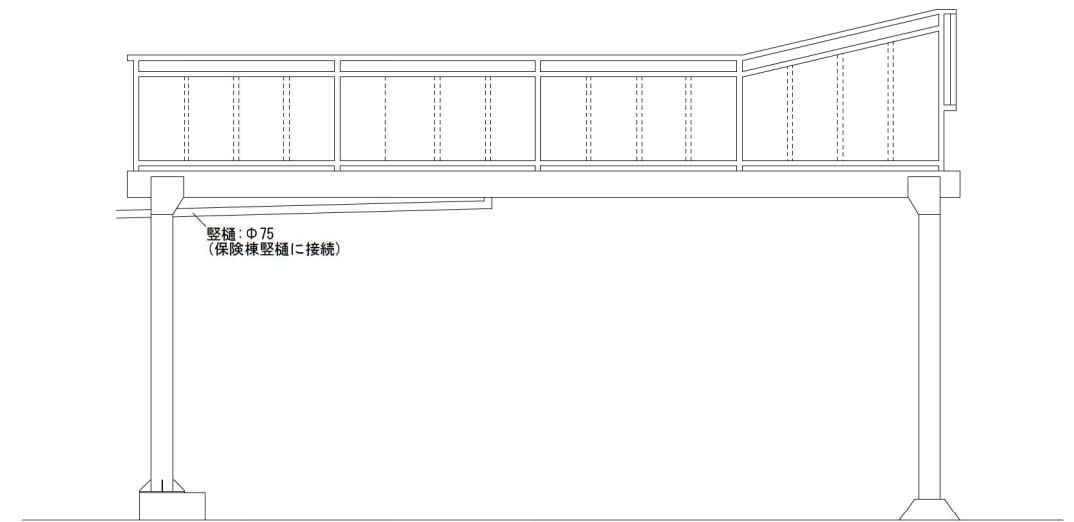




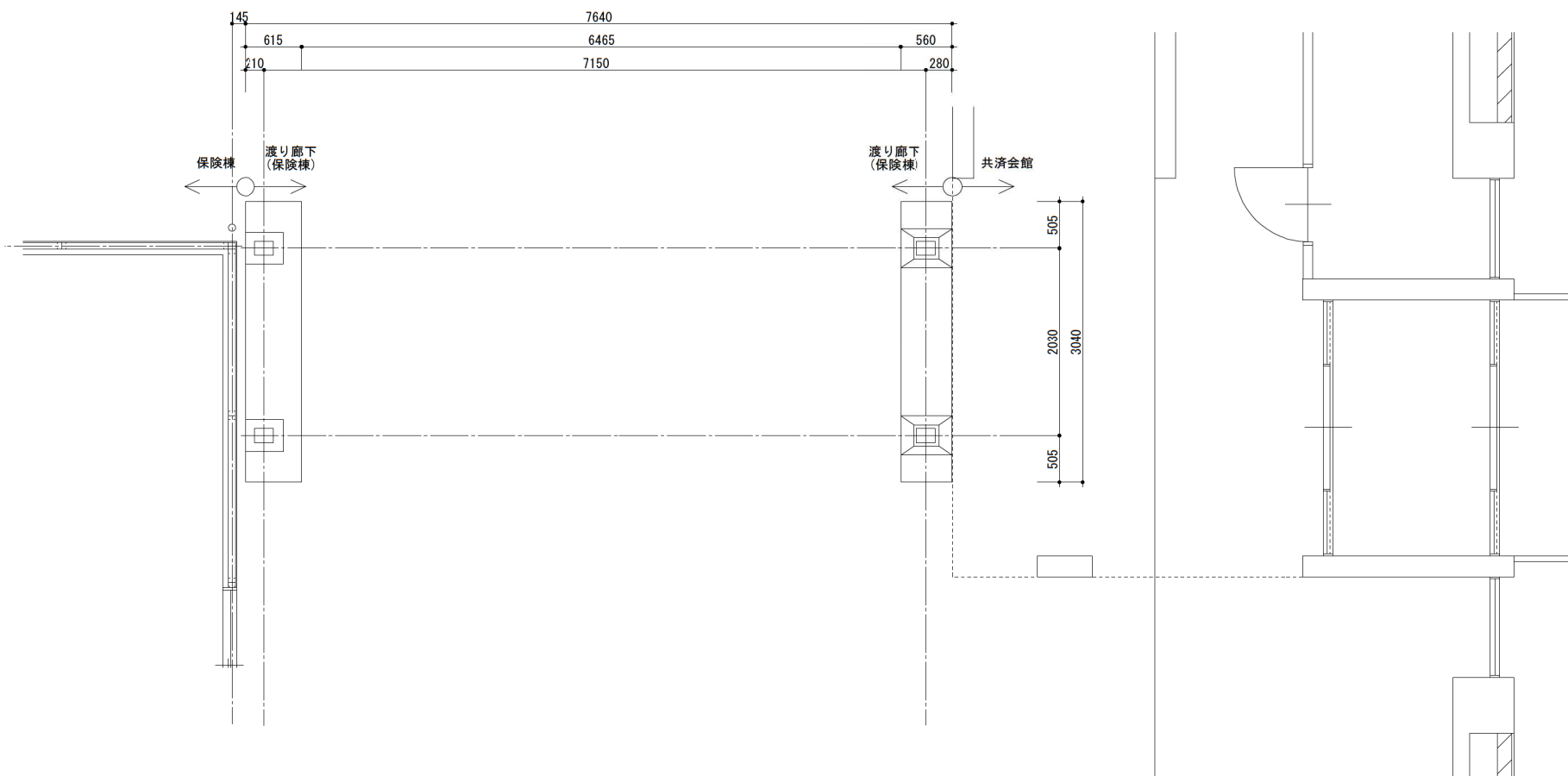
\* 特記付き限り、柱はC2とする。



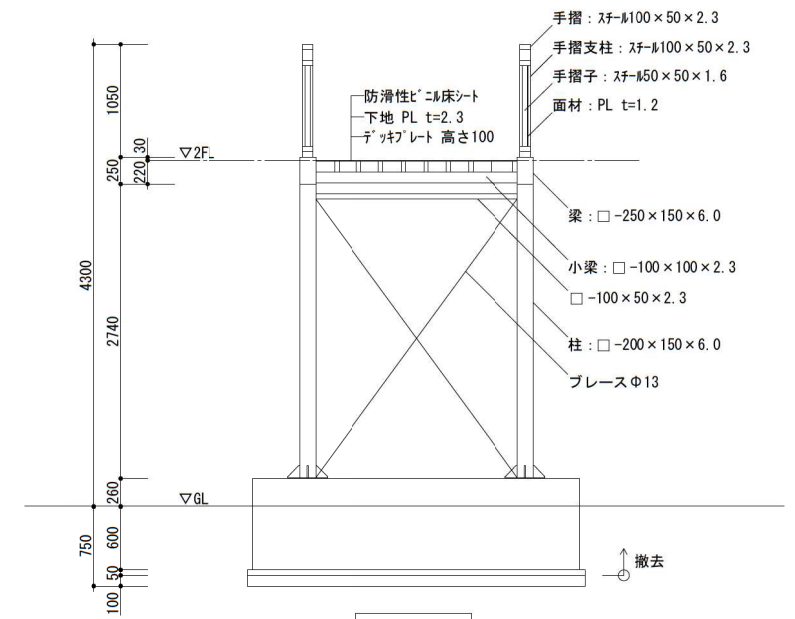
2階平面図 1/50



南側立面図 1/50



1階平面図 1/50

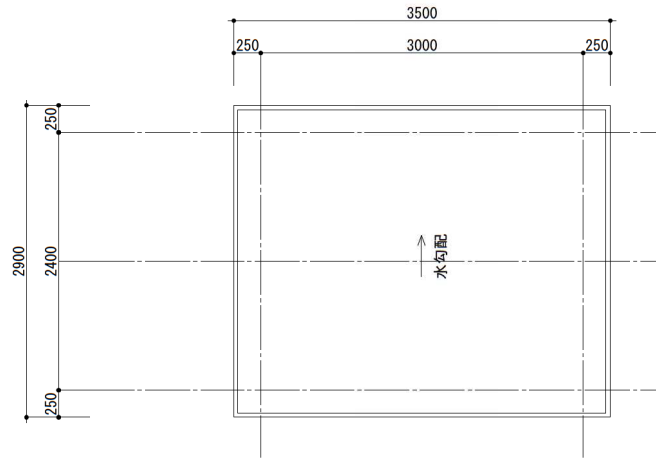


断面図 1/50

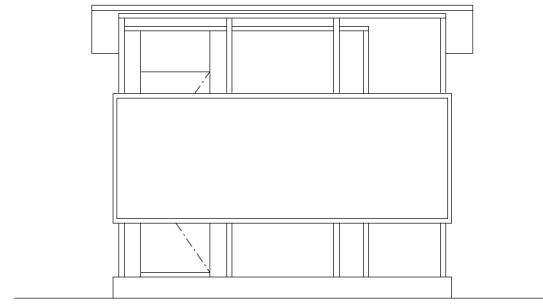
※既存図面がない為、現地調査により作図している。  
地下埋設部分はおくまで想定である。

TITLE	DATE	NO
鳴門市共済会館等解体工事		Ab-11
NAME	SCALE	1/50
渡り廊下(保険棟) 撤去図		
株式会社 川建設	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎

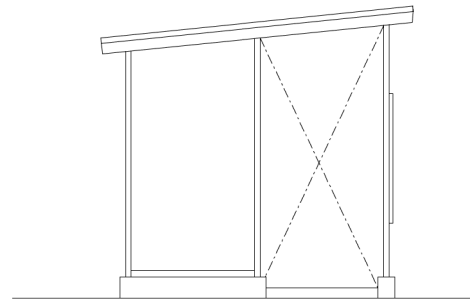




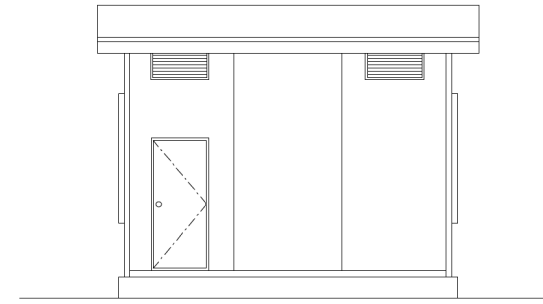
屋根伏図 1/50



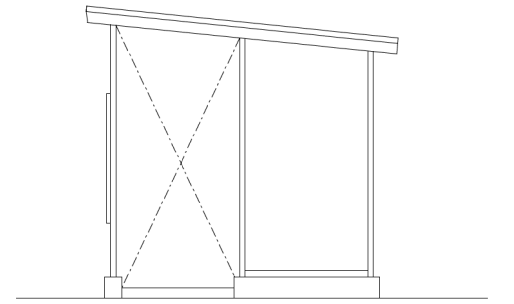
東側立面図 1/50



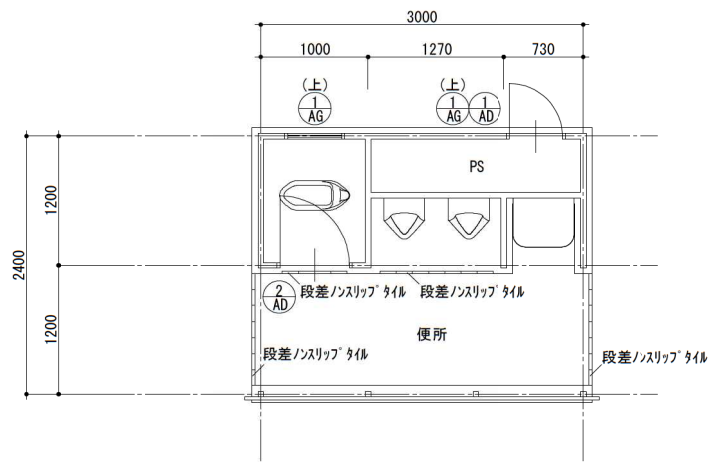
南側立面図 1/50



西側立面図 1/50

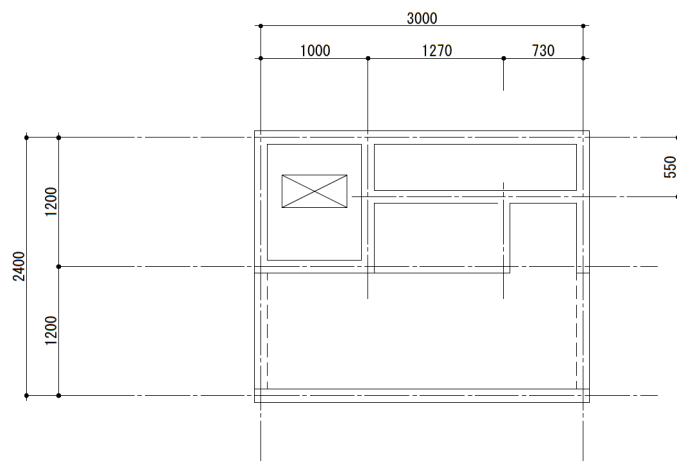


北側立面図 1/50

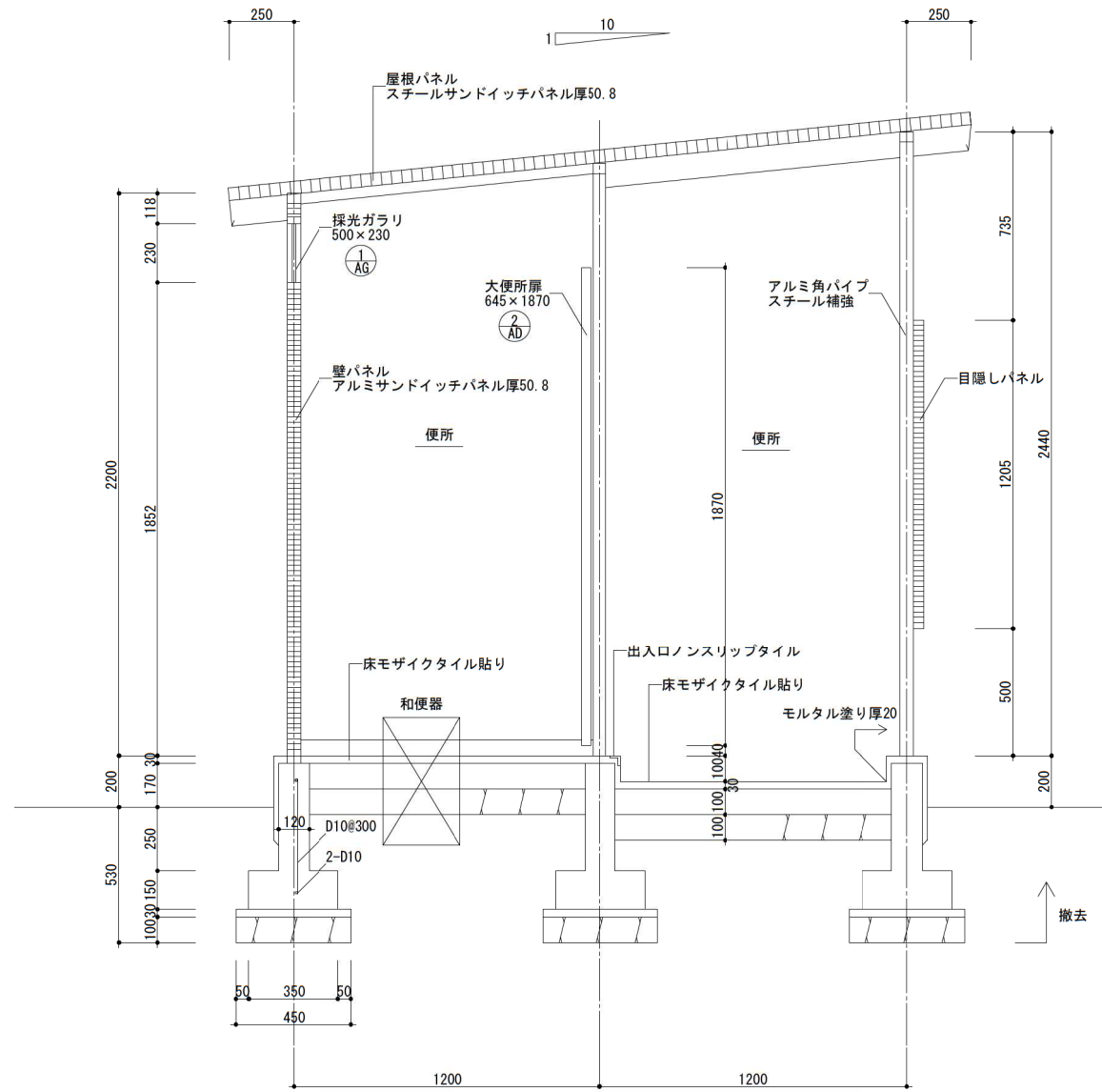


平面図 1/50

建築面積 7.20m<sup>2</sup>



基礎伏図 1/50



断面詳細図 1/20

外部仕上表

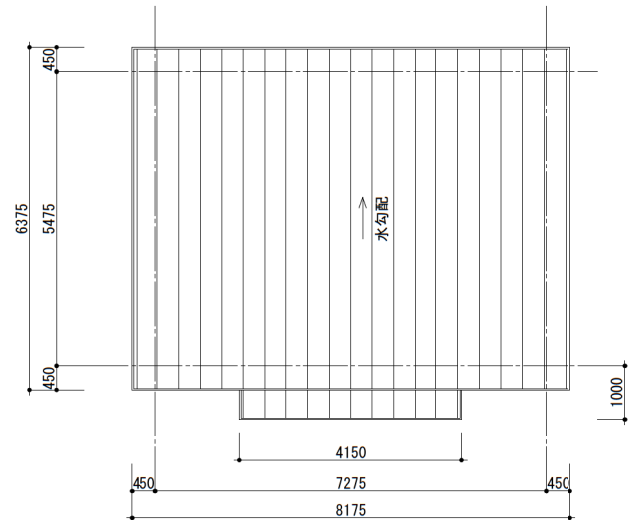
部位	名称
屋根	屋根パネル スチールサンドイッチパネル厚50.8 (スチ-4板厚0.67フラット焼付塗装+ペ-パ-に加工)
外壁	外壁パネル アルミサンドイッチパネル厚50.8 (7&M板厚0.6エン&S焼付塗装+下地耐水合板厚4.0+ペ-パ-に加工)
巾木	モルタル塗り厚20
柱	アルミ角パイプスチール補強

内部仕上表

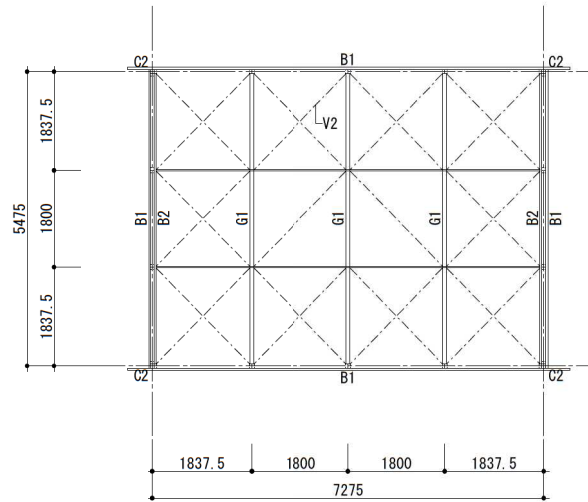
室名	床	壁・巾木	天井
便所	モザイクタイル貼り	壁パネル アルミサンドイッチパネル厚50.8	屋根材現し
PS	モルタル金こて仕上げ	同上	同上

建具表

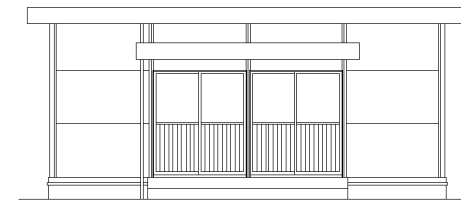
記号	名称	寸法 幅×高さ	箇所数	備考
① AG	アルミ採光ガラリ	500×230	2	
① AD	点検口扉	491×1151	1	アルミクrimpパネル厚35
② AD	アルミ大便所扉	645×1870	1	アルミクrimpパネル厚35



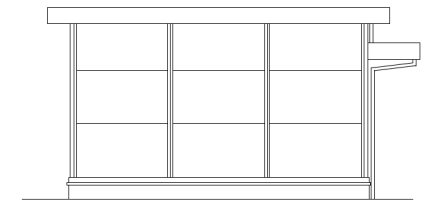
平面図 1/50



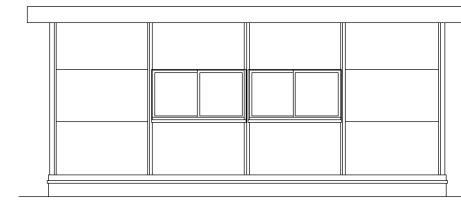
小屋伏図 1/50  
特記なき柱はC1とする



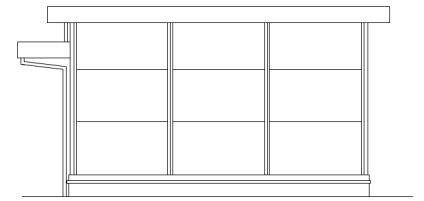
北側立面図 1/50



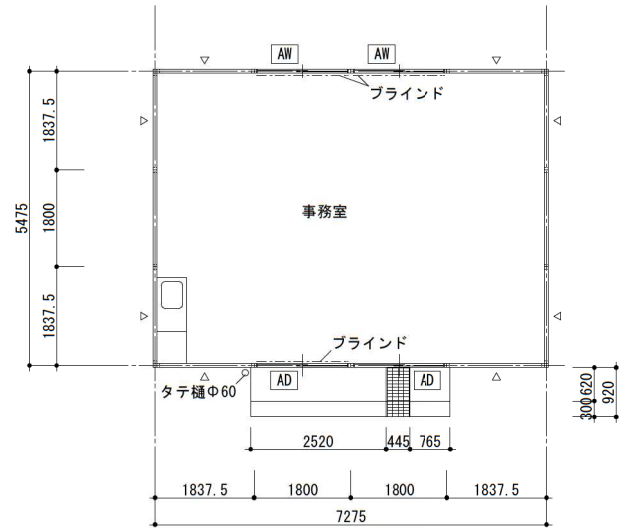
東側立面図 1/50



南側立面図 1/50

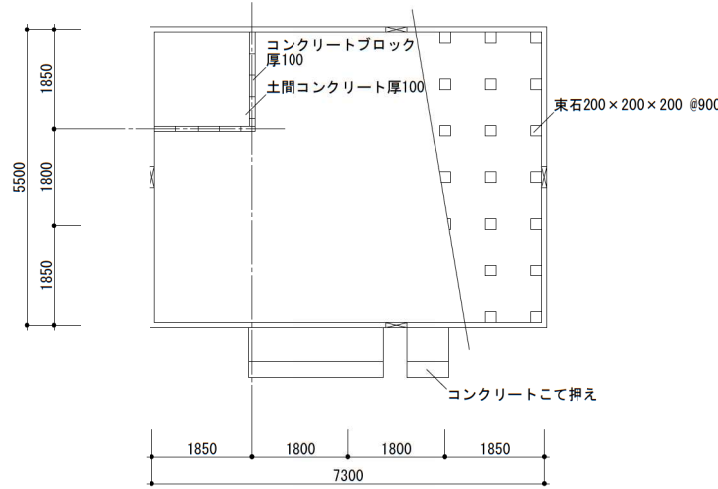


西側立面図 1/50

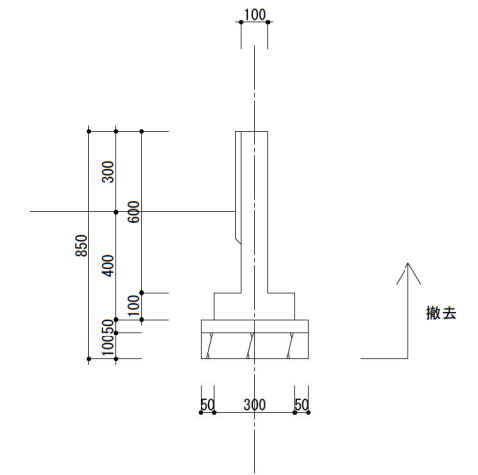


平面図 1/50

記号 内容  
▽ : プレース V1 位置を示す



基礎伏図 1/50



基礎梁 断面図 1/20

外部仕上表

部位	名称
屋根	折板厚0.5 H=88
外壁	壁パネル: 内外カラー鋼板厚0.27、断熱材厚10
巾木	モルタル塗り
樋	軒樋 塩ビ製W105、竖樋 塩ビ製φ60
鼻隠し	カラー鋼板

建具表

記号	名称	寸法 幅×高さ	数量	ガラス
AD	引違いアルミドア	1680×1920	2	型板ガラス厚4 腰アルミパネル
AW	引違いアルミ窓	1680×900	2	型板ガラス厚4

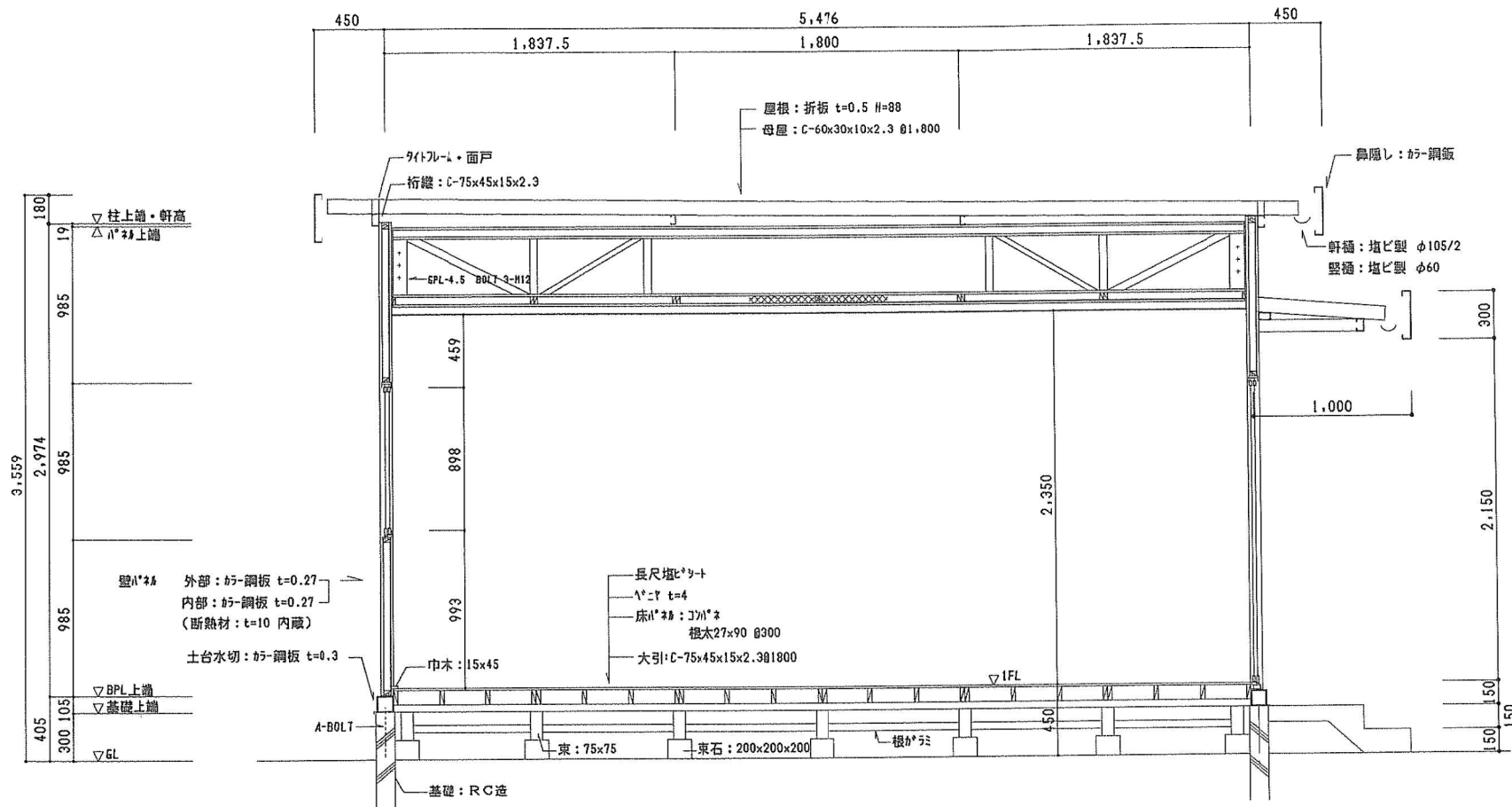
内部仕上表

室名	床	巾木	壁	天井	備考	設備
事務室	ビニル床シート 下地ベニヤ厚4、床パネル(コンパネ+根太27×90@300)	木製巾木H=60	化粧合板張り	化粧石膏ボード張り 断熱材: グラスウール厚50	流し台 (1000×550、H800) レンジ台 (600×550、H=620)	ルームエアコン 2台 壁付換気扇 1台 スピーカー 1台 瞬間湯沸器 1台

構造部材リスト

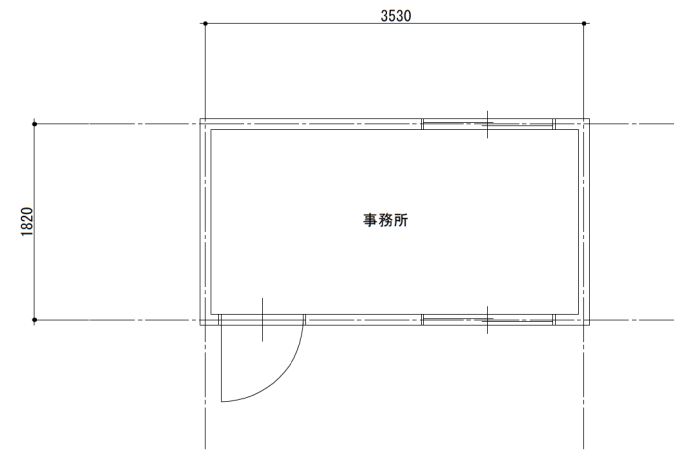
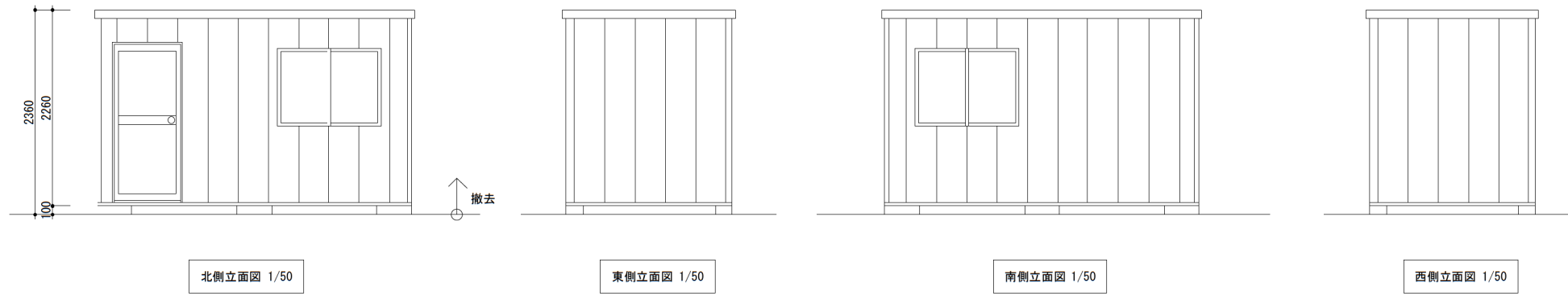
部位	記号	内容
柱	C1	L1pH-75×95×15×2.3
柱	C2	□20-75×45×15×2.3 □75-75×75×2.3
梁	G1	上下弦材 L1pH-75×95×15×2.3 ラチス材 φ34.0×2.3
繋ぎ	B1	C-75×45×15×2.3
繋ぎ	B2	C-60×30×10×2.3
母屋	M1	C-60×30×10×2.3
ブレース	V1	φ13 ターンバックル締め
ブレース	V2	φ9 ターンバックル締め
土台		柱脚部: 2C-100×50×3.2 一般部: C-100×50×3.2





矩計図 1:30

TITLE	DATE	NO
鳴門市共済会館等解体工事		Ac-03
NAME	SCALE	
土木課分室(道路担当) 矩計図	1/30	
株式会社 川建設	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎



建具表

記号	名称	寸法 幅×高さ	箇所数	ガラス
① AD	片開きアルミ戸	760×1800	1	透明ガラス厚4、腰アルミパネル
① AW	引違いアルミ窓	1200×900	2	透明ガラス厚4

外部仕上表

部位	名称
屋根	スチール折板屋根
外壁	カラー鋼板
巾木	コンクリートブロック

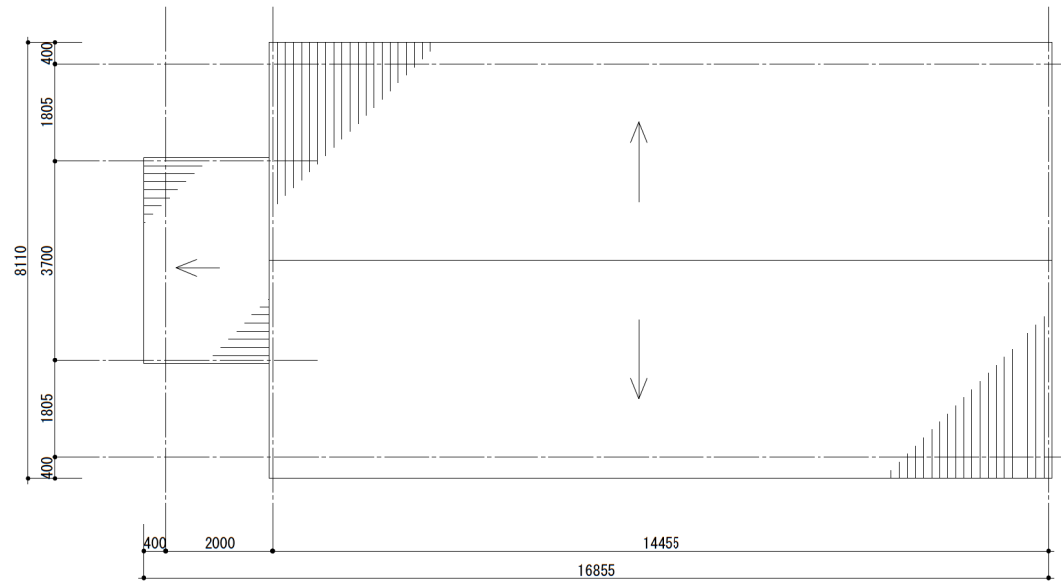
内部仕上表

室名	床	壁・巾木	天井
事務所	耐水合板厚12	カラー鋼板	合板

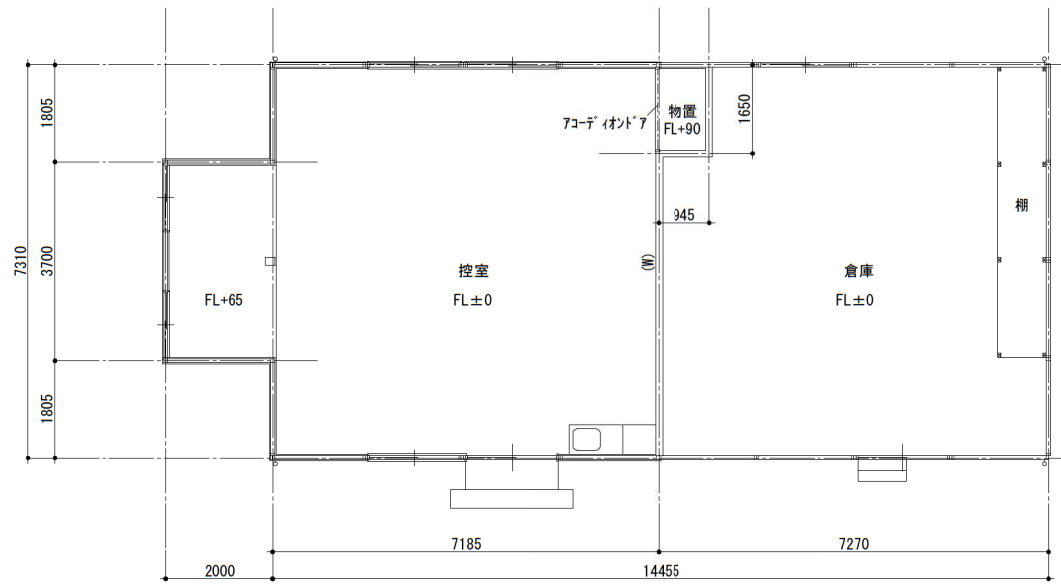
※既存図面がない為、現地調査により作図している。  
地下埋設部分はいくまで想定である。

TITLE	DATE	NO
鳴門市共済会館等解体工事		Ac-04
NAME	SCALE	
プレハブ事務所 撤去図	1/50	
株式会社 川建設	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎





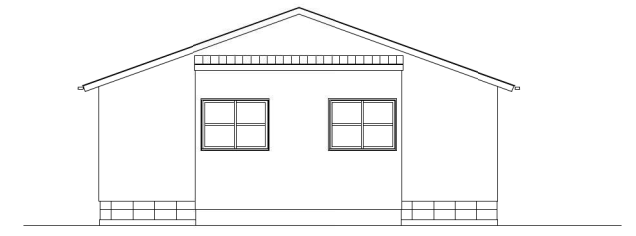
従業員控室 屋根伏図 1/100



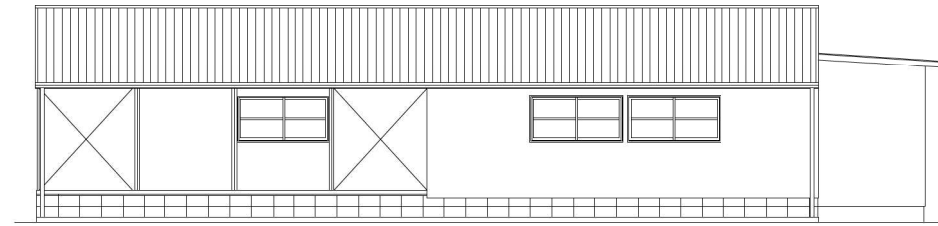
従業員控室 平面図 1/100



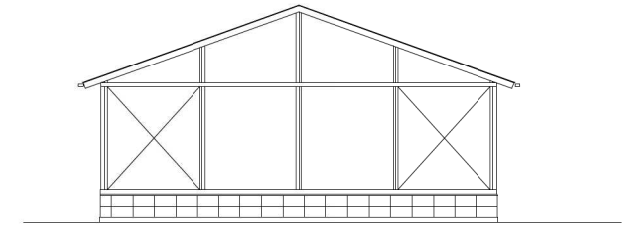
東側 立面図 1/100



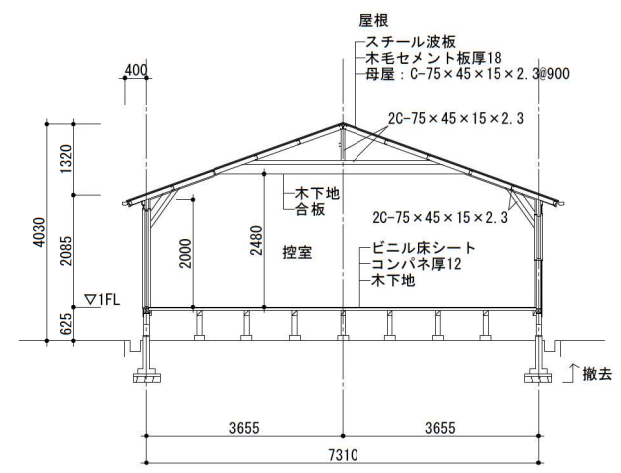
南側 立面図 1/100



西側 立面図 1/100



北側 立面図 1/100



従業員控室 断面図 1/100

建具表

記号	名称	寸法 幅×高さ	箇所数	ガラス
① SW	スチール引違い窓	1700×800	3	透明ガラス厚4
① AD	アルミ引違いドア	1700×1800	2	型板ガラス厚4、腰アルミパネル
① AW	アルミ引違い窓	1700×800	1	型板ガラス厚4
② AW	アルミ引違い窓	1200×900	2	型板ガラス厚4

外部仕上表

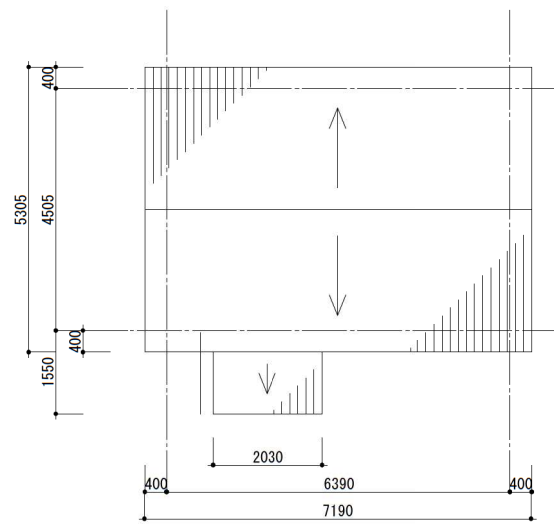
部位	名称
屋根	スチール波板、木毛セメント板厚18、母屋C-75×45×15×2.3@900
外壁	控室周囲のみ：鋼製サイディング、木製脚縁、カラー鋼板 上記以外：カラー鋼板
巾木	コンクリートブロック
樋	軒樋 スチール製W120、壁樋 スチール製φ75
軒天	フレキシブルボード

内部仕上表

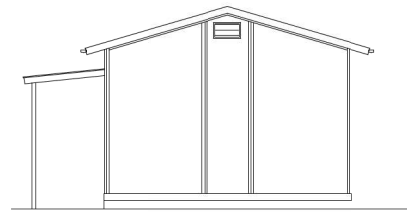
室名	床	巾木	壁	天井	備考	設備
控室	ビニル床シート コンパネ厚12、木下地	木製巾木H=100	合板の上、ビニルクロス張り	木下地の上、合板張り	流し台(1000×550、H800) レンジ台(600×550、H=635)	ルームエアコン(三菱MS2-J409S-W、パナソニックCS-J40K5) 各1台 壁付換気扇 1台 瞬間湯沸器(リナIRUS-51BT) 1台
物置	コンパネ厚12、木下地	—	合板張り	木下地の上、合板張り		
倉庫	コンパネ厚12、木下地	—	合板張り	木下地の上、合板張り	木製棚(5400×930、H=1980)	

※既存図面がない為、現地調査により作図している。  
地下埋設部分はいくまで想定である。

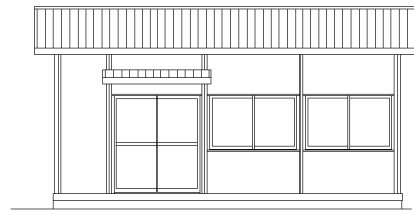
TITLE	DATE	NO
鳴門市共済会館等解体工事		Ac-05
NAME	SCALE	
従業員控室 撤去図	1/100、1/20	
株式会社 川建設	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎



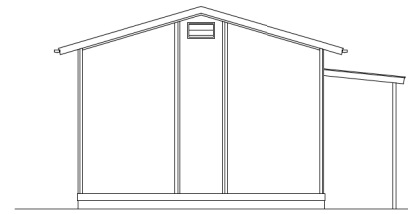
土木課分室(側溝担当) 屋根伏図 1/100



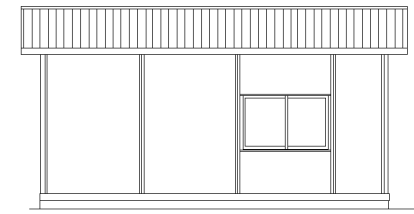
北側 立面図 1/100



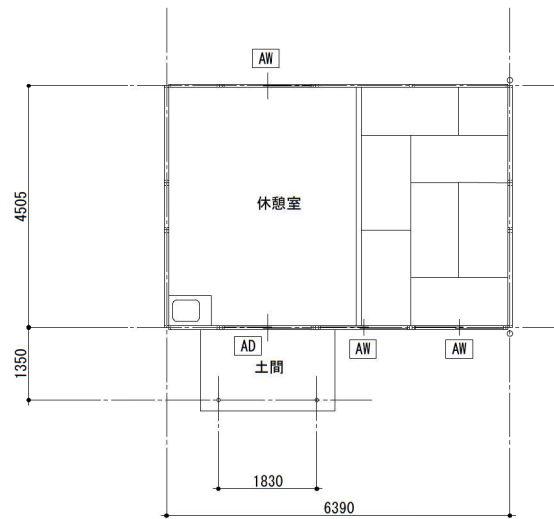
東側 立面図 1/100



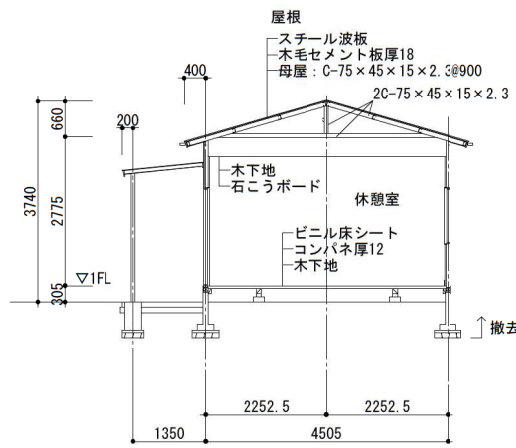
南側 立面図 1/100



西側 立面図 1/100



土木課分室(側溝担当) 平面図 1/100



土木課分室(側溝担当) 断面図 1/100

建具表

記号	名称	寸法 幅×高さ	箇所数	ガラス
AD	アルミ引違いドア	1600×1800	1	型板ガラス厚4、腰アルミパネル
AW	アルミ引違い窓	1600×1000	3	型板ガラス厚4

外部仕上表

部位	名称
屋根	スチール波板、木毛セメント板厚18、母屋C-75×45×15×2.3@900
外壁	カラー鋼板
巾木	モルタル塗り
種	軒樋 スチール製W120、壁樋 スチール製Φ75
軒天	フレキシブルボード
庇	スチール波板、合板 柱：Φ60.5

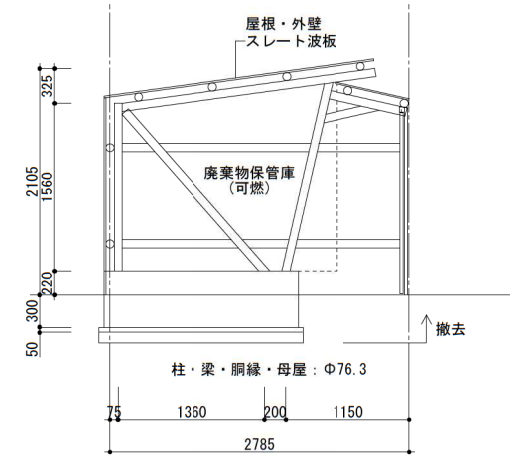
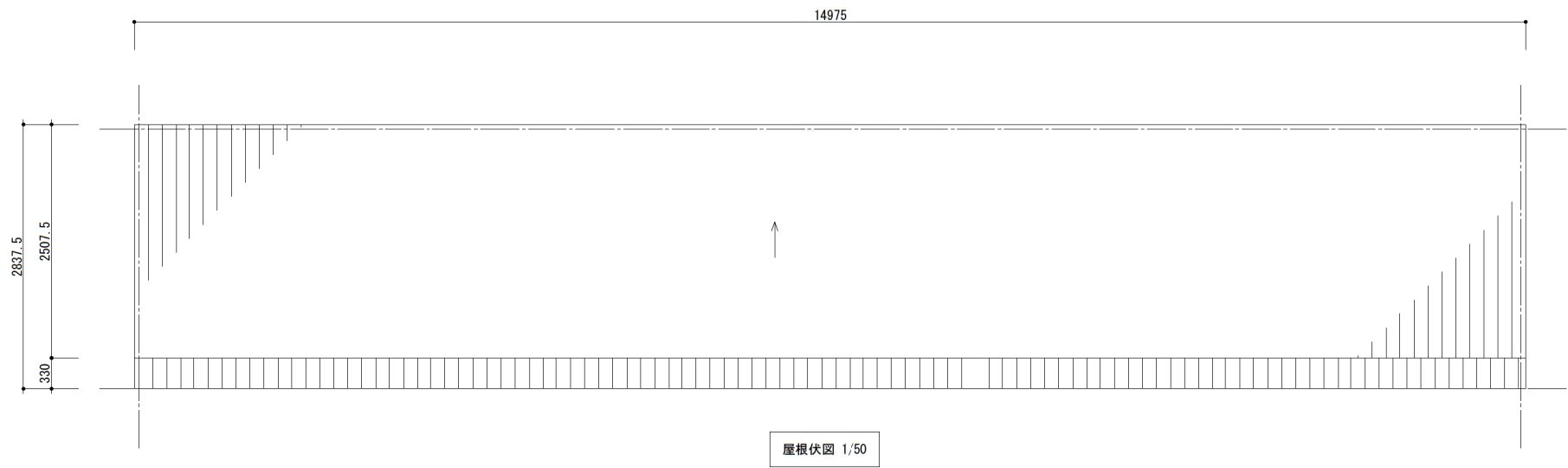
内部仕上表

室名	床	巾木	壁	天井	備考	設備
休憩室	ビニル床シート コンパネ厚12、木下地 一部：畳敷き	木製巾木H=100	プリント合板	木下地の上、石こうボード	流し台(8000×460、H800)	ルームエアコン(パナソニック) 1台 壁付換気扇 1台 スピーカー 1台

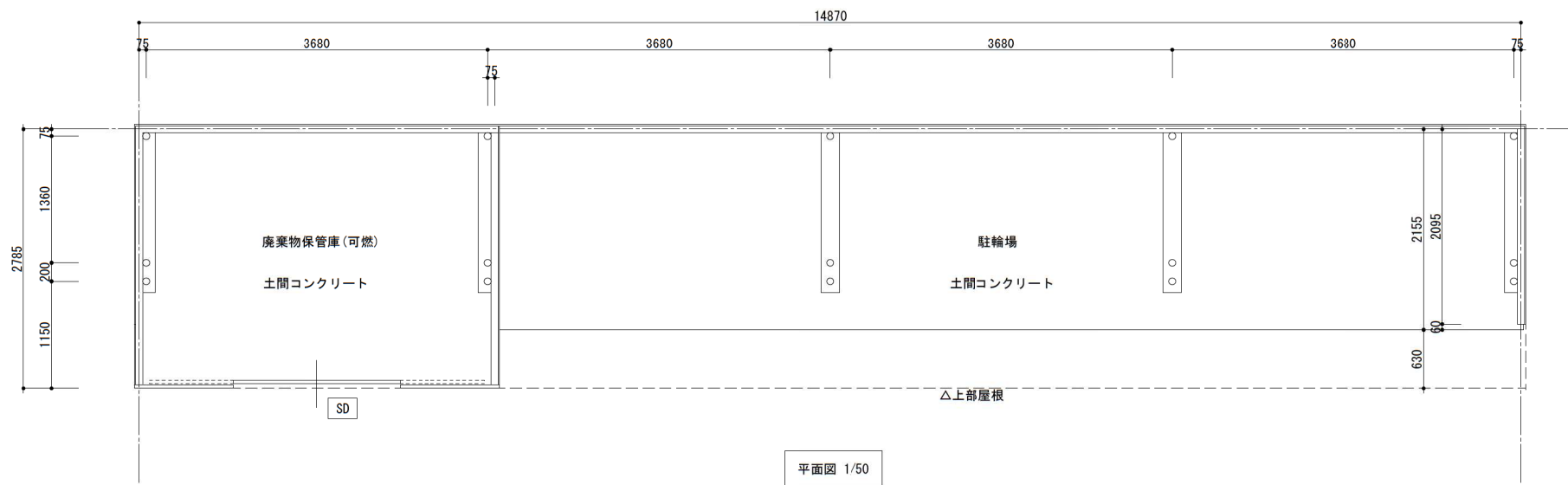
※既存図面がない為、現地調査により作図している。  
地下埋設部分はいくまで想定である。

TITLE	DATE	NO
鳴門市共済会館等解体工事		Ac-06
NAME	SCALE	
土木課分室(側溝担当) 撤去図	1/100、1/20	
株式会社 川建設	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎





断面図 1/50

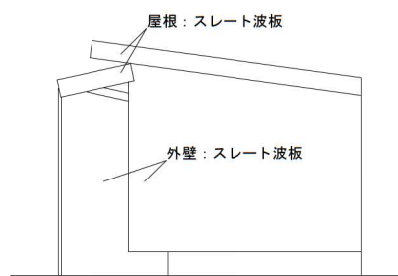


建具表

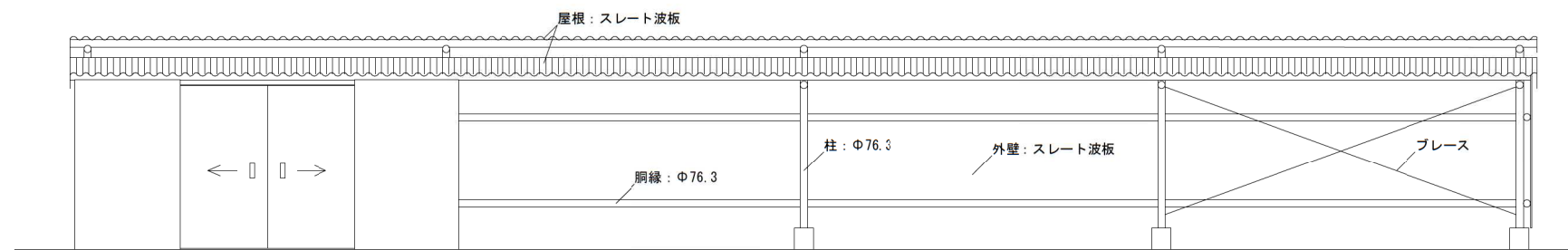
記号	名称	寸法	箇所数	備考
SD	スチール両引き戸	×	1	

外部仕上表

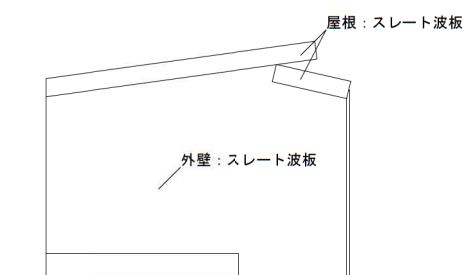
部位	名称
屋根	スレート波板
外壁	スレート波板
巾木	コンクリート巾木
柱他	Φ76.3



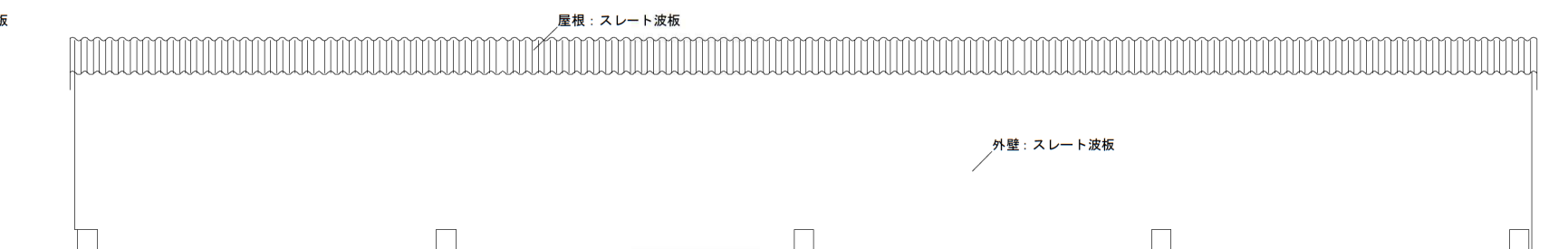
北側立面図 1/50



東側立面図 1/50



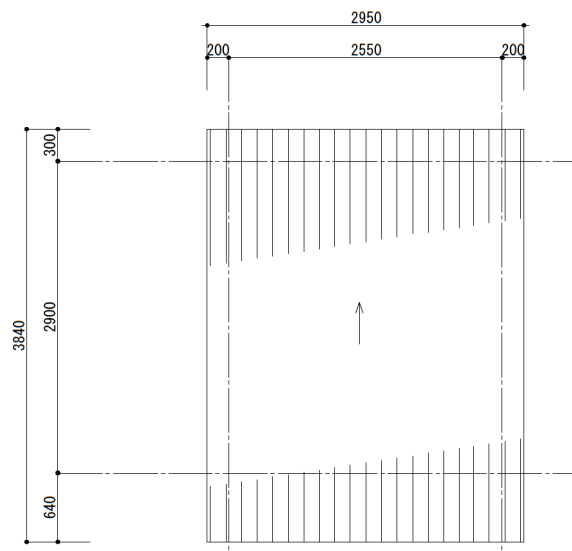
南側立面図 1/50



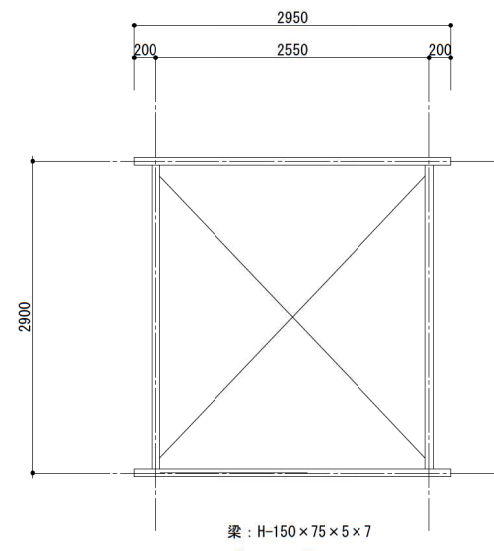
西側立面図 1/50

※既存図面がない為、現地調査により作図している。  
地下埋設部分はいくまで想定である。

TITLE	DATE	NO
鳴門市共済会館等解体工事		Ac-07
NAME	SCALE	
駐輪場・廃棄物保管庫(可燃) 撤去図		1/50
株式会社 川建設	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎

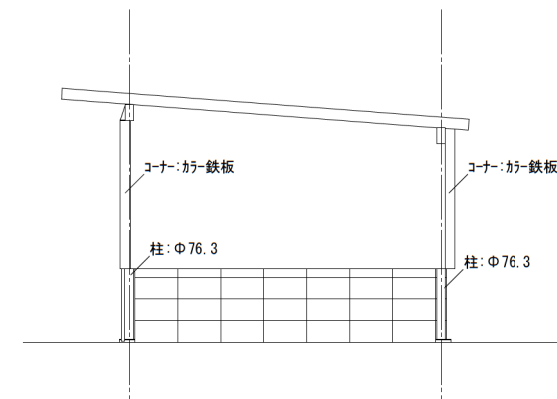


屋根伏図 1/50

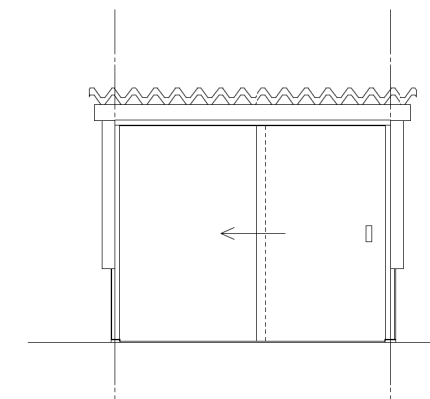


梁 : H-150×75×5×7  
ブレース : M8

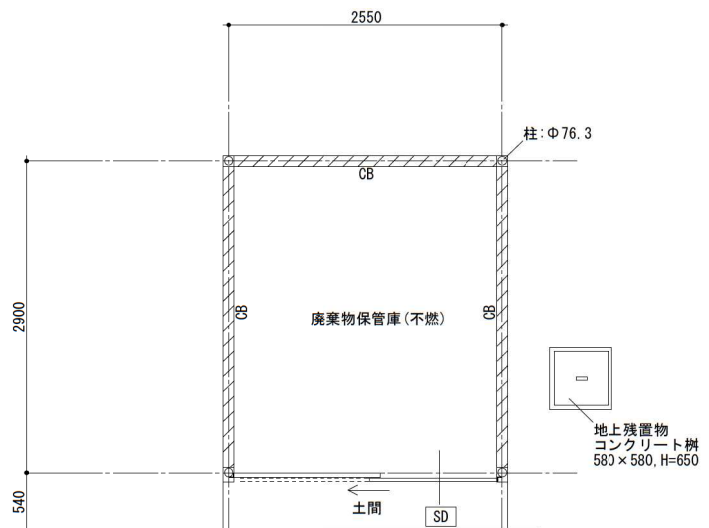
梁伏図 1/50



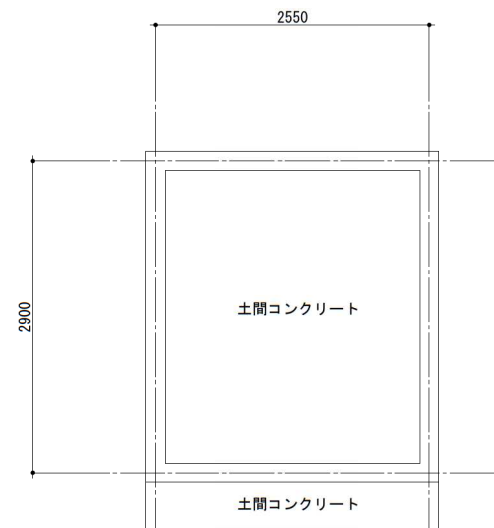
北側立面図 1/50



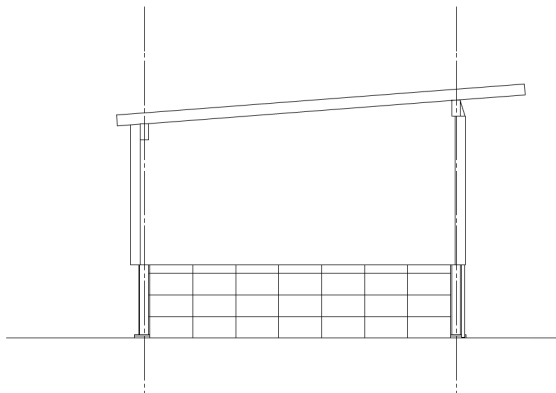
東側立面図 1/50



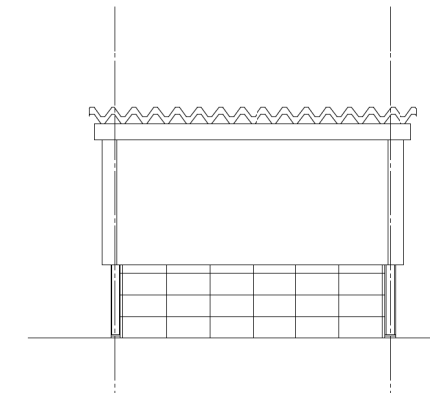
平面図 1/50



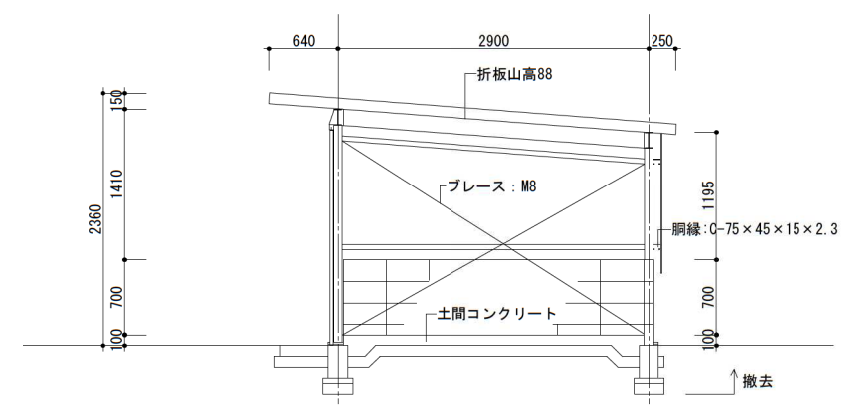
基礎伏図 1/50



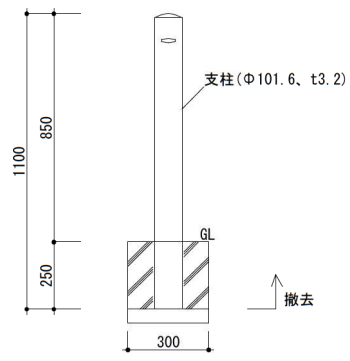
南側立面図 1/50



西側立面図 1/50



断面図 1/50



バリカー 断面図 (参考) 1/20

建具表

記号	名称	寸法 幅×高さ	箇所数	備考
SD	スチール引き戸	2460×2000	1	枠 : L-45×45×3

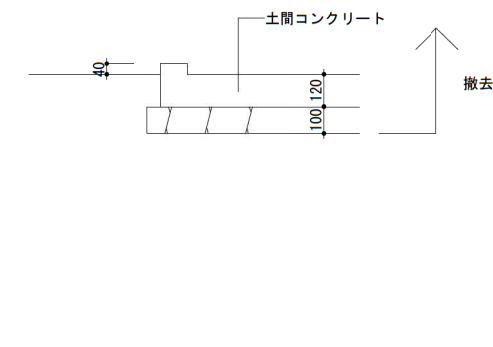
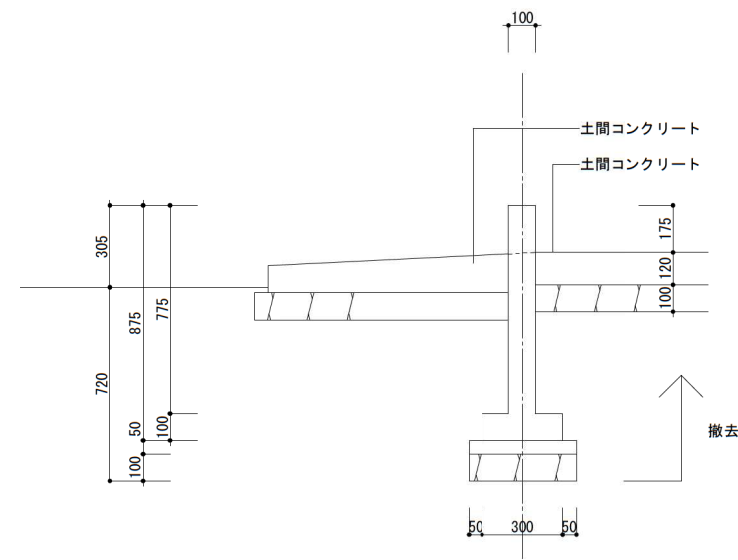
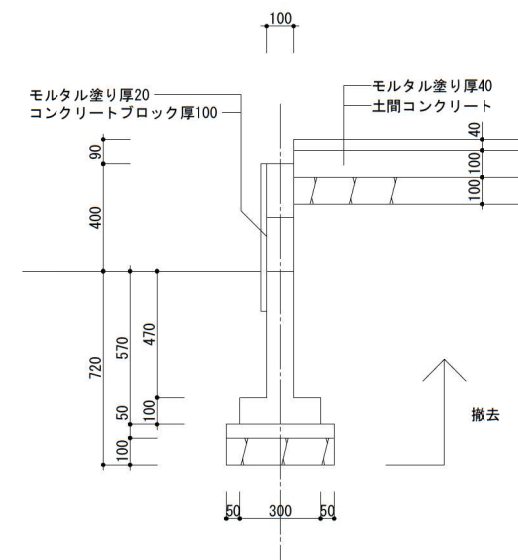
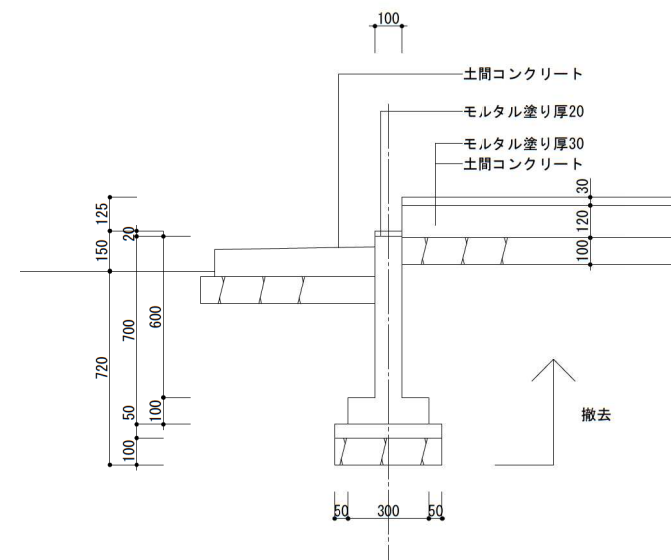
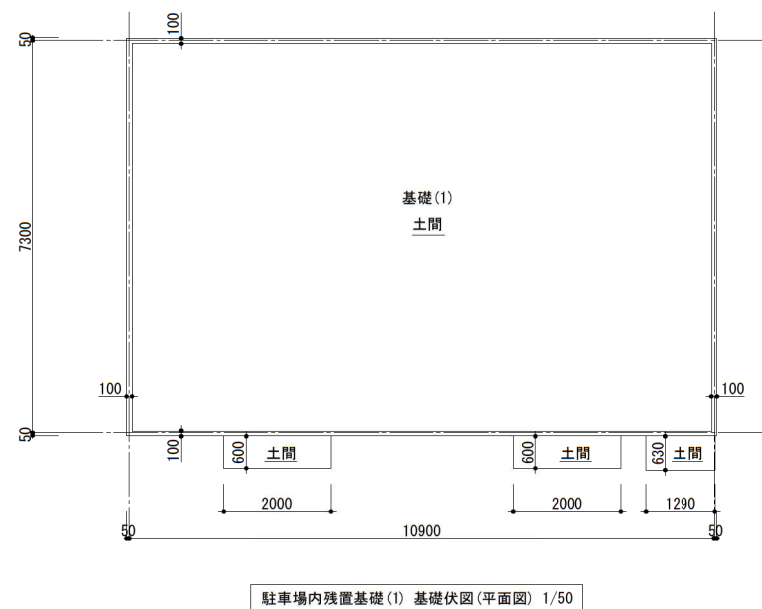
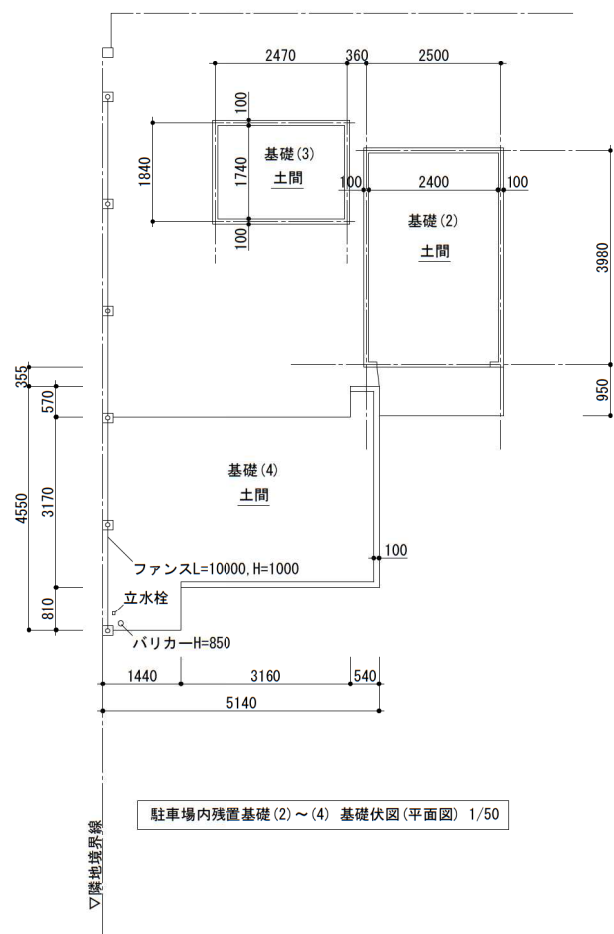
外部仕上表

部位	名称
屋根	折板山高88
外壁	スレート波板 コーナー : カラー鉄板
巾木	コンクリートブロック

※既存図面がない為、現地調査により作図している。  
地下埋設部分はおくまで想定である。

TITLE	DATE	NO
鳴門市共済会館等解体工事		Ac-08
NAME	SCALE	
廃棄物保管庫(不燃)撤去図	1/50	
株式会社 川建設	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎





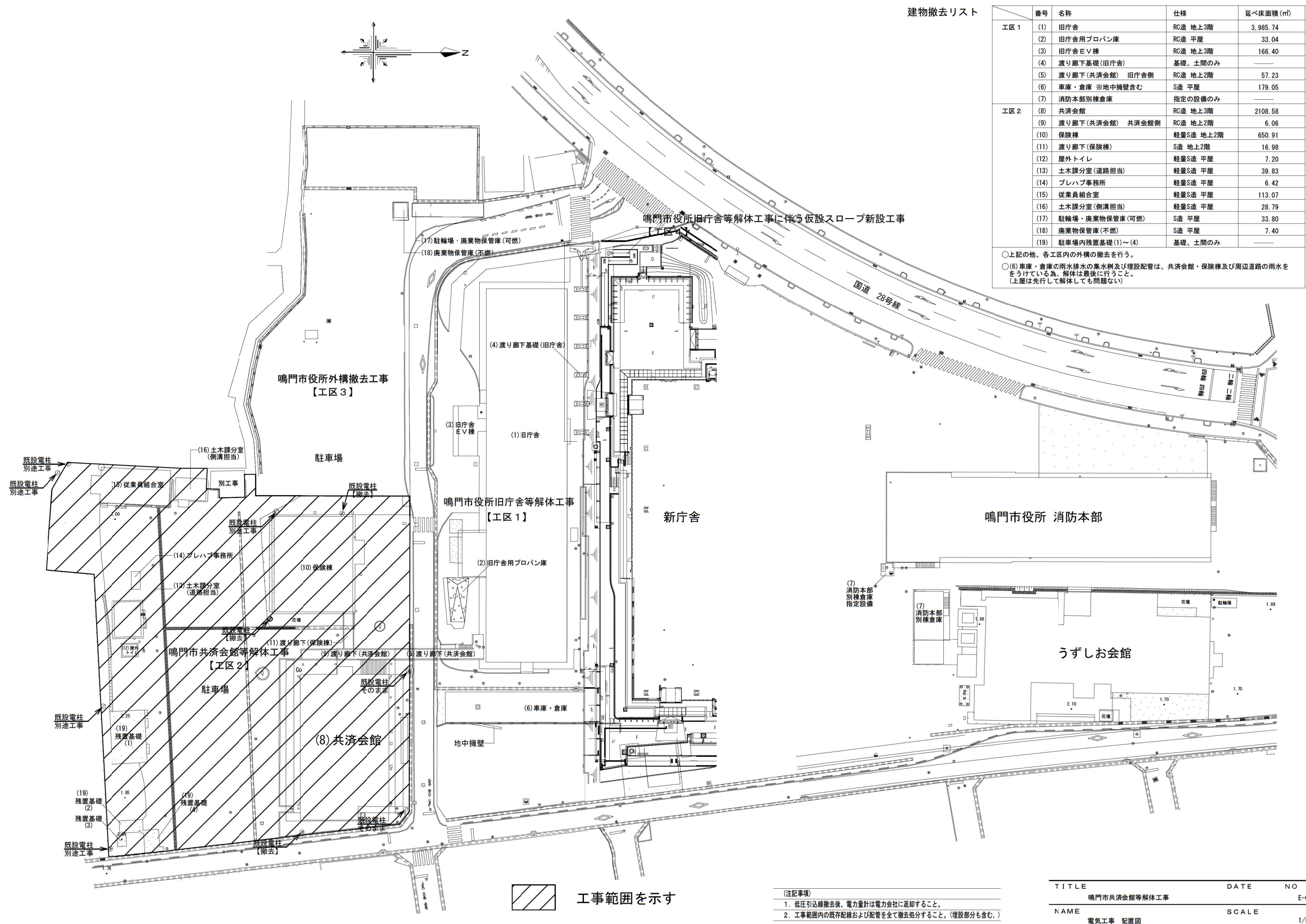
※既存図面がない為、現地調査により作図している。  
地下埋設部分はいくまで想定である。

TITLE	DATE	NO
鳴門市共済会館等解体工事		Ac-09
NAME	SCALE	
駐車場内残置基礎 撤去図	1/50, 1/20	
株式会社 川建設	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎

建物撤去リスト

番号	名称	仕様	延べ床面積 (㎡)
工区 1	(1) 旧庁舎	RC造 地上3階	3,985.74
	(2) 旧庁舎用プロパン庫	RC造 平屋	33.04
	(3) 旧庁舎EV棟	RC造 地上3階	166.40
	(4) 渡り廊下基礎(旧庁舎)	基礎、土間のみ	—
	(5) 渡り廊下(共済会館) 旧庁舎側	RC造 地上2階	57.23
	(6) 車庫・倉庫 ※地中擁壁含む	S造 平屋	179.05
	(7) 消防本部別棟倉庫	指定の設備のみ	—
工区 2	(8) 共済会館	RC造 地上3階	2108.58
	(9) 渡り廊下(共済会館) 共済会館側	RC造 地上2階	6.06
	(10) 保険棟	軽量S造 地上2階	650.91
	(11) 渡り廊下(保険棟)	S造 地上2階	16.98
	(12) 屋外トイレ	軽量S造 平屋	7.20
	(13) 土木課分室(道路担当)	軽量S造 平屋	39.83
	(14) プレハブ事務所	軽量S造 平屋	6.42
	(15) 従業員組合室	軽量S造 平屋	113.07
	(16) 土木課分室(側溝担当)	軽量S造 平屋	28.79
	(17) 駐輪場・廃棄物保管庫(可燃)	S造 平屋	33.80
	(18) 廃棄物保管庫(不燃)	S造 平屋	7.40
	(19) 駐車場内残置基礎(1)~(4)	基礎、土間のみ	—

○上記の他、各工区内の外構の撤去を行う。  
 ○(6)車庫・倉庫の雨水排水の集水溝及び埋設配管は、共済会館・保険棟及び周辺道路の雨水を  
 をうけている為、解体は最後に行うこと。  
 (上屋は先行して解体しても問題ない)



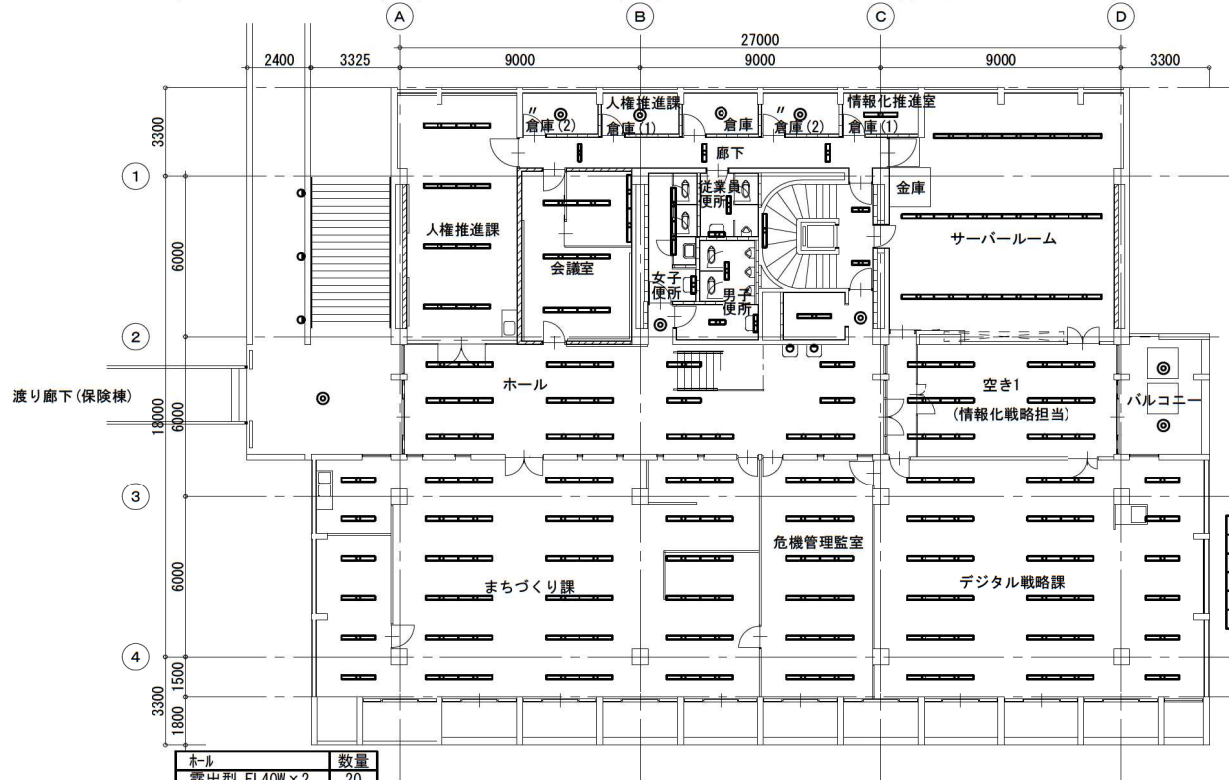
 工事範囲を示す

- (注記事項)  
 1. 低圧引込線撤去後、電力量計は電力会社に返却すること。  
 2. 工事範囲内の既存配線および配管を全て撤去処分すること。(埋設部分も含む。)

TITLE	DATE	NO
鳴門市共済会館等解体工事		E-01
NAME	SCALE	
電気工事 配置図		1/500



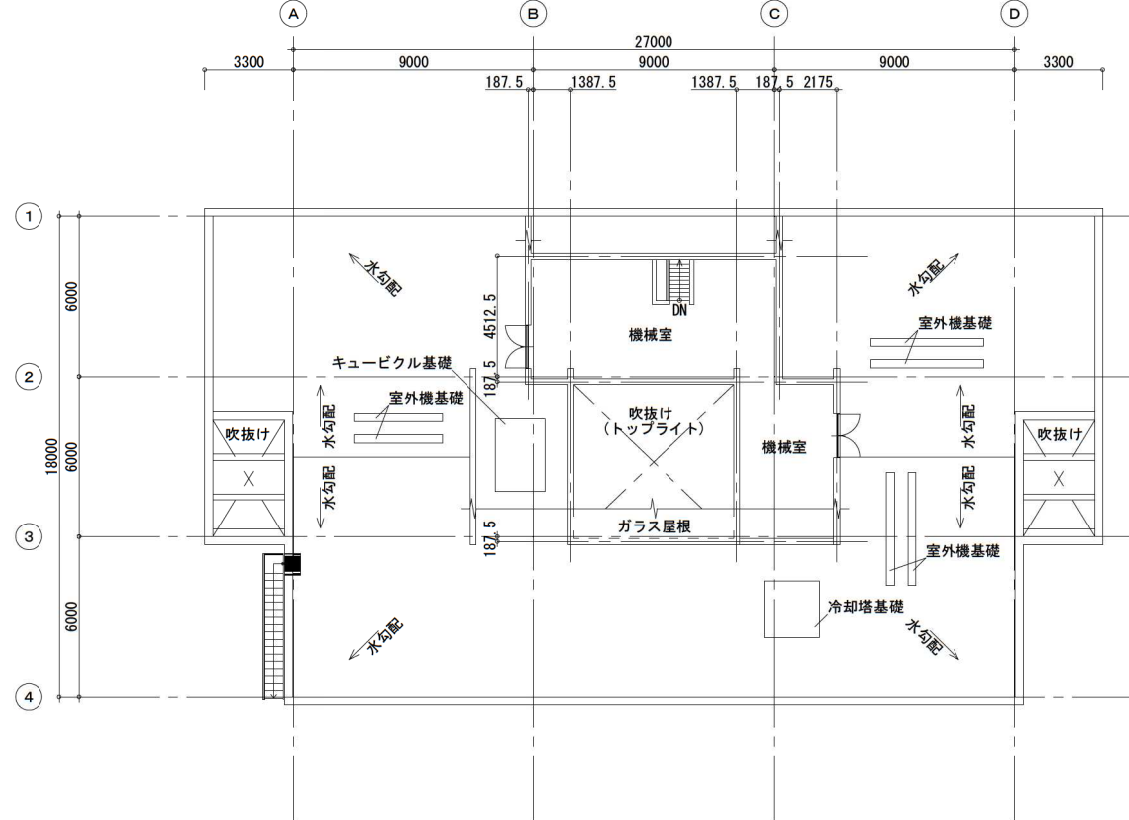
従業員便所	数量	廊下	数量	サーバールーム	数量
露出型 FL20W×2	1	露出型 FL20W×2	3	露出型 FL40W×2	17
フラケット	1	人権推進課倉庫(1)(2)	2	階段室	数量
男子便所	数量	シーリングライト	2	露出型 FL20W×2	2
露出型 FL20W×2	2	情報化推進室倉庫(1)(2)	2	露出型 FL40W×1	1
フラケット	1	露出型 FL40W×2	1	湯沸室	数量
女子便所	数量	シーリングライト	3	露出型 FL40W×2	1
露出型 FL40W×1	2			シーリングライト	1
屋外	数量				
シーリングライト	4				



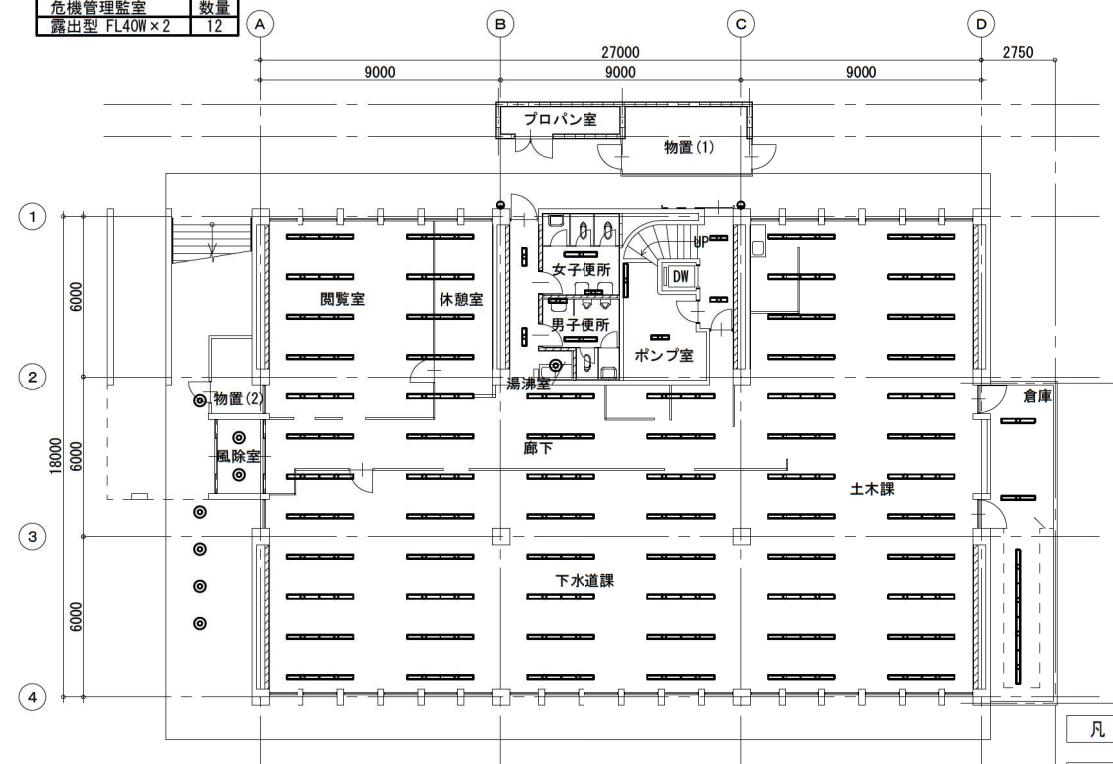
ホール	数量
露出型 FL40W×2	20
シーリングライト	2
まちづくり課	数量
露出型 FL40W×2	42
危機管理監室	数量
露出型 FL40W×2	12

空き1	数量
露出型 FL40W×2	12
パルコニ	数量
シーリングライト	2
デジタル戦略課	数量
露出型 FL40W×2	30

2階平面図



PH階平面図



女子便所	数量
露出型 FL40W×1	1
フラケット	数量
男子便所	数量
露出型 FL40W×1	1
フラケット	数量
湯沸室、前室	数量
露出型 FL20W×2	2
シーリングライト	1
倉庫	数量
露出型 FL40W×1	6
風除室	数量
シーリングライト	2

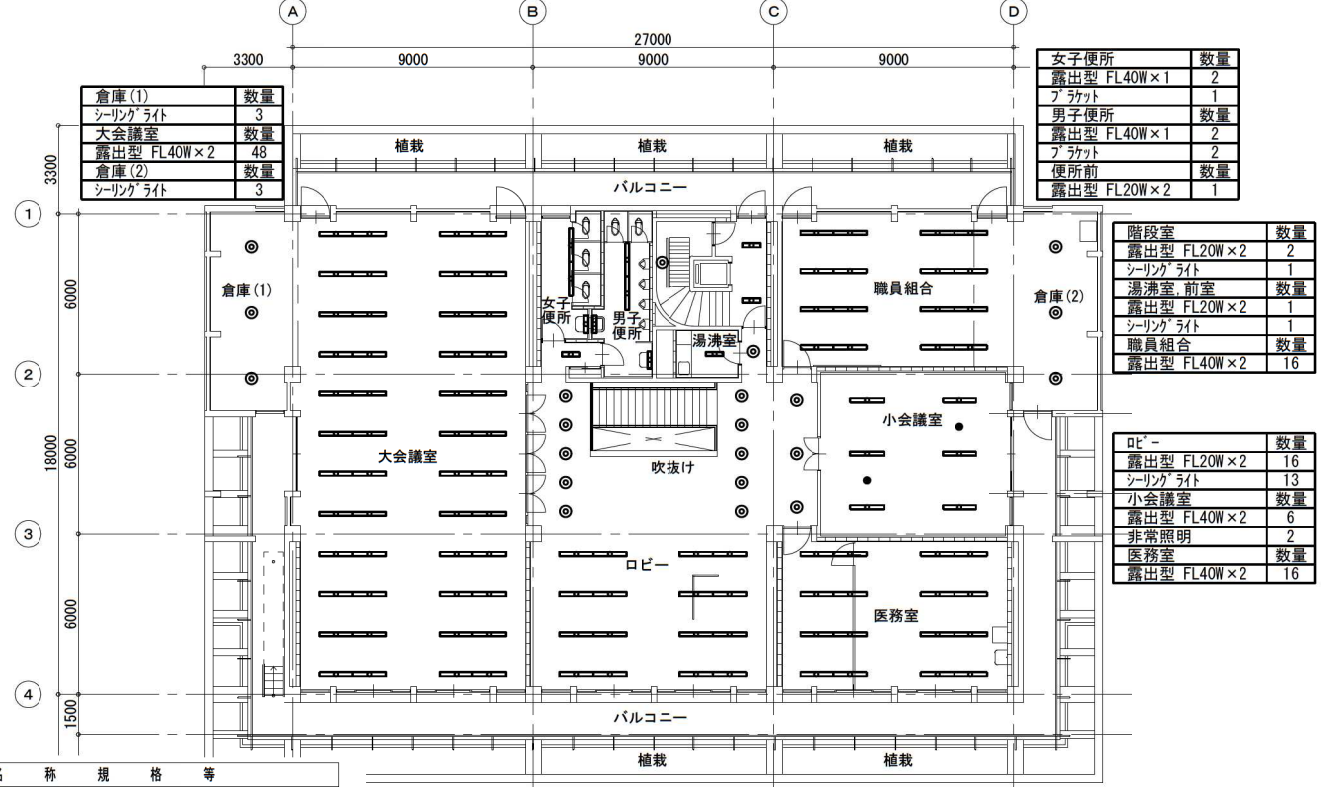
ポンプ室	数量
露出型 FL20W×2	1
階段室	数量
露出型 FL20W×2	2
露出型 FL40W×1	1
屋外	数量
シーリングライト	7

1階平面図

下水道・土木課、閲覧室、廊下	数量
露出型 FL40W×2	128

シンボル	名称	規格等
☉	照明器具	蛍光灯
☐	照明器具	蛍光灯
☐	照明器具	蛍光灯又はシーリングライト
☉	照明器具	ダウンライト、シーリングライト
○	照明器具	ブラケット、シーリングライト
●	照明器具	非常照明

- (注記事項)
1. 図中の照明器具・盤類は全て撤去処分。図中明記なき器具であっても本工事進捗上支障のある場合は、適正な撤去処分を行うこと。
  2. PCBを含む機器は、調書を添えて引き渡すこと。
  3. 低圧引込線撤去後、電力量計は電力会社に返却すること。
  4. 工事範囲内の既存配線、配管の撤去処分を行うこと。

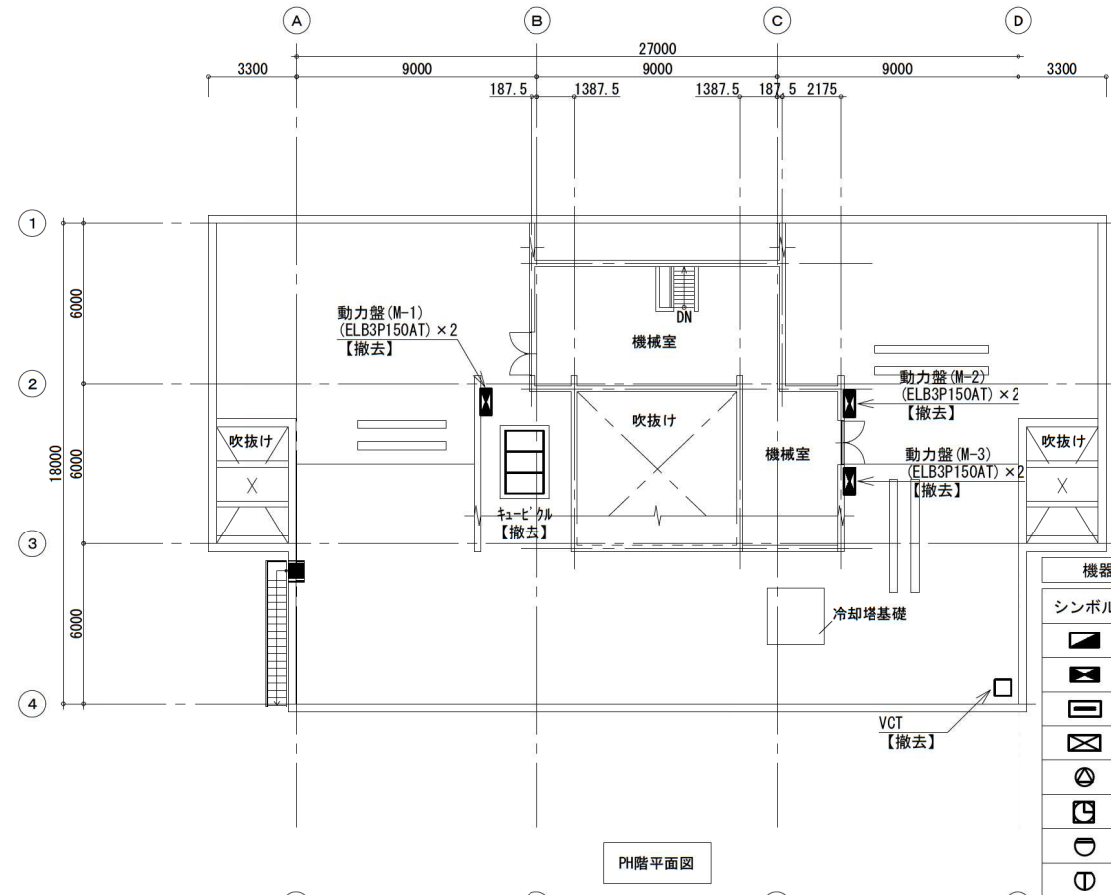
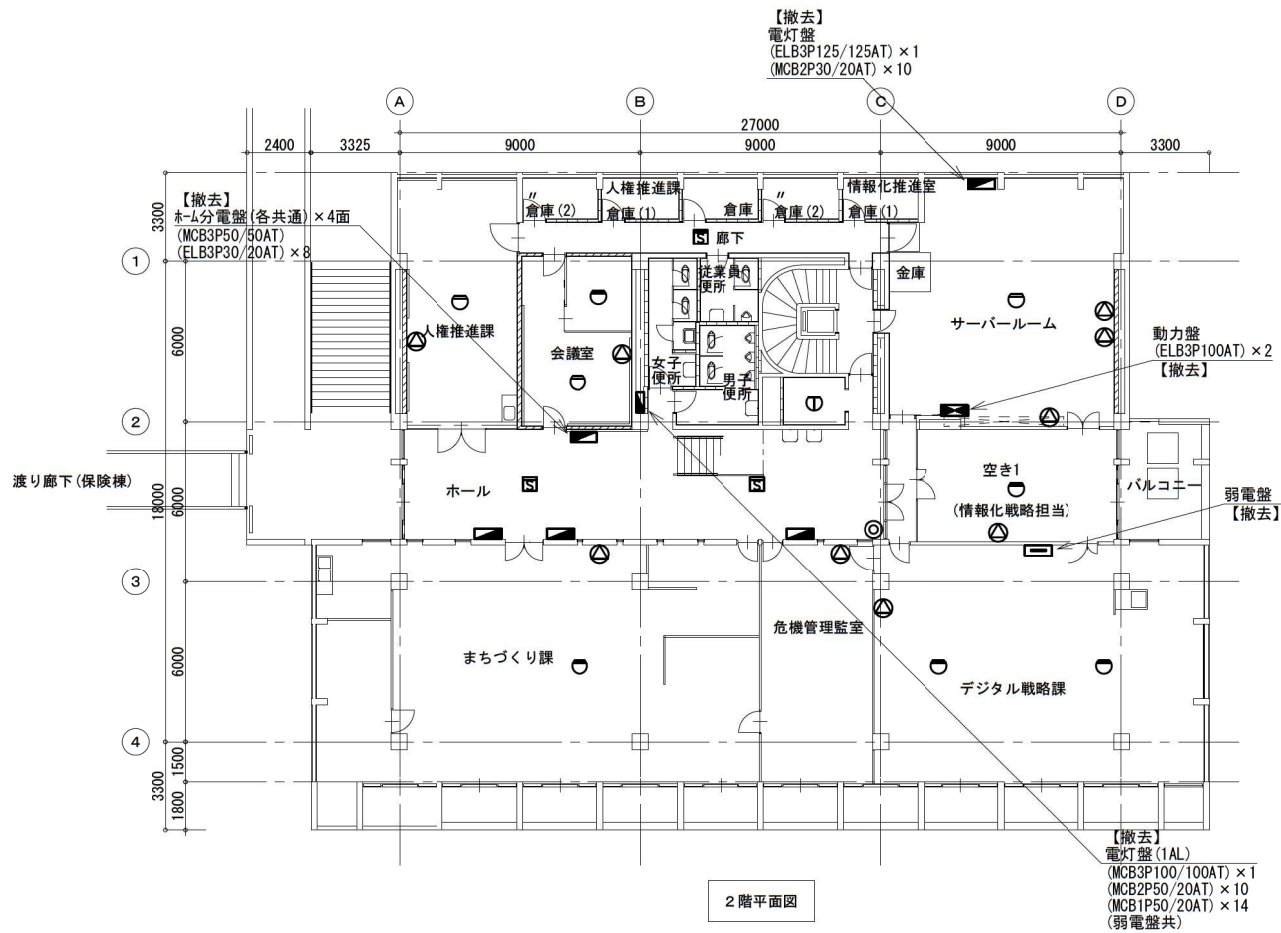


女子便所	数量
露出型 FL40W×1	2
フラケット	1
男子便所	数量
露出型 FL40W×1	2
フラケット	2
便所前	数量
露出型 FL20W×2	1

階段室	数量
露出型 FL20W×2	2
シーリングライト	1
湯沸室、前室	数量
露出型 FL20W×2	1
シーリングライト	1
職員組合	数量
露出型 FL40W×2	16

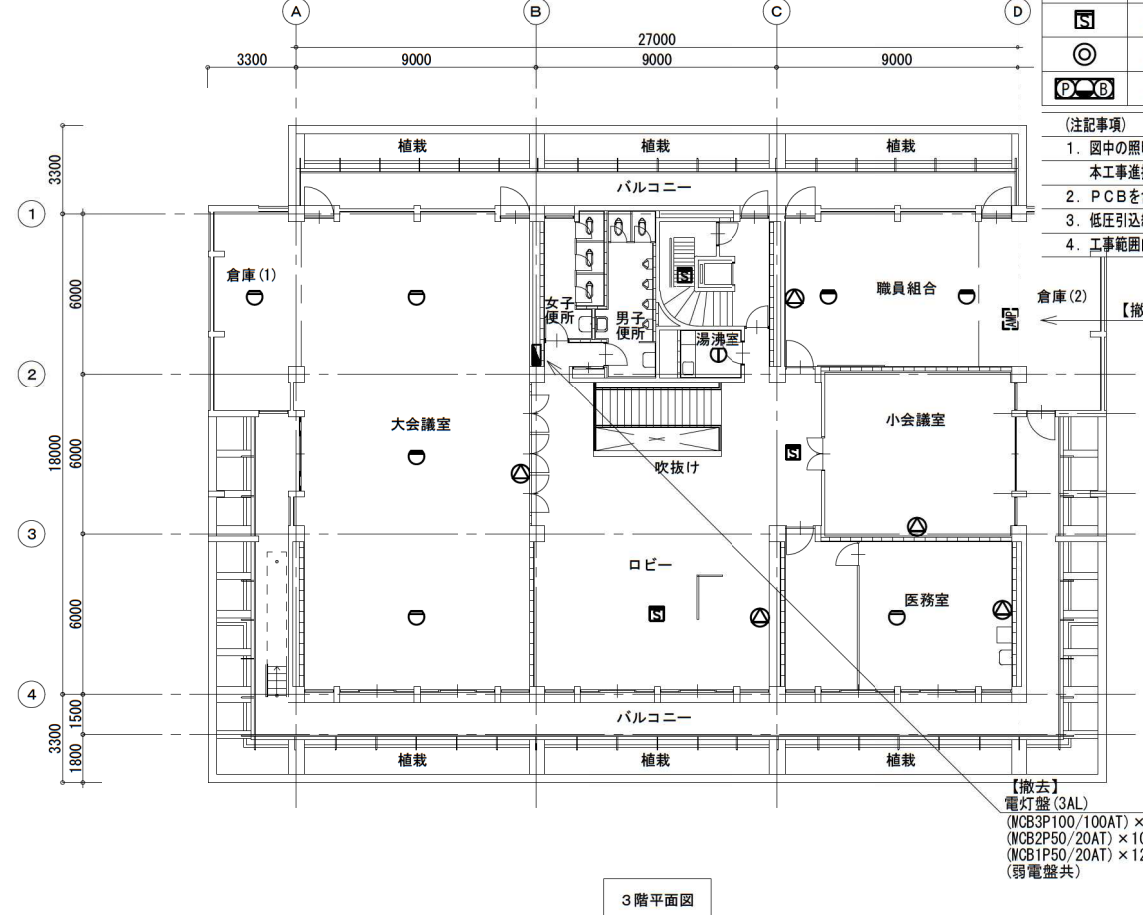
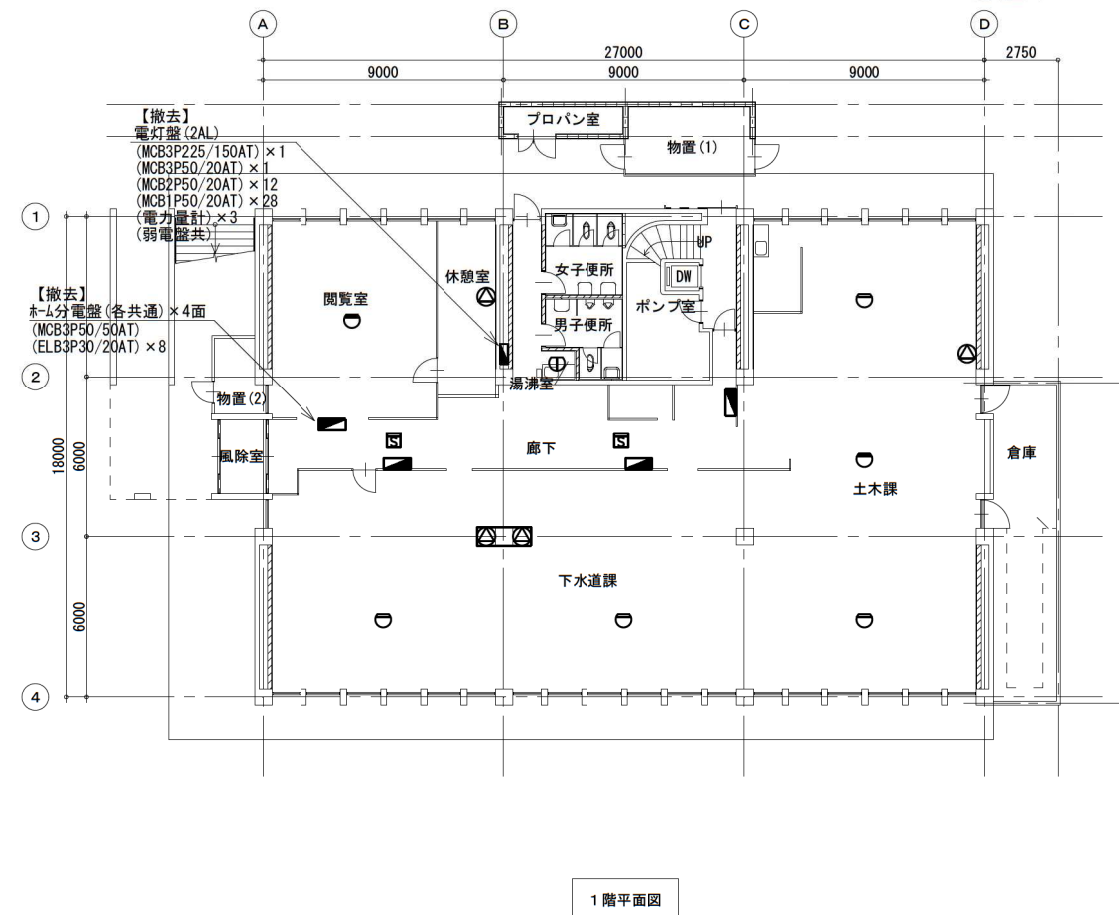
ロビー	数量
露出型 FL20W×2	16
シーリングライト	13
小会議室	数量
露出型 FL40W×2	6
非常照明	2
医務室	数量
露出型 FL40W×2	16

3階平面図

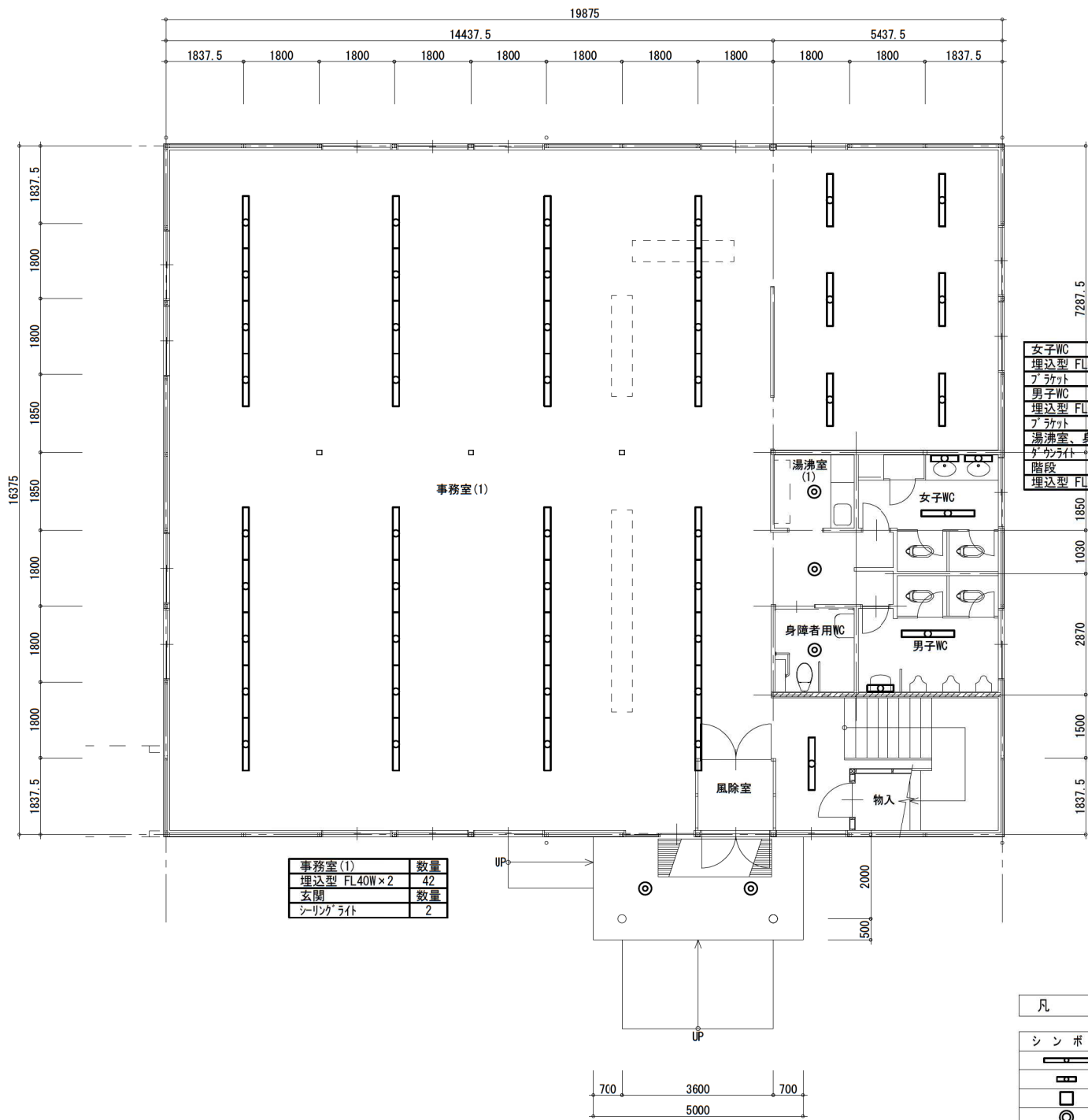


シンボル	品名
◻	電灯盤、分電盤
◻	動力盤
◻	弱電盤
◻	引込閉閉器盤
⊙	壁掛型スピーカ
⊙	天井吊下型時計
⊙	差動式スポット型感知器 2種
⊙	定温式スポット型感知器 1種 防水型
⊙	光電式スポット型感知器 2種
⊙	ABC消火器
⊙	総合盤

- (注記事項)
1. 図中の照明器具・盤類は全て撤去処分する。図中明記なき器具であっても本工事進捗上支障のある場合は、適正な撤去処分を行うこと。
  2. PCBを含む機器は、調書を添えて引き渡すこと。
  3. 低圧引込線撤去後、電力量計は電力会社に返却すること。
  4. 工事範囲内の既存配線、配管の撤去処分を行うこと。



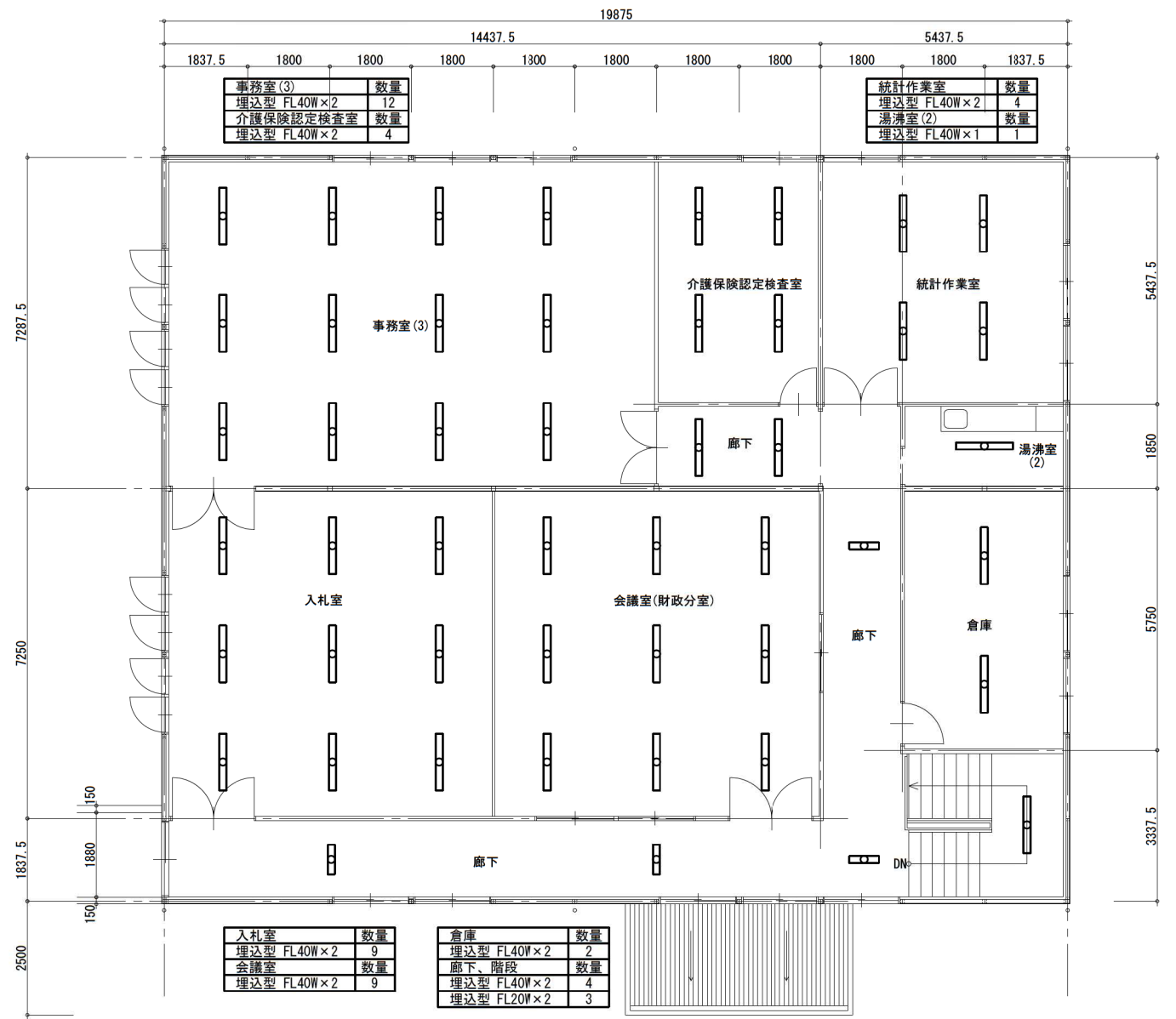




事務室(1)	数量
埋込型 FL40W×2	42
玄関	数量
シーリングライト	2

女子WC	数量
埋込型 FL40W×1	1
ブラケット	2
男子WC	数量
埋込型 FL40W×1	1
ブラケット	1
湯沸室、身障者用WC	数量
ダウンライト	3
階段	数量
埋込型 FL40W×1	1

1階 平面図



事務室(3)	数量
埋込型 FL40W×2	12
介護保険認定検査室	数量
埋込型 FL40W×2	4

統計作業室	数量
埋込型 FL40W×2	4
湯沸室(2)	数量
埋込型 FL40W×1	1

入札室	数量
埋込型 FL40W×2	9
会議室	数量
埋込型 FL40W×2	9

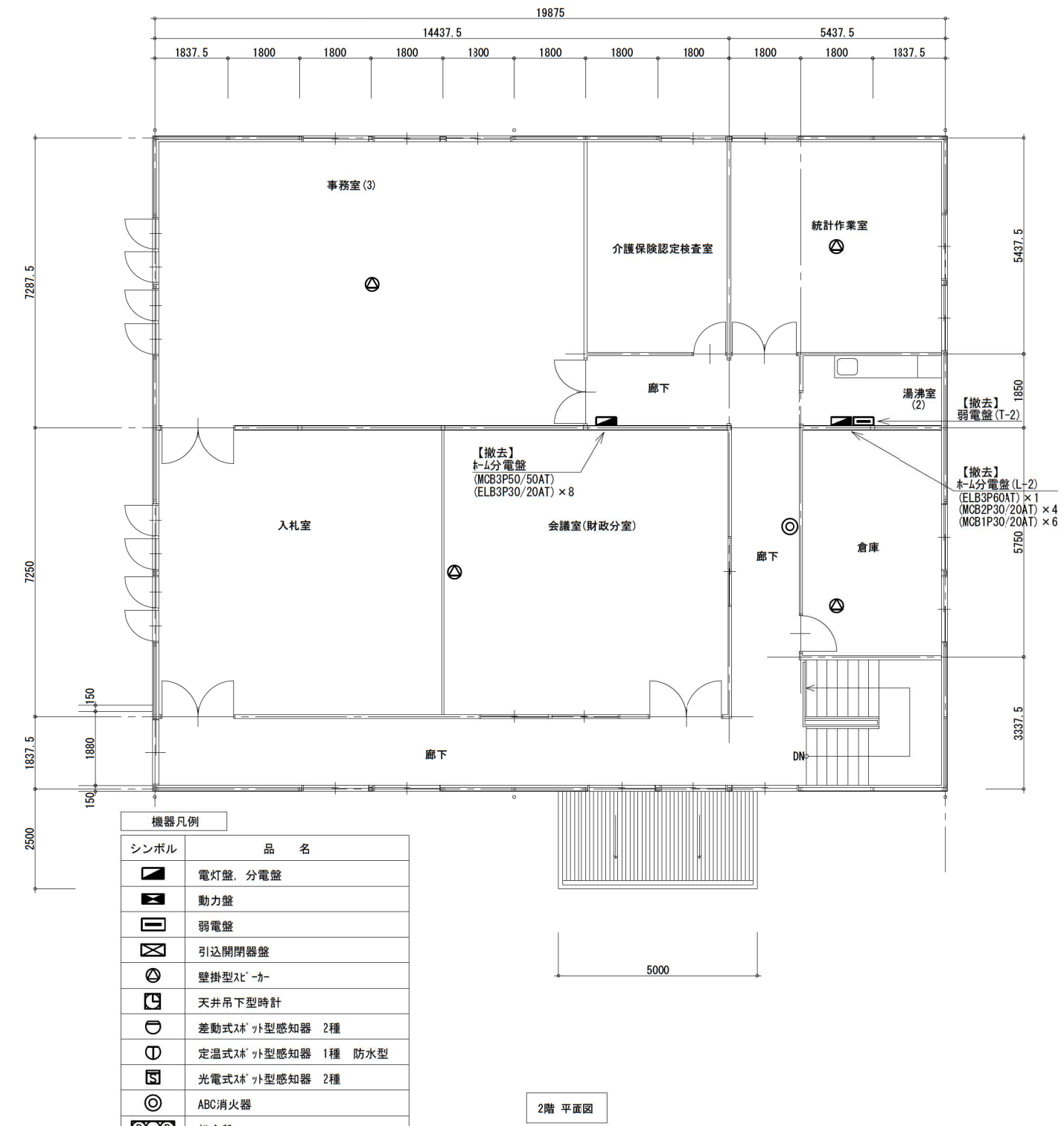
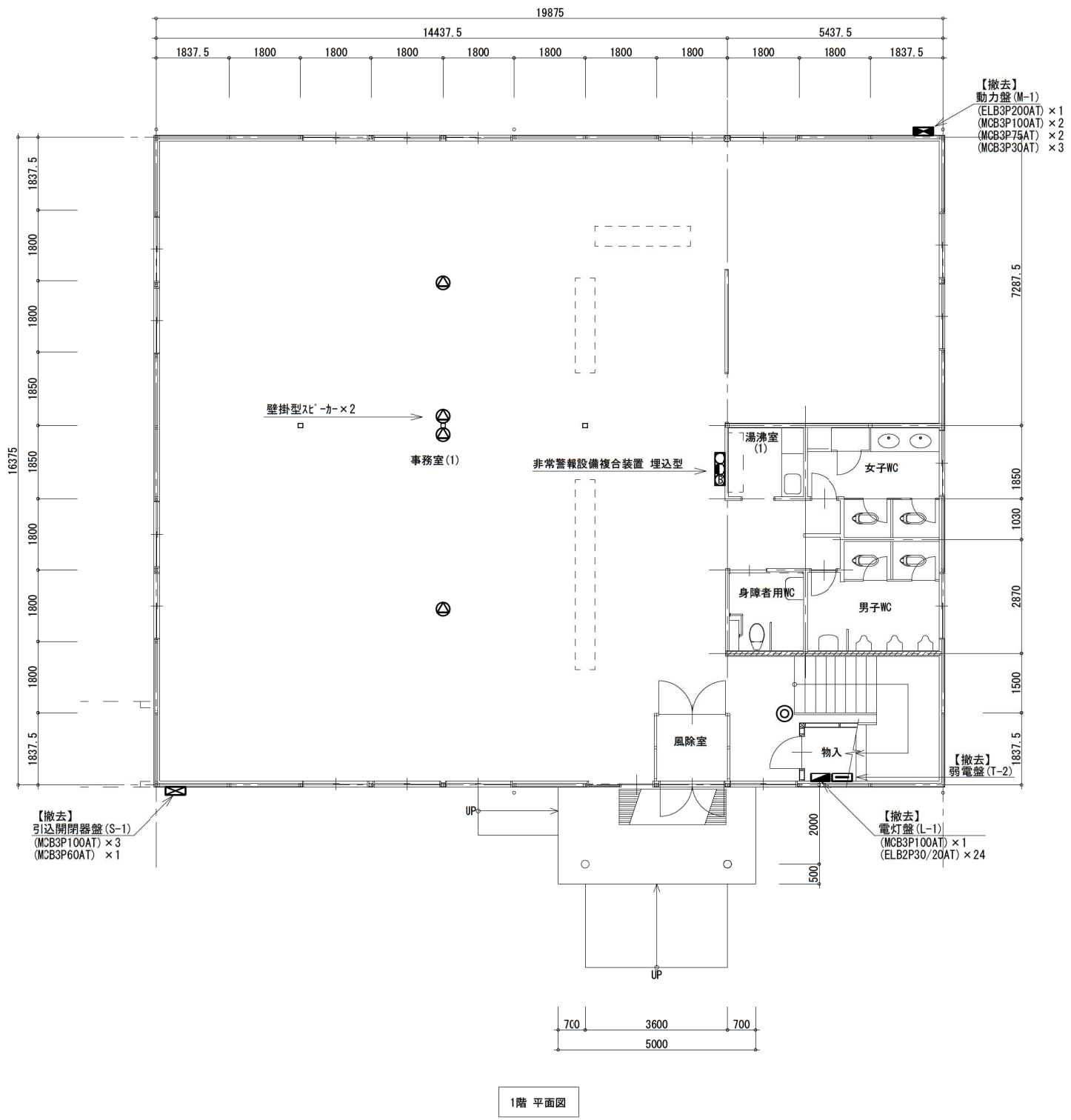
倉庫	数量
埋込型 FL40W×2	2
廊下、階段	数量
埋込型 FL40W×2	4
埋込型 FL20W×2	3

2階 平面図

シンボル	名称	規格等
☐	照明器具	蛍光灯
⊞	照明器具	蛍光灯
□	照明器具	蛍光灯又はシーリングライト
○	照明器具	ダウンライト、シーリングライト
●	照明器具	ブラケット、シーリングライト
●	照明器具	非常照明

- (注記事項)
1. 図中の照明器具・盤類は全て撤去処分する。図中明記なき器具であっても本工事進捗上支障のある場合は、適正な撤去処分を行うこと。
  2. PCBを含む機器は、調書を添えて引き渡すこと。
  3. 低圧引込線撤去後、電力量計は電力会社に返却すること。
  4. 工事範囲内の既存配線、配管の撤去処分を行うこと。

TITLE	DATE	NO
鳴門市共済会館等解体工事		E-04
NAME	SCALE	
電気工事 保険棟 平面図(1)		1/100



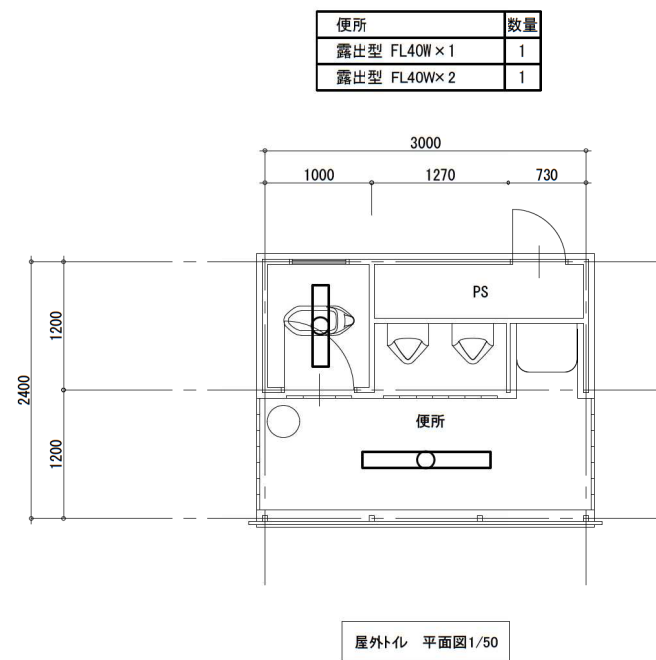
機器凡例

シンボル	品名
☐	電灯盤、分電盤
⊞	動力盤
⊞	弱電盤
⊞	引込開閉器盤
⊞	壁掛型スチーカ
⊞	天井吊下型時計
⊞	差動式スチーカ型感知器 2種
⊞	定温式スチーカ型感知器 1種 防水型
⊞	光電式スチーカ型感知器 2種
⊞	ABC消火器
⊞	総合盤

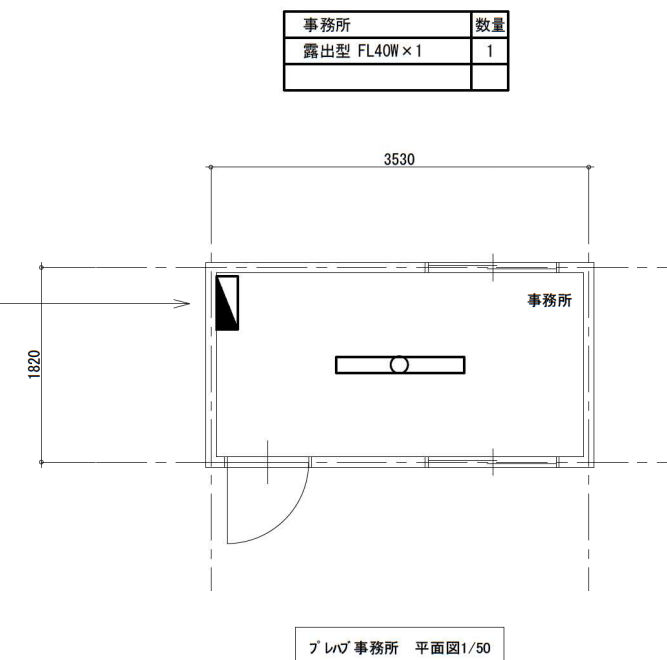
- (注記事項)
1. 図中の照明器具・盤類は全て撤去処分する。図中明記なき器具であっても本工事進捗上支障のある場合は、適正な撤去処分を行うこと。
  2. PCBを含む機器は、調書を添えて引き渡すこと。
  3. 低圧引込線撤去後、電力量計は電力会社に返却すること。
  4. 工事範囲内の既存配線、配管の撤去処分を行うこと。

TITLE	DATE	NO
鳴門市共済会館等解体工事		E-05
NAME	SCALE	
電気工事 保険棟 平面図 (2)		1/100





【撤去】  
ホーム分電盤  
(MCB3P50/40AT)  
(ELB3P30/20AT) × 3



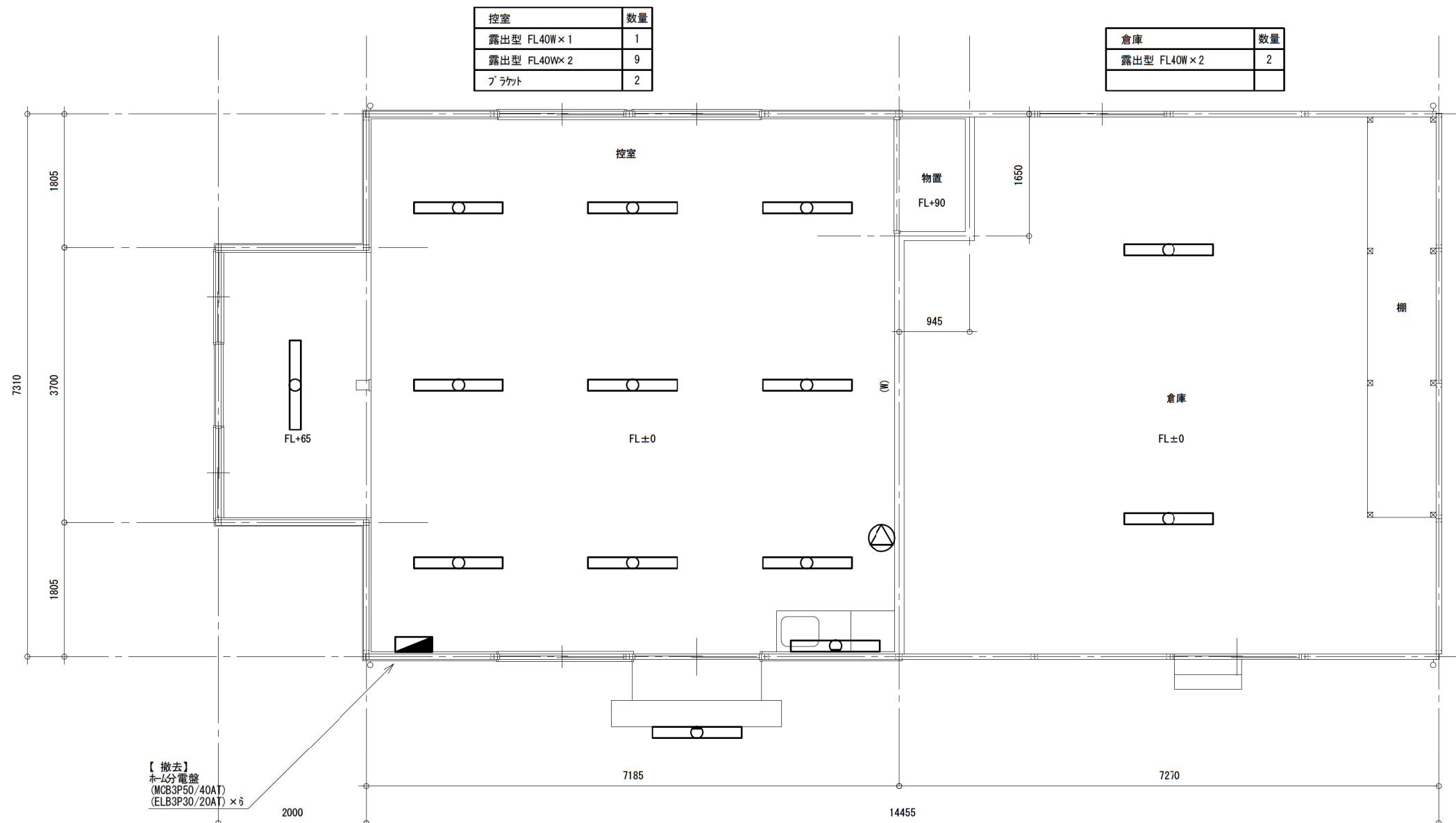
凡 例

シンボル	名 称	規 格	等
	照明器具		蛍光灯
	ホーム分電盤		

(注記事項)

1. 図中の照明器具・盤類は全て撤去処分する。図中明記なき器具であっても本工事進捗上支障のある場合は、適正な撤去処分を行うこと。
2. PCBを含む機器は、調書を添えて引き渡すこと
3. 低圧引込線撤去後、電力量計は電力会社に返却すること。
4. 工事範囲内の既存配線、配管の撤去処分を行うこと。

TITLE	DATE	NO
鳴門市共済会館等解体工事		E-06
NAME	SCALE	
電気工事 屋外トイレ プレハブ事務所 平面図	1/50	
株式会社 川建設計	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎



従業員控室 平面図 1/50

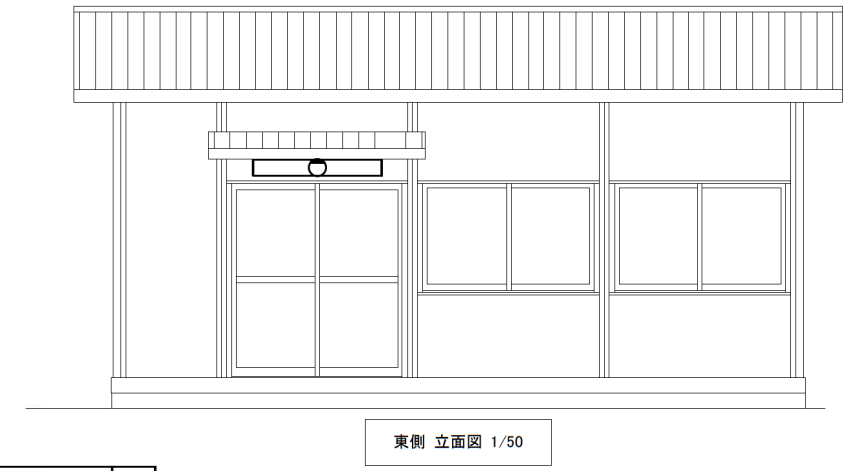
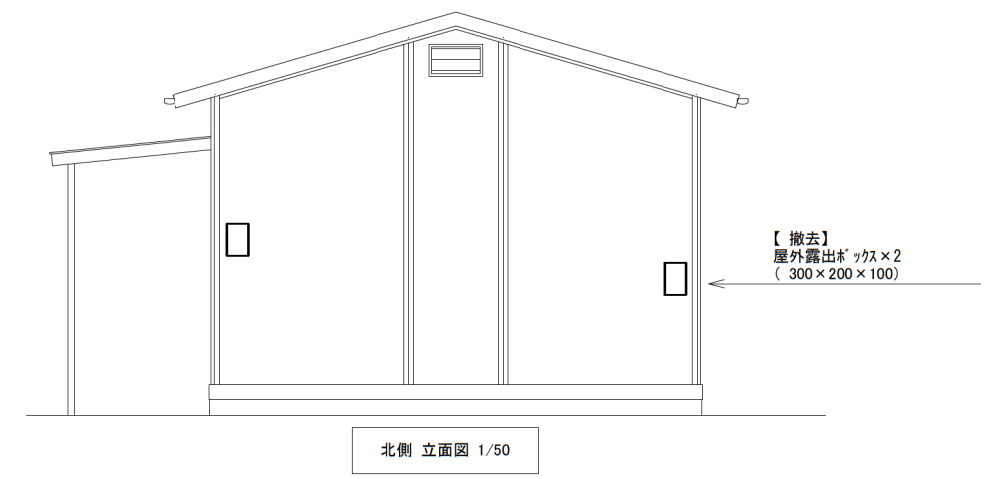
凡 例

シンボル	名称	規格	等
■	ホーム分電盤		
—○—	照明器具	蛍光灯	
—○—	照明器具	ブラケット	
⊙	壁掛型スイッチ		

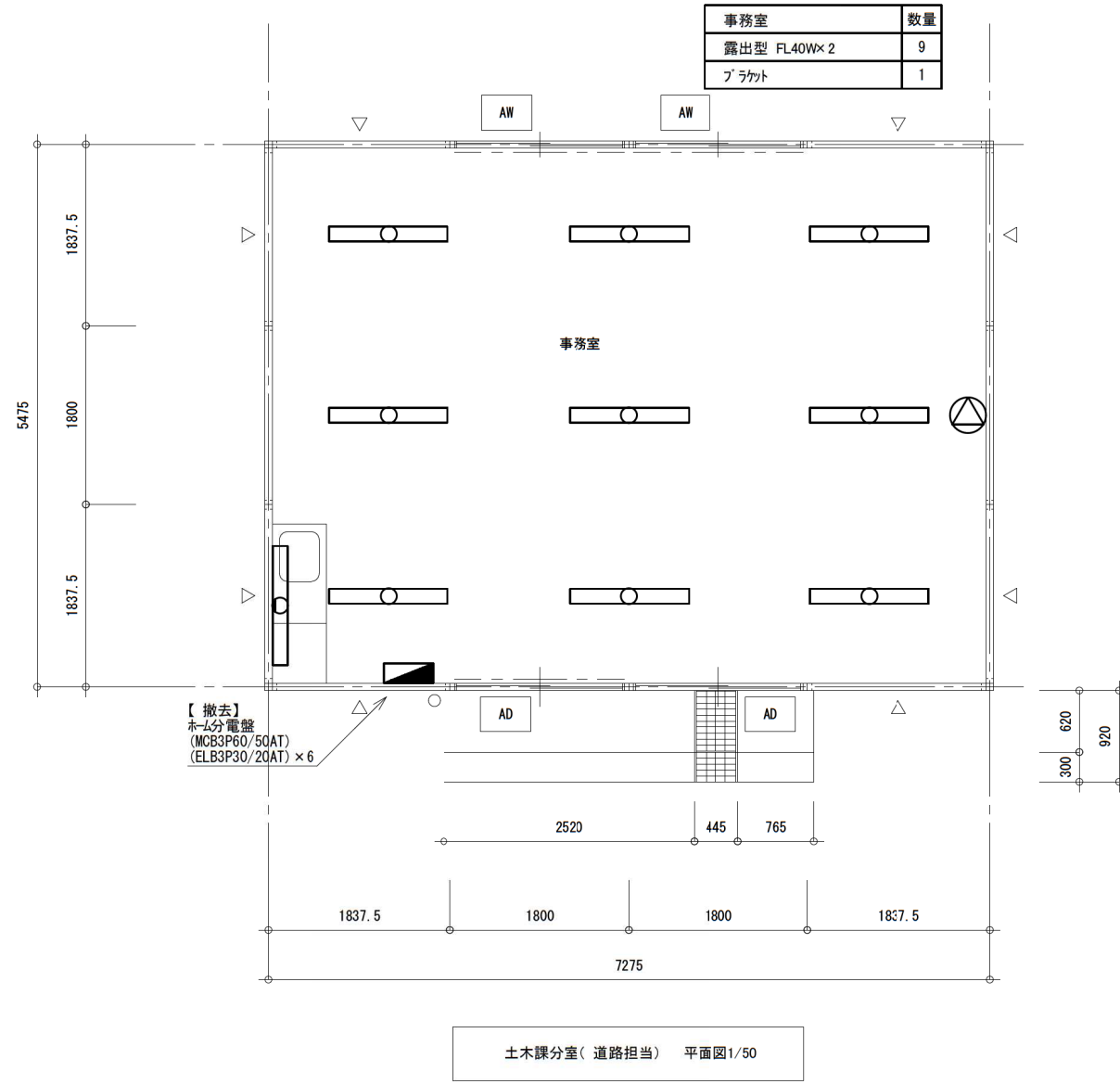
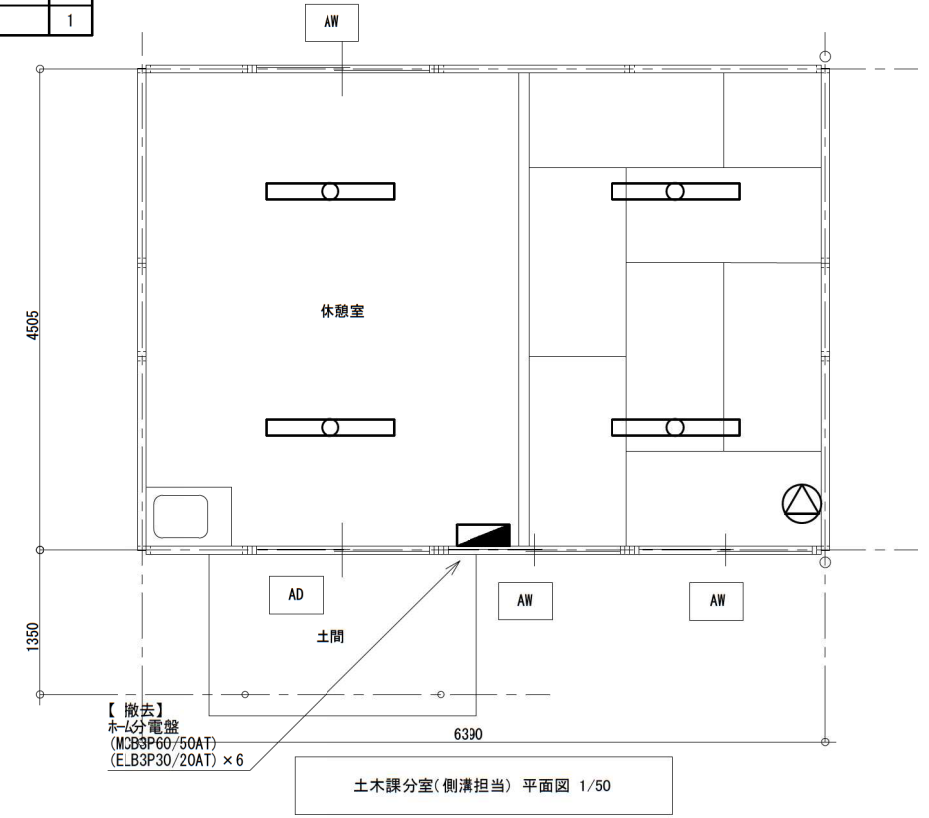
- (注記事項)
1. 図中の照明器具・盤類は全て撤去処分する。図中明記なき器具であっても本工事進捗上支障のある場合は、適正な撤去処分を行うこと。
  2. PCBを含む機器は、調書を添えて引き渡すこと。
  3. 低圧引込線撤去後、電力計は電力会社に返却すること。
  4. 工事範囲内の既存配線、配管の撤去処分を行うこと。

TITLE	DATE	NO
鳴門市共済会館等解体工事		E-07
NAME	SCALE	
電気工事 従業員控室 平面図	1/50	
株式会社 川建設計	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎





休憩室	数量
露出型 FL40W×2	4
東側 外壁	数量
ブラケット	1



事務室	数量
露出型 FL40W×2	9
ブラケット	1

シンボル	名称	規格	等
■	ホーム分電盤		
—○—	照明器具	蛍光灯	
—□—	照明器具	ブラケット	
⊙	壁掛型スピーカー		

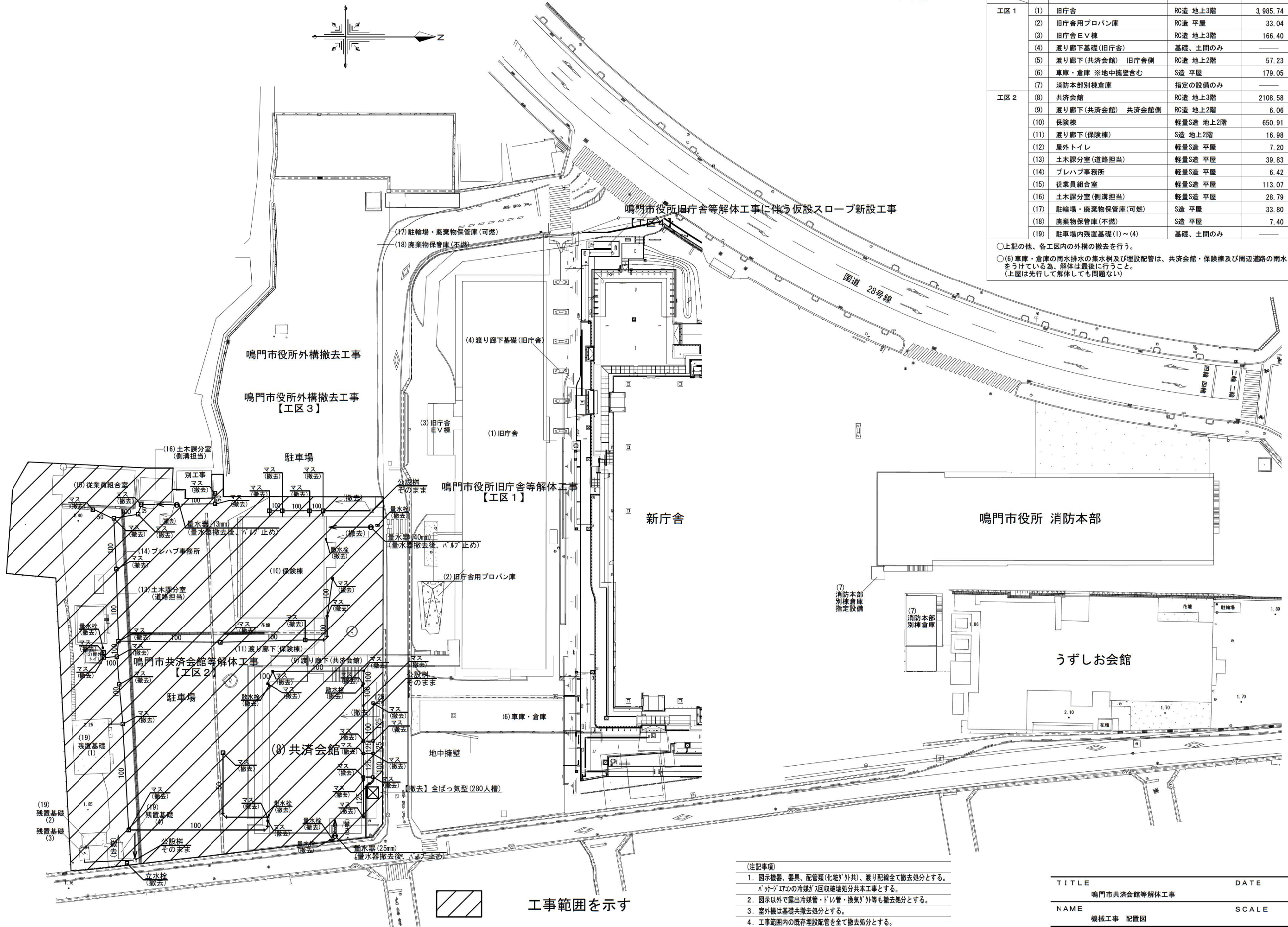
- (注記事項)
1. 図中の照明器具・盤類に全て撤去処分する。図中明記なき器具であっても本工事進捗上支障のある場合は、適正な撤去処分を行うこと。
  2. PCBを含む機器は、誤書を添えて引き渡すこと。
  3. 低圧引込線撤去後、電力量計は電力会社に返却すること。
  4. 工事範囲内の既存配線、配管の撤去処分を行うこと。

TITLE	DATE	NO
鳴門市共済会館等解体工事		E-08
NAME	SCALE	
電気工事 土木課分室(道路・側溝担当) 平面図		1/50
株式会社 川建設	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎

建物撤去リスト

番号	名称	仕様	延べ床面積 (㎡)
工区 1	(1) 旧庁舎	RC造 地上3階	3,985.74
	(2) 旧庁舎用プロパン庫	RC造 平屋	33.04
	(3) 旧庁舎EV棟	RC造 地上3階	166.40
	(4) 渡り廊下基礎(旧庁舎)	基礎、土間のみ	—
	(5) 渡り廊下(共済会館) 旧庁舎側	RC造 地上2階	57.23
	(6) 車庫・倉庫 ※地中擁壁含む	S造 平屋	179.05
	(7) 消防本部別棟倉庫	指定の設備のみ	—
工区 2	(8) 共済会館	RC造 地上3階	2108.58
	(9) 渡り廊下(共済会館) 共済会館側	RC造 地上2階	6.06
	(10) 保険棟	軽量S造 地上2階	650.91
	(11) 渡り廊下(保険棟)	S造 地上2階	16.98
	(12) 屋外トイレ	軽量S造 平屋	7.20
	(13) 土木課分室(道路担当)	軽量S造 平屋	39.83
	(14) プレハブ事務所	軽量S造 平屋	6.42
	(15) 従業員組合室	軽量S造 平屋	113.07
	(16) 土木課分室(側溝担当)	軽量S造 平屋	28.79
	(17) 駐輪場・廃棄物保管庫(可燃)	S造 平屋	33.80
	(18) 廃棄物保管庫(不燃)	S造 平屋	7.40
	(19) 駐車場内残置基礎(1)~(4)	基礎、土間のみ	—

○上記の他、各工区内の外構の撤去を行う。  
 ○(6)車庫・倉庫の雨水排水の集水桝及び埋設配管は、共済会館・保険棟及び周辺道路の雨水をうけている為、解体は最後に行うこと。  
 (上層は先行して解体しても問題ない)

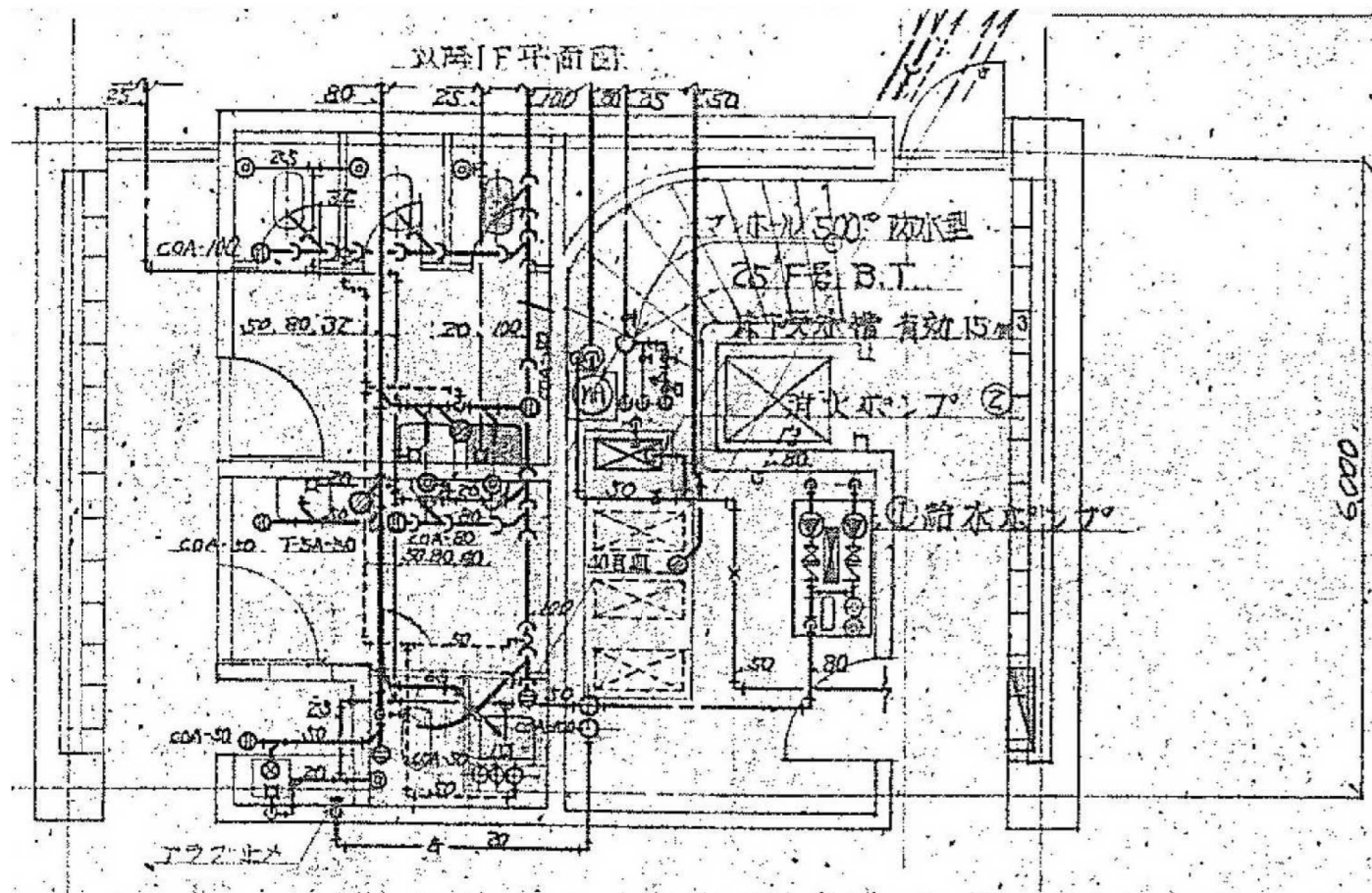


工事範囲を示す

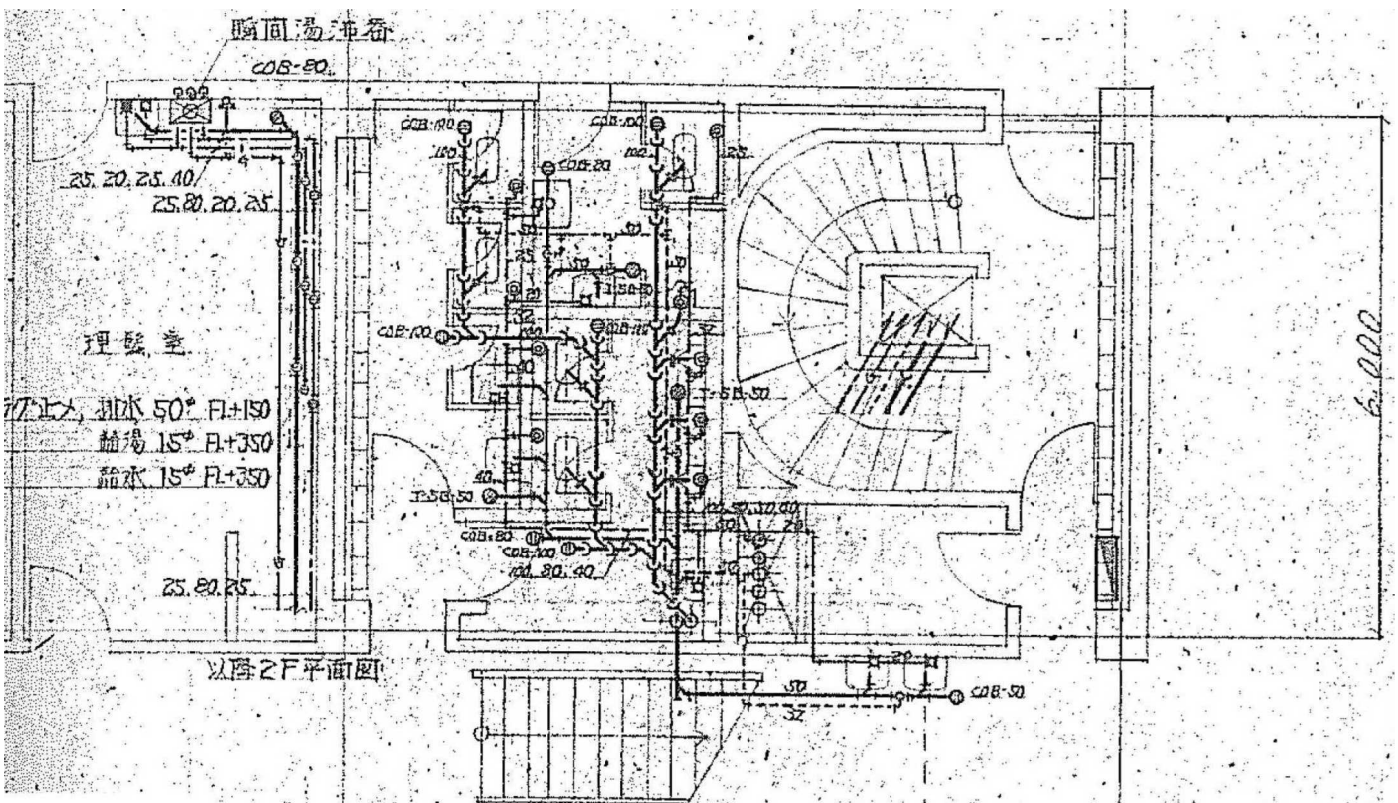
- (注記事項)
- 図示機器、器具、配管類(化熱付外共)、渡り配管全て撤去処分とする。  
 ハンガリングの冷媒ガスを回収破壊処分共本工事とする。
  - 図示以外で露出冷媒管・ドレン管・換気ダクト等も撤去処分とする。
  - 室外機は基礎共撤去処分とする。
  - 工事範囲内の既存埋設配管を全て撤去処分とする。

TITLE	鳴門市共済会館等解体工事	DATE		NO	W-01
NAME	機械工事 配置図	SCALE			1/500
株式会社	川建設	1級建築士登録	川端壮一郎		
		第126265			

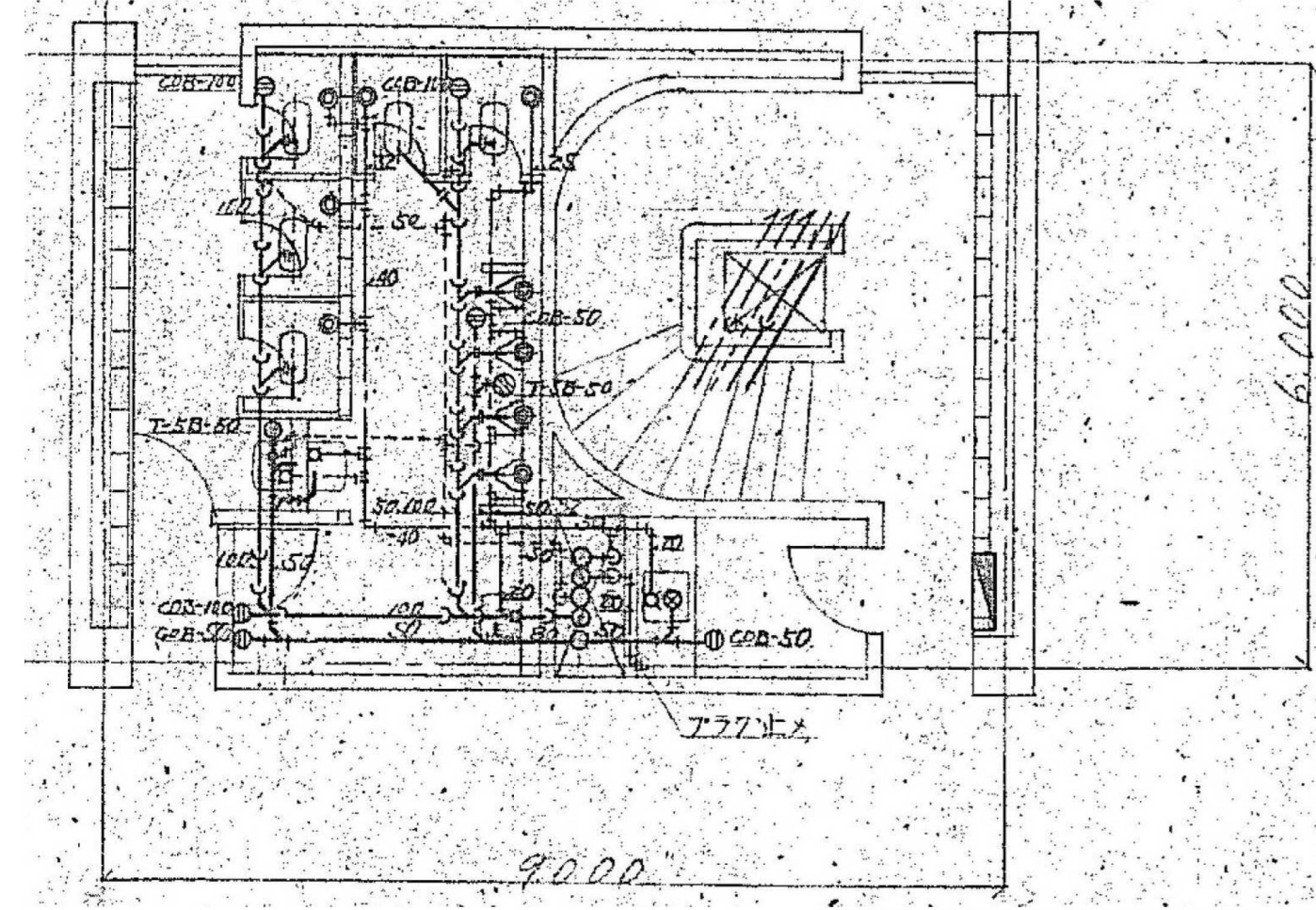




1階平面詳細図 1/50



2階平面詳細図 1/50

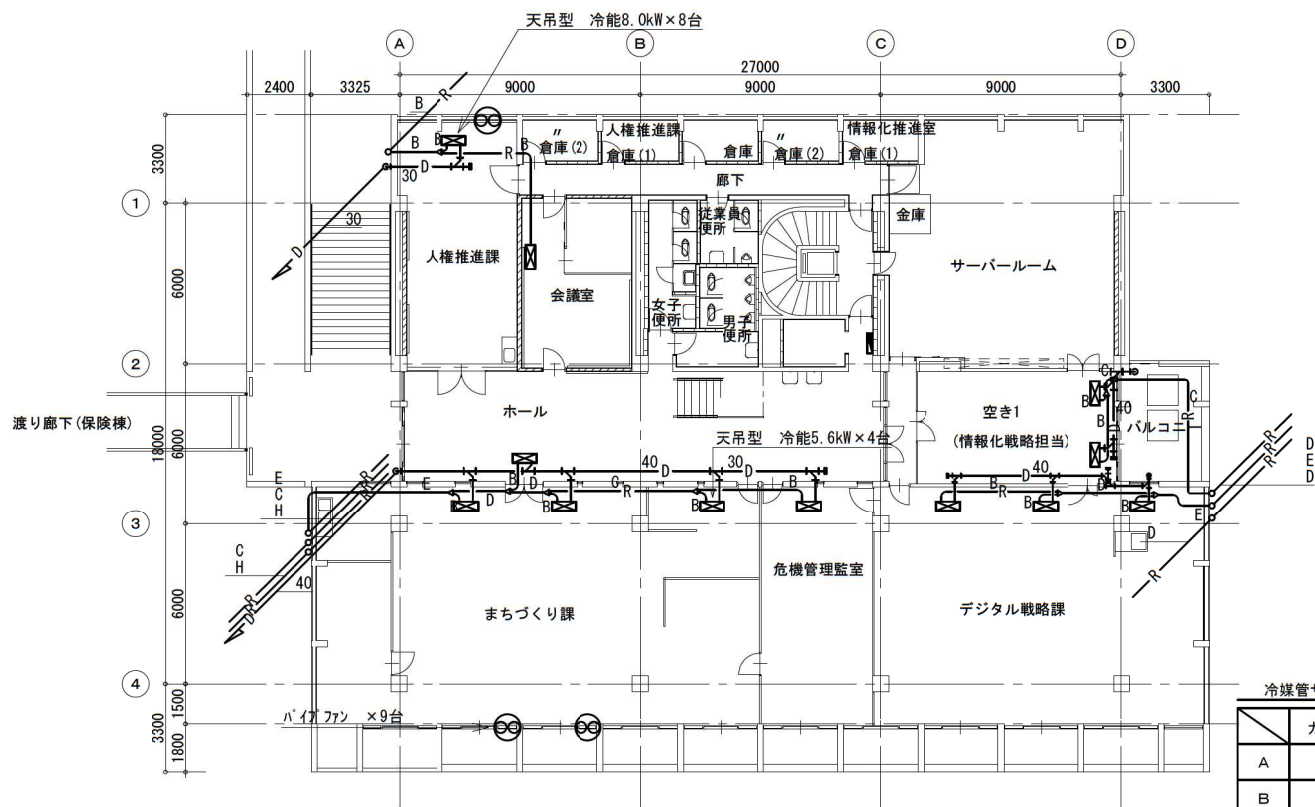


3階平面詳細図 1/50

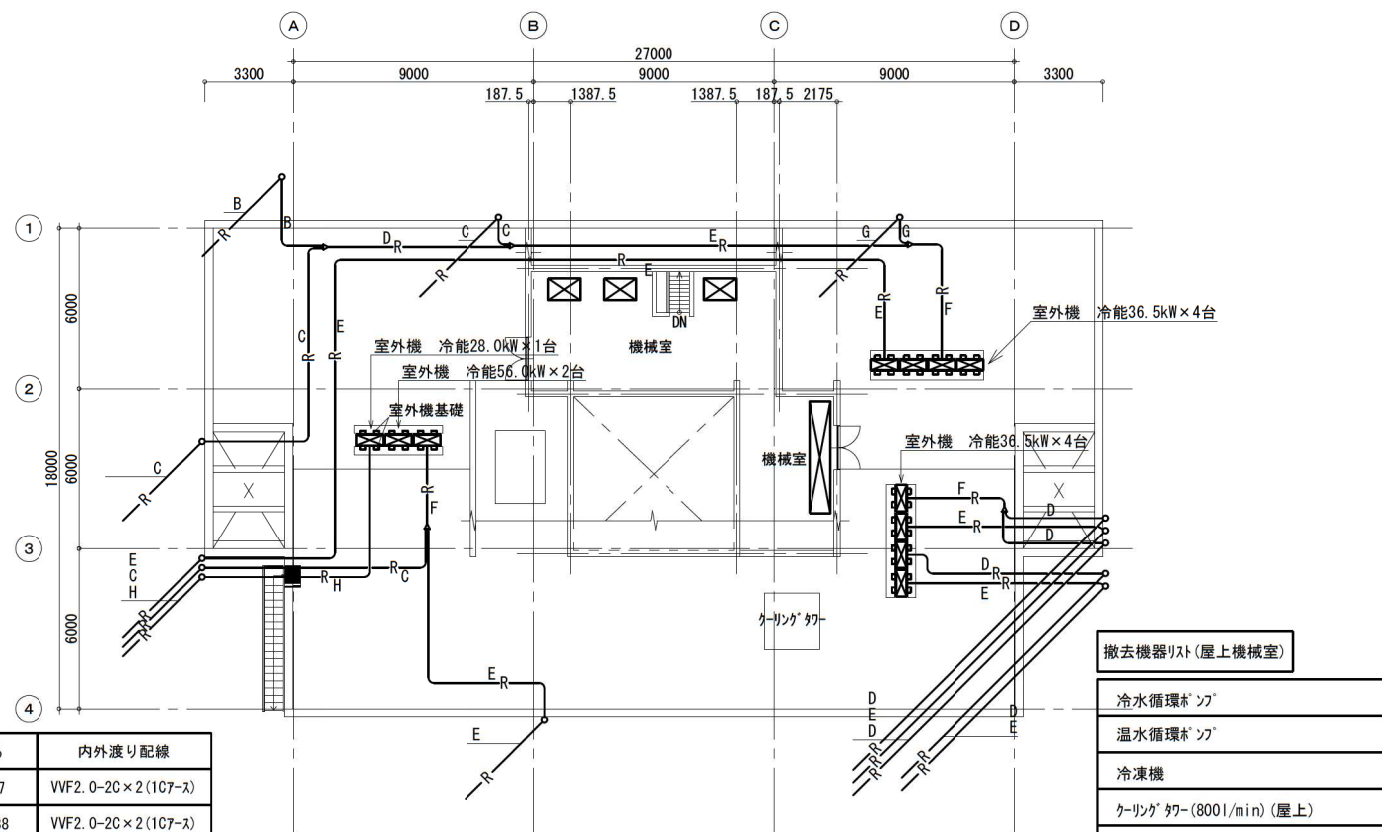
撤去器具リスト													
名称	型式	1階男子便所	1階女子便所	1階湯沸室	2階男子便所	2階女子便所	2階従業員便所	2階ホール	3階男子便所	3階女子便所	3階湯沸室	3階医務室	合計
和式便所		1	2		2	2	1		2	3			13
小便器		3			3				4				10
手洗器		1	2		1	1	1	2	1	1			11
掃除流し		1		1					1				3
横水栓				1				2			1		4
化粧鏡		1	2		1	1	1	2	1	1			10

(注記事項)  
 1. 図示器具、配管類全て撤去処分とする。  
 2. 図示以外で給水管・給湯管・排水管等も撤去処分とする。





2階平面図



PH階平面図

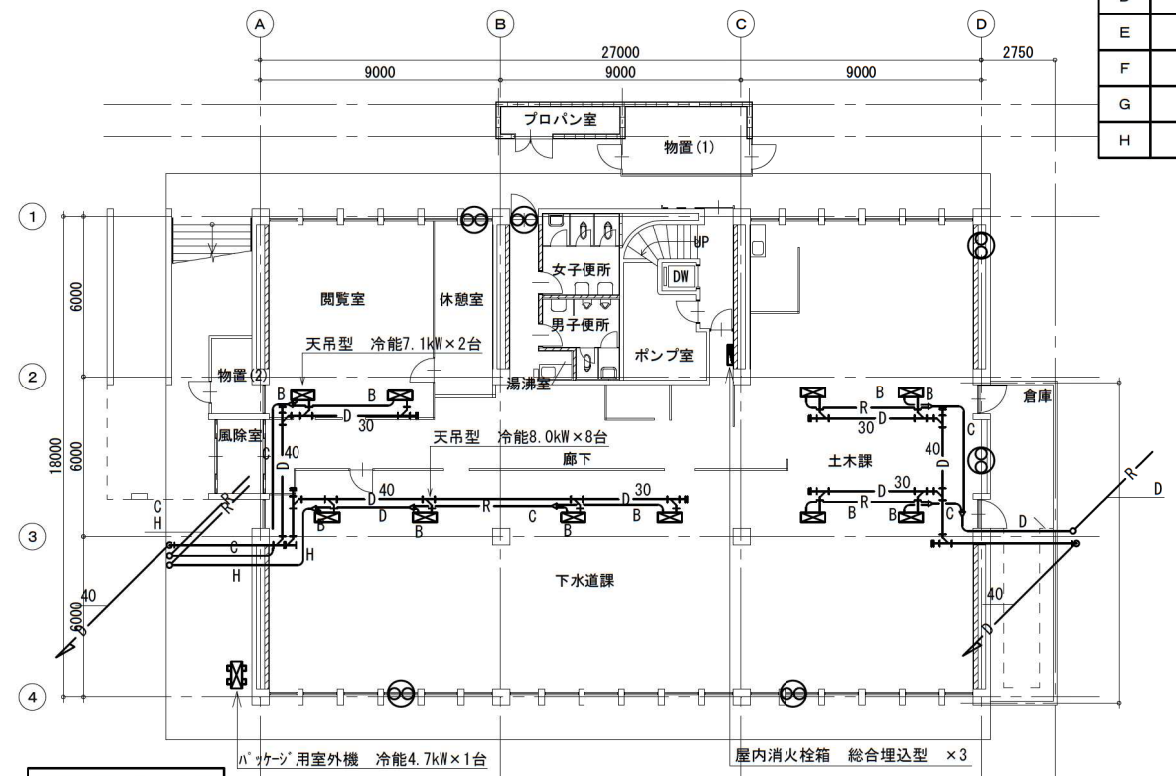
冷媒管サイズ表

	ガス側φ	液側φ	内外渡り配線
A	6.35	12.7	VVF2.0-2C x 2 (1C7-S)
B	9.52	15.88	VVF2.0-2C x 2 (1C7-S)
C	12.7	19.65	VVF2.0-2C x 2 (1C7-S)
D	12.7	25.4	VVF2.0-2C x 2 (1C7-S)
E	15.88	31.75	VVF2.0-2C x 2 (1C7-S)
F	15.88	38.1	VVF2.0-2C x 2 (1C7-S)
G	9.52	19.65	VVF2.0-2C x 2 (1C7-S)
H	12.7	28.58	VVF2.0-2C x 2 (1C7-S)

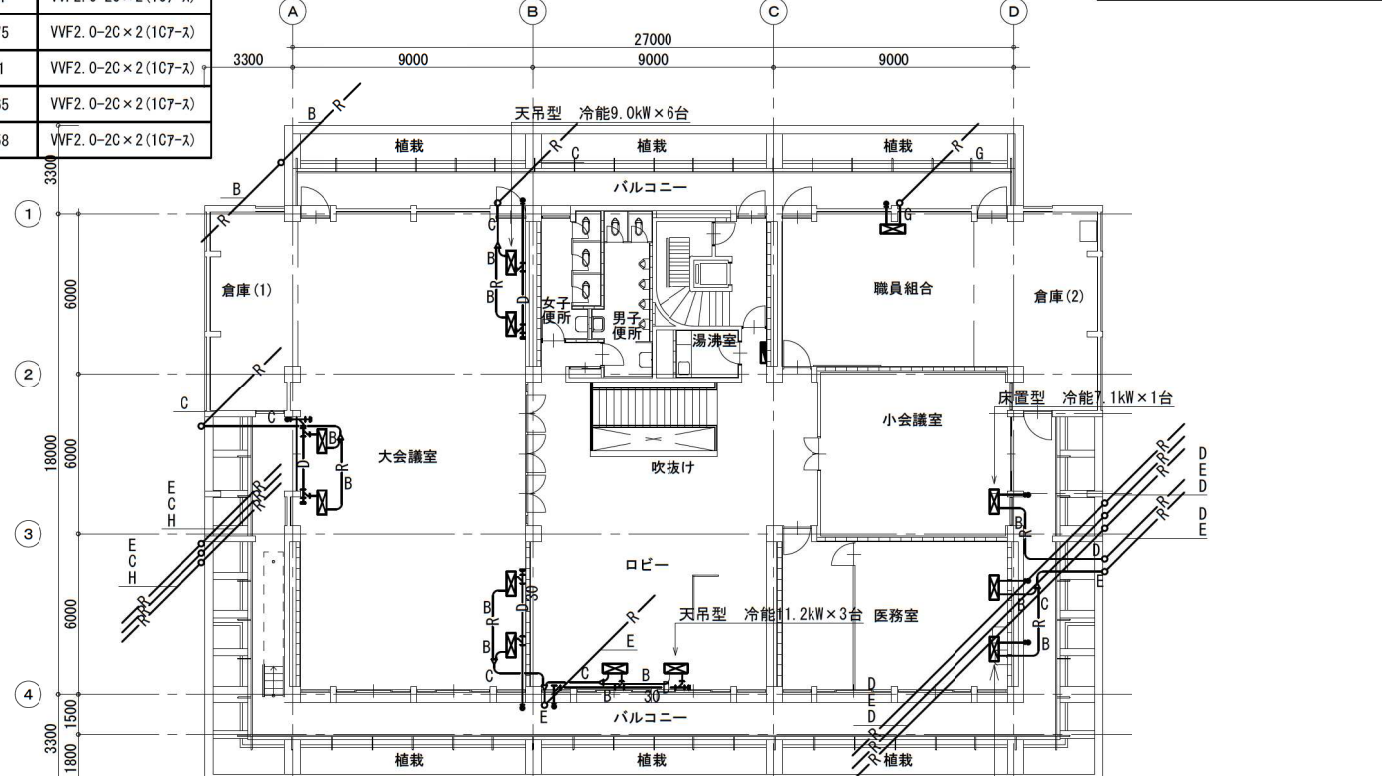
ドレ : 30, 40

撤去機器リスト (屋上機械室)

冷水循環ポンプ
温水循環ポンプ
冷凍機
クーリングタワー (800l/min) (屋上)
熱交換器
冷却水ポンプ (80φ x 800l/min x 15m)



1階平面図



3階平面図

撤去機器リスト (1階ポンプ室)

真空ポンプ
消火ポンプ

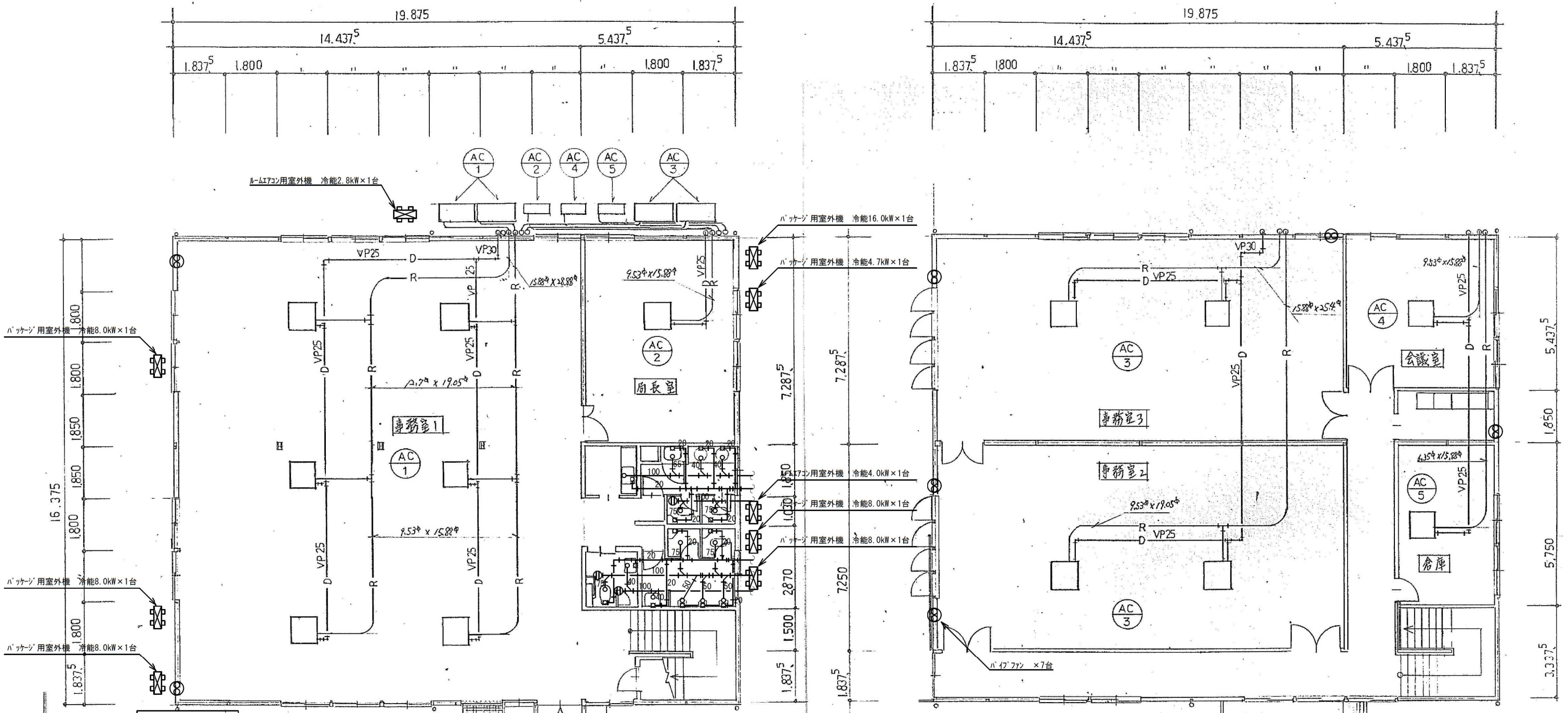
凡例

シンボル	名称	規格等
☒	空調室内機 (天吊露出型)	
☒	空調室内機 (天井埋込型)	
☒	壁掛型ルームエアコン	
☒	パナソニック用室外機	
☒	ビルマル用室外機	
☒	屋内消火栓箱 (2号消火栓) 総合埋込型	
☒	パイプファン	

- (注記事項)
1. 図示機器、器具、配管類 (化粧外共)、渡り配線全て撤去処分とする。パナソニックの冷媒ガス回収破壊処分共本工事とする。
  2. 図示以外で露出冷媒管・ドレン管・換気外等も撤去処分とする。
  3. 室外機は基礎共撤去処分とする。

TITLE	鳴門市共済会館等解体工事	DATE		NO	W-03
NAME	機械工事 共済会館 平面図	SCALE			1/200





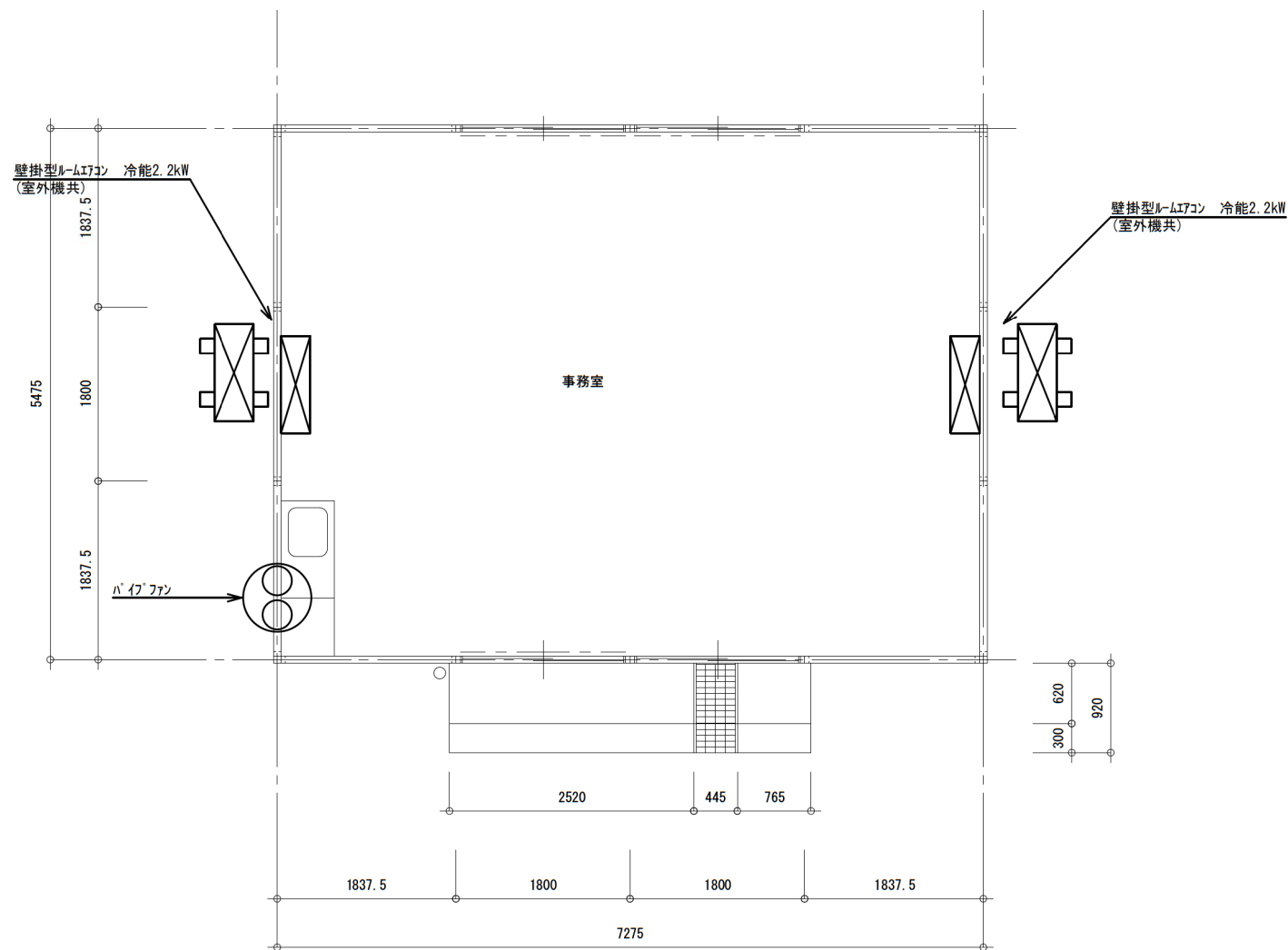
撤去器具リスト

名称	型式	1階男子便所	1階女子便所	1階身障者用WC	1階湯沸室	2階湯沸室	合計
様式便所					1		1
和式便所		2	2				4
小便器		3					3
手洗器		1	2	1			4
掃除流し			1				1
横水栓			1		1	1	3
化粧鏡		1	2	1			4
湯沸し器					1	1	2

(注記事項)  
 1. 図示機器、器具、配管類(化粧が外共)、渡り配線全て撤去処分とする。  
 パッケージエアコンの冷媒回収破断処分共本工事とする。  
 2. 図示以外で露出冷媒管・ドレン管・換気ダクト・給水管・給湯管・排水管等も撤去処分とする。  
 3. 室外機は基礎共撤去処分とする。

型式	数	冷房能力	暖房能力
AC-1 FDT 250HV7 (FDT 80HL x3)	2 (6)	2,500 kcal/h	2,700 kcal/h
AC-2 FDT 71H7	1	7,100 kcal/h	7,700 kcal/h
AC-3 FDT 200HP7	2	2,000 kcal/h	2,150 kcal/h
AC-4 FDT 63H7	1	6,300 kcal/h	6,800 kcal/h
AC-5 FDT 45H7	1	4,500 kcal/h	4,900 kcal/h

TITLE 鳴門市共済会館等解体工事  
 NAME 機械工事 保険棟 平面図  
 DATE  
 NO W-04  
 SCALE  
 1/100

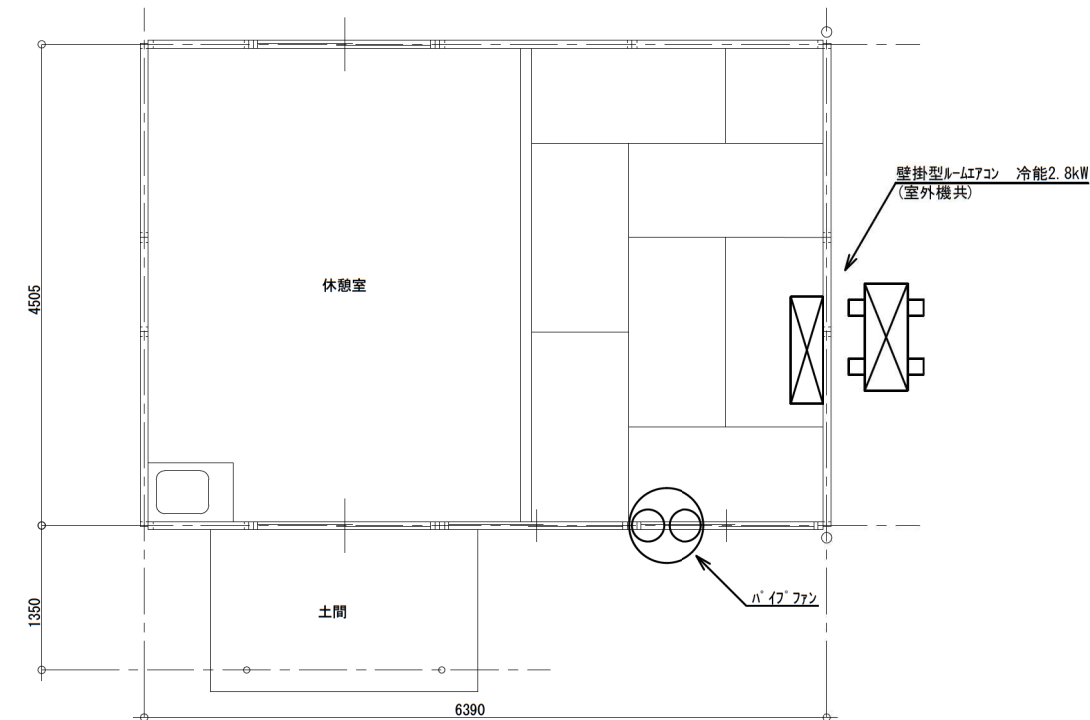


土木課分室（道路担当） 平面図 1/50

撤去器具リスト

名称	型式	事務室	合計
横水栓		1	1
湯沸し器		1	1

- (注記事項)
1. 図示機器、器具、配管類(化粧外共)、渡り配線全て撤去処分とする。  
R-17コンの冷媒ガス回収破壊処分共本工事とする。
  2. 図示以外で露出冷媒管・ドレン管・換気ダクト・給水管・給湯管・排水管等も撤去処分とする。
  3. 室外機は基礎共撤去処分とする。

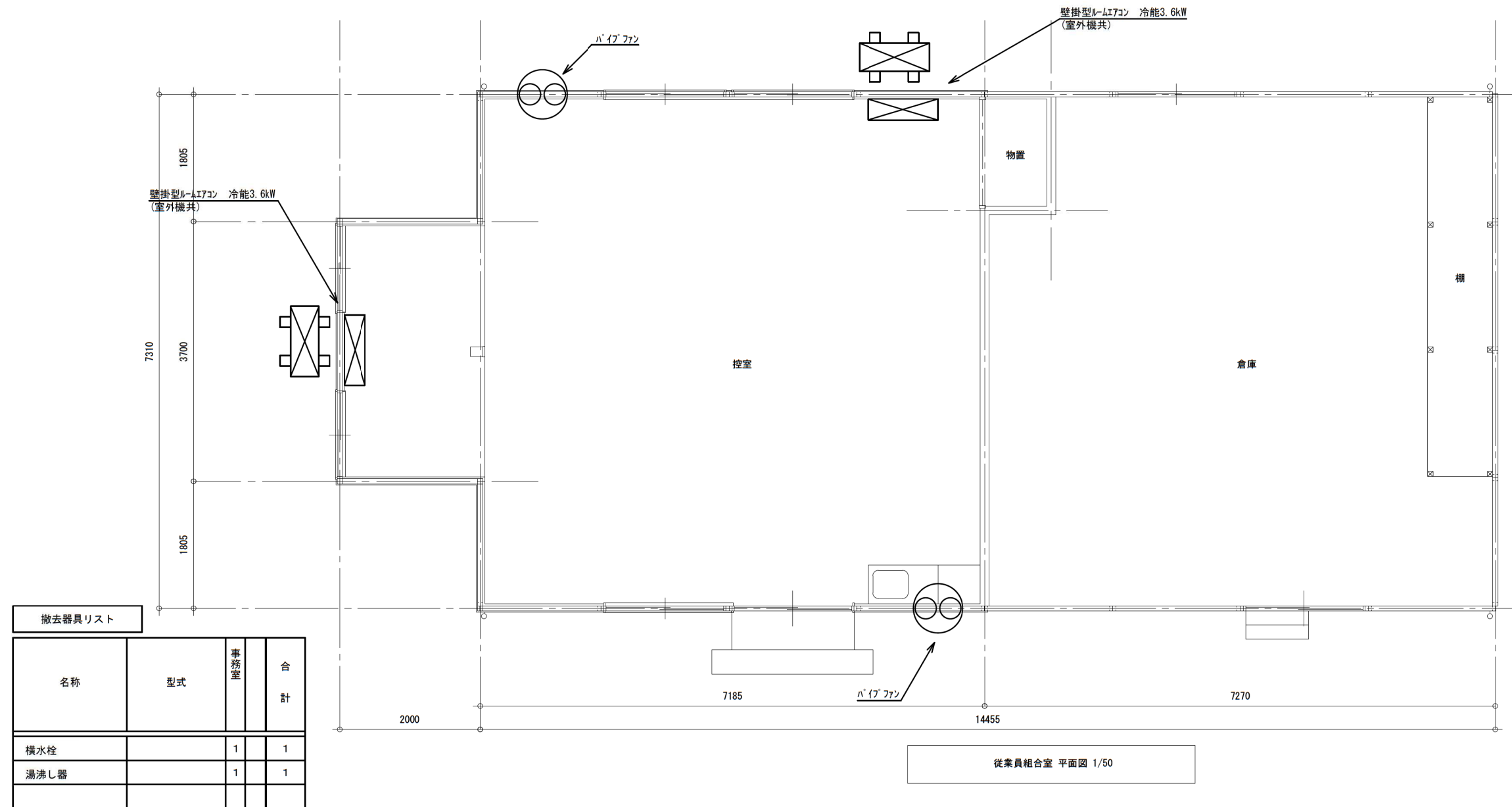


土木課分室（側溝担当） 平面図 1/50

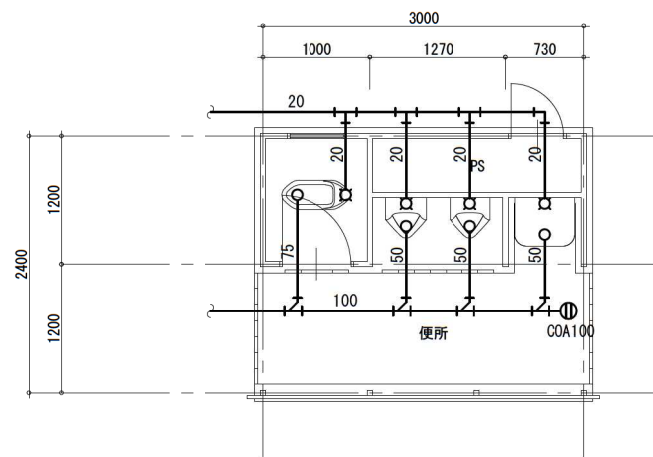
撤去器具リスト

名称	型式	事務室	屋外	合計
横水栓		1	1	2
化粧鏡		1		1





従業員組合室 平面図 1/50



屋外トイレ 平面図 1/50

名称	型式	屋外トイレ	合計
和式便所		1	1
小便器		2	2
手洗器		1	1

- (注記事項)
- 図示機器、器具、配管類(化粧外共)、渡り配線全て撤去処分とする。  
天井エアコンの冷媒ガス回収破壊処分共本工事とする。
  - 図示以外で露出冷媒管・ドレン管・換気ダクト・給水管・給湯管・排水管等も撤去処分とする。
  - 室外機は基礎共撤去処分とする。